平成23年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

「複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する総合的調査研究事業」

学校法人梅檀学園 東北福祉大学

複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する総合的調査研究事業担当者

事業受託者　学校法人梅檀学園　東北福祉大学　学長　萩野浩基

＜研究代表者＞

渡邉　誠	東北福祉大学　総合福祉学部	教　授

＜研究分担者＞

渡辺　信英	東北福祉大学	学長補佐
阿部　四郎	東北福祉大学　総合マネジメント学部	教　授
塩村　公子	東北福祉大学　総合福祉学部	教　授
田中　治和	東北福祉大学　子ども科学部	教　授
阿部　一彦	東北福祉大学　通信教育部	教　授
渡部　純夫	東北福祉大学　総合福祉学部	教　授
三浦　剛	東北福祉大学　総合福祉学部	教　授
小松　洋吉	東北福祉大学　総合マネジメント学部	教　授
佐藤　牧人	東北福祉大学　健康科学部	教　授
金　　政信	東北福祉大学　総合マネジメント学部	教　授
庭野　賀津子	東北福祉大学　総合福祉学部	准教授
鈴木　玲子	東北福祉大学　社会貢献センター	特任准教授
岡本　ミチ子	東北福祉大学　健康科学部	教　授
阿部　哲也	東北福祉大学　総合福祉学部	教　授
広浦　幸一	東北福祉大学　通信教育部	准教授
山本　光璋	東北福祉大学　総合マネジメント学部	教　授
萩野　寛雄	東北福祉大学　総合マネジメント学部	教　授
金　　義信	東北福祉大学　　特任准教授（総務部災害対策課長補佐）	
加藤　伸司	東北福祉大学　総合福祉学部	教　授
矢吹　知之	東北福祉大学　総合基礎教育課程	講　師
佐藤　俊人	東北福祉大学　総合福祉学部	教　授
丸岡　章	石巻専修大学　理工学部	教　授
鈴木　均	石巻専修大学　理工学部	教　授
小坂　健	東北大学大学院歯学研究科	教　授
一力　雅彦	㈱河北新報社	社　長
佐藤　仁	南三陸町	町　長
安住　宣孝	女川町(～2011 年 11 月)	前町長
須田　善明	女川町(2011 年 11 月～)	町　長
志賀　秀一	㈱東北地域環境研究室	代表取締役
柿沼　利弘	社会福祉法人東北福祉会・せんだんの里	施設長
渡部　芳彦	東北福祉大学　健康科学部	准教授

＜研究協力者＞

本間　照雄	南三陸町	福祉アドバイザー
関田　康慶	東北大学大学院　経済学研究科	教　授
千葉　英俊	東北福祉大学　総合基礎教育課程	講　師
小崎　浩信	東北福祉大学　通信教育部	准教授
星　伸之	東北福祉大学	非常勤講師
光永　輝彦	東北福祉大学　社会貢献センター	特任教授
佐藤　啓壮	東北福祉大学　健康科学部	講　師
渡辺　圭	東北福祉大学大学院　修士課程	
小柳　敦	東北福祉大学　財務部	
今野　俊宏	河北新報メディアセンター	センター長
阿部　憲子	南三陸ホテル観洋	女　将
佐藤　長幸	グリーンヒルズ・デンタルクリニック	院　長
佐々木　優	グリーンヒルズ・デンタルクリニック	歯科衛生士
岡　裕彦	女川町在住	
島谷　留美子	㈱東北地域環境研究室	
渡辺　博夫	ポーラ化粧品　南東北エリア	営業サポートスタッフ
佐藤　洋子	ポーラ化粧品　あかつき営業所	所　長
佐藤　八千代	ポーラ化粧品　千満営業所	所　長
小山　恵子	ポーラ化粧品　フレッシュマリン営業所	所　長
大泉　雅史	東北福祉大学　感性福祉研究所	
小澤　直輝	東北福祉大学　臨時職員	

＜東北福祉大学臨時職員＞

○南三陸町調査員（31 名）

宮川　ルミ, 佐々木　真里子, 佐々木　恵子, 山内　洋子, 渡邊　香, 佐々木　政子,
千葉　江美子, 佐々木　さえこ, 千葉　めぐみ, 佐藤　照実, 久保田　俊枝, 沼倉　洋子,
渡辺　小春, 畠山　ゆかり, 後藤　幸恵, 軍司　曜子, 山内　かほる, 遠藤　とく子,
醫王田　美緒, 佐藤　諭理, 佐藤　睦美, 酉抜　恵, 小山　真帆, 佐々木　浜子, 小山　和恵,
小野寺　礼子, 渡辺　弘枝, 佐藤　理恵子, 武山　幸江, 高橋　千代子, 阿部　若子,

○女川町調査員（17 名）

髙橋初江, 阿部　幸子, 塩森はつみ, 小松　珠美, 佐藤　佐知江, 齋藤　鮎美, 阿部　清江,
木村　清美, 岡　利恵, 鈴木　みや, 横江　ゆう子, 阿部　京子, 鈴木　満江, 阿部　求,
鈴木　ゆかり, 相原　るり子, 山下　弘子

＜研究協力団体＞

南三陸町
女川町
社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会
社会福祉法人女川町社会福祉協議会
松林山大雄寺（南三陸町）
南三陸ホテル観洋
㈱河北新報社
㈱東北地域環境研究室
㈱ポーラ化粧品　南東北エリア
社会福祉法人東北福祉会
石巻専修大学

目　　次

まえがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・渡邉　誠

Ⅰ．研究の概要

１．事業の目的

２．事業実施の概要

１）複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する実態調査

２）津波被災地域の福祉施設の状況調査

３）東日本大震災に関する地元マスメディアの報道にみられる津波被災地の高齢者の生活と福祉，ならびに復興

４）コミュニティの復興に向けて先駆的に取り組む会社・人材の聞き取り調査

Ⅱ．複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する実態調査

1．複合大規模災害地域の高齢者福祉に関するアンケート・訪問調査・・・・1

(1) 目的

(2) 実施対象

(3) 実施方法

(4) 結果と分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

① 総合集計結果

② 調査地域に関する集計結果の分析・・・・・・・・・・・・・・・61

③ 性別による集計結果の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・75

④ 年代別による集計結果の分析・・・・・・・・・・・・・・・・・80

⑤ 同居・独居の別による集計結果の分析・・・・・・・・・・・・・87

⑥ 就業状況による集計結果の分析・・・・・・・・・・・・・・・・90

（５）調査結果の考察 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・94

＊調査員アンケートについて

2．津波被災地域の福祉施設の状況調査・・・・・・・・・・・・・・・・・107

(1) 震災時の高齢者福祉施設の状況

(2) 被災地における高齢者の避難状況

(3) 高齢者の避難状況（福祉避難所の運営を捉えて）

(4) 被災地における高齢者の避難状況

(5) 今後の課題

３．地元マスメディアの報道にみる被災地（南三陸町・女川町および近隣地域）と高齢者福祉の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・115
(1) はじめに
(2) 女川町の被災状況と高齢者福祉
(3) 南三陸町の被災状況と高齢者福祉
(4) 社説に見る被災地の高齢者福祉と医療
(5) 大震災に関する東北福祉大学の関連記事
(6) おわりに

４．被災地での行政・住民（企業等）の協力及びコミュニティ復興のための取り組み　～宮城県南三陸町の取り組み事例から～・・・・・・・122
(1) はじめに
(2) “福興市”が復興に向けた町民の心の支えに
～がれきの中からの復興宣言～
(3) 地域とともに生きる宿として
～地域コミュニティの拠点機能強化をめざす
南三陸ホテル観洋の取り組み～

Ⅲ．資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・133
A. 複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する実態調査・集計一覧
B. 津波被災地域の福祉施設の状況調査
１．被災地高齢者福祉施設の状況と現状に関するアンケート調査報告書
（資料①）
石巻市桃生町桃生総合トレーニングセンター福祉避難所事業報告書
（資料②）
２．宮城県老人福祉施設入所状況調べ
C. 河北新報報道記事

まえがき

間もなく卒業式を迎えようとしていた平成 23 年 3 月 11 日東日本大震災が突然に起こった。講義資料を整理し、次年度の準備をしている真最中、午後 2 時 46 分のことである。マグニチュード 9.0、最大震度 7 の巨大地震である。太平洋沿岸部の街は壊滅的に破壊され、死者と行方不明者約 2 万人の未曾有の大惨事となった。加えて、福島第 1 原発 2 号機の原子炉の水位低下による半径 3ｋｍ圏内の避難指示、3 月 12 日の福島第 1 原発 1 号機の建屋爆発に伴って半径 20ｋｍ圏内の避難指示が出されるにおよび放射能汚染の拡大が刻々と明らかにされた。天災としての地震・津波と人間が造り出した大惨事である原発事故が複合し、いずれも大規模で、公益的に生活基盤や地域社会を崩壊させたのが東日本大震災である。

東北福祉大学は、福祉系の総合大学として、「生きとし生けるもの、皆かけがえのない、生きるに値する生がある」とする『福祉の心』の「社会化」を使命とし、その使命を達成するため、「行学一如」を建学の精神に掲げてきた。この精神に基づき東日本大震災直後の 3 月 23 日、東北福祉大学では「東日本大震災と大学」と題し、人類が初めて経験した地震・津波と原発事故の複合大規模災害に立ち向かう姿勢を宣言した。本調査研究はその 1 つの実践例である。

東日本大震災の特徴は生活基盤と地域社会を壊滅させる複合大規模災害であったため、健康や福祉に関しても諸施設の消失や諸制度の機能停止に止まらず、それらを支える諸々の条件が崩壊した。そのため一刻も早い地域社会の再構築が求められたにもかかわらず、地域社会の再生・再構築に具備すべき要件は、人類が初めて経験した複合大規模災害ゆえに整備されていない。

本研究では、地域復興の観点から被災地域での調査員の雇用による大規模な戸別訪問アンケート・聞き取り調査を行った。調査は、高齢者福祉について、現実に生起し

た災害の状況と住民、関係諸機関の対応実態等を把握するために、医療、福祉、社会、住民のメンタル、生活の５つの観点から、地域社会の復興に向けた生活基盤情報と地域社会再生のビジョン作りに資する基盤情報を収集し分析した。

被災者は、「ドロドロの道を近所の人と手を取り合って避難所に向かった」「地震後すぐ避難所であるセンターに住人を集めた。数名が自分の車でがれきに追われながら逃げた。一番安全と思ったセンターが避難者もろとも津波に飲み込まれた」「先ずは近くの高台に逃げること、一回避難したら貴重品や忘れ物を取りに家に戻らないこと」など、心痛の思いで高齢者福祉の在り方に鍵となる声を発している。本報告書は、被災者の声を収集分析し取り纏めた。

末尾ではあるが、本調査研究を実施するに当たり、被災地域の自治体、社会福祉協議会、地元マスメディア、高齢者施設等、そしてなによりも被災地域の高齢住民の皆様（本人、そのご家族、介護者）の並々ならぬご協力に深く感謝する。　　合掌

平成 24 年 3 月

「複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する総合的調査研究事業」

研究代表者　渡邉　誠

Ⅰ．研究の概要

1．研究の目的

未曽有の被害をもたらした東日本大震災では，津波被害の大きかった沿岸部の自治体を中心に生活拠点が壊滅し，一刻も早い地域社会の再構築が求められている。本研究では，宮城県沿岸部の2つの自治体に焦点を当て，高齢者福祉の観点から大規模な調査を行い，地域社会再生のモデルビジョン作りに資することを目的とした。また，対象地域での調査の実施に際しては，生活基盤を失った被災者を積極的に雇用して，彼らの自立再生の足掛かりとすることを意図した。また，聞き取り調査を通じて高齢被災者の心理障害の軽減をもたらすことや，調査員とのコミュニケーションを通して，生活環境の変化によってさまざまな不安を抱える一人暮らしの高齢者などに，安心をもたらすことも狙いとした。

なお，本調査研究事業の遂行は，被災地にある福祉系教育研究機関の責務であり，単なる調査研究の遂行としてではなく，大学が被災地域の住民と信頼関係を構築し，調査事業のちも継続して関わり続けることが重要であると認識に基づいて取り組むものであった。

2．事 業 概 要

本事業では，被災地域の自治体，社会福祉協議会，被災地大学，地元マスメディアの協力を得て，高齢住民の個別訪問アンケート・聞き取り調査を行うとともに，高齢者施設等の震災前後の状況，復興に向けた動きを把握した。

高齢住民の個別訪問アンケート・聞き取り調査では，現実に生起した災害の状況，災害が地域にもたらした社会的，経済的，文化的影響，それらへの住民ないし関係諸機関の対応の実態を把握し，調査結果の分析においては，各種建築物や諸施設の被害など災害の物的側面だけでなく，関係諸機関の対応，住民の意識・行動など人的・組織的側面に力点を置いた。

また，宮城県内の高齢者施設の震災前後の状況を取りまとめるとともに，地元マスメディア（河北新報）が取材して記事とした膨大な情報を，被災地の高齢者福祉・医療の観点から整理・総括した。さらに，被災地での行政・住民（企業等）の協力及びコミュニティ復興のための取り組みを，南三陸町の復興市と地元企業（ホテル）の事例を通して示し，これらの調査結果から研究目的の達成を目指した。

複合大規模災害地域の高齢者福祉に関するアンケート・訪問調査は，宮城県本吉郡南三陸町と宮城県牡鹿郡女川町を対象地域として，両町の 65 歳以上の住民にたいして，個別訪問アンケート調査・聞き取り調査を実施した。調査にあたり，調査員として合計48名の地元住民を雇用した。

また，次の①～⑤の組織にたいして，本研究の一部を委託することで，円滑な調査事業の実施と，必要な情報の収集を行った。

＜事業委託先及びその委託内容＞

①社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会

・調査事業の円滑な遂行にかかる助言
・調査実施にかかる町民，町内外仮設住宅住民との調整業務
―各仮設住宅自治会への調査協力の要請
―各仮設住宅自治会組織を介した調査員への対象者情報の提供

②社会福祉法人女川町社会福祉協議会

・調査事業の円滑な遂行にかかる助言
・広報誌を用いた調査員の募集
・実施にかかる町民，町内外仮設住宅住民との調整業務
―行政組織，住民組織等への協力要請
・調査期間中の調査拠点となる場所の提供

③ ㈱東北地域環境研究室

・調査対象地域における行政・住民との協力体制の確立
・コミュニティの復興に向けて先駆的に取り組んでいる会社・人材の聞き取り調査報告

④ 河北新報株式会社

・東日本大震災に関する取材情報・報道情報の提供
―津波被災地（南三陸町・女川町および近隣地域）の高齢者の生活と福祉
―津波被災地（南三陸町・女川町および近隣地域）の復興

⑤ 社会福祉法人東北福祉会

・震災時の施設の状況と対応に関する克明な情報提供と提言のとりまとめ
・津波被災地域の福祉施設の状況調査報告

研究の結果およびその分析は，次章以降に取りまとめた。また，委託先から得られた調査報告を合わせて記すとともに，関連する資料を資料編として巻末に掲載した。

＜概　要＞

Ⅱ．複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する実態調査

１．　複合大規模災害地域の高齢者福祉に関するアンケート･訪問調査

２．　津波被災地域の福祉施設の状況調査

３．　地元マスメディアの報道にみる被災地（南三陸町･女川町および近隣地域）と高齢者福祉の状況

４．　被災地での行政･住民（企業等）の協力及びコミュニティ復興のための取り組み
～宮城県南三陸町の取り組み事例から～

1. 複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する
アンケート・訪問調査

1．複合大規模災害地域の高齢者福祉に関するアンケート･訪問調査

(1)実施目的

平成23年3月11日の東日本大震災では，地震･津波･放射線の複合災害によって高齢者の生活拠点が壊滅し，一刻も早い地域社会の再構築が求められている。しかし，地域社会の再生･再構築に具備すべき要件は，人類が初めて経験した大規模複合災害であり，被災地域が高齢化率の高い地域であるがゆえに整備されていない。

本研究では，高齢者福祉の観点から町全体が壊滅的打撃を受けた南三陸町，および東北電力女川原子力発電所を有する女川町を取り上げ，高齢者福祉の観点から被災地域で集中的に大規模な基盤調査を行い，高齢者の生活拠点の再構築に連なる地域社会の復興に向けた生活基盤情報を収集し，地域社会再生のモデルビジョン作りに資することを目的とした。

(2)実施対象

調査地域: A. 宮城県本吉郡南三陸町　B. 宮城県牡鹿郡女川町
調査対象: 上記両町の 65 歳以上の住民
対象者数: 震災前の人口に基づく概算:8000 人(南三陸 5000 人，女川 3000 人)
2012 年 1 月 1 日時点の推計対象者数:7291 人
(南三陸町 4516 人:震災前の高齢化率(29.3%)と震災後の人口から算出)
＊南三陸町の人口:17378 人(2011 年 3 月 1 日･県の発表)
＊南三陸町の人口:15141 人(2012 年 1 月 1 日･県の発表)
(女川町　2775 人:震災前の高齢化率(33.7%)と震災後の人口から算出)
＊女川町の人口:9932 人(2011 年 3 月 1 日･県の発表)
＊女川町の人口:8233 人(2011 年 12 月 1 日･県の発表)

(3)実施方法

調査は，平成 23 年 10 月から平成 24 年 2 月にかけて，個別訪問アンケート調査･聞き取り調査で行った。

調査にあたり，調査員として南三陸町 31 名，女川町 17 名の地域住民を雇用した。調査員は住宅地図等を手掛かりとして調査対象町内の仮設住宅を含む全戸，および町外仮設住宅を訪問し，本調査研究事業の主旨を説明して協力が得られた場合に調査用紙への記入を依頼した。調査用紙の記載にあたっては，調査対象者が自ら読んで記入できる場合には，そのように指示し，自ら読んだり書いたりすることが困難な場合には，調査員が設問を読み上げたり，聞き取った回答内容を調査用紙に記載した。また，時間的な制約によってその場での回答が困難な場合には，調査用紙への記載を依頼して後日，再訪問して回収した。

調査内容は，現実に生起した災害の状況，それへの高齢住民ないし関係諸機関の対応の実態を明らかにする上で，次の 5 つの観点からの分析が行えるように質問紙を作成した。

1） 医療（医療的なニーズ、供給体制、受療支援体制）
2） 福祉（震災直後の高齢者支援、介護サービスの供給とその利用）
3） 社会（地域社会の変化、個の離散、コミュニティの再構築、行政作用）
4） 住民のメンタル（経時的心理障害、家族の喪失やコミュニティの崩壊等に起因する心理障害、心理障害に伴う社会生活の喪失）
5） 生活行動（日常生活行動の変化）

調査用紙の設問内容は下記のとおりである（次項調査用紙参照）

年齢・性別（A），住まいの状況（B），同居者（C），同居者の変化の有無（D），職業（生計の立て方）（E），職業（生計の立て方）の変化の有無（F），身体の状態（1），身体状態の変化（2），受療状況とニーズ（3），認知症の有無および症状の変化と受療状況（4），心理的変化（5），震災によるストレスに起因する身体症状の発現（6）介護の必要性および介護支援の状況（7）介護サービスの利用状況（8）震災前後での介護サービスの内容の変化（9），介護サービスのニーズ（10）震災後のボランティアによる介護支援の有無と内容（11），日常生活の状況変化（12）社会活動への参加（13）原子力発電所の放射能汚染に伴う影響（14），将来の生活に対する思いや不安の要素（15），将来の希望（16），震災発生時とその直後の行動（17），震災後の支援で役立ったもの（18）

高齢者福祉に関する総合的調査研究

＜調査協力のお願い＞

東北福祉大学では，阪神大震災等での教訓と支援経験に基づき，この度の東日本大震災での県内被災地域において，学生・教職員が一丸となって様々なボランティア支援活動を続けています。その様なかかわりの中で，被災地にある福祉系大学の役割として，高齢者の福祉に関する生活基盤調査を遂行し，地域の復興と後世の福祉に役立てたいと考えております。

ご苦労の多い状況の中で，このような調査をご依頼するのは甚だ恐縮ですが，何とぞ主旨をご理解いただき，ご協力をお願い申し上げます。

＊この調査は，指定する地域にお住まいの６５歳以上の方々を対象とします。もし，ご自身による回答が困難な場合には，ご家族や介護者が代理でご回答願います。

＊この調査票には，お名前や詳細な住所等あなたの個人を特定する設問は含まれません。調査結果は，学術的方法に基づき，数量的・類型的に分析され，あなたのプライバシーが他人に知られることはありません。また，得られた情報は本研究の目的以外に使用しません。情報が外部に漏洩しないよう細心の注意を払います。

＊この調査は強制的なものではございません。ご協力いただけるかどうかは，ご自由にお決めいただいて構いません。また，個々の調査項目に関して，意に沿わない質問や，答えたくない事柄についてはお答えいただかなくても構いません。

＊この調査は，厚生労働省の平成 23 年度老人保健健康増進等事業の国庫補助を受け，調査員の雇用も兼ねて実施するものです。

＜事業担当責任者＞
渡邉　誠（東北福祉大学　教授）

＜調査に関する問い合わせ先＞
東北福祉大学　担当：渡部芳彦
Email　fukushi414@gmail.com
電話　090-1068-1994

【以下の設問について，該当する選択肢や項目の番号を○で囲むか，（ ）内に必要事項をお書き下さい。＊この調査で言う「震災」とは，平成23年3月11日の東日本大震災を指します。】

Ⅰ　基本的なことについてお伺いします。

A. ご年齢とご性別をお書き下さい。　満＿＿＿＿＿歳／性別：男 ・ 女（○を付けて下さい）

B. お住まいはどちらですか。

① 被害がなかったので自宅にいる。
② 被害があったが自宅で生活している。
③ 避難所
④ 仮設住宅
⑤ 民間借り上げ賃貸住宅
⑥ 親戚・知人宅で暮らしている。
⑦ 震災前と同じ高齢者施設にいる。　：施設名（　　）
⑧ 震災前とは別の高齢者施設にいる。　：施設名（　　）
⑨ 震災後に高齢者施設に入所している。　：施設名（　　）
⑩ その他（具体的に：　　）

C. 現在の同居者についてお尋ねします。

① 一人暮らし	⑤ 孫	⑨ 配偶者と子
② 配偶者	⑥ 兄弟姉妹	⑩ 配偶者と子と孫
③ 親	⑦ 配偶者と親	⑪ 子と孫
④ 子	⑧ 配偶者と親と子	⑫ その他（　　）

D. 震災前後で同居者に変化がありますか。　① ある・② ない

E. ご職業（生計の立て方）は何ですか。（複数選択可）

① 会社員	⑤ 農業	⑨ 家族の扶養
② 公務員	⑥ 漁業	⑩ 資産収入
③ 主婦	⑦ 自営業(⑤，⑥以外)	⑪ 生活保護
④ パートタイム	⑧ 公的年金での生活	⑫ その他（　　）

F. 上記のご職業（生計の立て方）は震災以前と同じですか。　① はい・② いいえ

Ⅱ　お身体（からだ）の状態，医療支援の状況についてお伺いします。

１．現在のお身体の状態はいかがですか。　① 良い・② 普通・③ 悪い

２．震災の前後で，お身体の状態に変化はありましたか。

① 特にない
② 新たに病気になり，医療機関を受診した。
③ 以前からの病気の症状が悪化して，医療機関を受診した。
④ 体調が悪くなったが，通院したり薬を飲んだりはしていない。
⑤ その他（具体的に：　　）

３．現在，どのような医療を受けられていますか。

① 必要がない。
② 通院している。
③ 往診・訪問診療を受けている。
④ 入院している。
⑤ 福祉施設（老人保健施設）に入所している。
⑥ その他（具体的に：　　）

３の設問で①以外に○印を付けられた方にお伺いします。

＊どのような医療サービスが必要だと感じていますか。（複数選択可）

① 現在のサービスで十分である。
② 町内に病院が欲しい。
③ 町内にもっと多くの診療所が欲しい。
④ 通院のための交通手段が欲しい。
⑤ 往診・訪問診療をしてくれる診療所・病院が欲しい。
⑥ リハビリをしてくれる診療所・病院が欲しい。
⑦ 医療について相談できるところが欲しい。
⑧ その他（具体的に：　　）

４．ご家族（本人または同居の方）に認知症の方はいらっしゃいますか。 ① はい・② いいえ

４の設問で①はいと答えられた方にお伺いします。

＊その方の認知症の症状は，震災の前後で変化がありましたか。

① 特にない。
② 悪くなった。
③ よくなった。
④ 震災後に発症した。

＊現在，その方はどのような医療・介護サービスを受けておられますか。

① 特に受けていない。
② 入院している。
③ 施設に入所している。
④ 訪問介護を受けている。
⑤ その他（具体的に：　　）

Ⅲ　心理的なストレスの状況についてお伺いします。

５．震災の前後で，心理的な状態に変化はありましたか。（複数選択可）

① 特にない。
② 多少ストレスを感じるようになった。
③ 強いストレスを感じるようになった。
④ 心理的なストレスに関して周囲の人に相談するようになった。
⑤ 心理的なストレスに関して病院・診療所で治療を受けるようになった。
⑥ その他（具体的に：　　）

6．この一週間で，つぎのようなことにどの程度悩まされましたか。次の（1）～（9）について，それぞれお答えください。

（1）睡眠の途中で目が覚めてしまう。　① 全くなし・② 少し・③ かなり

（2）イライラして怒りっぽくなっている。　① 全くなし・② 少し・③ かなり

（3）その時の場面が，突然頭にうかんでくる。　① 全くなし・② 少し・③ かなり

（4）寝つきが悪い。　① 全くなし・② 少し・③ かなり

（5）物事に集中できない。　① 全くなし・② 少し・③ かなり

（6）震災を思い出すと，身体が反応して汗ばんだり，息が苦しくなったり，むかむかしたりドキドキすることがある。　① 全くなし・② 少し・③ かなり

（7）震災についての夢を見る。　① 全くなし・② 少し・③ かなり

（8）何事にもやる気が起きない。　① 全くなし・② 少し・③ かなり

（9）その他（具体的に：　　）

Ⅳ　介護の状態，介護支援の状況についてお伺いします。

7．震災の前後で，要介護認定の状態に変化はありましたか。

① 認定は受けていない。
② 要支援＜１・２＞のままである。
③ 要介護＜１～５＞のままである。
④ 要支援から要介護に変更になった。
⑤ 要介護から要支援に変更になった。
⑥ 要支援・要介護それぞれの中で悪い方へ変更になった。
⑦ 要支援・要介護それぞれの中で良い方へ変更になった。
⑧ 申請（新規・区分変更）をしたいができないでいる。
→ よろしければ，その理由をお書き下さい。
（　　）
⑨ その他（具体的に：　　）

8．現在，どのような介護サービスを利用していますか。

① 利用していない。
②～⑤ 介護予防サービス＜運動・口腔・栄養＞を受けている。／認定を受けて，介護サービスを利用している。／利用したいができないでいる。／その他（具体的に：　　）

↓ ８の設問で①・④以外に○印を付けられた方にお伺いします。

＊具体的に，受けられているサービスの項目番号に○を付けて下さい。（複数選択可）

① 訪問介護
② 訪問入浴
③ 訪問看護
④ 訪問リハビリテーション
⑤ 居宅療養管理指導
⑥ 通所介護
⑦ 通所リハビリテーション
⑧ 短期入所生活介護
⑨ 短期入所療養介護
⑩ 特定施設入居者生活介護
⑪ 福祉用具貸与
⑫ 特定福祉用具販売
⑬ 住宅改修費支給

９．震災前後で介護サービスの内容に変化はありますか。
震災前から介護サービスを利用している方のみお答えください。
① かつては現在よりも良いサービスを受けていた。
② 変化はない。
③ 現在のほうが良いサービスを受けている。

１０．どのような介護サービスが必要だと感じていますか。
現在，介護サービスを利用している方，または利用希望の方のみお答えください。
① 現在のサービスで十分である。
② 町内にもっと多くの介護サービスの事業者が欲しい。
③ 町内にもっと多くの高齢者福祉施設が欲しい。
④ 町外でもいいので，利用しやすい介護サービスや福祉施設が欲しい。
⑤ もっと経費負担を軽減できる制度が欲しい。
⑥ 介護サービスについて相談できるところが欲しい。
⑦ その他（具体的に：　　）

１１．震災後にボランティアによる介護支援を受けられましたか。　①はい・②いいえ

１１の設問で「はい」と答えた方にお伺いします。
＊それはどのようなボランティアでしたか。

（　　）

Ⅴ　日常生活の状況についてお伺いします。

１２．震災の前後で，日常生活の状況に変化はありましたか。
① 特にない。
② 多少悪くなった。
③ とても悪くなった。
④ その他（具体的に：　　）

１２の設問で①以外に○印を付けられた方にお伺いします。
＊どのようなことに不満や不便を感じるようになりましたか。（複数選択可）

① 住まいの状況（住み心地等）
② 仕事
③ 買い物
④ 食生活
⑤ 近隣の人たちとの関係
⑥ 地域での交流
⑦ 余暇や自由時間
⑧ 公的なサービスや情報
⑨ その他（　　）

①～⑨のそれぞれについて，よろしければ具体的にお書き下さい。
具体的に：

１３．震災前後での社会活動への参加について伺います。

①　震災前から同じ活動に参加している。
②　震災前は参加していたが今はしていない。
③　震災後に参加するようになった。
④　震災前から参加していない。

↓１３の設問で④以外に○印を付けられた方にお伺いします。

＊あなたが現在参加している社会活動について，あてはまるものすべての項目番号に○をつけて下さい。

① 町内会や自治会　　⑤ 商工会　　⑨ その他の集まり等
② 婦人会　　⑥ 宗教的活動（寺社・教会など）　　具体的に：
③ 老人会　　⑦ 政治的活動
④ 消防団　　⑧ ボランティア団体

１４．震災に伴う原発災害により，ご自身あるいはお住まいの地域で影響はありましたか。

①　特にない。
②　直接的な影響はないが，復旧・復興の遅れにつながっていると思う。
③　食料の確保や義援金の配分など支援の推進に影響が出ている。
④　漁業・農業への影響がみられる。
⑤　不安が高まり，心理的なストレスとなっている。
⑥　今はないが，将来への不安が強くなっている。
⑦　その他（　　）

Ⅵ　　これからの生活についてお伺いします。

１５．震災の前後で，将来の生活に対する思いに変化はありましたか。

①　将来の生活に大いに希望を持っている。
②　これまでと同様特に不安などはない。
③　今現在は不安だが，将来については特に不安は感じない。
④　これまでにはなかった不安を多少感じるようになった。
⑤　これまでにはなかった不安を強く感じるようになった。
⑥　その他（具体的に：　　）

↓１５の設問で④～⑥に○印を付けられた方にお伺いします。

＊どのような点に不安を感じていますか。（複数選択可）

① 地域社会（コミュニティ）の存続　　⑤ 住環境
② 生活環境全般　　⑥ 人間関係
③ 仕事（生計の確保）　　⑦ 家族の将来
④ 健康　　⑧ その他（　　）

１６．将来の希望に関して，どこで生活したいか，誰と暮らしたいか，「心の復興」のためには特に何が必要かなど，ご自由にお書き下さい。

Ⅶ

１７．震災発生時とその直後の行動について差し支えのない範囲でお書き下さい。＜避難経路・場所・方法・避難時の高齢者支援の有無・避難場所での高齢者支援の有無など＞

（　　）

１８．震災後，どのような支援がありましたか。複数の支援を得た場合には，役に立ったと思われるものから順に３つお答え下さい。

１．＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

２．＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

３．＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

設問は，以上で終わりです。貴重な時間を割いていただきありがとうございました。

（4）結果と分析

①総合集計の結果

回収された調査票は 4100 枚（南三陸町 2691 枚，女川 1409 枚）であった。回収率は、南三陸町が 59.6%，女川町が 50.8%である。以下に集計結果を示す。

１）調査対象者の基本属性（設問 A～F）について

年齢は 60 歳から 102 歳までに分布し，平均７6.29 歳±7.06 であった（表 1)。性別は，男性が 39%，女性が 60%であった（表 2)。住居については，自宅（①，②）が半数を占めるとともに，避難所・仮設住宅・民間借り上げ賃貸住宅（③，④，⑤）が約 45%であった。

表 1

A 年齢					
年齢区分		度数	%	有効%	累積%
	60 – 64 歳	7	.2	.2	.2
	65 – 69 歳	796	19.4	19.6	19.7
	70 – 74 歳	976	23.8	24.0	43.7
	75 – 79 歳	989	24.1	24.3	68.0
	80 – 84 歳	759	18.5	18.6	86.7
	85 – 89 歳	373	9.1	9.2	95.8
	90 – 94 歳	144	3.5	3.5	99.4
	95 – 99 歳	24	.6	.6	100.0
	100 歳以上	2	.0	.0	100.0
	合計	4070	99.3	100.0	
	無回答	30	.7		
合計		4100	100.0		

表 2

A*.性別		
	度数	%
男性	1588	38.7
女性	2466	60.1
無回答	46	1.1
合計	4100	100.0

表 3

B.お住まい		
	度数	%
①被害がなかったので自宅にいる。	1361	33.2
②被害があったが自宅で生活している。	687	16.8
③避難所	13	.3
④仮設住宅	1770	43.2
⑤民間借り上げ賃貸住宅	71	1.7
⑥親戚・知人宅で暮らしている。	48	1.2
⑦震災前と同じ高齢者施設にいる。	5	.1
⑧震災前とは別の高齢者施設にいる。	3	.1
⑨震災後に高齢者施設に入所している。	16	.4
⑩その他	82	2.0
無回答	44	1.1
合計	4100	100.0

同居者については，配偶者との二人暮らし(②)が 25.8%を占め，親・子・孫などとの2，3世代同居(③～⑪)が 68.2%である。また，一人暮らしの人(①)は 465 人(11.3%)であった。その他(⑫，4.1%)としては，嫁，嫁の家族，ひ孫，姪・甥，叔父・叔母などであった(表 4)。また，18.8%が震災前後で同居者に変化があると回答している(表 5)。その他(⑫)の回答では，「嫁」が 52 人と多く，次いで，「ひ孫」が 33 人という回答であった。

表 4

C.同居者		
	度数	%
①一人暮らし	465	11.3
②配偶者	1056	25.8
③親	75	1.8
④子	575	14.0
⑤孫	71	1.7
⑥兄弟姉妹	47	1.1
⑦配偶者と親	42	1.0
⑧配偶者と親と子	78	1.9
⑨配偶者と子	560	13.7
⑩配偶者と子と孫	655	16.0
⑪子と孫	528	12.9
⑫その他	170	4.1

表 5

D.震災前後での同居者の変化		
	度数	%
ある	769	18.8
ない	2806	68.4
無回答	525	12.8
合計	4100	100.0

生計の立て方については，自営業，臨時雇用も含めて，何らかの仕事に就いている人（①～⑦）は，33.8％であり，年金受給者（⑧）は 72.2％であった（表 6）。また，生計の立て方が震災前後で変わらない人は 73.9％，変わらない人は 18.1％であった（表 7）。

その他(⑫)としては，「瓦礫の処理」，「義援金・保険金」がそれぞれ 11 人ずつの回答であった。

表 6

E.生計の立て方		
	度数	%
①会社員	260	6.3
②公務員	43	1.0
③主婦	66	1.6
④パートタイム	62	1.5
⑤農業	287	7.0
⑥漁業	399	9.7
⑦自営業(⑤，⑥以外)	276	6.7
⑧公的年金での生活	2961	72.2
⑨家族の扶養	813	19.8
⑩資産収入	23	.6
⑪生活保護	23	.6
⑫その他	99	2.4

表 7

F.生計の立て方は震災以前と同じか		
	度数	%
はい	3029	73.9
いいえ	742	18.1
無回答	329	8.0
合計	4100	100.0

2)身体状況，医療支援の状況について

設問 1:「現在のおからだの状態はいかがですか」では，良いと答えたものが，21.9%，悪いと答えたものが 18.8%，普通が 54.6%であった(表 8)。震災前後での変化については，特にないが 63.3%を占めるものの，新たな病気，持病の悪化，通院服薬している人，その他・複数回答を合わせる(②～⑤)と，36.7%であった(表 9)。受療状況については，14.1%の人は必要がないが，約 80%の人が通院している(表 10)。

その他(⑤)としては，「肩・腰・ひざ・あし」等の身体の痛みがあるという回答が 30 人，「血圧の上昇」，転倒による打撲・骨折がそれぞれ 12 人ずつという回答であった。

表 8

1.体調		
	度数	%
良い	899	21.9
普通	2240	54.6
悪い	772	18.8
無回答	189	4.6
合計	4100	100.0

表 9

2.震災前後での体調の変化		
	度数	%
①特にない	2594	63.3
②新たに病気になり，医療機関を受診した。	555	13.5
③以前からの病気の症状が悪化して，医療機関を受診した。	379	9.2
④体調が悪くなったが，通院したり薬を飲んだりはしていない。	124	3.0
⑤その他・複数回答	180	4.4
無回答	268	6.5
合計	4100	100.0

表 10

3.現在の受療状況		
	度数	%
①必要がない。	577	14.1
②通院している。	3271	79.8
③往診・訪問診療を受けている。	57	1.4
④入院している。	28	.7
⑤福祉施設(老人保健施設)に入所している。	19	.5
⑥その他	25	.6
無回答	123	3.0
合計	4100	100.0

必要な医療サービスについては，現在のサービスで十分と回答した人が 29.1%いるものの，病院(24.1%)や診療所(12.1%)の他に，通院のための交通手段がほしいと回答した人が 26.3%であった。また，往診・訪問診療，リハビリテーション，相談については，それぞれ3%台であった(表 11)。また，その他の回答では，医療サービスまでのアクセシビリティの問題があるという回答が 27 人，医療設備不足という回答が 22 人にみられた。

認知症については，5.9%が「家族にいる」と回答し(表 12)，震災前後での症状の変化は「特にない(①)」が 4.7%，「悪くなった(②)」が 2.5%，「よくなった(③)」。0.0%，「震災後に発症した(④)」0.6%であった(表 13)。この結果について，回答者数(323 人)に占める割合を求めると，「特にない(①)」が 59.8%，「悪くなった(②)」が 31.9%，「よくなった(③)」が 0.3%，「震災後に発症した(④)」が 8.0%であった。これらの人は特に医療・介護サービスを受けていない場合が多く(4.2%，表 14)，その回答者数(300 人)に占める割合は，58.0%であった。その他，ショートスティやデイサービス等の通所型サービスを利用しているという 27 人の回答があった。

表 11

3*.必要な医療サービス		
	度数	%
①現在のサービスで十分である。	1193	29.1
②町内に病院が欲しい。	989	24.1
③町内にもっと多くの診療所が欲しい。	498	12.1
④通院のための交通手段が欲しい。	1079	26.3
⑤往診・訪問診療をしてくれる診療所・病院が欲しい。	127	3.1
⑥リハビリをしてくれる診療所・病院が欲しい。	159	3.9
⑦医療について相談できるところが欲しい。	121	3.0
⑧その他	223	5.4

表 12

4.家族(本人または同居者)に認知症の方がいる		
	度数	%
はい	240	5.9
いいえ	3545	86.5
無回答	315	7.7
合計	4100	100.0

表 14

4*.震災前後での認知症の方の変化		
	度数	%
①特にない。	193	4.7
②悪くなった。	103	2.5
③よくなった。	1	.0
④震災後に発症した。	26	.6
無回答	3777	92.1
合計	4100	100.0

表 13

4**.認知症の方の受けている医療・介護サービス		
	度数	%
①特に受けていない。	174	4.2
②入院している。	20	.5
③施設に入所している。	29	.7
④訪問介護を受けている。	34	.8
⑤その他	43	1.0
無回答	3800	92.7
合計	4100	100.0

3）心理的なストレスの状況について

震災前後での心理的なストレスの変化（表 15）は，特にない（①）が 40％であり，それ以外はストレスを自覚している。特に強いストレスを感じている人（③）は 16.3％，心理的なストレスに関して受療している人（⑤）が，1.1％であった。その他，ストレスだけでなく不安を感じるという回答が 21 名にみられている。

また表 16 に示す設問6「この一週間で，次のようなことにどの程度悩まされましたか。」では，1.睡眠途中で目が覚めてしまう，や4.寝つきが悪いといった睡眠関連の項目の度合いが高い。また，3.その時の場面が突然頭に浮かぶも他の設問項目間と比較して高い傾向がある。また，その他(⑥)の記述回答は 151 人からあり，「不安・うつ・やる気がない」と 28 人が回答しており，12 人が「安定剤を服用している」と回答している。

表 15

5.震災前後での心理的な状態の変化		
	度数	%
①特にない。	1651	40.3
②多少ストレスを感じるようになった。	1512	36.9
③強いストレスを感じるようになった。	670	16.3
④心理的なストレスに関して周囲の人に相談するようになった。	35	.9
⑤心理的なストレスに関して病院・診療所で治療を受けるようになった。	72	1.8
⑥その他	46	1.1
無回答	114	2.8
合計	4100	100.0

表 16-a

		① 全くなし	② 少し	③ かなり	無回答	
1 睡眠途中で目が覚めてしまう	度数	1491	1842	576	191	4100
	%	**36.4**	**44.9**	**14.0**	**4.7**	**100.0**
2 イライラして怒りっぽい	度数	2440	1122	251	287	4100
	%	**59.5**	**27.4**	**6.1**	**7.0**	**100.0**
3 その時の場面が突然頭に浮かぶ	度数	1893	1444	430	333	4100
	%	**46.2**	**35.2**	**10.5**	**8.1**	**100.0**
4 寝つきが悪い	度数	2222	1094	508	276	4100
	%	**54.2**	**26.7**	**12.4**	**6.7**	**100.0**
5 物事に集中できない	度数	2648	891	226	335	4100
	%	**64.6**	**21.7**	**5.5**	**8.2**	**100.0**
6 震災を思いだし，身体が反応する	度数	2647	933	221	299	4100
	%	**64.6**	**22.8**	**5.4**	**7.3**	**100.0**
6.7 震災についての夢を見る	度数	2653	926	236	285	4100
	%	**64.7**	**22.6**	**5.8**	**7.0**	**100.0**
6.8 何事にもやる気が起きない	度数	2709	823	239	329	4100
	%	**66.1**	**20.1**	**5.8**	**8.0**	**100.0**

表 16-b

6.9 その他（具体的に）	度数	%
記述回答あり	151	3.7
無回答	3949	96.3
合計	4100	100.0

4)震災前後での要介護認定の変化について

震災前後での要介護認定の変化(表 17)について，まず，介護保険の認定の有無については，認定を受けていない(①)が 79.3%であり，要支援または，要介護の認定を受けているケースは，320 人(約8%)であった。震災前後で介護度の変化が見られた(④，⑤，⑥，⑦)のは27 人であり，悪い方へ変更になった(④，⑥)のは 18 人，良い方へ変更になった(⑤，⑦)は 9 人であった。

また，介護保険の認定に関して，申請(新規・区分変更)をしたいができない(⑧)という人も 7 人おり，その理由としては，「申請中」，「更新中」「このままで良いでしょうかと電話があり，なりゆきで『ハイ』と家族の者が返事をしてしまった」等と述べられている(表 18)。

表 17

7.震災前後での要介護認定の変化		
	度数	%
①認定は受けていない。	3251	79.3
②要支援＜1・2＞のままである。	113	2.8
③要介護＜1～5＞のままである。	173	4.2
④要支援から要介護に変更になった。	11	.3
⑤要介護から要支援に変更になった。	5	.1
⑥要支援・要介護それぞれの中で悪い方へ変更になった。	7	.2
⑦要支援・要介護それぞれの中で良い方へ変更になった。	4	.1
⑧申請（新規・区分変更）をしたいができないでいる。	7	.2
⑨その他	27	.7
無回答	502	12.2
合計	4100	100.0

表 18

7*.申請ができない理由		
	度数	%
記述回答あり	42	1.0
無回答	4058	99.0
合計	4100	100.0

5)現在利用中の介護サービスについて

現在利用中の介護サービス(表 19)は，利用していない(①)が 2520 人(61.5%)であり，介護予防サービス(②)が 19 人，認定を受けて介護サービスを利用している(③)が 218 人という結果であった。また，利用したいができないでいる(④)との回答が 11 人からあった。その他(⑤)として，「要介護認定を受けていないがサービスを利用している」という回答が 10 人ほどみられた。

表 19

8.現在利用中の介護サービス		
	度数	%
①利用していない。	2520	61.5
②介護予防サービス＜運動・口腔・栄養＞を受けている。	19	.5
③認定を受けて，介護サービスを利用している。	218	5.3
④利用したいができないでいる。	11	.3
⑤その他	21	.5
無回答	1311	32.0
合計	4100	100.0

具体的介護サービス(表 20)としては，訪問型サービス(①，②，③，④，⑤)の利用がのべ 184 人，通所型サービス(⑥，⑦)の利用が 145 人，入所型サービス(⑧，⑨，⑩)の利用が 39 人，福祉用具の利用(⑪，⑫)が 65 人であった。その他，住宅改修費支給(⑬)が 11 人という回答であった。表 20 に示すパーセンテージは総数を分母としているが，「介護認定を受けてサービスを利用している人（218 人）」を分母とすると，それぞれ，①訪問介護 28.4%，②訪問入浴 27.5%，③訪問看護 14.2%，④訪問リハビリテーション 11.0%，⑤居宅療養管理指導 3.2%，⑥通所介護 43.1%，⑦通所リハビリテーション 23.4%，⑧短期入所生活介護 10.6%，⑨短期入所療養介護 4.1%，⑩特定施設入居者生活介護 3.2%，⑪福祉用具貸与 28.0%，⑫特定福祉用具販売 2.3%，⑬住宅改修費支給 5.0%である。

表 20

8*.具体的介護サービス		
	度数	%
①訪問介護	62	1.5
②訪問入浴	60	1.5
③訪問看護	31	.8
④訪問リハビリテーション	24	.6
⑤居宅療養管理指導	7	.2
⑥通所介護	94	2.3
⑦通所リハビリテーション	51	1.2
⑧短期入所生活介護	23	.6
⑨短期入所療養介護	9	.2
⑩特定施設入居者生活介護	7	.2
⑪福祉用具貸与	61	1.5
⑫特定福祉用具販売	5	.1
⑬住宅改修費支給	11	.3

(6)震災前後での介護サービスの変化について

震災前後での介護サービスの変化では，変化はない(②)が 240 人であり，サービスの改善(③)が 25 人，サービスの低下が 40 人であった(表 21)。

表 21

9.震災前後での介護サービスの変化		
	度数	%
①かつては現在よりも良いサービスを受けていた。	40	1.0
②変化はない。	240	5.9
③現在のほうが良いサービスを受けている。	25	.6
無回答	3795	92.6
合計	4100	100.0

7)必要なサービスについて

必要なサービスに関する設問(表 22)では，負担軽減の制度が欲しい(⑤)が 136 人と最も多く，次いで，町内に介護サービスや高齢者福祉施設が欲しい(①，②)がそれぞれ 109 人，104 人，町外でもよいので利用しやすい介護サービスや福祉施設が欲しい(③)が 49 人，介護サービスについて相談できる所が欲しい(⑥)が 44 人であった。その他，11 人ほど，設問の選択肢以外の要望について回答している。

表 22

10.必要なサービス		
	度数	%
①現在のサービスで十分である。	199	4.9
②町内にもっと多くの介護サービスの事業者が欲しい。	109	2.7
③町内にもっと多くの高齢者福祉施設が欲しい。	104	2.5
④町外でもいいので，利用しやすい介護サービスや福祉施設が欲しい。	49	1.2
⑤もっと経費負担を軽減できる制度が欲しい。	136	3.3
⑥介護サービスについて相談できるところが欲しい。	44	1.1
⑦その他	15	.4

8)ボランティアによる介護支援を受けたかについて

ボランティアによる介護支援については，450 人(11.0%)がボランティアによる支援を受けていた(表 23)。また，どのようなボラティアによる支援を受けたかについては，「血圧測定」という回答が 285 人，次いで「薬の処方」が 90 人という回答であった。

表 23

11.ボランティアによる介護支援を受けた？		
	度数	%
はい	450	11.0
いいえ	2429	59.2
無回答	1221	29.8
合計	4100	100.0

9)震災前後での日常生活の変化について

震災前後での日常生活の変化(表 24)は，特にない(①)が 1735 人(42.3%)，悪くなった(②と③)が 2072 人(50.5%)であった。その具体的な不満や不便について(表 25)は，買い物(③)を指摘する人が 1261 人(30.8%)と多く，次いで住まいの状況・住み心地等(①)が 1106 人(27%)，地域での交流(⑥)が 415 人(10.1%)であった。

表 24

12.震災前後での日常生活の変化		
	度数	%
①特にない。	1735	42.3
②多少悪くなった。	1289	31.4
③とても悪くなった。	783	19.1
④その他	36	.9
無回答	257	6.3
合計	4100	100.0

表 25

12*.不満や不便		
	度数	%
①住まいの状況(住み心地等)	1106	27.0
②仕事	396	9.7
③買い物	1261	30.8
④食生活	273	6.7
⑤近隣の人たちとの関係	401	9.8
⑥地域での交流	415	10.1
⑦余暇や自由時間	145	3.5
⑧公的なサービスや情報	332	8.1
⑨その他	172	4.2

表 26

12**.具体的な不満や不便について		
	度数	%
記述回答あり	74	1.80

日常生活での具体的な不満や不便さについてより詳細に記述した回答が，表 26 に示されるように 74 人あり，特に多かった買い物への不満・不便さについては，「近所に店が無い。車を運転するので隣町に行って買い物をしている。」，「買い物は息子に乗せられて 1 週間分買い込む。」等の回答がみられ，住まい・住環境については，「狭い。なれない団地での集団生活。」，「自宅が震災で流失してしまい部屋が狭くゆったりできない仮設のため隣があまりに近すぎるため気を遣いすぎる」等の回答がみられる。

10)震災前後での社会活動の変化について

震災前後での社会活動の変化(表 27)は，震災前から活動に参加していない(⑤)という回答が2242 人(54.7%)と最も多い。その一方，震災前より何かしらの活動に参加し，それが今も継続している人 (①)は594 人(14.5%)，震災前は参加していたが今はしていないが838 人(20.4%)，震災後に社会活動に参加するようになったとの回答は 95 人(2.3%)であった。

表 23 に示す「現在参加している社会活動」については，老人会(③)が 598 人(14.6%)と最も多く，次いで，町内会や自治会(①)14.2%であった。その他(⑨)では，グランドゴルフ等のスポーツへの参加が 40 人，お茶会への参加が 39 人，地域の交流会への参加が 35 人，趣味の会への参加が 24 人等という回答がみられている。

表 27

13.震災前後での社会活動の変化		
	度数	%
①震災前から同じ活動に参加している。	594	14.5
②震災前は参加していたが今はしていない。	838	20.4
③震災後に参加するようになった。	95	2.3
④震災前から参加していない。	2242	54.7
無回答	331	8.1
合計	4100	100.0

表 28

13*.現在参加している社会活動		
	度数	%
①町内会や自治会	581	14.2
②婦人会	225	5.5
③老人会	598	14.6
④消防団	36	.9
⑤商工会	44	1.1
⑥宗教的活動(寺社・教会など)	42	1.0
⑦政治的活動	11	.3
⑧ボランティア団体	105	2.6
⑨その他	313	7.6

11)原発災害の影響について

原発災害の影響は，特にない(①)という回答が 2661 人(64.9%)であった。しかし，原発災害の影響について，今はないが将来への不安が強くなっている(⑥)が 12.9%，漁業・農業への影響がみられる(④)が 8.6%であり，見えない被害への不安が少なからずある(表 29)。

その他(⑦)では，「女川原発が心配」という回答が 32 人と多く，そのうち，23 人は南三陸町での回答であった。また，「食べ物への影響」，「恐怖・不安を感じる」という回答が 17 人，「原発は必要ない」という回答が 15 人であり，その 15 人のうち 10 名が女川町での回答であった。

表 29

14.原発災害の影響について		
	度数	%
①特にない。	2661	64.9
②直接的な影響はないが，復旧・復興の遅れにつながっていると思う。	245	6.0
③食料の確保や義援金の配分など支援の推進に影響が出ている。	38	.9
④漁業・農業への影響がみられる。	353	8.6
⑤不安が高まり，心理的なストレスとなっている。	154	3.8
⑥今はないが，将来への不安が強くなっている。	527	12.9
⑦その他	159	1.3

12)将来の生活に対する思いについて

将来の生活に対する思いとしては，震災による将来への不安が感じられるという回答が約半数の2285 人(55.7%)であり，これまでになかった不安を多少感じるようになった(④)が 1473 人(35.9%)，これまでになかった不安を強く感じるようになった(⑤)が 812 人(19.8%)であった。しかし，将来の生活に大いに希望を持っている(①)という回答が 124 人(3.0%)みられ，これまでと同様に不安などない(②)が 1043 人(25.4%)，今は不安だが将来については特に不安を感じない(③)が 262 人(6.4%)と，将来に対する不安は，必ずしも全員が感じているわけではない。

また，表 31 に示されているように，どのような点に将来の不安を感じるかについては，健康(④)が1064 人(26%)と最も多く，次いで，住環境(⑤)が 991 人(24.2%)，生活環境全般(②)855 人(20.9%)と続いている。その他の回答(⑦)では，「年金や医療費」などのお金に関する回答が30 人，「再度，震災や津波が起こるのではないか」という回答が 16 人，「自身や家族の将来への不安」という回答が 15 人であった。そして，原発の影響の項目への回答とは別に，原発・放射能に不安を感じるという回答が 14 人にみられている。

表 30

15.将来の生活に対する思い		
	度数	%
①将来の生活に大いに希望を持っている。	124	3.0
②これまでと同様特に不安などはない。	1043	25.4
③今現在は不安だが，将来については特に不安は感じない。	262	6.4
④これまでにはなかった不安を多少感じるようになった。	1473	35.9
⑤これまでにはなかった不安を強く感じるようになった。	812	19.8
⑥その他	37	.9
無回答	349	8.5

表 31

15*.どのような点に将来の生活の不安を感じるか		
	度数	%
①地域社会(コミュニティ)の存続	376	9.2
②生活環境全般	855	20.9
③仕事(生計の確保)	669	16.3
④健康	1064	26.0
⑤住環境	991	24.2
⑥人間関係	258	6.3
⑦家族の将来	813	19.8
⑧その他	133	3.2

13)将来の希望などに関する自由記述について

将来の希望についての設問「将来の希望に関して，どこで生活したいか，誰と暮らしたいか，「心の復興」のためには特に何が必要かなど，ご自由にお書き下さい。」への回答について，自由記述の回答を表 32 のようにカテゴリー化して集計を行った。その結果，特に住む場所についての希望への回答者数は 1075 人（26.2%）と多く，その内訳は，「このまま・今の場所に暮らしたい」が 537 人，「元の場所に戻りたい」が 306 人であった。

生活・生き方についての回答者数は 408 人(10.0%)であり，その内訳は，「元通りの生活をしたい」が 224 人，「このままの生活をしたい」が 141 人であった。3 番目に多い。

家族・親類についての回答者数は 294 人(7.2%)であり，その内訳の中では，「今と同じ人と一緒に暮らし続けたい」が 237 名と最も多かった。

表 32

16.将来の希望などに関する自由記述カテゴリー分類		
	度数	%
住む場所について	1075	26.2
生活・生き方について	408	10.0
家族・親類について	294	7.2
仕事について	53	1.3
医療・介護について	13	.3
他者への要望について	30	.7
健康・元気について	54	1.3
設備や物資について	73	1.8
心の問題について	32	.8
経済問題について	11	.3
地域社会の問題について	34	.8
その他	162	4.0
問題・要望なし	34	.8
無回答	1827	44.6
合計	4100	100.0

14)震災発生時の行動ついて

災害発生後の行動についての設問「震災発生時とその直後の行動について差し支えのない範囲でお書き下さい。＜避難経路・場所・方法・避難時の高齢者支援の有無・避難場所での高齢者支援の有無など＞」については，その記述を「発災後の行動判断」（表 35）と「直後の具体的な避難方法」に関してカテゴリー化して集計した。

判断に関しては，「自分で避難の判断をした」が 1026 人（25.0%）と多くみられる。この分類に関して，判断に関する記述があった 1477 人を分母とすると，避難の必要なしと判断した人 19.6%，自分で避難を判断した人 69.5%，親族の勧めで判断した人 4.3%，他人（親族以外）の勧めで避難した人 4.3%，親族に対して避難を勧めた人 0.7%，他人（親族以外）に対して避難を勧めた人 1.7%となる。

また，一時避難の方法も，自力で避難したが 1142 人（27.8%）と最も多い。この分類に関して，避難方法に関する記述があった 1464 人を分母とすると，直後は避難できなかった（怪我・病気・閉じ込められた・避難経路がない）人 4.2%，自力で避難した人 78.0%，

親族の助けによって避難した人 5.9%，他人（親族以外）の助けで避難した人 8.2%，親族の避難を助けた人 1.0%，他人（親族以外）の避難を助けた人 2.7%となる。

表 33

17.震災発生時の行動カテゴリー分類①判断		
	度数	%
避難の必要なしと判断した	290	7.1
自分で避難を判断した	1026	25.0
親族の勧めで判断した	63	1.5
他人(親族以外)の勧めで避難した	63	1.5
親族に対して避難を勧めた	10	.2
他人(親族以外)に対して避難を勧めた	25	.6
判断について不明	444	10.8
その他・複数回答・分類不能	102	2.5
無回答	2077	50.7
合計	4100	100.0

表 34

17*.震災発生時の行動カテゴリー分類②一次避難方法		
	度数	%
直後は避難できなかった(怪我・病気・閉じ込められた・避難経路がない)	61	1.5
自力で避難した	1142	27.8
親族の助けによって避難した	86	2.1
他人(親族以外)の助けで避難した	120	2.9
親族の避難を助けた	15	.4
他人(親族以外)の避難を助けた	40	1.0
一次避難方法について不明	273	6.6
避難しなかった・その他・複数回答・分類不能	286	6.9
無回答	2077	50.7
合計	4100	100.0

15)震災後の支援で役に立ったものについて

震災後の支援についての設問「震災後，どのような支援がありましたか。複数の支援を得た場合には，役に立ったと思われるものから順に 3 つお答え下さい。」への回答としては，飲食物の支援が 42.3%と多く，次いで，生活用品の支援が 14.3%，被服の支援が，12.0%と，物的支援が役に立ったという回答が多くみられている。一方で，多くの団体や個人が発災直後から被災地支援を行っているが，物やお金の提供ではなく，人による援助行為（サービス）を挙げる人も少なくない（表 35)。

表 35

18.震災後の支援で役立ったもの 3 つ（合計）		
	度数	%
飲みもの	908	14.6
食べもの	1720	27.7
着るもの	747	12.0
寝具	187	3.0
住まい	26	0.4
避難所	15	0.2
生活用品	889	14.3
風呂	54	0.9
お金	159	2.6
民間のボランティア サービス	359	5.8
公的なサービス	278	4.5
身近な人からのサービス	36	0.6
その他のサービス	239	3.8
イベント	11	0.2
支援なし	124	2.0
複数回答	273	4.4
その他	194	3.1

自由記述回答(設問 17)の抜粋				
ID	地域	年齢	性別	17. 震災発生時とその直後の行動について，差支えのない範囲でお書きください。＜避難経路・場所・方法・避難時の高齢者支援の有無・避難場所での高齢者支援の有無など＞
R0122	南三陸	75	女性	3月11日は高野会館での行事に参加していたので地震発生から津波が押し寄せ時間迄長くはなかった。いち早く会館の従業員一同の避難誘導のおかげで多くの方が命拾いをしたし，それに会館の建物が頑丈だったので 330 人余りの生命も救われた。この日高齢者が多かったようです。二日間も閉じ込められ，先輩の方々は大変だったと思います。(食べるものもない)病院には患者を運ぶヘリコプターが往来していましたが，会館にも老人が沢山居たようですが一人も事故なく全員無事だったのでなによりでした。津波の時は空から助けも必要ではないかと思いました。
R0471	南三陸	70	女性	気仙沼の市立病院の帰り津波にあい，大谷で消防の一人の方に助けられ夜になり車で寒さで震えていると大谷の仙翁寺に連れていかれ食事や水を口にして四日間お世話になりました。消防の方は死亡しました。
R0555	南三陸	78	男性	気仙沼市立病院に入院していたが治療がなくなりリハビリだけになったため，震災で家が全壊し行くところがなくとても困りました。車いすで身障者だったのでどこにも行くことができず，遠くの病院に転院せざるをえなかったので，精神的にもとてもつらかった。家族も大変だろうしどうすることもできなかった。
R0692	南三陸	86	男性	避難所生活はしないが友人宅に 40 日間お世話になった。ボランティアは避難所などでは支援は十分だと思った。友人宅などでは不十分である
R1037	南三陸	70	女性	自宅で孫たちが学校から帰る時間なので心配して待ってた。目の前に津波が押し寄せてきたのが見えたので近所の高い家へ避難した。我が家は床上浸水だった。自分が一人家にいたので夕方避難所へドロドロの道を近所の人たちと手を取り合って歩いていった。道路が寸断されて避難所は孤立して食事はもとより毛布も少なくて高齢者は特にトイレに通うのに大変だった。あったこともない大震災。近くの保育所にいた保育士さん達2．3人で自宅も流されたのに帰らず避難所で一生懸命被災者の面倒を見てくれた。特に高齢者支援などは無かった。
R1135	南三陸	82	女性	車で山手の方へ避難，夕方に体育館へ移動。体育館で体調を崩し，栃木県の息子の所へ移動し，2 か月間の通院。避難所にあった診療所が大変助かった。医者による心のケアや先生がいるということだけで安心できた。
R1150	南三陸	82	男性	裏山つたいに親類の家に(高い所にある)避難した。部落が一つになって避難生活をした。他の避難所の実体がわからないから，当地区の事情が良いものと思っていた。避難者に対する支援については実に有り難いと思っている。ただし半壊と全壊の差が多いのには困っている面が多いと思います。半壊でも生活する全ての物は 1 階に有ったので全て流されなくなり，水没したりで全て捨てたので，そういう面では困ったものと思う。全壊と半壊の差が大きい。我が家はもう少しで1階の天井まで届くほどの水がのった
R1174	南三陸	89	女性	志津川のデイサービスに行き，同行した多くの人が死亡，行方不明になっている。私は車イスなので若い男性に背われて高校に避難した多くの人々に助けられた。食事等を含め。
R1363	南三陸	68	男性	自宅から二カ月後に仙台に(震災後地域コミュニティーに温度差と矛盾を感じ，それが強いストレスとなり後日，仙台の病院で治療を受けた)
R1641	南三陸	68	女性	三陸地方の先人の言葉で「津波てんでんこ」と言うのを良く耳にします＜注:「津波が来たら，取る物も取り敢えず，肉親にも構わずに，各自てんでんばらばらに一人で高台へと逃げろ」「自分の命は自分で守れ」「自分自身は助かり他人を助けられなかったとしてもそれを非難しない」という不文律(Wikipedia による)＞。今回の震災で身をそれに近い経験だった様に思います。もの凄い揺れに「多少津波が来るかも」と認知症の主人とペット(犬)を連れて自宅のすぐ上のデイサービスに避難しました。当時主人も利用者だったので介護士さんが親切に毛布とベットを提供してくれたので当日の利用者の方達と庭に要りました。6M の津波との防災無線を耳にした時「志津川湾」の方で波の柱のような天までとどきそうなものを見ました。直後介護士さんが私の目の前を主人のベットを押して建物の裏手の方へ回っていただいたので

				それを追いかけて走ったら「裏の杉山に登れー」って男性の声で呼ばれたので必死で山に足を掛けました。その時既に主人のベットは私の視界から消えて居ました※仮設に入る迄姉の家で暮らしていたので避難所生活の経験はありません。
R1850	南三陸	68	女性	仕事場に二日間泊まる。三日目(13日)帰宅。歩いて志津川から自宅へ。すぐ避難所へ。折立より荒町まで歩いてそれからバスにて登米中学校へ(99才のお祖母さんが腰が悪いので歩行できず部落の方々におぶってもらったり担架を作ってもらい運んでもらいました。大変お世話になりました。その後15日施設に申し出て施設の方が迎えにきていただき現在入居中なので助かりました)
R1876	南三陸	67	女性	自宅→自宅のまま流された→旭ヶ丘センター→仙台→現在の仮設。高校生に助けられた。
R1992	南三陸	71	男性	地震発生後防災無線放送をたよりに津波情報を開き6Mの津波が来るとのことなので，チリ地震津波を想定して，この地域までは津波は来ないだろうと認識してしまった。防災放送が10M 以上の大津波が来ると放送後，プツリと放送中止したので町舎が被災したのではないかと思い近隣の人たちが逃げたか声をかけに出たら，もう目先500M まで大津波が接近してたので，約 10 人の人達に氏神様の山に逃げるよう指示して，自宅に戻りは母親(98 歳)を背負い妻と共に裏山へかろうじて助かりました。約 1 時間くらいで海水が引いていった後，大声で逃げる人達を呼び避難先を佐藤さん宅にしてガレキの中を移動した。途中流された屋根の上から助けを求める女性を声がしたので若者達中心に助ける事が出来た。その後子供の注意が聞こえたところに母親が探しに来たので，その子供も助かった。5 時 30 分頃に雪の中佐藤宅にたどり着いたころ，もう近隣 15 人程が避難してましたが，ここでは無理と思い，荒井地区ふれあいセンターの開放と支援の依頼して皆さんを送り入れた。自分の母親は集団での場所では皆さんに迷惑に成ると思い海蔵寺住職にお願いして，妻と母親を頼みセンターで地域の行方不明者の人数確認に務めた。50～60人の行方が分からなかった。その後については別途機会があれば，又支援についても。13 日からの捜索(行方不明者)と道路の確保を区長を中心に実施する。
R2025	南三陸	76	女性	自宅で地震。アリーナに避難して，秋田の娘の家に，5か月いた.(ガレキの下にお父さんが埋まってた)
R2044	南三陸	72	女性	気仙沼の病院にいて帰る途中に津波に遭遇して，車の中でどんどん波が入ってきて逃げようとしたら，波にさらわれて海中に入ってしまった。海中の中からどうにか浮いたところを助けられた
R2129	南三陸	67	男性	3月 11 日午後2時46分私と娘，そして外孫3人で居る時の大地震でした。私は津波が来る事を思い，娘に津波が来るから避難するぞと言い私は孫を抱き民家の多い道をさけて，旧清水小近くの親戚の家へ(車1分)親戚の家につきガスの元栓をしめ忘れた所に気付き元栓をしめに自宅へ戻りガスの元栓をしめ上流の方を妻が仕事場から帰って来るかもしれない，そう思いながら川を見て見たら水門が閉まっているのに水が少ない(私の家は川のそばにあります)これは大津波が来ると感じてすぐに元の道を通り車は旧清水小の校庭に置き娘と孫の居る所へ急いで行き，車に乗る様に指示して歩きながら近くの人達へ神社に行くように話し校庭では車の中にいる人達に大声で神社に行くようさけび，私達は商工団地へ避難しました。
R2130	南三陸	70	女性	今さらあんな思い，思い出したくもありませんので書きません。
R2179	南三陸	65	男性	津波の時は家内と父の3人で家におりました。地震が来て津波が来るというので，家の前の山の上に3人で逃げその場所で津波に家が流されるのを目のあたりにしました。津波後は近くの親類の家で3カ月過ごしました。1カ月後に父の体調が悪くなって4月27日に死亡しました。津波から半年後に仮設に入居しました

R2413	南三陸	77	男性	①息子夫婦の車 2 台に家族全員(6 名と犬 1 匹)分乗して大雄寺の墓地予定地で1夜を明かす②入谷小学校が避難場所になったとの事を聞き，入小の体育館③上の山中腹にある姉の家で約2ヶ月間お世話になる④ホテル観洋が避難所になったので家族全員でお世話になる(5月半ばから)⑤8月25日仮設住宅に転居，以後現在まで高齢者支援特になし(家族の中で特別に個室を使わせてもらった)⑥大雄寺さんから外套を頂き助かる作業や外出の際⑥綿入れの支給あり(室内着用に)
R2419	南三陸	73	男性	地震の直後，仙台沖の津波が思い出され，すぐ会社に向かい事務所金庫の書類をトランクに積み込み，高台商工団地へ運び現場を見に下へ下り，どのくらいの津波が来るのか高台で見て水面がどんどん上がって来たので，さらに上へ登り自宅の真上に移動した。丸平製材の上の佐藤さん宅まで登ったら，おくまん神社の下のほうから，足の悪い夫婦が，ずぶぬれで登ってきたのを見つけて，登るまで坂道を肩がけし佐藤さん宅まで上げ三度目の波を見，水が下がったのを見届け，後は，収まったと思い商工団地の本家で多色を貰い息子の嫁の実家の入谷に行き4ヵ月世話になる。チリ地震と今度と人生2度家の流失にあっています。仙台沖の津波が来れば絶対，チリ津波より大きいと前より思っていました。
R2434	南三陸	65	男性	町内の山林で仕事中地震にあい，直ちに帰宅。家は特に被害なし。町の無線広報で6Mの大津波警報を聞く。妻に家まで来ないからと言って地区内の会館の開放と高齢者の安否に出かける。1軒目の訪問先で津波に遭う。約15Mくらいの高さだった。妻も俺が出かけた直後会館に避難，自宅の流失を確認，保育所に通う孫の安否を確認しに歌中に行き，無事避難していたので安心して地区に帰る。地区の会館に50名程近所の炊き出しを受ける。翌日から地区一丸となり被災者の支援にあたる。地区会館を避難所として100日間被災者のまとめ役として世話をする
R2453	南三陸	69	女性	私は3月11日地震にあったとき，石巻赤十字病院に書類を提出しにいっていた。すごい揺れに津波が頭をよぎった。常々主人が話していたので電話をしても通じない。まもなく第1波が3メートルと聞いてそれから10メートルの話を聞いたとき私の頭がパニックで真っ白になり，山手に逃げようと思っていても道が思い出されなかった。とにかく志津川は終わりと思って早く帰らないと，と焦る気持ちのまま45号線に出た。渋滞で車が動かない。色んなことが頭をよぎる。ふと左前方より1台の車が45号線に向かって走ってくる。この道だと我に帰って後は夢中で雪で視界が悪く不安だったけど津山まで帰ることができた。そこで志津川の事を聞いて横山より志津川は入れないと言われ途方にくれてしまい，別のルートで途中まで帰りたかった。しかし道路が寸断しているかもしれないと言われ，あきらめて中田に居る息子の所に行き3ヶ月お世話になって，家族バラバラで生活した。初めて2週間後志津川に入った時まるで廃墟のごとく目を疑った。
R2469	南三陸	67	女性	海岸よりわりと遠くに家があったので，落ち着いて地震の収まるのを待ちました。まさか全壊とは思いませんでした。地震では家の建物は全く大丈夫だったので夜だったら逃げなかったのかも。避難する時は小学校の生徒(名足小学校)と一緒に高台に登りました
R2472	南三陸	65	女性	私は津波にあった本人であり，腰から下は山に這い上がると同時に波も一緒。木につかまって登る所まで登ったが波も段々と一緒に登り脇に一緒にいた若い男性に手を引いてもらい助かった状態。山の中間あたりまで登った時はもう右足が上がらなくなりその日の午後は友達から衣類を借り夜からは避難生活。年のとったばあちゃん達，主に女性が多かった。でもこういう生活嫌だと思っても我慢して生活しなくてはならないし夜も眠れない生活。又色々な方々との生活。神経の使う暮らしをしている内に，色々な病気が出て来て，病院に通いついに津波のあった倉庫を片づけて現在は自分宅の倉庫で暮しています。
R2530	南三陸	73	女性	私は震災発生当時志津川の高野会館に老人クラブでの発表をしていました。家に，もしいたら生きてはいなかったと思います。私は高会館での高齢者の対応がとても良かったため助かりました。一生心に残る出来事です。死ぬまで皆に語り続けます。

R2585	南三陸	69	女性	地震発生の時，自宅にいましたが余りにも強いのでコタツの中に入りました。主人も家の中にいましたが外に出て様子を見ていたようです。すぐ戻ってきて，私に津波が来るからコタツから出るようにとのこと。すぐ出て靴をはいて，時計，眼鏡，日常使っている必需品もテーブルに置いたまますぐ外に出ました。車に乗れと言われましたが，近所の老人が気になり見に行ったら息子さんが来ていたので，すぐ主人の車に乗って少し高い家の畑に車を止めて主人はもう1台車を持ってくると，又家に戻りました。私は車をおりて前の方に3人がいたので津波がくるから逃げるよう言いました。避難所に行こうとしたがそこで見ていたら間もなく太平洋がそのまま入ってきた様で，電柱や建物をなぎ倒し，海で使うホタテのネットや浮き球等がすぐ国道を乗り越えて駅の方に流れゆっくりと目の前の家が流され，すぐ避難所を目指し走りだしました。私の実家は高台だったので地震が来たらいつでも逃げる様にと常にみんなに言われていました。
R2614	南三陸	67	女性	私は家に一人で，主人は伯母が暮らしてる本吉大谷のソレイユ(施設)に様子を見に，息子達は石巻に，小学校に避難したが夫とはなかなか会えず夜になって無事を確認した。孫たちとは一週間も連絡がつかず不安な日々を過ごした。佐沼の体育館にいる事がわかり，埼玉にいる息子が持って来てくれたガソリンを持って，涙の再会をした。孫たちは嫁の兄が生活する千葉県の家でお世話になり埼玉の息子がそのまま連れて行ってくれた。二次避難先の鳴子に移ってから帰省した。
R2620	南三陸	81	女性	自宅で作業中に大きな地震があり，まさか津波が家迄はこないだろうとの油断から避難が遅れ，途中車を捨てて，山に登って助かり，夫と二人で山中を歩き廻ってやっと国道に抜け出て，知人宅に(1 泊したが 28 人だった)翌日別の知人宅より迎いが来て 9 人が分かれてお世話になり 9 泊して，又老人施設で 20 日程世話になり，南三陸町より 1 回目の移動避難で鳴子へ，6 月平成の森の仮設へ入居して現在に至る‥‥
R2662	南三陸	78	女性	地震が大きかったので，津浪が来るかもと思ったものの，放送があったので一先ず避難しようと，軽い気持ちで伊里前小学校へ行った。校庭で海を眺めていても，何の不安も無くいたが，小学校も危ないといわれ，まさかと思ったが中学校まで行った。中学校から上の住宅へ向かう途中，橋の上から下の駅前の水の勢いを見て，これは，ただ事ではないとびっくりした。それからは，ショックで口も利きたくなくなった。その夜は，知り合いの家で一夜を過ごさせてもらい助かった。夜が明けてから，山手にある家に行き，それから4か月家族5人お世話になった。8月7日仮設入居
R2793	女川	71	女性	高台に暮らしており，下の住居に40㎝位の津波がありましたが海岸近くに住んでいた親戚が避難して数か月滞在したのでこの状況を忘れず小さい子供たちにも伝えたいです。日用品は親戚に。お店がないので食料は私や知人と分け合いました。
R2797	女川	77	男性	自宅から車を取りに下の方へ行き津波にあい，前の家に飛び乗り家ごと流され，流された所から山へうつり･･･。国道を歩いてた人に助けられ三小の方へ
R2806	女川	74	女性	犬の首輪をはずしてるうちに津波が来た。木につかまり流され，偶然波が引き助かった。海泉閣に避難。
R2815	女川	70	女性	津波が来ると察知し，すぐ高台へ避難。夫が旅館に避難所として出来るか交渉してくれた。飲食業をしてたので区長さんに厨房を頼まれ330人の収容人数の食を任された。昼はパンやおにぎり。食材のないときは自分の畑の菜類を摘んできて料理したりした。
R2816	女川	72	女性	うちが上の方にあったので，安心してたら津波が迫ってきた。振り返らず逃げた。
R2824	女川	67	男性	3月11日の大地震，大津波で自宅は障子戸などが閉まりにくくなり，これからの寒さが大変であります。
R2826	女川	72	男性	家で妻と家ごと女川湾に流された。小乗の買受人組合の冷凍庫に流れ着き一晩過ごした。妻は死亡し私は船に助けられた。

R2831	女川	67	女性	震災日親類のおばあさんを助け，5～6分温かかったけどその後冷たくなってしまいました。残念です。道路は瓦礫で歩けないので三日間はそのおばあさんはうちにいました。でも四日目自衛隊の人が来て担架で運んでくれました。胸が詰まる思いでした。体がぶるぶる震えていました。とても悲しく今でもふと思い出します。
R2844	女川	74	女性	自宅に居た。庭先で津波に遭い首まで波が来て死ぬと思い，玄関の柱を掴んだ。
R2861	女川	81	女性	塚浜で津波をかぶり皆に助けられた。原発の休憩所で4～5日位いて町立病院の個室に移った。町立病院で支援してもらった。ボランティアの人達にも大分助けられた。電力さんの所にいたので暖かい食事や寒さをしのげた。他の避難所より恵まれていたと思う。
R2865	女川	74	女性	家で地震。そばの川からすごい音で上がってきた。道路を津波が上がって来て車に乗せてもらって避難
R2869	女川	75	女性	自宅から避難場所へ直接逃げた。家族（息子・夫）は流された。支援は特に無し。震災から三日位で妹（女川）に避難した。
R2902	女川	66	男性	今から 50 年前のチリ津波の経験を十分に生かした避難経路などその時どの様な事をしたらよいか日常，話題が出た時話しておく事が大事である。
R2917	女川	73	女性	地震時老人クラブの後援会に行っていて，終わって出ようとした時地震にあって（生涯センター）家にすぐ帰り（大原）ガスの元栓を閉めて家の中の物を片付けていた所車が体育館に逃げていたので，すぐ PL の所まで走って逃げた。その後すぐ津波が来たがもう少し逃げるのが遅かったら命も危なかったと思う。総合体育館には八日居て，九日後に仙台に行き埼玉に行った。その後蟹田の仮設に入った。※防災無線はよく聞こえなかった。埼玉に居た時地区の区長さんを通じ色々野球の招待や歌のショーやイベントに参加させてもらって支援が嬉しかった。
R2949	女川	68	男性	妻と2人で津波にのまれて助けられたが，町立病院へ消防団の方に運んでもらっている途中で息を引きとった。消防団，看護師さんも家族や家が被害にあっているのに大変だっただろうとおもう。
R3054	女川	68	女性	地震後津波が到来し，無線での避難指示。高台の家にて一夜を過ごし，翌朝学校に避難し，間もなく自衛隊のヘリコプターにて子供・老人達より順番に誘導され各避難所に。その時は各地区ごとに部屋に誘導され助かり，顔見知りの方々で心強く，食べる物はなくても心に余裕が出来たのが何よりうれしかったです。石巻商業高校での1ヶ月半は先生・学生さんに大変お世話になり，感謝感謝でいっぱいです。女川1小に移ってからも地区ごとに部屋で過ごせたことは，何よりも一番心に残って忘れない思い出となりました。私達は年老いた方なので，若い人達に囲まれて幸せでした。
R3055	女川	70	男性	津波で家屋は壊れたけど，高台の空き家に25名位で一夜を過ごし，翌朝学校迄山道をぬけ半日位で自衛隊のヘリコプターで石巻方面に老人，子供の順に避難し，スムーズに島を離れたのが不幸中の幸いで，それだけが今考えると命びろいしたと，みなさんに感謝の気持ちいっぱいです。
R3056	女川	69	女性	津波警報の防災無線が聞こえた直後，家のすぐ近くの三十三観音遊歩道の山へ嫁と2才の孫と，となりの一人暮らしの83才のおばあさんを連れて山へやっとの思いで登り，雪の降る中3時間半かかり，体育館の避難場所へ行きました。途中雪の中うす暗くなり細い道でやっとの思いで懐中電灯の小さい灯りをたよりに必死で逃げました。登る途中下の方の2階建ての家がぐるぐるまわりながらせまって来て，電線がばたばた倒され，煙の様な黒い波が押し寄せて来ました。隣の83才のおばあさんが避難場所についたとき，一瞬記憶喪失の様な状態になりました。
R3108	女川	77	女性	勝手口に居り落下物を片付けていた。夫の指示で海の様子を見るよう言われた。しかし屋根まで波が来て首まで漬かった。夫に手を引っ張られてベランダに上がる。家ごと流され竹林へ避難竹を燃やし暖をとる。そこで一晩過ごす翌日体育館へ行く。朝は冷蔵庫から流れてきた魚を食べた。

R3109	女川	81	男性	トイレ中地震により,ドアが開かず収まった後叩き出る。二回目の地震は柱につかまりそれから仏壇を片付け妻に海の様子を見るように指示，屋根まで波が来たのでダメだと思いベランダへ出る。後ろを見ると波中にいる妻発見，妻の手を引っ張って上に上げた。その直後床が壊れ慌てて屋根に手を掛けた。家が山際に流されそれから竹林に上った。十人の人が暖を取っていたので一晩過ごす。翌日徒歩で体育館に避難。寒く水もなく朝冷凍庫から流れた魚を焼いて食べた。避難所ではシートを被り過ごす。翌々日は別な場所に移動した。(暖かった)段々と一人当りのスペースが広くなり改善された。避難場所へは通常40分掛かるが当日はガレキのため 2 時間半掛った。
R3126	女川	83	女性	ベットで横になっていた時，地震が発生し娘がおぶって車に乗せ町立病院へ避難した。病院内で波にのまれましたが助かりその後病院向いの福祉避難所へ。
R3131	女川	71	女性	自宅で被災した。近くのセンターへ逃げた。愛犬を連れて，その後鳴子へ犬に対しても人に対しても，とても暖かい支援を受けた。
R3140	女川	89	女性	家族3人で家にいる時，今まで味わったことのない地鳴りのような音とともに激しい揺れに見舞われました。とにかく外へと足を進めるも歩くこともできません。這うようにして3人で玄関までたどり着いて，何とか外へ出て一番安全な所をと見極めてみぞれの降る中，固まってふるえていました。しばらくして少しおさまった頃，お隣の方が大津波警報が出ているので，早く逃げてと教えてくださいました。貴重品を取りに家の中に入りましたが，とても歩けたものではありません。正直少し迷いましたが，とにかく着のみ着のままで指定の体育館に向かいました。途中坂道で母と弟が歩けなくなりましたが，渋滞していた車に乗せて頂いて難を逃れることが出来ました。避難時は誰もかれも同じ状況の中で，過ごしたように思います。日数が過ぎるにしたがって，少しずつ状況も良くなってきて，転んで一時車イスになったりもしましたが，それもお借りできましたし，お医者様・保健師さん他いろいろ気を配っていただいて，とても助かりました。心細い思いをしていたので，ありがたかったです。
R3161	女川	66	女性	水が来たぞと，となりの旦那さんが叫んだので見る道路に水が来ていたので，それ，逃げろと言って，脇が杉山だったので，急いで山に登った。まもなく水が来た。家も車も流されるのを目の当たりにした。次々家が流されてくる。水が引いたと思ったら日水の油タンクが流されてきた。あっという間でした。雪が降り寒くて大変でした。
R3164	女川	70	女性	石巻に買い物に行っていたので3日目で歩いて帰って来て何もなくなった町を見てぼう然，体育館で皆に会えた時はうれしいのと安心したのとで涙が止まらなかった。避難所生活は一生忘れない思い出になりました。皆で助け合って3か月過ごした日々は本当に忘れません
R3172	女川	78	女性	自宅にいて地震にあって，庭に出たところ津波が来て家の床上まで浸水した。近所の高台の家に避難し，その後自宅の2階で生活していた。ボランティアの人達が来てくれて，畳を上げて外に出し乾かしてから又敷いたり，窓拭きをしたり，水を汲んでくれたりして，膝が悪いので非常に有難かった。近所の人達にも水汲みや，その他で大いに助けられた。
R3175	女川	78	男性	石巻(湊小)の近くで地震にあった。すぐ自宅へ戻ろうとしたが，一小前で津波が来て，車を学校へ置いて山づたいに歩いて，自宅まで来た。自宅は1，8m位浸水し，自宅の2階でずっと生活していた。隣近所どうし助け合い，物をやりとりしたり，食べ物をわけあって生活した。物資の支援はあまり受けなかった。
R3176	女川	74	女性	町内の駅前で地震にあい，すぐ自宅に戻り，片づけ方をしていたところ津波が自宅1m位に来て山に逃げた。もっと高い家に1晩泊った。女川高校の体育館に4月6日まで居て女川一小に避難していた。4月7日の地震で具合が悪くなり，救急車に乗せられ町立病院に3～4日入院していた。病院も避難所となっていて，食事もおにぎり，ミカン等だった。物資も不足していて大変でした。退院して妹(旭ヶ丘)にお世話になった。

R3177	女川	77	女性	自宅に居て地震にあい一番下のおばあさんが一人暮らしなので見に行って，自宅に戻ろうとした時，あっという間に膝まで波が押し寄せたので，すぐ自宅の犬2匹と近くの高台の家に避難し，近所の人達10人位とその一人暮らしのおじいさんの家に一週間お世話になった。その後，東京の娘の家へ42日居た。戻って来た自宅は2階の中間位まで水につかり，全壊の認定を受けた。昔から近所づきあいが良く，お互いに一緒に行動したり助け合って共に生活してきたので，生活環境は良くなかったが，だれも体調をくずしたり病院へ行った人はいなかった。困った時は知恵を出し合い仲良く暮らした。ここは一人暮らしの人がほとんどなので，足の悪い人の水汲み等手伝った。
R3179	女川	77	女性	その日外出先から帰りトイレに入り地震に会い勝手，窓，門，座敷の飾り物の落下絵足の踏み場がなく一応片付けをしていた所その内に上に屋根迄津波がきたので慌ててベランダへ出ると妻が首まで波につかり手を思いっきり引き上げた時ベランダが浮き上がり手摺に上がり屋根へ手を掛けた所家屋が浮き上がりそのまま300m位山の方へ流され山際へたどり着きそこから杉山を這い上がり峰から下り竹林で近隣の12名と一緒になり山で古竹を燃やして一夜を明かした。翌朝部落の集会所へそこから体育館へ 2 時間かけて行き避難した。
R3180	女川	81	男性	自宅のトイレで地震。家の屋根まで波が来てベランダに逃げたが家屋が浮き上がり山の方へ300m位流された。山際の杉山を這い上がりそこで12人位の人達と一緒になり竹等を燃やし一夜を明かした。翌日部落の集会所へ行き体育館迄2時間かかり歩いて避難
R3193	女川	80	男性	私は6年前仙台消防局での研修会で岩手県沖地震と宮城沖地震が連動型地震に発生する恐れがあり，時期も過ぎている連動型地震になれば恐巨大津波襲来すると教えられた。多くの人たちが知っていれば，犠牲者も少なくて済んだのではないかと思います。発生から2カ月後にあの地震は連動型地震だったと新聞に載った。すべてが遅すぎた。私はあの揺れの最中，ああ。連動型地震だと確信した。
R3214	女川	81	女性	地震の時は西区に居てすぐ自宅に帰った。（車に乗ってた）お寺に避難した。その後自宅で生活した。区長さんも一小に避難していて食料，物資の配給，情報も何もなくてすごく不便な生活をしていた。足が悪くて配給をもらいに行けなかったが自宅に居られたので良かった。
R3215	女川	82	女性	地震の時海岸のホテルポートにいた。すぐガスを消して外で様子を見ていた。がすぐお寺に逃げた。二日程いた。その後清水町で四十日過ごし水道が復旧したので自宅に戻った。高齢者の支援は足が悪く出かけられず受けられなかった。
R3228	女川	73	女性	主人に逃げるように言われ逃げたがすでに入口に津波が来ていた。主人にも逃げるように声をかけたが主人は二階へそのまま残った
R3260	女川	77	男性	出島からヘリコプターで向陽小学校へ2ヶ月避難その後一小で避難生活寒くなっても布団等も貰えず寒かった。避難所では若い人達の方がいっぱいもらって，高齢者には声をかけて貰えなかった。
R3266	女川	70	女性	大津波警報が発令され高台避難するよう指示されたが時間があるのではと思い，倒れた物の後かたづけをして，頭では必ず高台に車で逃げる事を決めていた，駐車場につき清水地区を見たら黒い津波が轟音を立てて家々を，巨大津波を目の当たりにし女の人の助けて，助けてと叫ぶ声が一生忘れられないでしょう。今回の教訓として近くの高台に逃げる事。一回避難したら貴重品や忘れ物を取りに家に戻らない事
R3275	女川	76	男性	途中で知らない人に車に乗せられ避難した。歩いていたら途中で津波にのまれていたと思う。
R3280	女川	67	女性	自宅で地震にあい，近所の一人暮しの方二人の無事を確認できたのでほっとして自宅へ戻った。孫が友人4人を連れてきた。（務め先から嫁が帰宅）雪が降ってきたのでコート類を孫たちに着せ1分で登れる裏山へ行くように話し自分も身支度をして玄関で靴を履いている時異様な音が聞こえ，津波が見えたので脇道を登り展望台へ避難。明るいうちに笹やぶの中を通り50代女性，嫁，孫，孫の友人4人の8人で町立病院へ次の日から総体で2カ月生活。（展望台に逃げる途中庭に女性が見えたので上に来るよう叫ぶ。上がっ

				て来た女性は波が迫ってきて母の手を離してしまったと泣いていた。自分の上着，孫のシャツをかしたが震えが止まらないでいた。
R3288	女川	78	女性	旧女川第三小学校避難。(いろんな県からの医師が来てくれました。)二次避難で秋田仙北市へ。秋田県の皆様，ハイランドホテル山荘の皆様に感謝。
R3291	女川	76	女性	家にいた。耳が悪いので，戻ってきた娘に助けられた。山の方に逃げたが足がもつれて，みんなに助けられた。山で一晩すごしその後は総体，親戚，娘の家，鳴子農民の家，今の仮設。
R3292	女川	83	男性	妻と家にいた。地震のあと，すぐに外に出て，坂の上から様子を見ていた。近所の人の車で一晩過ごし，その後ヘリコプターで総体にきた。総体で避難生活を送って今になる。妻の認知症がひどくなり，同じ建物ばかりのここでは家に帰れず何回か送られて来た。妻と娘は別の所に住んでいる。
R3295	女川	66	女性	自宅地震が長かったので，近所の駐車場で7～8名で様子を見ていた。息子に津波がくると言われ，急いで高台に登り振り向いたときには，自宅の50メートル近くまで流されてきた家や車など押し寄せてきていた。その後は恐怖で後ろを振り返らず，なお高いところに建っている町の施設に避難。2～3日後からボランティアで調理場を手伝い3カ月半毎日食事の手伝いをしていた。その後仮設住宅に入居現在に至る。体を動かしている方が少しでも忘れる事が出来ると思い，私に出来る事をしなければとの思い。
R3300	女川	84	女性	私は郵便局へ用事で出掛け，その途中女川ビルの前の駐車場を歩いている時に，あの地震に出会い，立って居られず，座り込み揺れのおさまるのを待って，こんなに強い地震では津波が来ると直感，家へ帰る等頭中に無く，信用金庫の後ろの階段を登って町立病院へ向かって登りました。雪が降って寒く町立の一階へ入ったら歩ける方は，四階へとの声で，私は四階迄止まりました。ひと晩，階段登り切った処の廊下に窓から外したカーテンをたたんだのを体に巻き夜の明けるのが待ちどおしかった。寒くて，明るくなって町の壊滅的な被害を目にした時の驚き，家も車も家財道具，衣類が無残。あの光景は生涯忘れられないでしょう。三陸津波，チリ津波等にあっていたので，避難したのがよかったと思っています。
R3307	女川	83	男性	船で沖に出て助かる。次の日にヘリコプターで女川に上がる。避難所での高齢者支援は何もなし。ヘリで別々に避難したので詳細が不明でした
R3321	女川	68	男性	自宅で地震にあった。区長をしていたので近隣の安否確認をして回っていた時(高台)津波が来た。自分は無事だったが家ごと妻が流された。波が引いてから近隣の人達と女川高校へ徒歩で避難した。
R3327	女川	69	女性	家が比較的高い所にあったため片付けをしていたところガラガラと音がするので外に出て波が目の前に来ていた首まで波につかり枝につかまって助かったその後町立病院へ行き白衣を借りて着替えて総合体育館へ。
R3328	女川	74	男性	首まで水につかり町立病院へ。着替えをもらい総合体育館で生活
R3334	女川	76	女性	店に居て息子さんの車で二小の方へ避難した。出かけていた娘さんも二小で会った地震が来て7から8分で逃げたから店が流される。津波は見ていない。その後は10日間車中泊をして見かけた自衛隊の人達がテントを張ってくれた。主人は一年前から認知症でテント暮らしになるとひどくなり家族は大変だった。今は入院しているが先が不安だ。
R3336	女川	69	女性	石巻で会合があり参加して居ました。帰宅時間になり車のキーを持ちハンドルを持つと同時に大きい地震があり，津波情報が流れて途中石巻市内の信号がストップになり，夢中で車を走らせました。しばらくして市民会館のところで，トンネルか稲井方面と迷い，ふと北上川の川岸を走り，川の水が丁度半分ぐらいのところから，黒と黄色の太い線のように見えて，とても怖くなって，もしかして津波が来ると思い，車を走らせました。女川へ向かって来たら浦宿の駅前で，水が流れ車や人やその他のいろんな物が見え，水の中を車で走り老人ホーム前を通り，女川バイパスまで来て目の前に車や建物がゴウ音とたてて，流れていたので本当に驚き，その夜は一小に避難しました。
R3343	女川	67	女性	電力寮に避難していたが，はじめは良くしていただきましたが，だんだん顔をにごされて来たので，家に帰ってきた。水も電気も無い中，とても不安でした

				が，家は一緒に避難した家族がいたので，心強かったが，一人暮らしの方は，そこを出るのはとても，かわいそうでした。
R3363	女川	72	女性	震災発生時，自宅に居ました。地震によって倒れた物の片付けをしていました。自宅まで津波が来ると思いませんでした。その時，耳に，役場の高さまで津波が来ています。逃げてください，と，聞こえた。私は年老いた母と近所の93 歳の夫婦を乗せ，車で逃げました。オーテックの手前で波におそわれましたが逃げ切ることが出来，体育館まで避難しました。
R3364	女川	85	男性	避難場所は二中の東側下，駅には近く住んでいたので，避難は割合早く息子の車で運動公園に避難しましたが数日車の中で過ごしましたがあいにく車のガソリンが少なくガス欠となり寒さと着るものも持ち出せず大変困った。その後やっと体育館に入ることが出来ました。妻はその当時から体調不良で保健室に行きましたが今になって考えるとその当時の不良状況が病状を早めたのではないかと思い残念でなりません。高齢者支援はありませんでした。町の福祉施設にも届けておりません。どうにもならないので半ばあきらめています。
R3366	女川	65	女性	自宅に居る時震災にあう。しかし，津波被害が当時どれくらいの物かラジオだけしか情報がなく，状況が分からなかった。ラジオからの女川全滅の実感がなかった。夫は仙台へ仕事に行き翌日帰宅した。水も食料もあり火を焚いて食事を作った沢水を個人で汲みに行った。
R3372	女川	75	女性	妙子，石浜の息子の所から宮が崎に帰ってきたらすぐ地震なって，夫は足が悪いので早くといっても1人では歩けないので，無理やり連れて上に行ったら若い人達4人降りてきて夫を抱いて，どこまでも上に行けと言われてやっと助かりました。ありがたかった。その夜道にいたら家に入って休みなさいと声をかけられ一晩泊まった。
R3379	女川	76	男性	地震後，すぐ避難所になっている地区のコミュニティセンターへ近くの住人を集めた。津波は来ると思ったが逃げ遅れた人達を山の高台にも避難地，目の前に見えた大津波にのみ込まれそうな，6～7名の人達を自分の車でガレキに追われながら逃げた。10人くらいの人達を救助出来たが，一番安全と思った地区の避難に集めた人達はセンターもろ共のみこまれた。2ヵ月後，妻は海中よりサルベージ作業中に発見された。津波後，その日のうちに三棟あるアパート全戸を(50戸くらい)を捜索し5名の生存者を救助し友人と力を合わせ，町の高台にある体育館まで移動などなど。その後も，毎日生存者の捜索と集うようにあたり，遺体を6体収容した。
R3465	女川	84	男性	自宅で地震にあう。妻が近くの高齢者を見に行って流された。
R3514	女川	72	女性	自宅で地震に合って一人暮らしの兄を連れて来た。その後 5 分位して津波が自宅の前まで来たが自宅には入らなかったので自宅でずっと暮らした。兄の酸素ボンベがなくなったので翌日町立病院まで行って助けを求めた。ボランティアさんの助けで次の日日赤へ入院したがそこも酸素不足の為仙台の厚生病院へ移った。
R3604	女川	71	女性	女川の木村医院で地震にあい，いつもは，一旦家に帰る夫が，その日はなぜか医院の前で待っていた為，すぐ夫の車に乗り自宅(浦宿)へ帰れた。津波は万石浦から道路へ流れ家は床下浸水し風呂のボイラーがダメになった。大潮の時は家の前の道路が灌水し車の出し入れが大変だったが，道路もかさ上げしてもらったので今は落ちついて生活している。ずっと自宅で暮らしている。
R3611	女川	65	男性	知人の家に居て近くの山へ逃げた。身内の安否がわからず自ら探しに行って車の中で亡くなっているのを見つけた。車から出してあげたくても一人では無理だったので，近くにいた消防団員の人に手助けを求めたが断られ，誰もが大変な時ではあったが人間の無情さを感じ，憤りさえあった。
R3641	女川	75	女性	自宅の2階の自分の部屋で被災。部屋に閉じ込められたが，一番上の孫に助けられ孫三人と一緒に車で避難所である第二小学校に上がったが，津波が上がってきてさらに総合体育館の駐車場に避難した。家からは何も持ち出せず体育館の中にも入らず乗ってきた車で寝泊りした。毛布・衣類・食料は3日目に娘と孫たちが石巻市蛇田あけぼのに行き店外で販売していたものを購入し，水と焚き木を山からとってきて駐車場で煮炊きしていた。

R3655	女川	79	女性	自宅から，近くの山に逃げた。その後避難所，知人宅と転々とした。特に支援はなかった。食べ物，毛布すらも無く，避難所では空腹や寒さで大変な思いをした。知人宅に行って，少し落ち着いて眠れた。
R3689	女川	77	女性	地震は家で。おさまった後，外に出，向かいの人達に車に乗せられ高い山の方に避難。寒かったので車の中で津波の様子を見ていた。それから向かいの家に近所の母子家庭の人達と10人で集まり，家にあるものを持ち寄り皆で分け合って食べ3日位一緒に過ごした。(ストーブ，灯油，米，もち，うどん等)。水は被災してないので給水車も来ず沢の水を汲んだ。寒いし遠いので一番大変だった。その後それぞれ家に帰ったが食べるものもなく親戚の人からおにぎりを貰ってたべた。友人を探し回った時，ガレキの中に死人を見たときは地獄だと思った。一週間目に熱を出し，ガソリンのない中病院に連れて行ってもらった。肺炎で高熱，酸素欠乏，水も食もなく入院。応援医師団の先生に後で「危なかったですよ」と言われた。今は助けられ，生きる喜びを感じている。
R3693	女川	88	女性	場所，女川町清水町　方法，車(清水から女川総合体育館に避難)オーテックの下で海水をかぶるも無事逃げる事が出来ました。支援は3，4 日寒さの中でイスに座っている状態続く　支援はほとんどありませんでした。
R3697	女川	81	女性	自宅にいた。いつもお世話になっているヘルパーさんが自宅にちょうど居てすぐ逃げようと寝たきりだった自分を助けてくれた。自宅は津波でのまれた。ヘリコプターで救助され体育館へ，そこから登米にある○○園という施設に 2 ヶ月間世話になった。そこでリハビリをして何とか歩行できるようになった。
R3728	女川	70	女性	3月11日午後2時46分。自宅で友人とお茶飲みをしていた。あの地震には気が変になる位の揺れで友人と外に飛び出し(家があぶないと判断した為)道路に座り込み，このまま地割れでその中に入るのかと怯えた。どれくらいの時間は覚えていないがかなり長く揺れていたと思う。大津波警報が防災無線で流れたがここまでは来ないと思って居たところ下の方からゴーッとか水が流れる音や建物のきしむ音が聞こえ慌てて何も持たずそのままさらに上に上がって行った。やはりライフラインがすぐに駄目になり何の情報がないのが大変でした。海岸が大変な事になっていても情報がないので自分の家に津波が入ったので動揺していた。(情報が少ないのが不安でした。私の地区は区長さんも津波被害にあい部落の連絡は不便な所もあったと思う)
R3735	女川	78	男性	外出から戻って1時間後位に自宅で震災にあった。それから自分の会社の従業員(中国人研修生 30 人)がバスで避難してきたので，彼らの世話をしていた(避難所へ連れて行ったりした)その後県外へ家族と一緒に避難した。
R3794	女川	82	女性	家に居て震災にあった。台所に居たので食器棚の下敷きになってしまった。息子が来て助けてもらった。娘と孫を探しに保育所に行ったら，もう帰ったと言われ避難所で待っていたが来なかった。絶望感で一杯になり少し気も狂ってしまった。体もこわしてしまったが今は落ち着いた。親類の家や息子の所にお世話になったが行方不明の娘(39歳)と孫(女の子,5歳)の為に女川に戻ってきた。これからは，娘と孫が見つかるまで元気に過ごさなくては･･･と思っている。
R3808	女川	69	男性	地震直後，沖より戻りリフト等を片付けていたら，浮きダルが津波で流されてきて，妻が逃げていく方向に行きそうなのでリフトに飛び乗り，浮きダルを止めていたら逃げ遅れたので，リフトから納屋の屋根に登ったが，屋根が流されてしまった。流されているうちに丁度家の船の所にたどり着いたので，船に乗り移り出島まで流され一夜を過ごした。翌日，尾浦に戻りお寺に避難した。
R3810	女川	65	男性	当時地震の後，家の中で後片付けをしていたら，目の前に津波が押し寄せ，母の手を引いて家の裏戸をあけ逃げたが間に合わず，母からお前だけ早く逃げろの言葉に，自分だけ何とか裏の神社の高台に逃げて幸いにも命だけ助かることが出来ました。母は残念ながら波にさらわれて，今も行方不明のままです。
R3834	女川	74	女性	発生時の行動は，いつも高台と思っていましたので迷うことなく地震の大きさを察して，すばやく避難場所に行きました。当日は，寒さと空腹をさせない為に，手分けして行動し家族の方が老人を支援して過ごしました。

R3841	女川	65	女性	自宅より北東方向の山道に避難。近くの阿部様宅にお世話になりました。避難した人のうちには濡れた人もおり当時の天候(雪)では阿部様宅の尽力がなければ更に犠牲者が増えたことは，確実だったと思われます。避難時には公的支援は一切ありませんでした。
R4017	女川	73	女性	塚浜のちょっと高台に家があった。そこで三人の知人と居た。もっと高い所に避難して助かったが，知人は流されてしまった。(家も)避難所ではもっと大変な人やお年寄りが居たのでその人達の世話に夢中だった。物の取り合いの姿に心が痛みました。

＊下線及び注釈は研究者が記入した

＜将来の希望に関して（すべて掲載）＞

高い場所，一軒家，区（前）の人達。
お金
1 軒だけになり娘の所へ来るように言われるが夫が此処にいたいと言っている。寂しくて心が沈んでしまうが気を強く持って頑張ろうと思う。
1 週間に数回訪問して様子を見に来てほしい
1女川で一生暮らしたい。2妻を震災で死亡し今一人暮らしです次男家族が一小仮設に入っていますが震災前一緒にいましたが，今は別々ですので早く復興し家族みんなで暮らしたいです。3公共住宅が必要です。
①女川町に住みたい②妻と二人で暮らしたい③普通の住宅にすみたい(仮設でなく)
①地区の人がいないのでとじこもりになる。（地区毎の対応）②スロープの部屋から駐車場が遠い（健常者と逆ではないかと思う）
2～3年後，仮設を出た後が不安。前の地区に住居を希望しているが，先が見えないことが不安。趣味があるので出張講座があれば行きたい。
70 を過ぎて商売をしているが，幸い2人の息子に手伝ってもらっているので，将来についても現在の仕事をできれば良いと思っている。しかし，息子たちがうまく引き継いで結婚相手でも見つけられて在続できるのがベストだろう。また，人間関係をもっと広げられることを望む。
いずれは子供の世話になるかもしれないが元気で動けるうちは島で暮らしたい。住み慣れた環境にいることが元気でいられる
いつになったら自分の家を持つことが出来るのか，どこに家を建てられるのか不安である。
いつまで仮設に入っていられるか。早く地元に帰って友達に会いたい。
いまのままで
いまのままで今の場所で暮らす
いままでどおりで
いままで通りでいい
いままで通りに生活をしていきたい
いろんな事がふあんだらけ。農業をやっているので先が見えない。
女川町内
お金もないし，考えられない。
お店がないし病院の整備を早くして欲しい
カラオケおどりなど，たのしんでいきたい
がんばる気力はあるが，何も将来が見えず動けない。子供の仕事（漁業）を手伝いたいから，地元に住みたい。不安と希望の繰り返しの毎日
グループホームを希望します。
ここ（浦宿）で生活したい。
ここ（浦宿）で生活する。
ここ（浦宿）で暮らしたい
ここ（仮設）で終わると思っているので，先は考えられない。
ここ（尾田峰）で家族と一緒に暮らしたい。
ここで
ここで　自宅で
ここで（自宅で），家族と。
ここで（尾田峰）で生活したい。
ここでいい
ここでいい息子のそばで暮したい
ここでいままでのように暮らしたい
ここでこのまま過ごして行きたい。
ここで浦宿で暮らしたい。
ここで家族で
ここで家族と一緒に暮らしたい
ここで家族と仲良く暮らしたい
ここで家族と暮らしたい
ここで家族と暮らして行きたい
ここで家族のみんなとずっと暮らして行きたい。住み慣れているのでここを離れるのは考えられない。
ここで子供と孫とひ孫と一緒に
ここで生活したい
ここで生活したい。
ここで生活する
ここで暮したい
ここで暮らしたい。
ここで暮らして行きたい。住み慣れた所なので。
ここで暮らし家族みんなで元気でありたい
ここにずっと住んでいたい。自分が住みなれた所が一番いい。
ここに住みたい
ここのお家で家族と一緒に過ごして行きたい。住み慣れた場所がいい。
ここ堀切で生活する
ここ鷲の神内山で暮らしたい。花や野菜を育てているといやされる。
このまま
このまま，ここで暮らして行きたい。
このまま，ここで暮らして行きたい。きょうだいが多いので週一回来てくれて掃除等身の回りの世話をしてくれて，とても心強い。
このままここで暮らしたい。体の自由がきかなくなったら老人ホームに入りたい。
このままここに住みたい

このままここ尾田峰で暮らしたい。
このままこの家に住み続ける。
このままこの土地で暮らして行きたい。
このままで
このままで女川町が早く復興する様に祈っています。
このままで良い
このままに暮らしたい
このままの家で暮らしたいが・・・
このままの状態で暮して行ければいいと思う
このままの生活で。
このまま浦宿で暮らしたい
このまま家で家族で暮らしたい。
このまま家で家族三人で暮らしたい
このまま家で生活
このまま家で暮らしたい
このまま家族とここで暮らしたい
このまま家族と一緒に暮らしたいけど街の道が。
このまま家族と暮らしたい
このまま家族と暮らせればいいと思う。おばあちゃんが認知症の為，何でも自分でやるようにしている
このまま現状維持で。
このまま今の所に居られたら良いと思う。
このまま今の場所に住めればいいと思う
このまま仕事を続けながら暮らして行きたい。
このまま自宅で暮したい。息子夫婦と孫と。
このまま自宅で暮らしたい
このまま自宅で暮らしたい。
このまま自宅で暮らしたい。息子と一緒に。
このまま自宅に暮らしたい。
このまま住み続けたい
このまま地域で過ごしてゆきたい。（女川から離れたくない）
このまま地元にて過ごして行きたい。
このまま尾田峰で暮らしたい。
このまま暮らしたい
このまま暮らしたい。
このまま暮らして行く
このまま娘と息子
このまま野菜とか作って暮らしたい
この家で
この家で旦那さんと
この場所で暮らしたい。半壊認定されているので不安
この先のことは個人でどうこう出来ない状態です。世の中すべて金銭だとつくずく感じた災害でした。
この地で今までどうり暮らしたい
この町以外で暮らすことは考えられませんし，家族と一緒にこの町で暮らして行きたい。以前と同じような町になれるかどうかもわかりませんけれど，そうなることを期待したいですし，病院は存続していただきたいです。
これからの町の復興にあまり期待していないので，津波のない町（近郊の市町村）に将来は住みたい
これまでと同様，家族とおだやかに暮らして行ければいいと思う。その為には環境が良くなればいいと思う。
これまでと同様で良い。（女川で家族と）同じ町の住民として扱ってほしい。
これまでと変わらず
これまで通りに暮らしたい
これまで通り家族と暮らして行ければ，いいと思う。
これまで通り地元で生活してゆきたい。
これまで通り地元で暮らしたい
これまで通り暮せればよい
これまで同様，地元で暮らして行きたい。
家族と一緒に暮らして行きたい。
これまで同様家族と暮して行きたい。
これまで同様家族と暮らしていきたい
これまで同様家族に迷惑かけないように暮らしたい。
これまで同様生活が出来れば良い
これまで同様変わらず暮して行きたい。
これまで同様暮らして行きたい
これまで同様暮らして行ければいいと思う
これ以上悪くならないでほしい
しばらくは一人で暮らしていたい。その後は娘の所にでも
住宅地の場所が決まらないと一歩が踏み出せない
ずっと住み慣れた所で暮らしたい
ずっと女川に住みたい
ずっと竹浦で暮したい
そのまま
できるだけこの町で自立して生活して行きたい。小地域での相互助け合い
できるだけ一人で生活していきたいが体が効かなくなったら息子のところで生活したい。
できれば，女川町に住みたい
できればこの町で，長年楽しく過ごした町で一生を終えたい。穏やかな家族団らの絆など持って暮らしたい
できれば女川の安全な場所，夫婦で。
できれば南国で暮らしたい（グアム）とかタヒチ等
どこか安全安心できる場所や家に移り暮らしたい。家の修理も必要だし，子供も実家に戻る予定がないので。経済的理由で修理費用捻出するのは無理。
どこでもいい
どこでも良い
年をとっているので，お金もなく仮設を出た後が心配だ。思う事があってもあきらめ

るしかない。
とりあえずいまのままでいる
なし
なるべく以前の場所に。今は別に住んでいる娘家族と一緒に住みたいが，若い人の負担にはなりたくない。
なるべく江の島に居たい。子供の世話にもあまりなりたくない。
なるべく寝込まないこと！寝てたらダメ。
なるべく早く公営住宅や老人の安心して暮らせる施設を作ってほしい。
なる様になるしかない，年をとって家を建てることもできない。元のように戻れない。
亡くなった家族を思いながら頑張るしかない
にぎやかな所で家族と一緒に
バスの本数が少ない。通院の際，息子に仕事を休んで来てもらう。
ひ孫の友達がいなくなってかわいそう
ほかの土地に移る
マイナスからのスタートなので，どこまで国，県，町の支援があるのか
また，田舎での，隣近所のつきあいをしたい。同じ場所，家にもどりたい。
まだよくわからない
まだわからない
まだ仮設に入って間もないので将来までは考えられない。一日一日を元気に暮らせればよい。
また家族一緒になって家を建ててから暮らしたい
まだ健康に自信があるので前の仕事に戻りたい。また家族と従業員さんたちと楽しく忙しく働きたい
まだ考えられない
まだ考えられない。孫の進学に合わせて石巻に出たい。
まだ将来の事は決めていない。考えていない
まわりに世話をかけないよう生活したい
みんなで暮らしたい
みんなと今まで通りに暮らしたい
みんなに戻ってきてほしい
もうすぐ90才で将来の事など考えない。今楽しめる所がほしい。
もう女川には住みたくないという気持ちです。
もちろん町内で身体が動ける内は，元気に働きたいと思ってます！
もっと年を取ったら老人ホームへ行こうと考えている。
もとのように家で生活したい
もとのように商売がしたい
もとのように暮らしたい。
もとの所に住みたいが･･･訪問で血圧を測ってほしい。何かあっても気づいて貰えない不安がある。
もともと住んでいた地区に近隣の人たちと近くに住みたい
もともと住んでいた地区に近隣の人達と近くにすみたい
もと住んでいた所に戻りたいが，戻れるのか心配
ものままの状態を維持したい。（仮設住宅）
やっと仮設に入って落ち着いたばかりなのでまだ考えられない。
やはり以前住んでいた女川の寺間とも思いますが，色々な事情が生じ，それは無理かと思う。代替地が女川町にできるとすれば，それも望むと思います。また娘夫婦，幼い孫達の事が心配です。
やはり女川に住み続けたいと考えている
やはり女川に住み続けたいと考えている。住み慣れた女川からは離れたくない。
リウマチの娘も一緒に暮らしているので早く落ち着いて生活できる家がほしい。
安心して住める町に早くなってほしい。
安心安全な場所へ移りたい。
安全な内陸部で生活したいです。健康な限り二人で生活すると思います。内陸部が理想といっても経済的に新たな土地を買い新築は不可能なので復興住宅に，避難道は確実に整備された場所に落ち着くことになりそうです。
以前から家まで車で来れないので，車の通れるところで暮らそうと思っている
以前と同じ所に住みたいが，無理だと思う。健康に気を付けて，元気に暮らしたい。
以前と同じ場所に住みたい。町のアパートよりも一軒家に住みたい。
以前と同様家族と一緒に住みたい
以前の仕事に戻るので，前住んでいた所の高台に住みたい。
以前の場所に住みたい。
以前の生活
以前の町内で家族，町内の皆で一緒に生活したい。
以前は島で生活していたが，年なので車も無く，島に戻るのは病院にかい通うのも不便なので，ここ（浦宿）で生活する。
以前住んでいたところに住みたいです。
以前住んでいた所にもどりたいが，同居の家族の都合で石巻に家を建てているのでそちらの方で暮らす様になる。
以前住んでいた所に住みたいが家族の都合で石巻に家を建てている。
以前住んでいた所に住みたいが家庭の関係でそれが出来ないのでさみしい。
以前住んでいた所に戻りたい。
以前住んでいた所の高台に住みたい。
以前住んでいた石浜地区に住みたい。
医療の充実

医療機関　商店会
医療機関に近い所。配偶者と子。自分の家。
医療機関の問題。商店会の復興を願う
一人で出きるうちは頑張りたい。
一人で暮らしたい。
一人暮らしで具合が悪くなった時心配。
以前の様にシーパル号がまわるといいなと思う。
一人暮らしなので何もない
一人暮らしをしたい。
一生ここで住んでいたい
飲食業をする準備をしているが人口の流動による不安，環境による顧客の入り。
浦宿原のここで生活したいので不安なく暮らせる様にしてほしい。
浦宿石ノ田で生活したい
浦宿浜字浦宿の道路が大潮で冠水するので，かさ上げはしたが，ここで生活するかどうかはわからない。
横浜の息子が連れに来るかもしれない。
黄金町で生活したい。土台を早めにやっていただきたい。
仮設から出てからの住まいは女川に住みたい。町営住宅，土地・・・これから先の事がみえないのが不安
仮設が終了したら，町営住宅に入りたい。
仮設だと知らない人が多く，さびしいので早く地元に帰り，知っている人がいる所へ行きたい。
仮設では死にたくないので家を建てたい。
仮設では死ねないので，家を建てたい。
仮設でポータブルのトイレが置けないのでこれから心配
仮設に早く入りたい。
仮設を出た後が心配どこに行くかわからない
仮設を出た後のことが不安です。夫と二人で暮したい。病院の近くが良い。
仮設を出た後一人でどのように暮らしていくか不安。
仮設を出てからの生活が心配(住む家)。
冬は閉じこもりがち
仮設後の安心して住める場所を用意してほしい。
仮設後の住む所，息子さん達と一緒の場所
仮設住宅がとてもありがたい。どこで生活したいかまだ考えていない。
仮設住宅に何年居られるか？仕事もしたい。
仮設住宅に住み危険性のない所で親しい友達と一緒に暮せれば良いと思います
心の復興の為に時々温泉に行ったり小旅行を実施し身体を動かすグランドゴルフ等長く続けられたら身も心もリフレッツ出来るように思います
仮設住宅の狭い部屋にベッドを置き，身動きがままならない。息がつまる様だ!親子でも余りに近づきすぎでストレスがたまる。広い所に生活したい。
仮設住宅の生活が長くなると精神的に疲れるから早く公営住宅に入りたい
何もない　一日一日を精一杯生きるだけ
何も不自由がないです。元気で暮らして生きたい。
何十年も暮らしてきた所で暮らしたい(寺間～女川)
何度も大きな病気をしているので，あまり先の事は考えられない。「一日，一日を大切にいきる！」
可能であれば子供と暮らしたい。仕事の関係上県外にいる(息子)
家があるのでこの家で長男と暮らしたい
家が残っているので以前の生活が出来れば良い
家が大丈夫だったのでこのまま自宅で
家が必要です。
家が流されたので将来が心配。
家で
家で子どもたち，孫たちと出来る限り一緒に生活がしたいと思っています
家で暮らしたい
家に住み続けたい
家は大丈夫だったのでここで暮らして行きたい。不便は所はあるが，住み慣れたここで過ごして行きたい。
家も家族も変わりないので何も望みはない。
家も残っているので，現状の生活ができればよい。
家も修理したので特別将来について希望はない。今の生活を続けられればそれでよい。
家も被害にあい，修理もすぐ出来ないという理由で，安心して生活できる所へ引っ越したい。夫も病気がちなので「心の復興」には若い人の就職や失業問題，住宅等行政指針を早く出すことにより全体の復興を早めると思う。
家を建てても何年住めるかわからないので避難した今の持家(畑の納屋)でよい。
家を建てるより毎日の生活にお金を使った方が良いと思い，古くても住める家があるので，畑をしながら生活をしていく。
家を建てる気持ちはない，町営住宅等を早く用意してほしい
家を直して皆で暮らしたい。
家業の都合で今までの住んでいた高台に住みたい
家族(嫁いだ娘)に心配かけない様現在地で終末まで暮らすのが目標です。

家族 4 人でそっと暮らしたい。そのためには健康でいたい
家族 7 人で元の場所女川に家を建てたい。医療費が心配
家族7人みんな一緒のところに暮らしたい。二人暮らしは淋しい
家族が居るのでこの土地で暮らしていきたい。
家族が健康で過ごせればよい。仕事の場があればよい。
家族で以前のように過ごしたい。商店が近くに来るのがまちどうしい。
家族で女川町に住むみたい，自宅に遭った所でぜひ
家族で大勢で暮らしたい
家族で暮らしたい。
家族とこのままここで暮らしたい
家族とこのまま暮らしたい
家族とこれまでどおり暮らしていきたい
家族としては特養施設に入所させたい。特に必要なのはもっと特養施設がほしいと思います。
家族とともに
家族とともにここで暮らしたい
家族とともに暮らしたい。
家族と一緒だし，被災もしてないので心配はない。
家族と一緒ならどこでも。
家族と一緒に以前と同じ生活がしたい。
家族と一緒に今までの地区で生活したい
家族と一緒に住みたい
家族と一緒に女川にいたい
家族と一緒に女川に住みたいと思っていたが，復興に時間がかかりそうなので気持ちが変わりつつある
家族と一緒に石巻に住む。現在建設中
家族と一緒に地元で暮らしたい
家族と一緒に暮らしたい。
家族と共に現在のところで暮らしたい。
家族と今まで通り暮らしたいが，住むところが無いのでどうしたらいいか。
家族と自宅で生活がしたい
家族と住める住まい（現在二人住まい。以前は9人家族で生活）
家族と生まれ育った所で暮らしたい。
家族と前の所に住みたい
家族と相談しながら決めたい。
家族と仲良く暮らしていきたい。くよくよしないこと。
家族と同じところ
家族と浜から離れたくない。
家族と暮らしたい
家族と暮らしたい。
家族と暮らしたいとは思っていますが自宅で食堂をしているのでお世話になる訳にいかないので今の施設で満足です
家族と暮らしていきたい
家族の皆がそろっているのでずっとここで暮らしたい。
家族の皆とここで暮らしたい。近所の人達とお茶のみをして過ごしていきたい。
家族の健康が第一
家族みんなで仲良く生活がしたいです。
家族みんなで暮らしたい。
家族や家屋に特に被害がなかったので今まで通り家族そろって生活します。
家族一緒なら，どこでも良い
家族一緒ならどこでも，一人息子だから，息子達の行く所へついて行く。
家族一緒に住みなれた所で生活したい
家族一緒に地元で暮らしたい
家族一緒に暮らしたい
家族仲良く暮らしたい
歌津に住んで40年です。山と海の自然を子供，孫たちとこれから先暮らして生きたいです
河南町に家を建築予定。現同居者と暮す。
花が好きなので花を見たり，世話をしたりしていきたい
海のそばで生活したい
海の仕事が出来ないと不安。早く船が欲しい
海の仕事なので，前の所に
海の仕事なので海の近くに住みたい。
（前のところでなくても高台のほうへ･･･。
海の仕事をしていたので前の所に住みたい。
海を見たくない。
皆が仕事を出来るようになればいいと思う。
皆と一緒に住みたい。
患者の話に耳を傾けてくれる医者が地域に必要。震災後の医療ボランティアできて下さった先生方に聞いてもらえたが，隣接する地域の診療所も含め配慮の足りない医師が少なくないと思う。
希望としては，子供と一緒に暮らしたい。元気なうちはいいが，自分が動けなくなったらと思うと，多少の不安はある。
気がるに訪問して健康状態を見て欲しい
気持ちが定まらない。考えても分らない。
宮ヶ埼に住み今までと同じ様な生活が出来る事を望んでいます　家があるため物資などもらいにくかった
旧自宅は庭も広く…木や花と一緒の生活がしたい。
居住場は，女川町内希望，今まで暮らしてきた家族と暮らしたいと思う。現場，自分の住宅，店舗はかさ上げ道路となり，ダンプが通っている状態です。高台に代替場として住宅地としていただければ自分自身家族，みんなの復興につながると思う

漁業をしているため，海の見える場所で近いうちに引越し　そのことで心配やら不安やら　引越し先の方々を頼りにしている近くに子供たちがいるので，将来的には同居はしなくても近くの所に住む予定です。
近人は家の被害の為，引越しや仮設に行ったが，自分はこのまま，ここに住みたい。なぜなら，震災で地域住民とのつながりが強くなったから
苦労して建てた家だから離れがたいが，子供達が来いと言っている
携帯が使えない（同居家族が固定をつけないので不便）
健康
健康が一番大切
健康でいつまでもいたい
健康でいられるうちは島でくらしたいが･･･その後は子供の面倒になるのか，施設に入るか今は分からない。
健康で家族とここで暮らしたい
健康で今の状態で過ごせることができればよい。
健康で長生きがしたい
健康で長生きしたい
健康なうちは島で過ごし，そのあとは子供と暮らしたい。
健康なうちは島で暮らし，その後は息子の世話になりたい。高齢の島など病気になった時不安。
健康なうちは島で暮らしたい。いずれは息子の所。住民が減り活気がなくなった。
健康なうちは島で暮らしたい。住民も減り活気もなくなり不便もたくさんあるので少しでも早い復興をと思います。診療所がないので病気になった時不安。
健康なうちは島に居たい。いずれは息子の所へ行くつもりです。
健康には気をつけたい。住む所は今は考えていない。
健康面・震災後，駅前まで歩いたが今は歩かない。外出がおっくうになった。会話がない。
見えなかった海が見え瓦礫の工事の音だけが毎日毎日繰りかえされて心が沈んでくる。また皆が帰って来て欲しい。寂しくなった。
見通しが立たない,町の復興に合わせて
元々女川出身じゃないので出来るなら仙台や内陸の方に移りたい娘さんや息子さんが女川に居るから自分も居る集合住宅ではなく一軒屋に住みたい
元いた場所にもどりたいが（浜の見える家）まだ高台移転の話がまとまっていないようなので早く決まってほしい。
元いた場所に家を建てたい
元のところに住みたいが被災した子ども達は津波が上がった所は住みたくないと言うので仕方がない。
元の住所で生活したい。
元の場所
元の場所で家族の一緒に暮らしたい。でも今の現状では無理な様である。家だけでも早く建てられたら良い。考えても無意味な事だらけ
元の場所に住みたい
元の場所に住みたい。
元の場所に住みたいが，無理なので以前住んでいた付近の高台に住みたい。
元の場所に暮らしたい。
元の生活。地域の人達と一緒の場所に暮らしたい。
元の生活。地域の人達と暮らしたい。
元の生活に戻りたい
元の生活に戻りたい。みんなの協力が必要
元気でいるうちはこのまま家族と暮らしていきたい。
元気で過ごす。
元気で過ごすこと。
元気なうちは，島でのんびり過ごして，いずれは，娘の所に行く。
元気なうちは一人暮らしを頑張りたい　健康
元通りの生活に戻りたい。長生きも良い事がない。
原子力があるので福島の様な事があるととても心配しております。他県に住居を移す事も考えますが，自分の育ったこの女川で生活したいとも思う所があります。それには住環境，地域社会の存続若い人が仕事があり生計の確保が出来る町になってくれる事と思います。
原発から遠い所
原発に対する不安はかなり強まった。漁業農業に関わらず原発事故が起きたら町民全ての人が被害を受けるので，震災に関係なく安全と保障をきちんと考えて欲しい。不安を抱えた生活をしたくない。
原発のできるだけ離れた地域に住みたい。
原発の無い所で家族で暮したい。
原発の無い所で暮したい。電力会社の社長や重役の家族に原発の敷地内で暮してもらいたい
原発廃炉
現在1人。嫁いだ娘にどこまでお世話になっていいか不安。遺産問題が悩み
現在と同じ生活を地元でしたいと思っている。
現在のところで
現在のところで家族と暮らしたい
現在のまま
現在のままで静かに生活し，なるべく入

院等をしないで家族の介護を希望している
現在の仕事が長続きできるのか人口の動きが心配です。
現在の場所
現在の場所で生活していきたい。
現在の場所で暮らしたい
現在の状況のままに暮したい。(家があり大きな変化が無い為)
現在の生活が継続できることを願う
現在の通り妻と2人暮らしが出来れば良い(健康な限り)どちらかが体調を崩し現状通りに生活が困難になったら子供の世話になり，子供の負担が強くなれば老人ホームに入りたい健康維持が復興につながると思う。
現在は，高台の娘宅に世話になっているので，生活は安定しているが，先代からの家が流出何にもなくなり，土地も規正区域だし，一人暮らしだった自分の年齢を考えると自分の持ち家を建てる気持ちにもならないし，息子達も孫達も遠くに住んでいるので，仕事上女川に帰って住む事は望めないし，孫達も在学中，震災後みんな来てくれました。ボランティアで家族で協力して行きました。子供達の帰る故郷が無くなると思う寂しく，辛い。
現在は仮設にいますが2年後の住居が心配です。早く見通しがつくといいです。
現在一人暮らしのため老人ホームなどに入る場合がきたら不安
現在家族と一緒なので，そのまま今までの地区にとどまりたい
現在自宅
現在住んでいる場所で変わらず家族と暮らして行きたい。
現在住んでいる場所で暮したい
現在西 2 区で自分の家で夫と一緒に生活していますが，女川からどこにも行くつもりはありません。女川は水産加工が盛んな町なので港に船が入って来るよう早く前の生活に戻れるように，元気で頑張って行きたいです。
現在石巻バイパス仮設ですが元住んでいた女川石浜に住みたい
現在地での生活希望。子と暮らす事
現在地で今まで通りの生活を望みます。
現在地で子供と孫と
現在地で生活希望です。
現在店の倉庫に住んでおり，ずっとここで生活をすることに決めました。店は開きましたが，ちりちり，バラバラになった人たちが志津川に戻ってくるのでしょうか。住むことなし，仕事もなしはどうしようもありませんよね。店が続けられることを願っています。
現在同様，静かに楽しく入院等もなく家族介護を希望している。
現在夫と二人で生活しているが，健康であればよいが，体に心配なことがあれば娘の近くで生活できればと思っている。
現住所で家族
現状
現状　のまま暮らせれば良いと思っている
現状に満足
現状のまま
現状のままでいい
現状のまま健康に気を付けて暮らして行きたいと思っている。
現状のまま生活できれば。今のままで健康であればいい。
現状のまま夫と暮らせればほぼ満足である，お互いに身体の調子が悪くなり，生活するのが大変になったら子供の所へ引っ越したいいずれは老人ホーム等に入りたい。
現状のまま暮していければ良い
現状のまま暮らしたい。健康の為運動をしているので続けて出来れば良い・
現状の状態で(夫婦で)暮らしていければ良いと思う。子供に迷惑をかけず暮らしてゆきたい。
現状の生活
現状の生活，家族と一緒に暮らしたい
現状の生活(家族と共に暮らしたい)
現状の生活で(家族と一緒に暮らしたい)
現状の生活の維持
現状の生活をしたい
現状の生活維持
現状の生活家族と一緒に暮らしたい
現状維持
現状維持で
現状維持でいい。
現状維持で妻と孫と一緒
現状維持で生活出来れば良しと思います。
交通が不便である。
交通の便，宅地の整備
交通の便が不便なので便利になって欲しい
交通の便の良い所で親子で，現在の生活を長くしたい。
交通の便の良い所に家族と住みたい
公営住宅に入れてもらいたいと思う。仮設を出てからの住まい生活が心配。
幸い津波からまぬがれたので，現状のまま暮らして行きたい。そのためにも一日も早い復旧，復興を望みます。道路の整備，拡大を早急に願います。
広い家に住みたい
恒久的公営住宅で妻と一緒に暮らしたいと思うが，公営住宅がいつ建設されるのか，特別に望みはないが早く仮設住宅から出たいと思っています。高齢者にとっ

て医院，商店，公共機関の近い所に住みたいと思っている。それが願いです。
江の島には居たいが年を取れば子供の世話にもなるがあまり面倒もかけたくない。
江の島の人と暮らしたい
考えても仕方ないので考えていない。
行く所がないので甥の所でお世話になる。
行政の心配りがもっと必要だ
高い所に住宅建設を早くしてほしい
高所に住宅がほしい
高台で地域のみんなと一緒に暮らしたい。
震災後，地域がまとまった。
高台に移ることを考えています。
高台に住みたい
高台に住みたいが土地と金の問題が山ずみです。
高台に住居
高台の移転を考えてほしい
高台の公営住宅に各行政区事の集落でありたい。それがお互いに心のよりどころ（安心感）が得られると思います。
高台の住宅の整地は国のもと
高年齢なので子供たちにゆだねる
国民年金で生活していても入れるような老人ホームが欲しい
今，現在でも女川に住みたいと思ってます。店が駄目で商工会のおかげで仮設店を借りる事にしました。その後どうなるのか？自分の土地で店が出来るのか心配です。
今いるところで今まで通り家族と近所の方と暮らしていきたい。
今お世話になっているところは何かにつけてとても便利で，嫁の仕事の都合孫の学校のことなどで石巻に住むつもりです。
今と変わらずの生活で家族と暮らしたい
今のところで
今のところで今まで通り暮らしたい
今のところ健康なので，夫と二人でこの家で暮らせればよい。先のことを考えてもあまり意味がないと思うから。とりあえず家の修理が必要なのでその件は心配である。
今のまま
今のまま。
今のまま。だけど話す相手，コミュニケーションの場をもっと増やして欲しい
今のままここ（浦宿）にいたい
今のままここで暮らしたい
今のままで
今のままで，生活して行ければそれでよい。
今のままで。
今のままでいい
今のままでいいです
今のままでここで
今のままでここで家族と暮らしたい
今のままでここで生活したい。
今のままでよい
今のままでよい　嫁が欲しい
今のままで健康に暮らしたい
今のままで充分。
今のままで暮して行ければ良い。幸運にも自宅が残って，今まで通りの生活が出来ているので多くを要求しない。
今のままで良い
今のままで良い。
今のままに生活（自宅で一人暮らし）暮らしてい行ければ良いと思っている。原発不安のない町，人が町内に戻ってこられるような町作りが必要なのではないでしょうか。
今のままの生活で寝込まないで毎日暮らして行きたい。
今のままの暮らしでいい
今のまま女川町で暮らしたい
今のまま生活
今のまま二人（妻）と暮らせればよい。葬式や戒名・お寺（お墓も含む）に対する考え方が地域の人と異なり，多少不満に思うことがある。自分の考え方は自分の意見を反映した葬式なり儀式をしたいと思っている。
今のまま暮らしたい
今の時点ではあきらめの気持ち。仕事をするにも資金面等の工面，場所を考えると出来ない。これから商売をしようと思う気持ちがわかない。
今の時点では特に希望はないが戻れるなら十年は若返りたい
今の自宅で今の家族と
今の所
今の所が一番
今の所が一番いい。
今の所で
今の所で生活したい
今の所で暮らしたい
今の所に居たい。
今の場所
今の場所で
今の場所でいい
今の場所で暮らしたい
今の場所で暮らして行きたい。もう同じ土地で居るので。
今の生活でいい
今の生活のままでいい。健康でいたい
今はまだ，どこで生活したいかは考えていない。女川町の先（将来が見えない）からだ。町がはっきり将来の復興計画を立てなければ，若い世代が町から出ていくと思っている。自分もいずれ息子の所に行ってしまうかもしれない。
今は一人暮らしだが，生活環境が整い次

第，家族全員で今の住家で生活がしたい。
今は仮設ですが将来恒久的公営住宅がいつ頃出来入居出来るかどうか心配になります。国・県・町で速やかに公営住宅の建設をしていただき，年齢も年齢ですので恒久的住宅に入りたいと思います。妻と二人近隣の方と一緒であれば良い
今は何とか自宅で十分生活できる
今は家族と別々に住んでいるので，一緒に暮らしたい。（家はあるが部屋がつぶれてしまったので，帰れない。）
今は考えていない。
今は考えられない
今は考えられない。
今は子の扶養の元生活しているが震災で（漁業）子が無職になり全ての漁業関係の財産をなくし，家も二軒失くしました。たまたまもう一軒あった家が大規模半壊ながらも残ったので修繕して入っています。家があっても子の仕事無いので不安です。
今は子供と一緒なのでずっとこのまま暮らして行きたい。
今は実家に戻っていた為，実家の仏壇と仮設住まい。何年か先は実家の仏壇を持って，旭ヶ丘の家族と共に旭ヶ丘で暮したい。
今は大丈夫だが，動けなくなった後のことが心配。
今まだと同じく暮らしたい少しでも安全な生活がしたい
今までとうり
今までどうり
今までどうりここで暮らしたい
今までどうりで自宅で暮らしたい
今までどうりで良い
今までどうりに生活できればいい。いまのところ心配や不安はない。
今までどうりの生活を希望
今までどうり家族で住んでいたところで暮らしたい
今までどうり家族と暮らしたい
今までどうり地元で生活していきたい
今までどうり暮らしたい
今までどおり
今までどおりに生活したい
今までどおりに暮らしたい
今までどおり家族とここで暮らした
今までどおり家族と健康で仲良く暮らしたい
今までどおり普通に暮らしたい。
今までどおり普通の生活。
今までと同じ
今までと同じ場所に住む。
今までと同じ様に現在生活している所で暮らしたい。地域社会の存続はどこまでやれるのか？現在住んでいる所でどこまで介護が受けられるのか？
今までのところに住みたい。
今までのようでいい
今までの自営業を早く始めたい
今までの所で息子たちと同じように暮していきたい
今までの所で暮したい
今までの所に暮らしたい。出来なければすべてが心配
今までの生活でいい
今までの生活をしていきたい
今までの地元に帰りたい。近所の人や家族が集まれる場所。
今までやっていた自営の店を早く始めたい。とにかく「前に進む」だけ。
今まで持っていた土地を，どのようにしてもらえるかが不安。
今まで住んでいた家はとても便利のよい所なので，また同じ所で夫と二人で暮らしたい。
今まで住んでいた所。
今まで住んでいた所に帰りたい。
今まで住んでいた所は不便なので女川の復興住宅に住みたい。年金暮しなのでできるだけ安い家賃で願いたい。
今まで住んでいた女川に戻りたいが家族の仕事の関係でどうなるのか？
今まで住んでいた場所に住みたい。
今まで住んでいた場所に宅地増成していただいて，旧地区の方が一緒に家を建てて暮らしたい。
今まで住んでいた付近に住みたい
今まで住んでた場所に前の地域の人たちと暮したい
今まで清水に住んで居ましたが仮設住宅は，知らない人ばかり前の様に清水区の住民と一緒に住みたい。
今まで生活して来た部落で生活した。生計の確保が一番に考えられる。
今まで通り
今まで通り，長男夫婦と一緒に暮したい。
今まで通りがいいが，この先子供達に戻って欲しいと思う。
今まで通りここで
今まで通りここで家族と暮らしたい
今まで通りここで家族と暮らしたいが，車が家まで入れないので他のところを探している
今まで通りここで元気に暮らしたい。あまり若い人に迷惑をかけないように
今まで通りここで子や孫と暮らしたい
今まで通りここで生活したい
今まで通りここで生活したい。
今まで通りここで配偶者と一緒に生活していきたいと思います。近所同士で仲良

く暮らしたいと思います
今まで通りここで暮らしたい
今まで通りこの家で家族と暮らしたい
今まで通りこの場所
今まで通りこの場所で暮らしたい
今まで通りこの町で暮らしたい
今まで通りです。
今まで通りに暮らしたい
今まで通りの家族で
今まで通りの生活がしたい
今まで通りの生活でいい
今まで通りの地域で生活したい
今まで通り家族と一緒にいたい
今まで通り家族と共にこの町で暮らしたい
今まで通り家族と暮らしたい
今まで通り海の仕事をしてここで暮らしたい。
今まで通り住み慣れた所に居たい。
今まで通り地元で生活がしたい
今まで通り地元で生活したい
今まで通り地元で生活したい。
今まで通り地元で生活していきたい
今まで通り地元で暮らしたい
今まで通り夫婦仲良く暮らしたい。
今まで通り暮して行きたい
今まで通り野菜を作りここで暮らしたい
今まで同様ここで家族と暮らしたい
今まで同様ここで健康に暮らしたい
今まで同様ここで暮らしたい
今まで同様ここで暮らしたい(行政区長の妻)必要とされている限り
今まで同様家族と暮らして行ければ良いと思います。津波で家を失った人が数多く居る中で，自分は自宅も在り変わらず生活できるので十分満足している。
今まで無料になっていることが，戻って支払いすると家計がぎりぎりなので不安。高齢者本人とその家族のフォローも含めて高齢者福祉を考えてほしい。おむつ以外にもおしりふきなど介護に必要な物が自由に選べるようになると助かる。
今回の震災で家族などを失い仮設住宅などで不便な生活をしている人が沢山いる中で多少の被害があっても自宅会社とも残り現在は震災と変わらない状況で暮せているのでそれだけで十分だと思います。
今回被害はなかったが，これからないとは限らないので防災対策をしっかりやってほしいし，自分もしていこうと思う。
今現在，息子夫婦のお世話になってるので，このままお世話になりたい。
今現在と同じに暮らしたい
今現在不安に思う事は原発の事です。自分達は高齢ですから，現住所で暮らしますが孫達は成人して女川を離れてほしいと思ってます。
今現在娘と一緒に住んでいますが，今後も一緒に住むので安心です。
今現状維持　町営住宅を建ててもらってそこに住みたい。
今後も住み慣れた女川で暮らして行きたいので，早急の復興を望みます。特に地域の整備，道路の拡大をして下さい。
今住んでいる所が一番(住みなれた)
今住んでいる所で十分です。
今住んでいる地域で高台に家を持ちたいと思っています。
今落ち着いたばかりで先のことは考えられない。
最後には娘(横浜と仙台)の所に暮らしたい
妻が津波にのみ込まれたので，将来は生れた土地へ移住しようかと思っている(子供がいないので，妹の家族と暮すことになりそうだ)心の復興は一番むずかしいと思う。生きている間は長い時間をかけるより仕方がないように思う。
妻と現住居で
妻を津波で行方不明でこれからどうしたらいいかわからない
災害前の家。子供と暮らしたい。
財産・自分の大切なもの・車・仕事，全部流され，ストレスを感じる。
三年前に息子の定年退職に伴い東京よりこの地に来たがこの様な大災害にあうとは・・・幸いに自宅はまったく被害は無く息子夫婦の世話でこれからもこの場所で生活をしていく予定
残った自宅でダンナとこのまま暮して行きたい
仕事
仕事，収入がない。義援金も仮設の用意でなくなってきている。一年後保険税を払うようになると心配。
仕事(水産業)の関係もあるし，女川に住みたい。出来れば前の所に
仕事(水産業)の関係もあるし，女川生まれなので女川に住んでいたい。出来れば前の所に住みたい。
仕事(生計)
仕事があれば人口も増えると思う　部署に戻りたい人もたくさんいる
仕事がないので，人口が減っていくと思う
仕事がなく一日中仮設でひきこもりになるのが心配。家があった所で花をやろうと思う。
仕事に対しての不安
仕事の場所の確保・ボランティア活動
仕事の都合で以前の住んでいた高台に住みたい。
仕事の都合で今まで住んでいた高台に住みたい。
仕事の都合上，不便ではあるが，以前住

んでいた所に帰り家をたてたい。
仕事もあるので今まで住んでいた津波のこない高台に住みたい。
仕事をしなくなり運動する量が減った
仕事をする為には，今まで住んでいた所に戻りたい。
仕事をする場所があれば人口が増える
仕事を見つけ家族と元の生活がしたい
仕事場
仕事場が必要
姉妹で同じ所にくらしたい。
子のまま暮らしたい
子供がないため特にないですが
子供たちが住んでいる浦宿・鹿妻に住みたい。
子供と一緒に暮らしたい
子供と同居。以前住んでたところには，不便なので帰らない。
子供と同居。以前住んでた島には帰らない。
子供と暮らしたい。
子供にまかせている。
子供の家が流され孫が転校，転校で可愛そう
施設に入りたい
施設を利用している祖母がいるので，生活面でも年金で暮らしていかないのかと思うと，主人と二人三脚で小さいながらも家を建て町で暮らすより(以前は島なので，これからライフラインも正常で見通しもくらいので)しかない現在です。
私たちは島で漁業をして生活したいが，流され養殖漁業で生活をしていましたが海の物が全部流されて何もないので仕事が出来ないです。
私の家は高台にあったが津波がそこまで押し寄せてくるとは思わなかった。幸いに住む所が見つかり，そこに引っ越しましたので不安はあるが女川町に居るしかないと思う。家族で住んでいるので今はそのまま住みます。
私はここの仮設住宅にいられるだけいて，後は子供達の言う事を聞いてどこに行くか・暮らす所もまだ決まっていないので一緒にいくしかありません。今までより元気で頑張らなきゃとの思いが強くなった。
私自身は女川でくらしたいと強く願っていますが，復興しだいでどうなる事でしょうか。
寺間で暮らしたい。戻りたい。子供，孫と一緒に住みたい。
時間長い時間。何気ない優しさ。話し相手
自営業なのでこれまで以上に仕事を頑張りたいです
自宅
自宅があったところに戻りたい
自宅が残ってるので現状の生活でよいと思っている。
自宅が無事だったので現状のままで大丈夫ですが，町内の復旧を早期に望みます。
自宅で
自宅で。
自宅でいまのままで
自宅でこのまま暮らしたい
自宅で奥さんと
自宅で家族3人で暮らしたい
自宅で家族と
自宅で家族と一緒に
自宅で家族と一緒に暮らしたい
自宅で今のまま。
自宅で今のままでいいです。
自宅で今の家族で
自宅で妻と暮らしたい
自宅で夫と暮らしたい
自宅で暮したい
自宅で暮らしたい
自宅で暮らしたい。
自宅に住みたい。色々な催しに参加したい(一人暮らし)
自宅に被害がなかったので，同じ所にいます。
自宅に被害はあったが暮らしてます。このまま暮らして行けばいいのですが，同じ被災者として何の支援も受けれないのが残念です。
自宅に被害はあったが暮らしてます。自分たち以上に大変な生活もしていると思いますが同じ被災者でも何の支援も受けれません。在宅者の生活も考えて欲しい。
自宅の建設は無理なので・・・。どのようになるか不安。女川には住みたい。(75年住んでいる。)
自分が生まれた所に早く家を建てたい
自分が生まれ育った地域に住みたい。
自分が動けて自分で自分の事が出来るまで，自宅で生活するつもり。子供達には頼れないので，最後は施設に入れれば良いと思うが，現在夫は透析中の為自分が当分頑張らなくてはならないし，夫中心の生活を送らざるを得ない状況です。
自分たちの健康が一番大切
自分の家がほしい
自分の家が残っているので，そのまま
自分の家で。
自分の家に住みたい。一人で暮らしての不安はないが一人でどこで死ぬんだろう。
自分の健康　若い世代にお願いします
自分の故里でこれまでと同じ漁業と共に暮らせたらと思うが，漁をするものが船もなければ海岸は70も下がって現状では

船を付ける場所もなければ，船を引き揚げる場所もない。この様なため大部分の人は漁師をあきらめざるをえない状態にある。
自分の事は自分でやりたいと思う。みんなに迷惑はかけられない。
自分の出身地は福島で福島に帰りたい気持ちはあるがやはり女川に住み続けていきたい。出来れば孫たちとも一緒に暮らしたい。
自分の土地があるのでそこで暮らしたい。息子夫婦と暮らしたい。
自分は高齢者なのであと何年生きるかわからないがこの町が早く復興しないと若者達の仕事先がないのが不安である
自分は女川から離れたくない。（子供の仕事の関係でどこに行くのかわからない）
自分自身の健康
実姉と一緒に女川に住み続けたい
社会に迷惑をかけないようにしたい
若い人たちが活動出来る環境作り
若い人たちの為に町の復興を望んでいる。
集会所が津波でなくなり老人会も解散となりコミニュティが無くなった。近くに仮設住宅がないのでボランティアも来ないしイベントもないので楽しみがない。交通の便が悪く買い物が不自由。夜も住宅の明かりもまばらで心寂しくなる。
集落が町より離れているので，孤独感があり，1人暮らしで，何かあった時心配
住みなれた，今の場所がよい
住みなれたところでくらしたい
住みなれた今までの地で生活し子供たちと暮らしたいと思う。
住みなれた土地で生活し子供達と残りの人生を生きて行きたいですがそれには自分の家がほしいです。固定資産税は大分納めて来ましたが今は家を建てる事は出来ず早く公営住宅に入りたいです。
住みやすい環境で生活したいので町が復興しなければどこか近くの住みやすいところへ移っても仕方ないと思う
住み慣れたところがよいのでリフォームして住む。
住み慣れた家でこのまませいかつしたい
住み慣れた家で家族と暮らしたかった。安心して暮らせる住環境になって欲しい。
住み慣れた家で良い
住み慣れた現在の場所で家族や友達と過ごしたい。自分の(から)の中に閉じこもって居ないで種んな事に参加しストレス解消しながら前向きに進められたら良いと思います。
住み慣れた今の家で家族と一緒に過ごして行きたい。
住み慣れた今の場所がよい。
住み慣れた今まで住んでいた少し高台に住みたいが自分では建てられないので町営等の復興住宅を造ってほしい
住み慣れた所が良い。
住み慣れた所で，もとの生活をしたい。
住み慣れた所で家族と一緒であれば幸せです
住み慣れた所で今のままで良い。
住み慣れた女川がいいが，実家の石巻に住んでもいいとも考える。
住み慣れた女川で暮らしたい
住み慣れた女川に住みたいが現状では何の見通しもなく，不安の毎日です。将来と言ってもいつまで元気でいられるかわかりません。交流の場が全然ありません。友達も近くに居ません。心の復興の為にも一日も早い町の復興（安心して暮らせる環境）や地域の人達の交流の場がたくさんあればと思います。
住み慣れた女川に戻りたい
住み慣れた土地を離れて他に移るがそこでの関係が心配
住み慣れた尾浦に戻り，また養殖をしたい。
住む住所，前の場所
住む所・・・女川　誰・・・家族と友達　心の復興・・・きちんとした家と国や地方のしっかりとした震災復興支援制度
住む所が心配，低い所にいたので前の場所には住めない。
住んでいた場所には戻れないので，別の所に土地を求めている。息子と孫と息子の奥さんとおっぴさん達と暮らさなければならない。
住宅，仕事が必要だと思う
住宅と仕事
住宅地なり場所が決まらないと一歩が踏み出せない
出島で暮らしたい
出島には帰らない
出島には住めないのでとても不安
出島には戻れない。町の方針に任せる。
出来ることなら子供達と暮らしたいのが夢です
出来ればこのまま自宅に住みたい。近所の人達が良い人達なので。（庭の前側が少し落ちているので，このまま住めるかどうかわからない。
出来ればこの地域みんなで暮らしに行きたい
出来れば女川で生活したいと思っているが先が見えない。
出来れば女川に住みたい
出来れば女川町で住みたい
出来れば女川町に住みたい
出来れば震災前のいた場所で住みたい

が，まったく生活環境の変わった所で，将来どのようになるか心配です。
出来れば地元で一生を送りたい。国民年金でも暮らしていける生活環境であります様に。
所有地に住居を持ちたい。
女川
女川，前に居た清水町で暮らしたい。町民アパートか町民住宅で暮らしたい。年金1ヶ月が少ないので，生活保護をもらいたい。
女川，前の場所。
女川（海のある所）には住みたくない。町外希望
女川（出来れば前の所に住みたい）
女川（塚浜）に帰りたい。元の近所の人達と過ごしたい。
女川が良い。生まれ育った町が安心する。
女川で，できれば前の所に住みたい。
女川では暮らしたいが，今現状をみると考えてしまう。早く町を復興してほしいです。
女川で家族で暮らしたい
女川で子と孫として暮らしたいです。
女川で自分家を持ち，親子水入らずで暮らせたらいい。
女川で住みたい
女川で住みたい。自宅にあった場所にできるのであれば夫と住みたい。
女川で商売しているので，女川に残るしかないが，仮説は嫌だったので石巻に。しかし不便。
女川で商売はもうしないので便利性のある石巻（娘の近く）で生活したい
女川で生活がしたい，強く思う。
女川で生活したいが，家が無いので帰られない
女川で息子と暮らしたい。息子が元の会社に出来る様になって欲しい
女川で暮したい
女川で暮らしたい
女川で暮らしたいが土地がない，早く土地を確保したい。
女川で暮らし変わらない山河を眺め静かに暮したい。
女川にいたい
女川には居たいが，今後又同じような事が起きると思うと不安
女川には住みたくない。妻を亡くし家も無くなった
女川には住んでいない予定。
女川に家を建てたい。
女川に居たいが住む家がどのようになるかとても不安になる。
女川に元の場所に家を建てたい。
女川に住みたい
女川に住みたい。
女川に住みたい。もとの住んでいるところに
女川に住みたい。町営が建てば移りたい。
女川に住みたいが町の対応が悪い。
女川に住み続けたい
女川に住み続けたい。そしてみんなで高台移転
女川に戻り，みんなで生活したい。
女川に戻りたい
女川に戻りたい。
女川に戻りたいが，年なので自分で家はたてられないので町営等安く入れる住宅に住みたい。
女川に戻りたいが若い人は戻らない。働く場所があれば良い
女川に戻りたいが場所が無いので，息子さんの考えでいきたい。
女川のグループホームで暮らしたい。
女川の高台
女川の地に住みたい。
女川の町営住宅
女川は自然に恵まれすごく住みやすかったが（子供は仕事がないので都会で生活しているが）今回の震災でもう女川には住みたくないと思っているが，今住んでいる家を売って蛇田に行きたいと思っている。（夫が病気で日赤に通院しているため）
女川を出る
女川町
女川町が好きだが原発があるので福島の様にならないように祈っている。何とか代替えエネルギーで出来ないものだろうか。町の姿勢が気になる。町民が安心して暮らせる様にして欲しい。原発継続となれば女川町をでて行く事も検討している。
女川町で夫婦で安心して，安住できる場所がほしい。
女川町で暮したい
女川町で暮らしたいが主人が亡くなった時は老人ホームに入るか，娘の所へ行くか思案中である。
女川町で娘と一緒に暮らしたい。自宅があった同じ場所で暮らしたい
女川町にこだわっています。今は仮設で皆様のご支援に助けられて生活刺せてもらっています。できるだけ早く津波のこないところで家を建てる気持です。場所は夫が若い頃に用意したものがあります。家のないことは大変なことです。小さくてもいいです自分達で生活出来るように考えています。
女川町にずっと住みたい。家族，愛犬と暮らしたい
女川町には戻りたくない。思い出してしまうから，ここ内田の仮設住宅は買い物も

便利で環境もよく安心して住める。
女川町に住みたい
女川町に住みたい。出島に行くのに便利だから。町営住宅に住みたい。
女川町に住みたい。町営住宅ができればそちらに移りたい。
女川町に住みたい。町営住宅に入りたい。
女川町に住みたいと思います。自営業です。息子が後継ぎをするとの事ですが若者がこれからの女川町の復興の為にいろいろな案を出して欲しいと願います。若者が女川から都会へ流れ去らないで居られる(暮らせる)明るい町作りを検討していって欲しいと願います。若者が集う場所等々沢山出来れば良いと思います。
女川町に住み続けたい。
女川町に暮したい。できれば町内の住宅に
女川町に暮らしたい。(できるなら元の自宅があった場所)に。できれば子供たちと一緒に。孫たちも大きくなっているが，行ったり来たりできるように近くに住んでもらいたいのが一番の希望である。
女川町に戻りたい。実家の父母も家を失い民間の賃貸住宅で生活しているが一緒に暮らしたいと思っている。
女川町に老人の福祉センターが欲しいです。女川町で安い家賃の住宅(年金で生活出来る)が欲しい。
女川町の区画整理が決定された時に考える希望は自分の土地で生活したい。
女川町の高台に家を建てる
女川町の石浜で生活したい
女川町の宅地計画がまだはっきり決まっていないのでこのまま様子をみている。
女川町の町営住宅(今，建替中)
女川町も福島と同じ原発をかかえており一番の心配。避難道路がない。(石巻線一本だけ)避難場所もガラス張り。一日でも早く土地(罹災した土地)の代替えがほしい。二重ローンを助けてほしい。
女川町高台
女川町高齢者住宅に入りたい。
女川町内
女川町内で今迄通りの生活ができれば
女川町内にすみたい
女川町内にすみたいがどうなるかわからない
女川町内に住みたい
女川町内に戻って昔の住人達と暮らしたい。
商店
商店がほしい
商店が無い　元の町に戻って欲しい
商店会と住宅地の設備
商店会と住宅地の設備　生活費もかかるので大変だ
商店会の復旧を早めてほしい
将来についてはまだ考えられない
将来の生活がとても心配です。土地も無く不安です。どこに住むかあてが無い毎日です。
将来は以前と同じ地区の皆さんと近くに暮らしていきたい。夫が90歳になるので一人での介護は大変で，娘も頻繁に来てはくれるが，以前は近くの人達が声を掛けてくれたりし，助けられたので，そういう生活に戻りたい。一人での介護は本当に大変です。
将来は女川で生活して行きたい。今までと変わらない生活をしたい。
将来への先がない(高齢なので)ので現在の所で生活を続ける以外に選択肢はないと思う。少しでも心穏やかに過ごしたいと願うので，私たち住民で出来る事は努力するし，私達の及ばない事は，自治体・県・国の頑張りにかかっていると思う。
将来も，仮設の土地は自分の土地なのでその土地で家族と今迄の飲食業を準備してるので。
少ない年金で生活できるか心配
障害児が居るので，ここで暮らす他ない。
子供の事が心配。
常に孫の心配をしている
寝たきりになった時が不安
心の整理がつかない
心の復興に関しては一般論としてやはり職の安定による所大なので私の会社でも一人でも多くの雇用に貢献できたらと考えています。
心の復興の為に家が必要
親子大勢で暮らしたい
親戚の所で今暮らしてるが，とても便利で孫たちの将来のこともあり，石巻に家を建てることにした。
親類と離れ離れになってしまったので近くにいたい
身体が許すかぎり自宅で1人で暮らしたい(子供がいないので頼る人がいない。)
身体が許す限り自宅で暮らしたい。息子は仕事で年に数回しか帰らないため，子供達の負担を考え他の町で新たにマンションでも購入し暮らしたい。
震災うけてないし年ですので今のままで良い
震災を受けた我が家は，高台で15mの所に建っていました。生活環境もよく，地域のコミニティーもよく，とても住み良かったので，又その場所に地域の人達といっしょに住みたいと願っています。又，家族(6人)なので学校，保育所などもあれば良いと思います。
震災を忘れる為に体を動かす。

震災後，息子と三ヶ月過ごした。落ち着いてから帰って来た。一緒に暮らそうと言われたが住み慣れた所がいいので元気なうちは一人でも頑張って生活したい。
震災後は，逆にしっかり食事を取り，他の人に迷惑をかけない様にしている。人のおせわをするのも嫌じゃないので，同じ仮設に住む人と仲良くやっていきたい。
震災後は色々と考えるようになった。このまま自宅に居たいが息子が住む仙台の方が生活をするのに不便を感じないのでは？と今はまだはっきり言えない。
震災後は色々と考えるようになった。自宅に居たいが仙台の息子の所に行った方が不便を感じずに生活出来るのではないかと･･･。今はまだはっきり言えないが。
震災後人口の減少により特に若い世代の他市町村に流失によりこの先この南三陸町が心配になる早く復興計画をせし希望が持てる町にして欲しい
震災前と同じかわらない生活がしたい。
震災前と同じ所に家を建てて息子や孫達と暮らしたいです。
震災前と同じ所に家を建てて孫達と暮らしたいです。
震災前と同様に家族一緒にくらしたい。
震災前に暮らしていた場所に住みたい。
一日も早く,5年も10年もかかったら，私達はこの世に居なくなってしまう様な気がする。
震災前の行政区の世帯数は170世帯ありましたが，現在は17世帯です。今後この地区には一般住宅は建築は許可ならないのが残念です。このことから地域コミニュティが存続出来ないのが残念です。
ここに住んでから50年にもなりますので将来ともこの地区で現在の家族と一緒に暮らしたいと思います。
震災前の今までどおりの生活に戻れば充分
震災前の住居が希望だが，規制上難しい場合は，その周辺の安全な場所，高齢者の健康維持の取組。
震災前の所で生活したい。
震災前の場所に1日も早く住居が建てられる様，それができないなら，震災前の高所に部落民が一緒に暮らせる土地を早く作ってほしいです。
震災前の場所に早く公営住宅を建ててほしい。これから10年なんてまてません。早くつくって今までの部落民と一緒に暮らしたい。
震災前の地域の人達が一緒に暮らせる場所
震災前の地区にすみたいが津波の来ない高台に家族はもちろん地区の方々と同一地区に
震災前の様に，一緒に皆と暮らしたい
震災前は家族と一緒に住んでいたが，借り上げ住宅の際，息子は仕事で家にいる時間が少なくなり，一人では心配という声で老人ほ゜むに仕方なく入った。前のように自分の家で暮らしたい。
震災前は息子達と住んでいた。みんなと一緒に住みたい。(前と同じ場所)
震災前は息子達と同居してたが仮設に入って別々なので前のように一緒に暮らしたい
震災前は息子達と同居で８人暮らし。今は仮設で別々なので一緒に暮らしたい。
震災前後，特別生活環境が変わったわけでもないのし，今まで通りに生活できているので心配などない。
震災前住んでいた場所付近に住みたい。
人間関係，協力してみんなで生きる。健康に生活
人口増加
清水町で暮したい。
生きていれば明日は何とかなると思って生きている
生まれ育ったこの女川の地で生活を考えています。そのためにも一日も早く復興を願っています。
生まれ育ったところで生活していきたい。
生活はここで　病院，商店が少ないので大変
生計の確保
静かにここで暮らしたい
石巻，女川，現在の家族。住む土地。
石巻で生活
石巻で生活する。
石巻に自宅は完成しているが，区長をしている事もあり，まだ住めない。東京から娘も帰って来る。
石巻の娘所有のアパート
石巻近郊，娘，孫
石巻方面に住みたい。
仙台に住む息子と将来同居することで二年前に二世帯住宅を建て，元気なうちはこちらですごす予定だったが震災で仙台へ行くのが早まった。
仙台の長男の所で暮らしたい。(一人暮らしなので)
先が見えてないので具体的にわからない。
先にも書いたように家内の病状から目が離せなく，時々救急車のお世話になっています。せめて古い家でもよいから平屋の私たちの目の届く畳の部屋でう余生を送らせたいと切実な願いを実現してやりたいと思っています。
先のこと(自宅，宅地，ほか)がはっきりしていないので具体的に考えることができ

ない。
先の事はまだ考えることができない
先の事は余り考えられない。一日一日自分でできる事を精一杯頑張る
前と仕事は同じだが，場所と人が変わったのでストレスで吐いたことがある。
前と同じ所に住みたい。
前と同じ所に生活したい。家族と･･･。何かやる事がほしい。
前のところで。
前の家の近くにくらしたい
前の所，女川にいたい。雇用　広報等で雇用のあっせん情報がほしい。来年から保険料など支払いがあると仕事がないので経済的に心配で不安だ。
前の所で住みたい
前の所に住みたい
前の所に住みたい。
前の同じ地区で暮したい
前の様に歩けなくなった。家族が病気になりひとりで家に置かれることがある。1人でいると震災の事を考えてすごく不安になる。
前は浜に住んでいたが病院や店が近い。女川町内の高台に住みたい。
前向きに行きたいと思っています
曾孫が遠くに住居を移したので，行政での一日も早く町の方針を定め，町民が共に家族，地域体制に戻れる様望む。
早く家が建てられて，家族みんなでくらしたい
早く元通りになることが『心の復興』では？
早く私の土地に家を建てたい
早く女川へ帰り，家族みんなで生活したい
早めの復興
早期の女川の復興を望む。漁業で生計をたてていたので，それなりの仕事が出来る様になってほしい。
早期の復興を期待する。狭い集落だからこそしっかりケアをしてもらいたい。時に孤立したところの家に残った人たちを
息子がよくしてくれるので，心配ない
息子から自分のところに来いと言われるが自分はあまり行く気がしない。このままではいけないとおもっている。
息子が家を建てて一緒に住もうと言っていますが，何年たつかわかりません。一緒に住みたいと思います。
息子が漁業もしないので出島にも戻れない。将来どこに住んだらいいか不安。
息子が死亡し幼い孫3人が残されたので，震災時生後25日だった3番目の孫が成人するまでじじ・ばばとで頑張りたいです。
息子が亡くなり孫を大学卒業させたい。
土地を買い家を建てたい。
息子さんが女川町内に居る。家は無事だったが商売はダメになってしまった。
息子さんが独身なので息子のことで多少心配している。自身が健康でいることに努めている。
息子たちと一緒に暮らしたい
息子たちと暮らしたい。場所はどこでもいい。
息子と一緒に住みたい。
息子と今まで通り暮らしていきたい。
息子と生活したい。
息子と町内で
息子と離れて暮らしているので運転も高齢になると，出来なくなるので，今一番要望しているのはJR仙石線と石巻線の早期開通を望む。とにかく一番の困っていることです。仙台へのアクセスの整備です。バスとかはありますが。
息子に就職が一番心配
息子に任せている
息子の意見に従い生活していく身なので，任せている（あまり深く考えていない）本心は町内に住み，家を建てたい。高台移転しても，元の地区の住民とくらしたい。
息子や孫と一緒に暮らしたいと思っています。地元には家が建てられないのが一番つらいです。早く復興計画をだしてもらいたい。
息子一家と一緒に住みたい
息子家族が被災しているので家族で生活できる場，落ち着ける場（仮設ではなく）がはやくもとめられるように思う。
息子夫婦と暮らすものだと思っていた。今回，一か月暮して今までには感じなかった思いを抱く様になった。（嫁さんの言葉）
自分の気持ちだけではこれから先も一緒に暮せないと思った。今は一人で頑張って生きて行こうと思っている。一緒に居た人が流されたのでそれを思うとショックです。
息子夫婦家族と一緒に暮らせれば場所はどこでもよい。
足が不自由なのでこれからが大変
続く支援，医療費，老人ホームのお金の軽減
孫（中学・高校生）の将来，就職先雇用，形だけの復興ではなく中味もしっかり復興してほしい。
孫が石巻に居るので，石巻かその周辺に中古住宅でもいいので買いたい。
孫たちが安心して学校に通える道路の復興。自宅で家族と一緒に今までどうり。自分にできることをこれからも趣味でやってる踊りを通して施設など慰問を続け少しでも楽しみを一緒に分かち合えたらと思う。
会話思いやり。相手の話を聞いてあげら

れる人間になれたら･･･
孫たちが早く帰ってきて一緒に暮らしたい。
孫たちと同居したいが被災した町では今後不可能であると思う。しかし住みは慣れたところを移ることも決断しがたい
孫たち家族を呼んで一緒にここで暮らしたい（震災前は四月からその予定だった）
孫と一緒に女川で暮らしたい。
孫と子供は原発のない所で暮らさせたい。
配偶者と一緒ならここで暮らしたい。
孫の事を思えば，どこがいいのかはわからないが子や孫と一緒に暮らしたい。以前の様なデイサービスの再開を希望している。
孫の将来の事が不安
孫の成長が見たい
多少家の状態（被害あり）は悪いが，現在の生活を続けて行きたい。嫁と孫は仮設住宅に住み，息子は我々と同居中（高齢者二人を自宅においていけない為。）
仮設住宅に５人は狭すぎる。
体が健康なうちは女川で暮らしたい。（竹の浦の人達とも暮らしたいが，交通が不便）
体が元気なうちは一人で頑張りたい。具合が悪くなったら息子の所か老人ホームに申し込むか考える
代々継がれてきた元の集落地に早く戻れるよう，復興をお願いしたいです。
台風のたびに冠水するのが心配。
大規模半壊で家が傾いている所で生活している。まだ家を壊す予定も立たないし，次に住む所も決まっていない。町内にくらしたい。
宅地ができ，商店街ができ人口が増えて欲しい
宅地の確保を進めて欲しい
沢山の方とお話しがしたい
地域との交流を密にする為に公的行事を行っていただけると地区の新たな交流が構築されてゆくと思われるのですが。
地域に娯楽がもっとあればいいと思う
地域に集会場（？）がほしい。
地域のつながりの存続
地域の皆さんと一緒に暮らした。
地域の集まり（おちゃのみ会）がほしい
地域の人たちと一緒ならどこでも
地区の集会所が欲しい
地区毎に移動したい。戻りたいが怖い。
情報が心の安心につながっているので掲示板に貼って終りではなく対応してほしい。
地元で家を再建したい，しかし一方で地元を離れて子供と暮らすべきか悩む。経済・住宅的問題の解決が心の復興に一番つながる。若い人の仕事（漁業）現場を見ると心がいたむ（働きたいが出来ない）
地元で家族で一緒に暮らしたい。
地元で家族と暮らしたいが，高齢のため家を建てるのは，今から困難
地元で現在の家族で暮していければよい。家に被害はあったが，残っているので幸せと思わなくてはと考えている。
地元で今まで通り家族とくらせればよいと思っている。早く町の復興（特に水産関係）が進み，以前の生活に少しでも戻れる様になれば「心の復興」に通じるのではないだろうか
地元で子供達と暮らしたい。漁業に見通しが立てば子供の仕事（漁業）を手伝いたい。現在は夫の病気で生計は立てられない。
地元で生活が出来，震災前の地域の人たちと生活出来たらいいと思う。心の復興には自分もわからない。でも，何か熱中できる物があったらなぁと思います。
地元で生活したい
地元で生活したい。体が続く限り自分で地元で生活したい。
地元で生活したい。知人・友人・家族と常にコミュニケーションがとれる場所が欲しい
地元で生活していきたい
地元で町営住宅でくらしたい。
地元で病院も済ませたいし自宅も離れたくない
地元で娘と暮らしたい。年齢の関係で家の再建不可能なので町営公営住宅に入りたい。その為国の政策の早い行動を求む。造成や漁港を早く！
地元にもどり，元住んでいる所に家族みんなで生活したい。
地元に家を再建したい。避難中は何度も，被害を受けた自宅を見に行った。
地元に帰りたい，今まで通り家族と一緒に生活したい。早く自分の家，自分の部屋でゆっくり余生を過ごしたい。
地元に住みたい。
地元に戻り，家族と住みたい。」
地元に戻り，今まで通りに家族と暮らしたい。
地元に戻りたい
地元に戻りたい。女川町を早く復興させたい。
地元に戻りたいが年もとっているので，戻ってから生活できるか心配です。
地元や元の場所で生活したいが，いろいろ考えると，難しく，他の土地で生活した方がよいと思うことがあり決めかねている。家族（特に女性）は海の見えない所に暮らしたいようです。

地元女川に住みたい。できれば元の同じ地区の人たちとまた一緒に。町営ができるのであればそこで暮らしたい。
地元女川に住みたい。できれば元の同じ地区の人たちとまた一緒に町営が出きるのであればそこで暮らしたい。
地元生活にこだわっていない(年齢の関係上)。体の許す限り二人で暮らしたい。
地震で家が壊れたので仮設にでも入りたいがだめらしい。今度，大きい地震が来たら心配
地盤が下がったので台風で冠水するのが心配。このままであれば移転も考える。
地盤が心配
地盤沈下，がれきが万石浦湾に沈んで漁業が心配
竹浦に戻りたいが家を立てられるか不安
町がこのようになり何も考えられない。
町から流出した人達に戻って来て欲しい
町が早く欲しい。人とのふれあいが欲しいです。寂しいです。
町が復興すれば孫たちと一緒にここで暮らしたい。
町の復興
町はダメになったが，新たな町ができればよいと思う。
町営の住宅の設備
町営住宅
町営住宅ができたら，そこに入りたい。
町営住宅ができたら，そこに入りたい。いつできるのか見通しがたたないので不安
町営住宅ができれば，そこに住みたい。
町営住宅が出来たら，そこに入りたい。
町営住宅に住みたい
町営住宅の希望
町営住宅を希望，孫たちは成人しているので早く出たいようだ。夫婦落ち着いて暮らしたい。
町営住宅を希望する
町営住宅を希望するが一戸建てを希望
町営住宅を建ててもらって女川に住みたい。
町営住宅を建設してほしい
町外にある病院の近い所に移り住みたい。
町外のある病院の近い所に移り住みたい
町議会の対立が収まらないうちは復興にならない
町内
町内でくたしたい。
町内での生活を希望。孫，ひ孫達の成長を祈りたい。
町内で生活したいが，町内で子供たちが仕事に就けるか？
町内で町営住宅に住みたい
町内に住みたい。家屋建設の時，いくらでも補助金が有れば良いと思う。
町内に住みたい。元の自宅のそばがいい。
町内に住む
町内に留まりたい。大きな不安の中答え(考え)がまとまらない。
町内の高台移転，出来れば息子と共に
町内の高台移転，出来れば息子と共に。
町内を離れて息子(東松島市)の世話になる。
長男(千葉県)の所に行きたい。
長男が津波で流され見つかっていないので寝つきが悪い
長男が透析を受けているので将来が心配
長男が独身なので将来どこに又どのようにして家を建ててやったらよいかわからない。先の見通しがたたない。自分は地元で生まれ育っているので出来れば地元で暮らしたい。
長男のところ(仙台)
長男家族の住居の近くで，仲良し友達も近く居て，暮らせたらなーと
長男夫婦と一緒に以前のところで新しい家を建て暮らす予定
直接的ではないが気持ちが少しずつ離れているようなきがする。人の輪，助け合い，協力しあうこと
津波で家を流されて，こうしていられることがありがたい。
津波の影響がなかった(高台なので)。ここで家族のみんなと一緒に過ごして行きたい。
津波の心配のない高台の復興住宅で生活したい。
津波の来ない所に暮らしたい。若い人達の為に早く仕事を増やしてほしい。安定した収入がほしい。
通院，買い物に連れて行ってくれるサービスが欲しい。今は弟に頼んで連れって行ってもらっているが，弟にも生活があるので頼んでばかりでは悪いから。
通院が不便。往診してほしい。
土地の問題がはっきりしないと動きようがなく不安
土地を買い上げてもらえば家を建てたい。
土地を戻してそこに住みたい。(別の高台)希望を持って頑張りたい。
島での生活は出来ず，町で暮らすより他がないので，妻と一緒に小さい家でも建て暮らそうと思っています。
島に戻りたい
島に戻りたいが･･･娘宅にいると思う。
当分の間は，現状の生活でよいと思ってる。しかし家の修理や健康面(自分と夫)を考えると将来は子供の家へ引っ越し同居した方が良いかどうか同時に考えてい

る。(現在町外に住む，子供の仕事を時々手伝い行き来しているので。)
糖尿病を患っているため，これから仕事をする事が困難なので女川町内にこだわらず年金で暮せるくらいの住宅が建てばいいと思っている。
働く所がなければ絶対に『心の復興』にはならないと思う。
動けなくなったら長男が面倒を見てくれるので現住所には移住しなくてよい
動けなくなった時相談したいがどこにどの様に相談してよいかわからない。定期的に訪問して相談ののってほしい。
動物用の食べ物の支援もしてほしい
同じ
同じ処に住みたい
同じ所
同じ所(旭ヶ丘)
同じ所(海の見えるとこ)で，家族と
同じ所(自宅に被害がなかったので‥)
同じ所(特別被害が無かったので)
同じ所(利府にいる娘が来いと言ってくれるにで私は言ってもよいが，息子が女川を離れたくないと言うので一緒にいる)
同じ所で
同じ所で。
同じ所でくらしたい。
同じ所でくらしていく。
同じ所で家族と暮らしたい。
同じ所で姉妹でくらしたい。
同じ所で住みたい。
同じ所で生活したい
同じ所に
同じ所に(特別被害がなかったので)
同じ所にいたい
同じ所にいたい。
同じ所にいたいが･･･
同じ所にいる
同じ所にくらしたい
同じ所にくらしていく
同じ所に家族で…。
同じ所に居たい
同じ所に住みたい。
同じ所に住みたいが…
同じ場所
同じ場所で
同じ場所で生活したい。漁業で生計を立てたいが，放射能が心配。資金を出して漁をして果たして売れるかが不安。
同じ部落に居たい。離れたくない
特にない
特にない。
特になし
特になし(自宅に現在住んでいるので現状でほぼ満足している。)外出して気晴らしができなくなった(交通の便が悪い為)
特になし
独り住まいなので，老人ホーム等に行きたいと思っているので心の準備はしている。
南三陸町で家族で生活していきたいです
南三陸町で暮らす。
二人で生活しているので，多分他の地域に行くと思います。
二世帯住宅をたてて，娘一家と息子とくらしたい。女川にはいない。
二年後の住居に不安(前の所に住みたいが･･･)
認知症がひどくなったら心配。介護認定が認めてもらえるか心配。今後ひどくなったら申請を考えるが家族でみられるうちはみる。
認知症なので回答できない
年金で生計を立てているが病気したとき，経済的に心配。
年金額が不安
年金生活なので年金を下げないでほしい
配偶者と町営住宅に住みたい。
買い物する場所が近くに欲しい。働く場所があれば遠くに行った人も戻って来ると思う。
被災してないので今のままで十分
避難してきた家族の将来が心配
美容院とかなくて行きたくても行けないので活性化して欲しい
病院がちかくに欲しい。
病院がないので不安。(仮設なので寒くなると大変)
病院の近い所。配偶者と子。家。
病院や娯楽施設がほしい
病院を近くに立てて欲しい。商店会も近くに欲しい
不便な生活だったが小さいころから志津川を離れたくない
夫が老健に入所している為に特養に入所させたい。どこも200人以上待ち。自分の宅地がどうなるのか早く復興計画を示してほしい。それが一番の心の復興になると思います。
夫の健康
夫は事務所を石巻に移しましたが私はパソコンも何もかも流失し(家)，今手書きで仕事を仮設内でしてますが，この先何年続けられるかとても不安です。
夫婦で女川町に住みたい
夫婦二人で浦宿で暮らしたいが1人になったら老人ホームにでも入りたい。娘の所には行けない。
夫婦二人で家を建てて暮らしたい。
部落の人達は，皆一緒に同じ所に住みたい。
部落を離れたくない。
復旧の遅れ。仕事。
復興住宅ができれば，そこにはいりたい。

分からない
別にないというか，わからない。
変わらず家族と一緒に暮らしたい
変わらず住みたい
変わらず住み慣れた家で暮らしたい
変わらない生活がしたい
変わりなく生活したい。今まで通りの家族。
変化なし
便利のよいところで暮らしたい
便利の良い所で暮らしたい
暮らしたい。そのためにも島での仕事がいろいろあればいいと思う。住民も減り高齢の島なので活気がなくさみしさはある。
放射能の影響で牛が出荷停止になったりでこれからが心配で早く安心して暮らしたい
毎日の仕事がなく収入もない。常に不安を感じている。このまま自宅（浦宿）で暮らしたい。
未だ　分らない。子供も被災。息子を亡くした。
夢も希望もないが，家でもとのように暮らしたい。
娘
娘がいなくなり，これから先何をどうしてよいか心配
娘が家を建てるので仮設を出るときはそこへ行く。健康でできれば1人でくらしたい。
娘が流され，高2中3男の子を残されこれから先，どうしたらよいかわからない。孫たちのこれからが心配
娘とここで暮らしたい
娘と一緒に暮らします。
娘の家なのでこのまま暮らす。
娘の近くで1人で暮らしたい。
娘の仕事が無いことが心配　早く仕事して前のように暮らしたい
娘宅を出て，一人で暮らしたい。
娘夫婦と同居しており，自宅は流出してしまったが，震災後石巻に新築し住んでいる。娘のだんなさんが優しいので，このまま娘夫婦と暮らして行きたい。住み慣れた土地から離れたので，近所や地域の交流の場がなかなかないので，女川町でもそういう風に離れた人達にも，目を向けて欲しい。月に一度でも情報が欲しい。
鳴子に避難
戻りたいが住めない。
役場にお風呂が壊れた事を言ったが，なかなか直しに来てくれない。雨漏りもひどい。子供達は女川を離れろと言われるが，自分は住み慣れた所で過ごして行きたいと思っている。
友人の近くの仮設に行きたい
友達を通して仲良く生きていきたい
来年から野菜を始めたいが原発の影響が心配
離れて暮らしている子供に迷惑をかけない為にはこの町で頑張るしかないが年金生活故甚だ先行きの生活に不安を感じている。
老人ホームに入りたい
老人ホオムに入りたいと思います
老人ホーム的な所で暮らしたい。子供に迷惑をかけたくない。
老夫婦で健康で暮らしたい。現在の場所でいいが，部落がほとんど家屋流出したので淋しい
鷲神浜向山で暮らしたい

②調査地域に関する集計結果の分析

下記の両町の共通点及び相違点を念頭に，今回の調査結果の両町の違いを考察した。

1.南三陸町と女川町の共通点

・東部を三陸リアス海岸に面し，沿岸部の日本有数の漁港を中心に街が密集して発展
・海沿いまで山が迫り，可住面積が狭い。
・高齢化率が宮城県内の他の市町村と比べても高い（南三陸 30.1%，女川 33.5%）全国平均 23.1%（H22 国勢調査 ）
・平成の大合併に際して大合併や市への統合をせず，一郡一町として存続している。

2. 南三陸町と女川町の違い

・旧歌津町と合併した南三陸のほうが，総面積が女川の約 2.5 倍
・人口も女川約 1 万に対して南三陸約 1 万 8 千
・女川のほうが平地が少なく可住面積率が低い。（南三陸 23%，女川 15%：2005 年データ）その結果，人口密度も南三陸 92.3 人 vs 女川 124 人と，女川のほうが狭い低地に人口が密集している。
・女川の方が高齢化率が高く，高齢夫婦世帯割合（南三陸 7.7%，女川 14.2%）高齢者独居世帯割合（南三陸 6.4%，女川 10.9%）ともに高い。その結果，世帯構成人数も南三陸 3.5 人，女川 2.7 人と，女川のほうが少ない。
・一次，二次，三次産業への従事率は，南三陸 26.0%：29.5%：44.5%に対して，女川 15.8%:33.8%:50.4%であり，女川のほうが原発もあって三次産業の割合が高い。（参考：福島第一原発のある大熊町，双葉町の率は 9.1%：29.2%：61.4%）
・農業従事者の割合に顕著に差があり，南三陸 5.4%に対して女川 0.3%。漁業も南三陸 17.3%，女川 14.7%となっている。

3．アンケート調査結果の考察

年齢と性別：平均年齢は南三陸 76.89±7.088 歳，女川 75.17±6.855 歳で，性別はどちらもおよそ 6 割が女性，4 割が男性となっている。(図 1a,図 1b)これらについて，統計学的な有意差はなかった。

図 1a

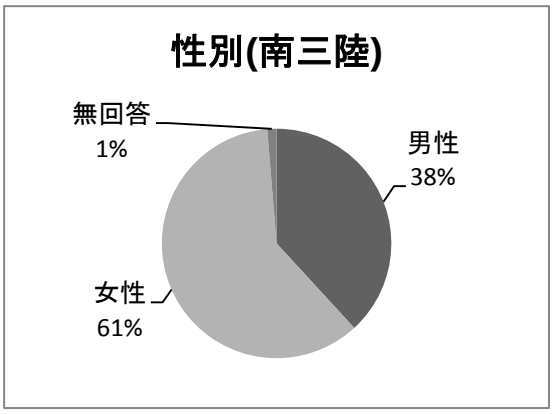
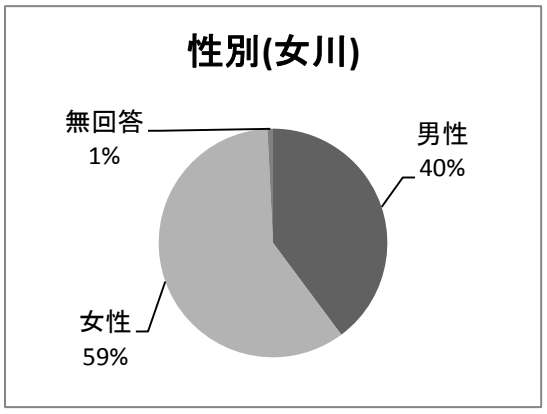


図 1b



住居について

自宅に被害がないが南三陸で 41.9%に対して女川 16.6%と顕著に差が出ている。仮設住宅への移住を強いられた割合も南三陸 40.0%に対して女川 49.3%と 10 ポイント近い差が出ている。(図 2a,図 2b)これは女川のほうが総面積が狭いこと，津波の被害を受けた低地に人口がより集中していたことから導かれる。

図 2a

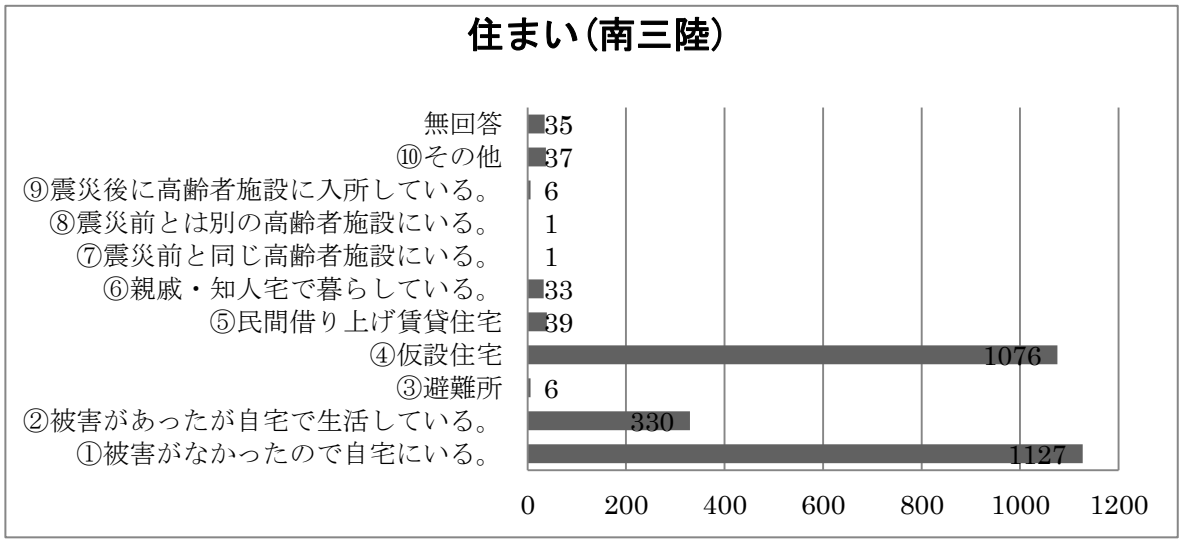
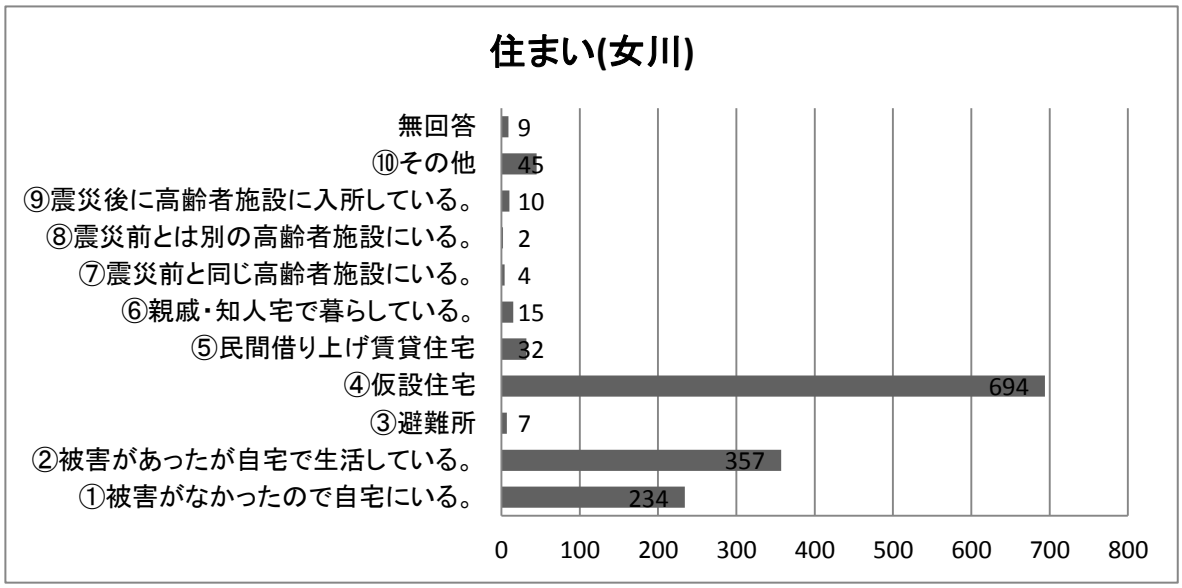


図 2b



同居者

一人暮らし世帯が南三陸 8.8%に対して女川 16.2%，同じく配偶者のみ世帯も南三陸 20.7%に対して女川 35.5%と顕著な差が出ている。(図 3a,図 3b)しかし，震災前後での同居者の変化が両町であまり変わらないので，これは震災以前からのものと思われる。H22 年国勢調査でもこれは裏付けられる（上記の両町の相違点参照)。

図 3a

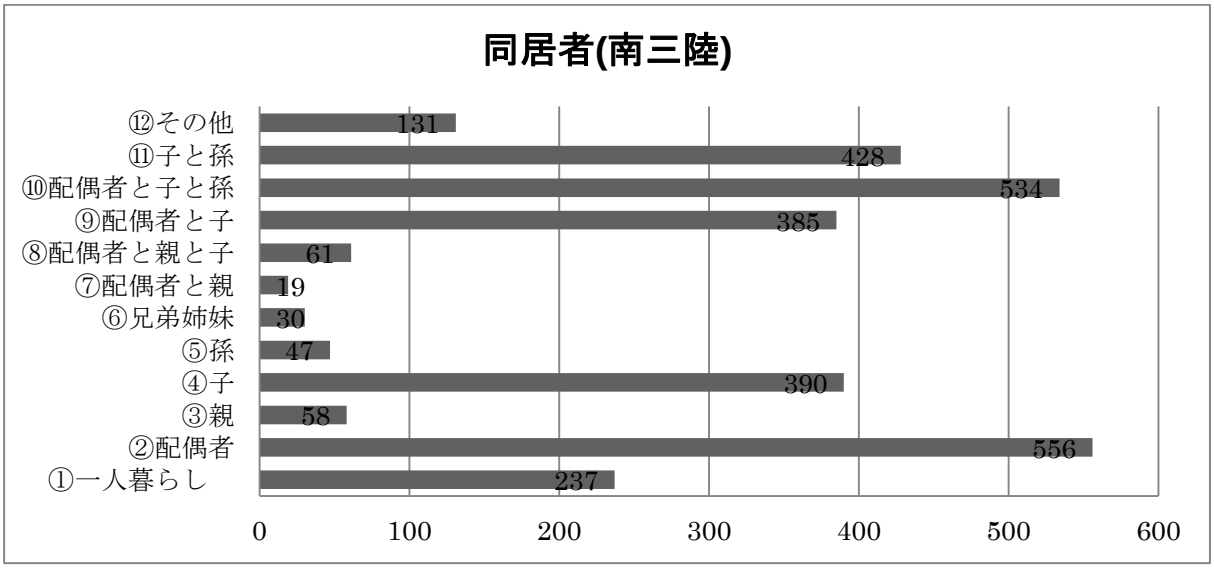
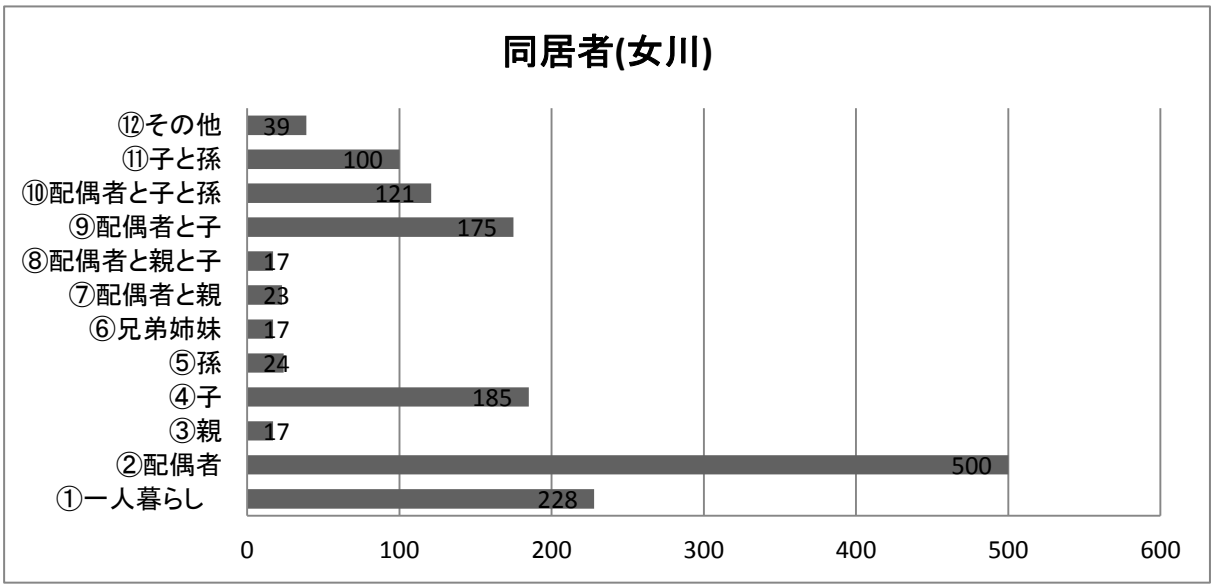


図 3b



生計の立て方

女川で農業が少ないのは国勢調査結果からも震災以前からであることが伺える。家族の扶養が南三陸 26.0%に対して女川が 8%と低く，公的年金での生活者が南三陸 70.3%に対して女川が 75.9%と高い。（図 4a, 図 4b）

図 4a

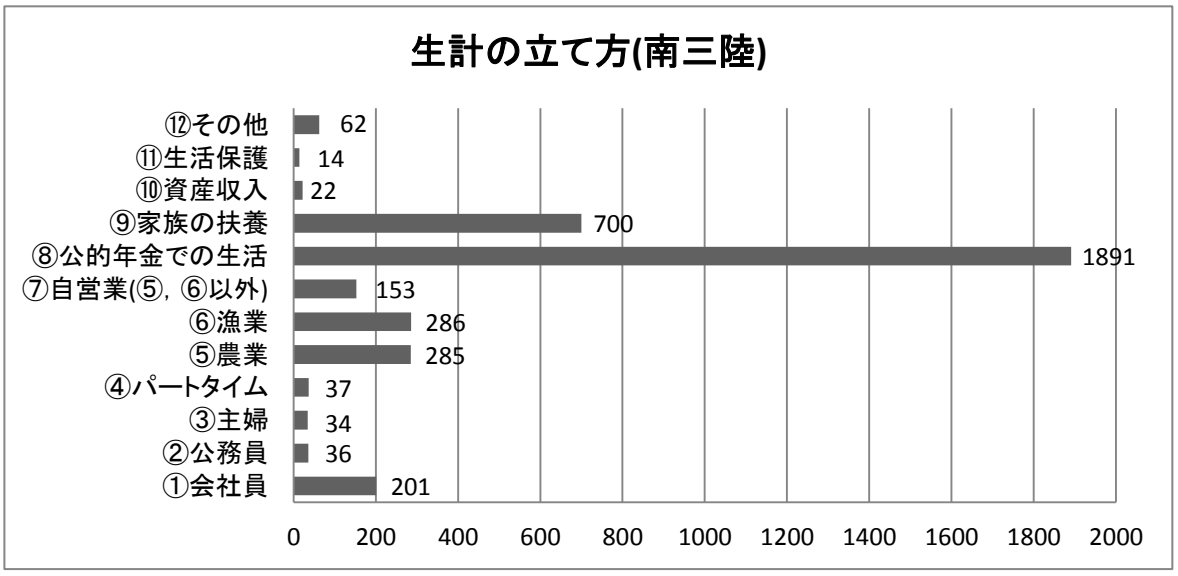
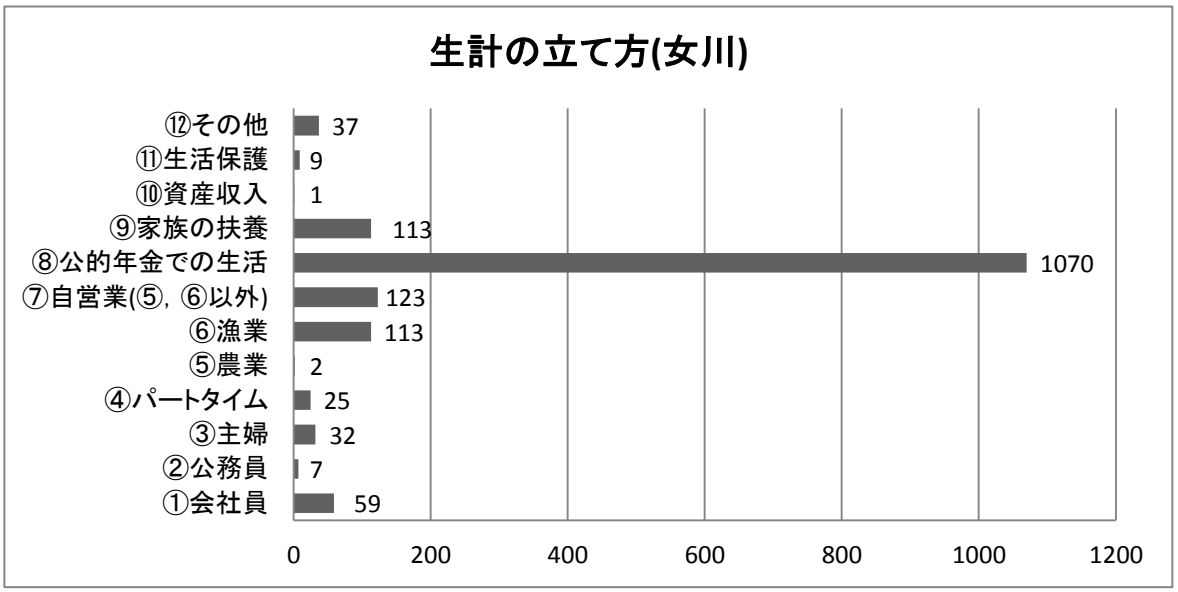


図 4b



体調について

「悪い」と答えた人と「良い」と答えた人の割合が南三陸 25.4%：16.1%に対して女川 15.3%：24.0%と明らかに差が出ている。(図 5a,図 5b)年齢からみて女川のほうが若い高齢者が多いはずなので，明らかに逆転している。体調の変化についても，「新たに病気になった」，「以前より悪化した」割合が南三陸 12.4%＋7.8%に対して女川 15.6%＋11.9%と若いはずの女川に悪い結果が出ている。

図 5a

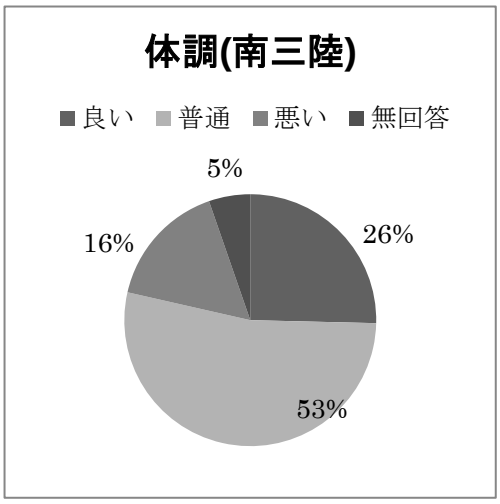
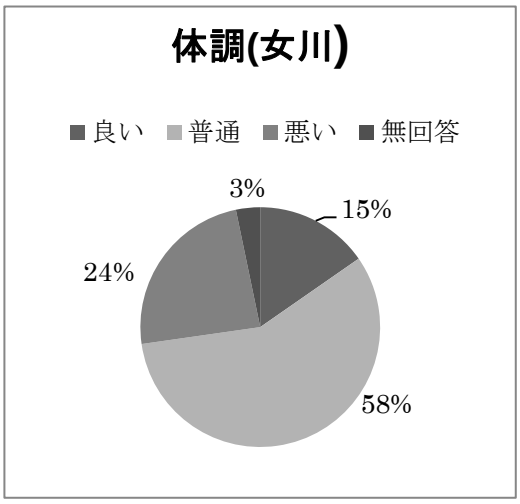


図 5b



必要な医療サービス

「現在のサービスで十分」が南三陸 24.8%に対し女川 37.3%（逆に「町内に病院が欲しい」,「診療所が欲しい」は南三陸（32.1%，14.8%），女川（8.9%，7.2%）と女川の満足度が高い。(図 6a,図 6b)これは，高台にあって一階部のみの浸水で済んだ女川中央病院（他の民間診療所も再開）と，完全に水没して登米市立よねやま診療所の空き病棟に移転を余儀なくされた結果，町内に病院がなくなった南三陸町との差が出ていることが考えられる。

図 6a

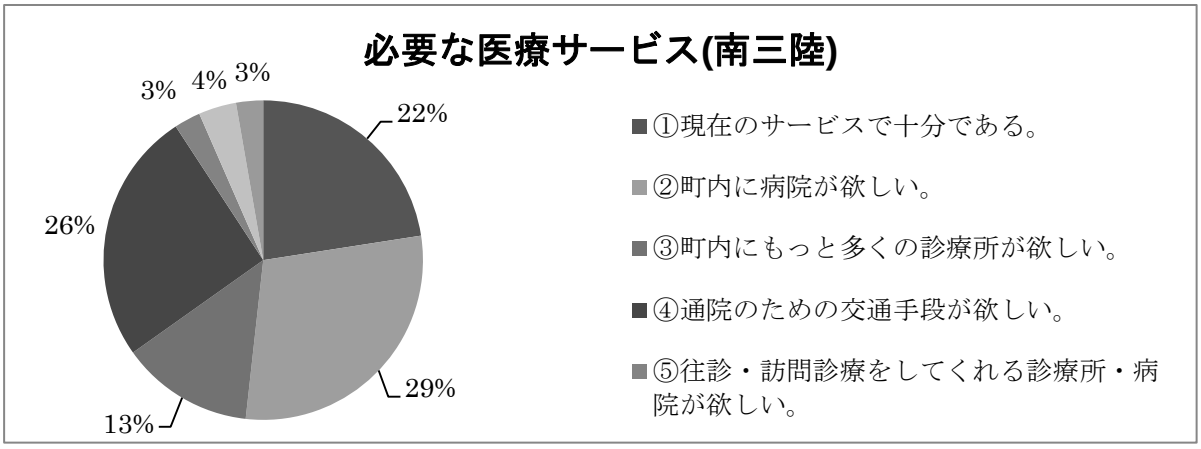
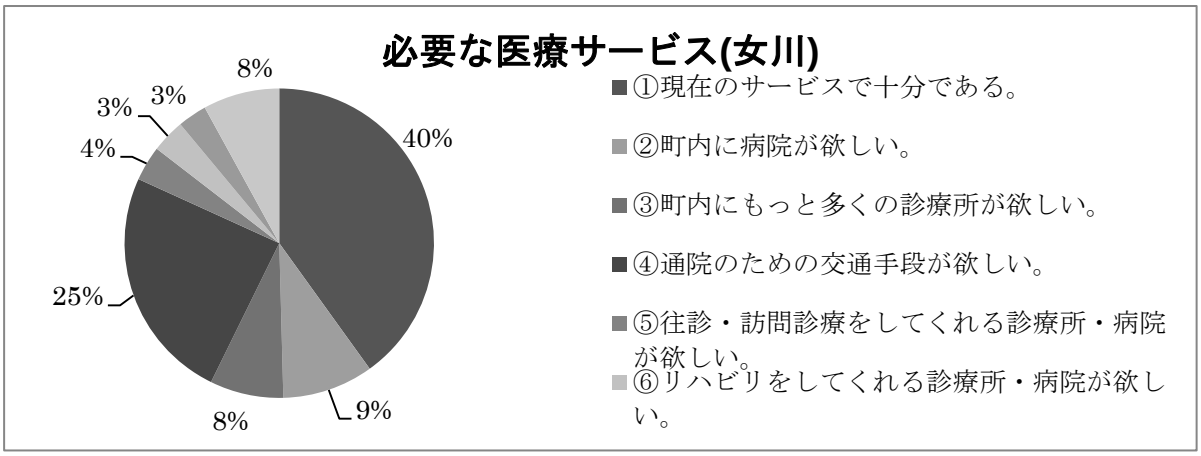


図 6b



心理的ストレス

女川の方が南三陸に比較して結果が悪い傾向がある。(図 7a,図 7b)

図 7a

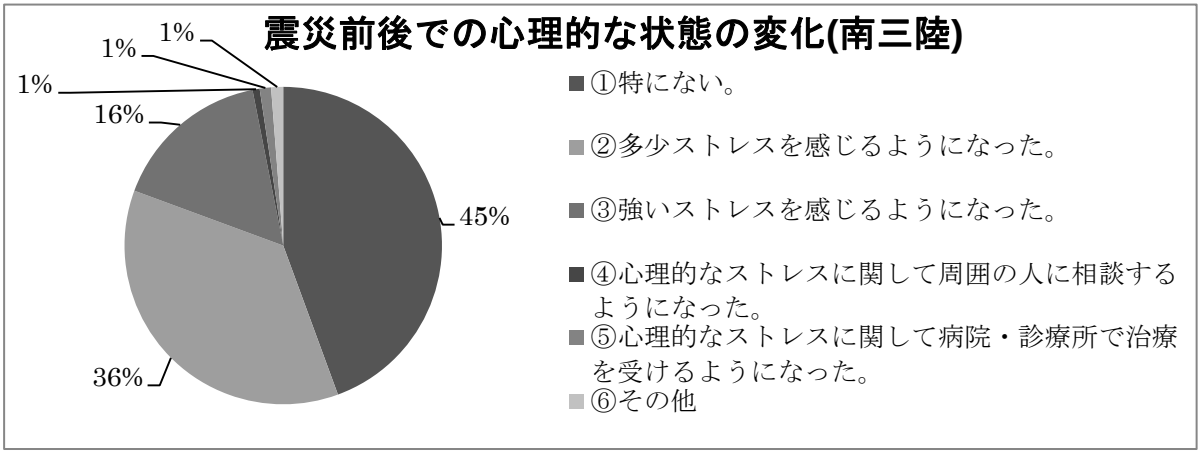
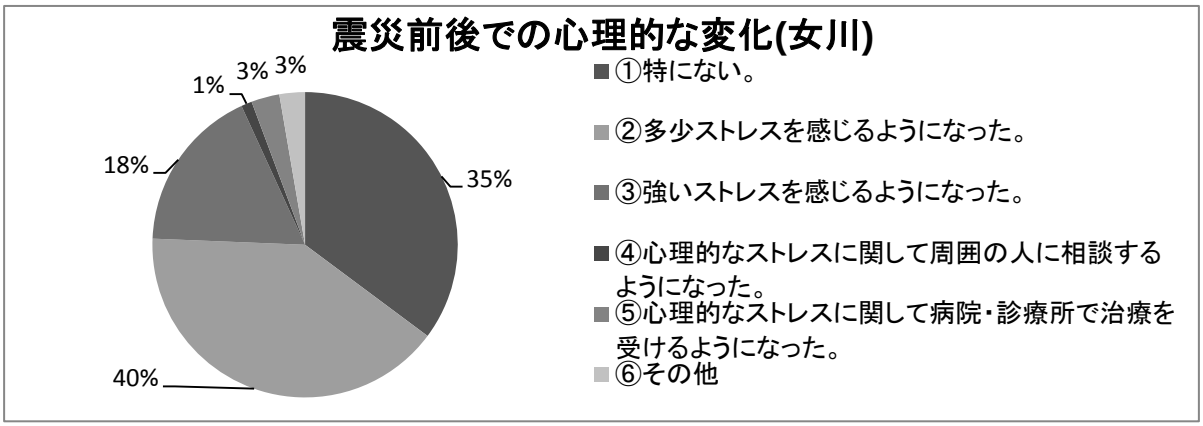


図 7b



利用している介護サービス

利用していない率が南三陸 55.1%に対して女川 73.5%となっている。(図 8a, 図 8b) この結果は，女川では，介護サービスを使っていない人の多い女川で「体調」「体調の変化」「心理的ストレス」に悪い結果が出ているのは危険サインであろう。

図 8a

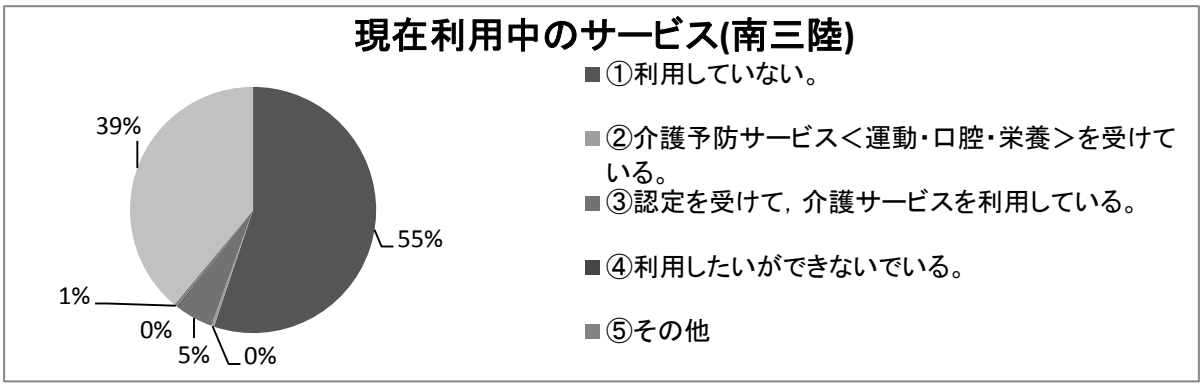
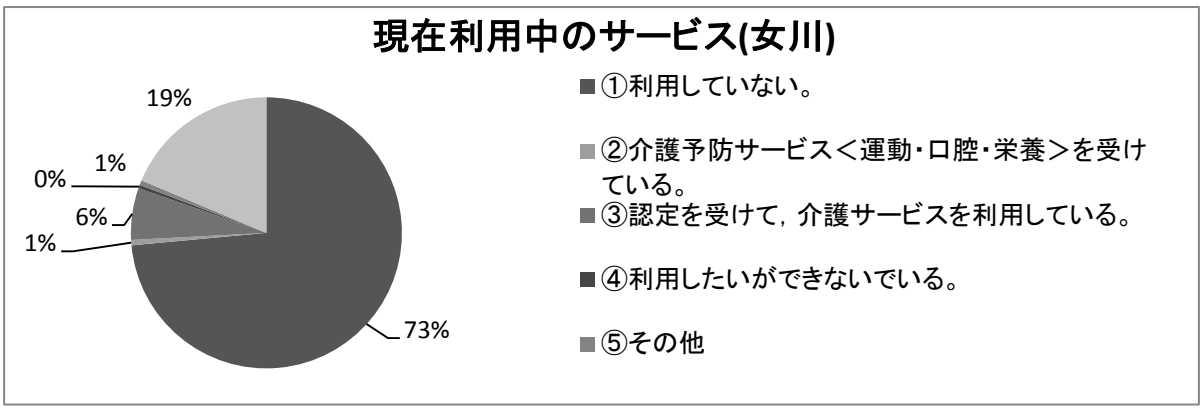


図 8b



ボランティアによる介護支援

ボランティアによる介護支援を受けた人は，南三陸で 15.6%であるのに対して，女川では 2.2%と顕著な差が出ている。（図 9a, 図 9b）

図 9a

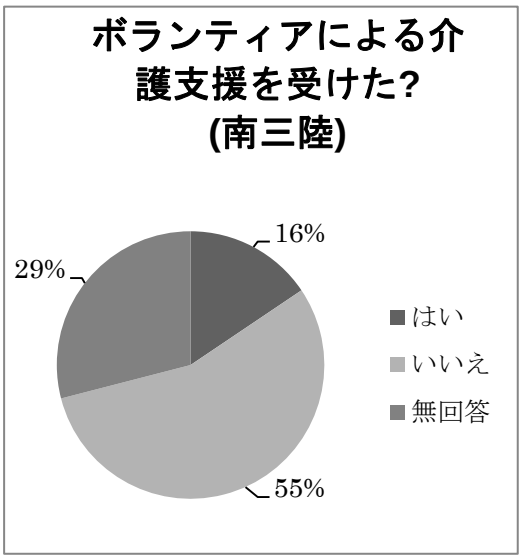
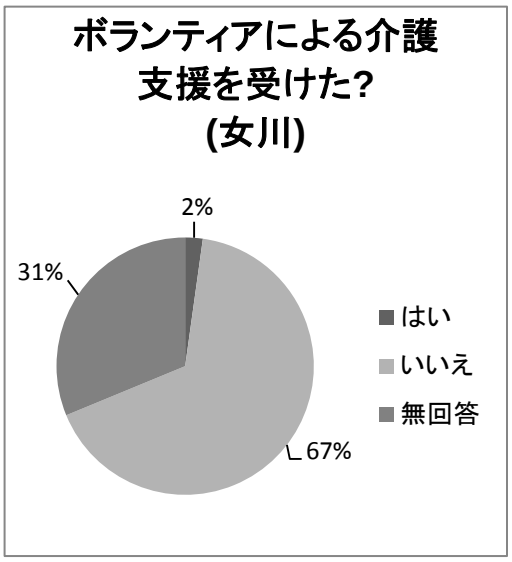


図 9b



不満や不便

住まいの状況に対する不満が南三陸 24.9%に対して女川 31.0%と高いが，両町の相違である可住面積の狭さ（女川が狭い）ことが影響していると思われる。女川は仮設住宅を石巻市の敷地に建設するなど，高台で安定して住める土地が少ない。

一方，買い物に関しては南三陸 34.3%に対して女川 23.9%と不満が女川で少ない。移動スーパーなどに加え，経済活動が本格化している県内第二の都市である石巻が隣接している便によるものと思われる。（図 10a, 図 10b）

図 10a

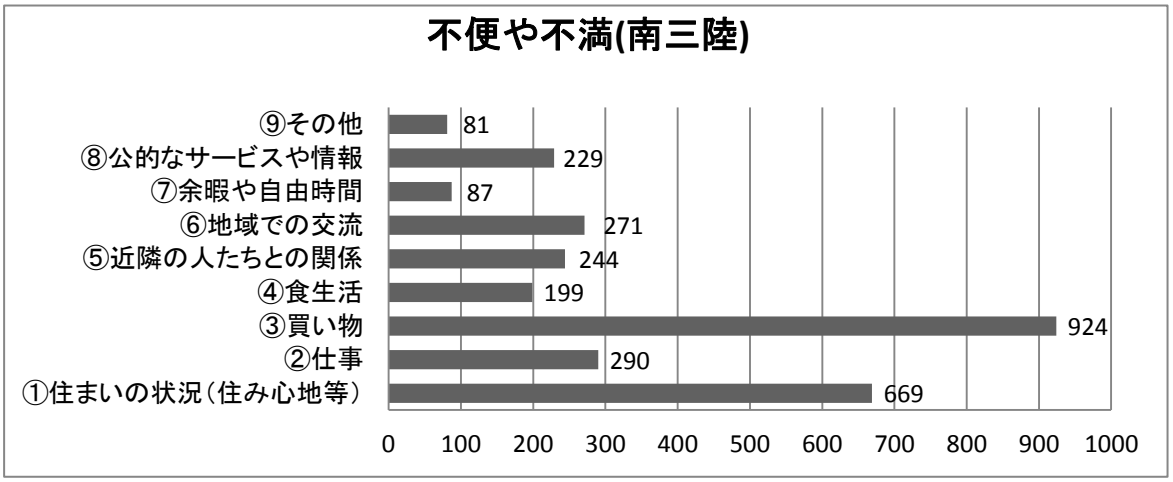
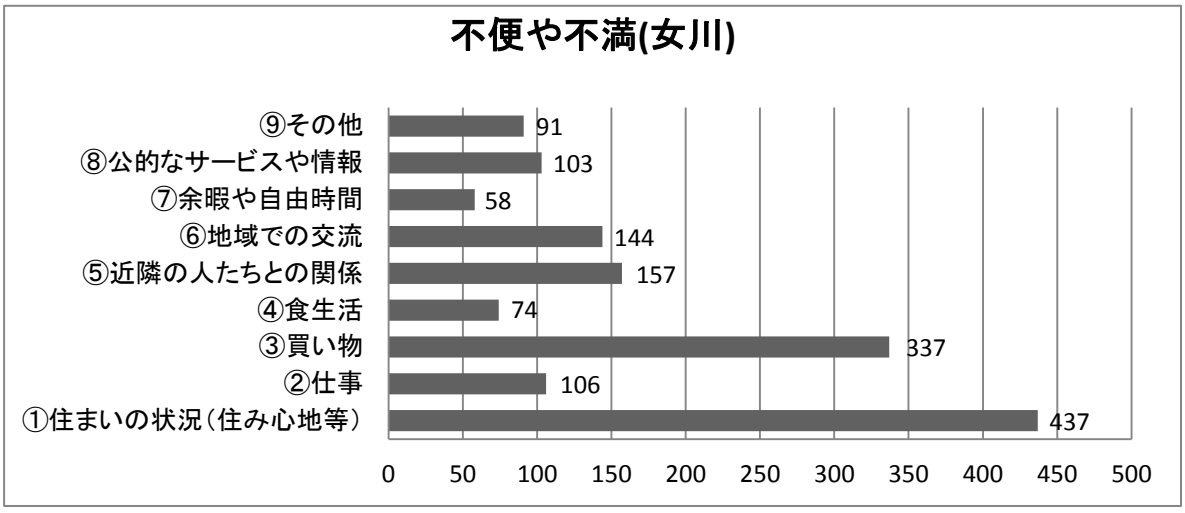


図 10b



社会活動の変化

震災後に社会活動をやめてしまった人の割合が，南三陸 18.2％に対して女川が 24.6％と高い。(図 11a,図 11b)

図 11a

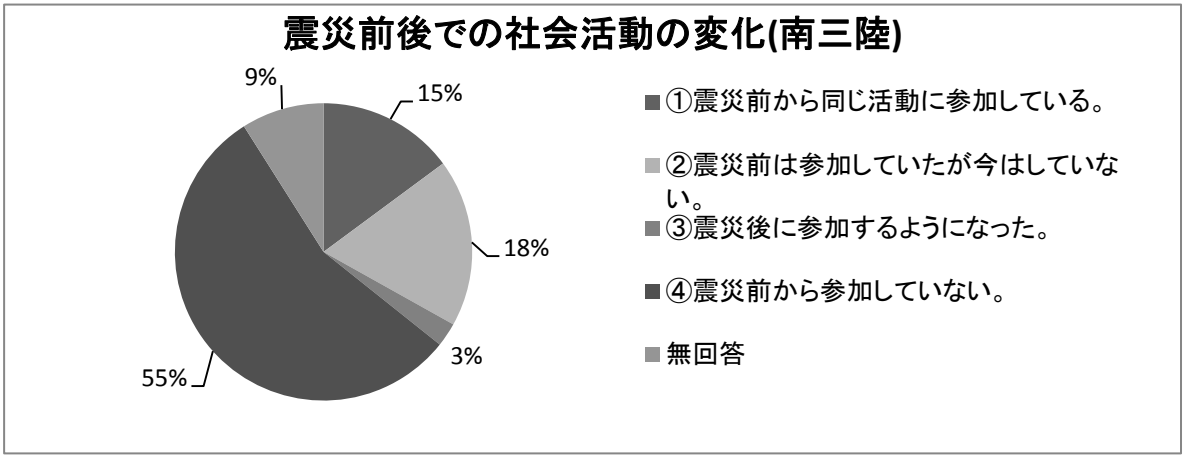
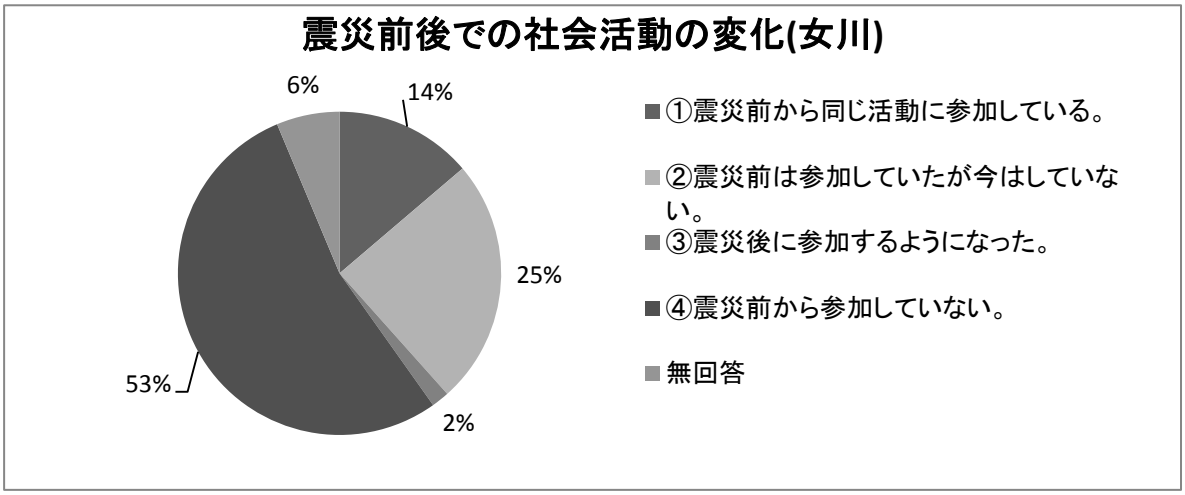


図 11b



原発の影響

「農業・漁業への影響」を訴える人の割合が南三陸 11.0%に対して女川 4.0%と，原発の立地する女川で逆転現象が起きている。(図 12a,図 12b)しかし，これは「両町の相違」で触れた一次産業従事者の相違（女川が一次産業従事者，特に農業従事者が少ない）によるものと考えられる。また「将来への原発の不安」は，立地している女川のほうが高い数字なのは必然であろう。

図 12a

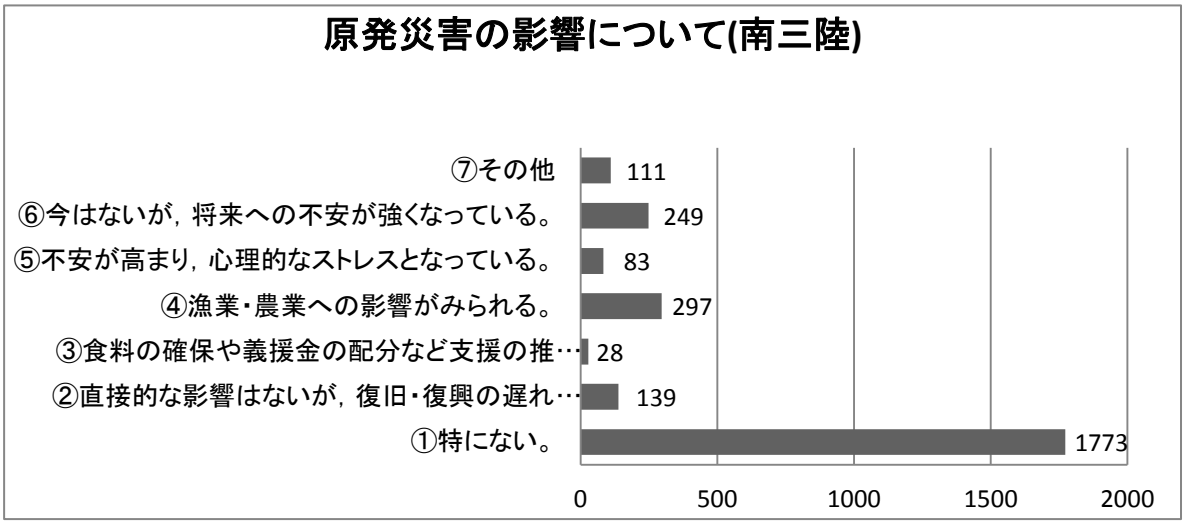
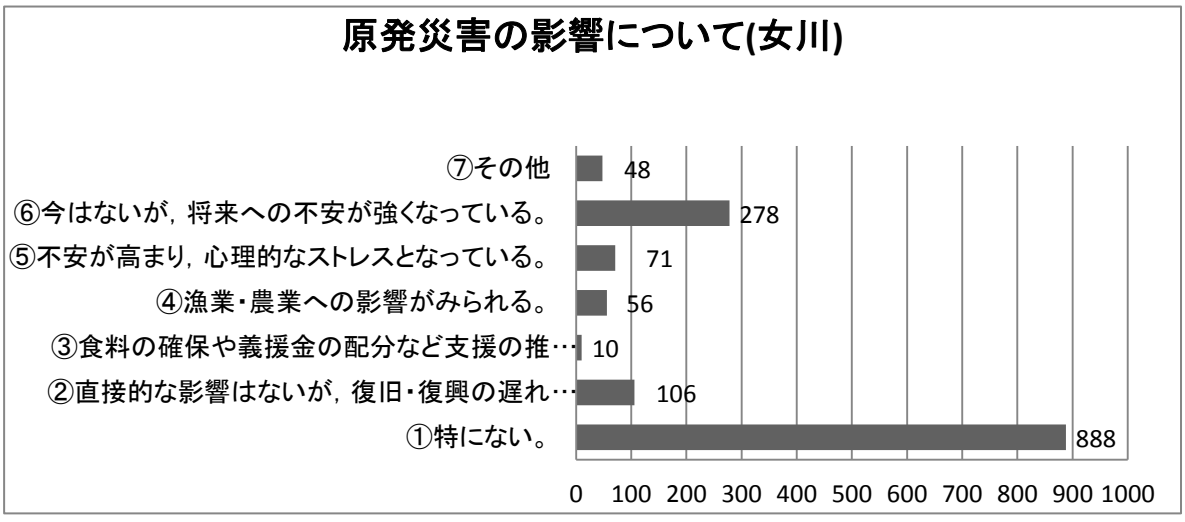


図 12b



将来の生活への思い

「これまでと同様に不安などはない」と答えた人が南三陸 27.8%に対して女川は 20.9%，逆に新たに「不安を感じるようになった」人が南三陸 55.2%に対して女川は 60.4%であり，女川の人のほうが多く不安を感じるようになっている。(図 13a,図 13b)

図 13a

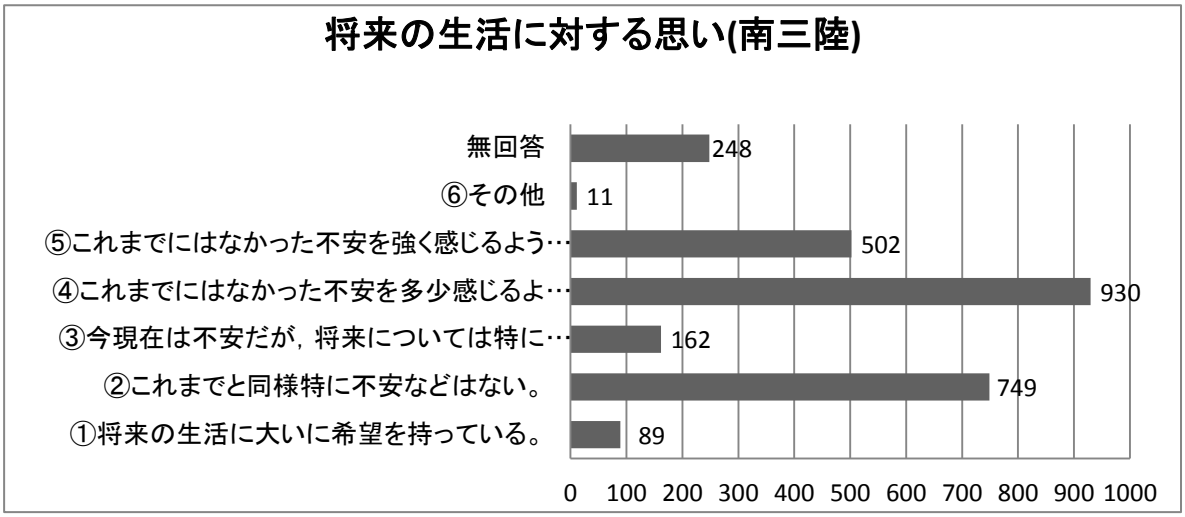
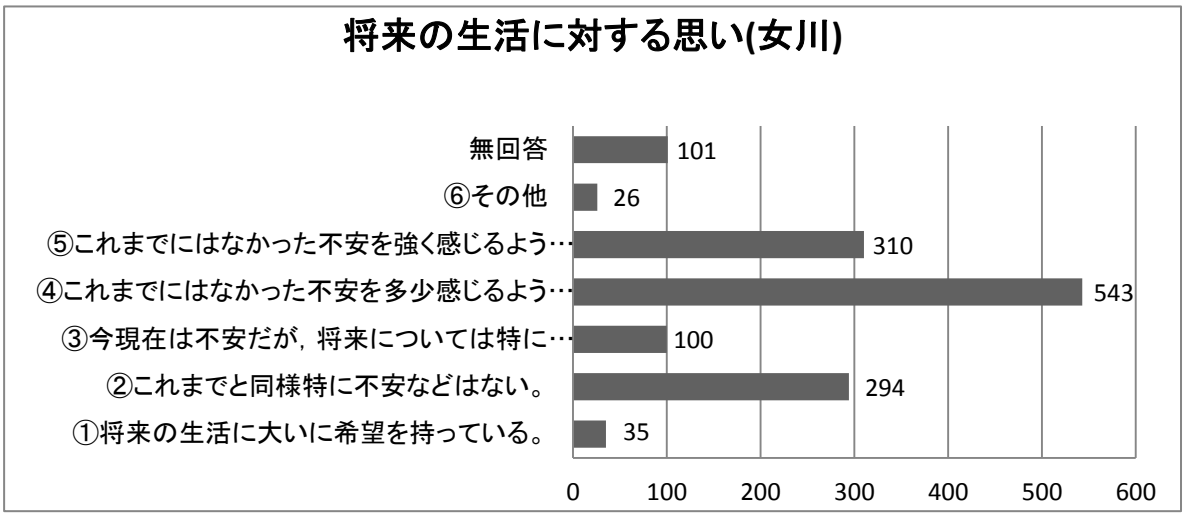


図 13b



将来の希望

可住面積に制限のある女川では「住む場所」についての希望が高く出ている。(図 14a, 図 14b)

図 14a

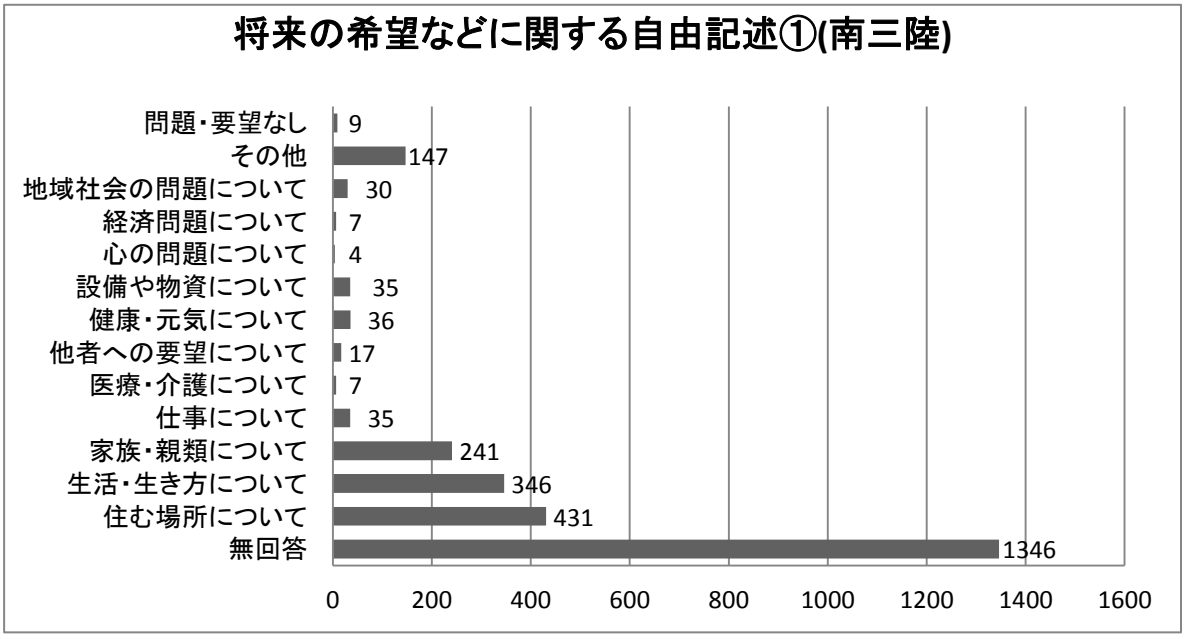
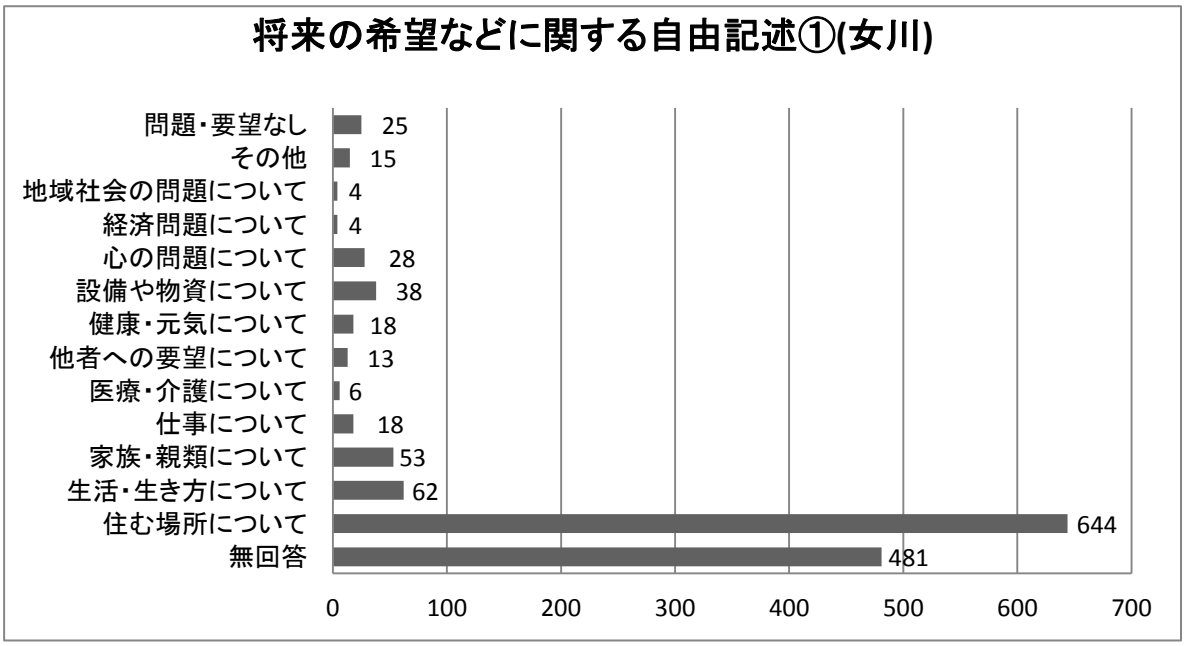


図 14b



③性別による集計結果の分析

男性が 1588 名（38.7%），女性が 2466 名（60.1%），不明 46 名であった。その平均年齢は，男性が 75.5 歳±6.56，女性が 76.8 歳±7.30 であった。

性別と設問 1「おからだの状態」に男女で統計学的な相違はなかった（$\chi 2=5.751$，自由度 2，p=0.056）。しかし，震災の前後で，心理的状態に変化がありましたかという設問では，特にない（①）と回答した男性は 45.2%で，女性（37.5%）よりも割合が高かった。一方，多少のストレス（②），強いストレス（③），心理的ストレスに関して受療（⑤）は女性の方が，割合が高かった。(クロス集計表 1)

クロス集計表 1

5. 震災の前後で，心理的な状態に変化はありましたか。（複数選択可）	性別	
	男性 (n=1588)	女性 (n=2466)
	度数	度数
①特にない。	717	924
性別の%	**45.2**	**37.5**
②多少ストレスを感じるようになった。	554	941
性別の%	**34.9**	**38.2**
③強いストレスを感じるようになった。	227	440
性別の%	**14.3**	**17.8**
④心理的なストレスに関して周囲の人に相談するようになった。	14	21
性別の%	**0.9**	**0.9**
⑤心理的なストレスに関して病院・診療所で治療を受けるようになった。	20	51
性別の%	**1.3**	**2.1**

設問 6「この一週間で，つぎのようなことにどの程度悩まされましたか。」では，睡眠途中で目が覚めてしまう（１），その時の場面が突然頭にうかんでくる（３），寝つきが悪い（４），震災を思い出すと，身体が反応して汗ばんだり，息が苦しくなったり，むかむかしたりドキドキすることがある（６），震災についての夢を見る何事にもやる気が起きない（８）の項目で，男女の回答傾向に統計学的な差異がある（$p<0.05$）すなわち，これらの項目では，いずれも女性の方が，程度（頻度）が高く，震災による心理的影響の度合いが強いと考えられる。

クロス集計表 2

			性別		
			男性	女性	合計
(1)睡眠の途中で目が覚めてしまう。	① 全くなし	度数	689	793	1482
		性別 の %	**45.6%**	**33.5%**	**38.2%**
	② 少し	度数	655	1167	1822
		性別 の %	**43.3%**	**49.4%**	**47.0%**
	③ かなり	度数	168	404	572
		性別 の %	**11.1%**	**17.1%**	**14.8%**
合計		度数	1512	2364	3876
		性別 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側)＝（ 64.375 2 .000 ）

			性別		
			男性	女性	合計
(2)イライラして怒りっぽくなっている。	① 全くなし	度数	905	1512	2417
		性別 の %	**61.6%**	**65.4%**	**63.9%**
	② 少し	度数	464	651	1115
		性別 の %	**31.6%**	**28.1%**	**29.5%**
	③ かなり	度数	99	150	249
		性別 の %	**6.7%**	**6.5%**	**6.6%**
合計		度数	1468	2313	3781
		性別 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側)＝（ 5.687 2 .058 ）

			性別		
			男性	女性	合計
(3)その時の場面が，突然頭にうかんでくる。	① 全くなし	度数	818	1062	1880
		性別 の %	**56.3%**	**46.5%**	**50.3%**
	② 少し	度数	507	921	1428
		性別 の %	**34.9%**	**40.3%**	**38.2%**
	③ かなり	度数	127	300	427
		性別 の %	**8.7%**	**13.1%**	**11.4%**
合計		度数	1452	2283	3735
		性別 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側)＝(38.817 2 .000)

			性別		
			男性	女性	合計
(4)寝つきが悪い。	① 全くなし	度数	998	1206	2204
		性別 の %	**67.8%**	**51.9%**	**58.1%**
	② 少し	度数	344	741	1085
		性別 の %	**23.4%**	**31.9%**	**28.6%**
	③ かなり	度数	130	375	505
		性別 の %	**8.8%**	**16.1%**	**13.3%**
合計		度数	1472	2322	3794
		性別 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側)＝(98.252 2 .000)

			性別		
			男性	女性	合計
(5)物事に集中できない。	① 全くなし	度数	1042	1580	2622
		性別 の %	**71.9%**	**69.2%**	**70.2%**
	② 少し	度数	317	570	887
		性別 の %	**21.9%**	**25.0%**	**23.8%**
	③ かなり	度数	91	134	225
		性別 の %	**6.3%**	**5.9%**	**6.0%**
合計		度数	1450	2284	3734
		性別 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側)＝(4.731 2 .094)

			性別		
			男性	女性	合計
(6)震災を思い出すと，身体が反応して汗ばんだり，息が苦しくなったり，むかむかしたりドキドキすることがある。	① 全くなし	度数	1121	1507	2628
		性別 の %	**76.6%**	**65.4%**	**69.7%**
	② 少し	度数	289	633	922
		性別 の %	**19.8%**	**27.5%**	**24.5%**
	③ かなり	度数	53	166	219
		性別 の %	**3.6%**	**7.2%**	**5.8%**
合計		度数	1463	2306	3769
		性別 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側)＝(57.683 2 **.000**)

			性別		
			男性	女性	合計
(7)震災についての夢を見る。	① 全くなし	度数	1069	1567	2636
		性別 の %	**72.8%**	**67.7%**	**69.7%**
	② 少し	度数	335	578	913
		性別 の %	**22.8%**	**25.0%**	**24.1%**
	③ かなり	度数	65	170	235
		性別 の %	**4.4%**	**7.3%**	**6.2%**
合計		度数	1469	2315	3784
		性別 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側)＝(17.401 2 **.000**)

			性別		
			男性	女性	合計
(8)何事にもやる気が起きない。	① 全くなし	度数	1077	1608	2685
		性別 の %	**73.9%**	**70.4%**	**71.8%**
	② 少し	度数	301	517	818
		性別 の %	**20.7%**	**22.6%**	**21.9%**
	③ かなり	度数	79	158	237
		性別 の %	**5.4%**	**6.9%**	**6.3%**
合計		度数	1457	2283	3740
		性別 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側)＝(6.262 2 **.044**)

設問 15「震災の前後で，将来の生活に対する思いに変化はありましたか。」では，男女での統計学的な差異はなかった。（χ^2=4.159，自由度 5，p=0.527）

クロス集計表 3

			性別		
			男性	女性	合計
15. 震災の前後で，将来の生活に対する思いに変化はありましたか。	①将来の生活に大いに希望を持っている。	度数	53	69	122
		性別 の %	**3.6%**	**3.1%**	**3.3%**
	②これまでと同様特に不安などはない。	度数	410	623	1033
		性別 の %	**28.0%**	**27.7%**	**27.8%**
	③今現在は不安だが，将来については特に不安は感じない。	度数	112	147	259
		性別 の %	**7.6%**	**6.5%**	**7.0%**
	④これまでにはなかった不安を多少感じるようになった。	度数	568	892	1460
		性別 の %	**39%**	**40%**	**39%**
	⑤これまでにはなかった不安を強く感じるようになった。	度数	305	502	807
		性別 の %	**20.8%**	**22.3%**	**21.7%**
	⑥その他	度数	17	20	37
		性別 の %	**1.2%**	**0.9%**	**1.0%**
合計		度数	1465	2253	3718
		性別 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2 乗値，自由度，漸近有意確率(両側)＝（ 4.159 5 .527 ）

④年代別による集計結果の分析

対象者の年齢群を男女に分けて比較すると，高齢になるほど女性の割合が高いという日本の人口構造に合致する傾向がみられる。(クロス集計表 4)

身体の状況については，サンプル数の少ない 95 歳以上の群を除くと，ほぼ相違なく，良いが 22-23%，普通が 55-58%，悪いが 19-21%となっており，年代による差異は明らかではない。(χ^2=7.119，自由度 6，p=0.310)

クロス集計表 4

			年　齢　群				
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	合計
性別	男　性	度数	738	693	152	2	1585
		年齢群の %	**41.8%**	**39.8%**	**29.8%**	**8.0%**	**39.2%**
	女　性	度数	1026	1047	358	23	2454
		年齢群の %	**58.2%**	**60.2%**	**70.2%**	**92.0%**	**60.8%**
合　計		度数	1764	1740	510	25	4039
		年齢群の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（　34.52　3　.000　）

			年　齢　群				
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	合計
1．現在のお身体の状態はいかがですか。	良　い	度数	385	390	115	3	893
		年齢群の %	**22.6%**	**23.3%**	**23.7%**	**12.0%**	**23.0%**
	普　通	度数	988	953	267	20	2228
		年齢群の %	**58.1%**	**56.9%**	**54.9%**	**80.0%**	**57.3%**
	悪　い	度数	328	331	104	2	765
		年齢群の %	**19.3%**	**19.8%**	**21.4%**	**8.0%**	**19.7%**
合　計		度数	1701	1674	486	25	3886
		年齢群の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（　7.119　6　.310　）

震災の前後での心理的な状態の変化は「特にない」の割合が高齢になるに従って増える一方，多少ストレスを感じるようになった人の割合は若年者群で多い。強いストレスを感じる人の割合は，95 歳未満では 15-16%程度で大きな相違はない。(クロス集計表 5)

クロス集計表 5

５．震災の前後で，心理的な状態に変化はありましたか。（複数選択可）	年　齢　群				合計 (n=4039)
	65～74 歳 (n=1764)	75～84 歳 (n=1740)	85～94 歳 (n=510)	95 歳以上 (n=25)	
	度数	度数	度数	度数	度数
①特にない。	679	703	245	14	1641
年齢群の %	**38.5%**	**40.4%**	**48.0%**	**56.0%**	**40.6%**
②多少ストレスを感じるようになった。	699	640	157	5	1501
年齢群の %	**39.6%**	**36.8%**	**30.8%**	**20.0%**	**37.2%**
③強いストレスを感じるようになった。	294	294	78	2	668
年齢群の %	**16.7%**	**16.9%**	**15.3%**	**8.0%**	**16.5%**
④心理的なストレスに関して周囲の人に相談するようになった。	16	13	6	0	35
年齢群の %	**.9%**	**.7%**	**1.2%**	**.0%**	**.9%**
⑤心理的なストレスに関して病院・診療所で治療を受けるようになった。	35	29	6	0	70
年齢群の %	**2.0%**	**1.7%**	**1.2%**	**.0%**	**1.7%**

設問 6「この一週間で，つぎのようなことにどの程度悩まされましたか。」では，イライラして怒りっぽくなっている（2），その時の場面が突然頭にうかんでくる（3），の項目で，年齢群での回答傾向に統計学的な差異がある（$p<0.05$）。すなわち，これらの項目では，いずれも若い方の年齢群で程度（頻度）が高く，震災による心理的影響の度合いが強いと考えられる。(クロス集計表 6)

クロス集計表 6

			年齢群				
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	合計
（1）睡眠の途中で目が覚めてしまう。	① 全くなし	度数	661	627	183	11	1482
		年齢群の %	**38.6%**	**37.5%**	**38.3%**	**47.8%**	**38.2%**
	② 少し	度数	805	785	226	12	1828
		年齢群の %	**47.0%**	**47.0%**	**47.3%**	**52.2%**	**47.1%**
	③ かなり	度数	246	259	69	0	574
		年齢群の %	**14.4%**	**15.5%**	**14.4%**	**.0%**	**14.8%**
合計		度数	1712	1671	478	23	3884
		年齢群の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側）＝（ 5.189 6 .520 ）

			年齢群				
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	合計
（2）イライラして怒りっぽくなっている。	① 全くなし	度数	1031	1048	332	15	2426
		年齢群の %	**61.6%**	**64.7%**	**70.2%**	**65.2%**	**64.0%**
	② 少し	度数	518	468	123	7	1116
		年齢群の %	**31.0%**	**28.9%**	**26.0%**	**30.4%**	**29.4%**
	③ かなり	度数	124	105	18	1	248
		年齢群の %	**7.4%**	**6.5%**	**3.8%**	**4.3%**	**6.5%**
合計		度数	1673	1621	473	23	3790
		年齢群の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側）＝（ 15.343 6 **.018** ）

			年齢群				合計
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	
（３）その時の場面が，突然頭にうかんでくる。	① 全くなし	度数	802	795	269	17	1883
		年齢群の %	**48.5%**	**49.6%**	**57.5%**	**77.3%**	**50.3%**
	② 少し	度数	657	615	158	5	1435
		年齢群の %	**39.8%**	**38.4%**	**33.8%**	**22.7%**	**38.3%**
	③ かなり	度数	193	192	41	0	426
		年齢群の %	**11.7%**	**12.0%**	**8.8%**	**.0%**	**11.4%**
合計		度数	1652	1602	468	22	3744
		年齢群の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 19.948 6 .003 ）

			年齢群				合計
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	
（４）寝つきが悪い。	① 全くなし	度数	967	945	281	15	2208
		年齢群の %	**57.7%**	**57.9%**	**59.7%**	**68.2%**	**58.1%**
	② 少し	度数	487	463	132	6	1088
		年齢群の %	**29.1%**	**28.4%**	**28.0%**	**27.3%**	**28.6%**
	③ かなり	度数	222	224	58	1	505
		年齢群の %	**13.2%**	**13.7%**	**12.3%**	**4.5%**	**13.3%**
合計		度数	1676	1632	471	22	3801
		年齢群の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 2.699 6 .846 ）

			年齢群				合計
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	
（５）物事に集中できない。	① 全くなし	度数	1153	1141	323	16	2633
		年齢群の %	**69.5%**	**71.4%**	**69.8%**	**72.7%**	**70.4%**
	② 少し	度数	417	351	111	5	884
		年齢群の %	**25.2%**	**22.0%**	**24.0%**	**22.7%**	**23.6%**
	③ かなり	度数	88	107	29	1	225
		年齢群の %	**5.3%**	**6.7%**	**6.3%**	**4.5%**	**6.0%**
合計		度数	1658	1599	463	22	3742
		年齢群の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 6.710 6 .348 ）

			年齢群				
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	合計
（６）震災を思い出すと，身体が反応して汗ばんだり，息が苦しくなったり，むかむかしたりドキドキすることがある。	① 全くなし	度数	1165	1110	342	16	2633
		年齢群の %	**69.7%**	**68.8%**	**72.5%**	**80.0%**	**69.7%**
	② 少し	度数	408	414	100	4	926
		年齢群の %	**24.4%**	**25.7%**	**21.2%**	**20.0%**	**24.5%**
	③ かなり	度数	99	90	30	0	219
		年齢群の %	**5.9%**	**5.6%**	**6.4%**	**.0%**	**5.8%**
合計		度数	1672	1614	472	20	3778
		年齢群の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側）＝（ 5.770 6 .449 ）

			年齢群				
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	合計
（７）震災についての夢を見る。	① 全くなし	度数	1173	1116	335	17	2641
		年齢群の %	**70.2%**	**68.5%**	**71.1%**	**85.0%**	**69.6%**
	② 少し	度数	404	406	103	3	916
		年齢群の %	**24.2%**	**24.9%**	**21.9%**	**15.0%**	**24.2%**
	③ かなり	度数	95	107	33	0	235
		年齢群の %	**5.7%**	**6.6%**	**7.0%**	**.0%**	**6.2%**
合計		度数	1672	1629	471	20	3792
		年齢群の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側）＝（ 6.118 6 .410 ）

			年齢群				
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	合計
（８）何事にもやる気が起きない。	① 全くなし	度数	1170	1165	342	14	2691
		年齢群の %	**70.6%**	**72.7%**	**73.4%**	**66.7%**	**71.8%**
	② 少し	度数	389	335	90	6	820
		年齢群の %	**23.5%**	**20.9%**	**19.3%**	**28.6%**	**21.9%**
	③ かなり	度数	99	103	34	1	237
		年齢群の %	**6.0%**	**6.4%**	**7.3%**	**4.8%**	**6.3%**
合計		度数	1658	1603	466	21	3748
		年齢群の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側）＝（ 6.33 6 .387 ）

設問 13「震災前後での社会活動への参加について伺います。」では，年齢と共に震災前から参加していない(④)人が増える。一方震災後も継続して同じ活動に参加している(①)人は，年齢が低いほど多い。75～84 歳では，震災前は参加していたが，今は参加していない(③)人が 25.4%と他群に比較して多い。この年代層の人たちを中心に，震災を契機として社会活動への参加が中断される傾向があると考えられる。(クロス集計表 7)

クロス集計表 7

			年齢群				
			65－74	75 － 84	85－94	95+	合計
１３．震災前後での社会活動への参加について伺います。	①震災前から同じ活動に参加している。	度数	313	245	32	0	590
		年齢群の %	19.5%	15.0%	6.6%	.0%	15.8%
	②震災前は参加していたが今はしていない。	度数	323	416	96	0	835
		年齢群の %	20.1%	25.4%	19.9%	.0%	22.3%
	③震災後に参加するようになった。	度数	53	29	11	0	93
		年齢群の %	3.3%	1.8%	2.3%	.0%	2.5%
	④震災前から参加していない。	度数	914	946	343	23	2226
		年齢群の %	57.0%	57.8%	71.2%	100.0%	59.5%
合計		度数	1603	1636	482	23	3744
		年齢群の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 89.142 9 .000 ）

設問 15「震災の前後で，将来の生活に対する思いに変化はありましたか。」では，年齢群での統計学的な有意な差異がみられた（χ^2=110.737，自由度 15，p=0.000）。すなわち，高齢であるほど将来に対しての不安は少なく（②，③）年齢が低いほど不安を感じている（④，⑤）傾向がみられる。(クロス集計表 8)

クロス集計表 8

			年齢群				
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	合計
１５．震災の前後で，将来の生活に対する思いに変化はありましたか。	①将来の生活に大いに希望を持っている。	度数	61	46	16	0	123
		年齢群の %	3.7%	2.9%	3.5%	.0%	3.3%
	②これまでと同様特に不安などはない。	度数	351	497	183	9	1040
		年齢群の %	21.5%	30.9%	39.6%	42.9%	27.9%
	③今現在は不安だが，将来については特に不安は感じない。	度数	94	118	42	5	259
		年齢群の %	5.8%	7.3%	9.1%	23.8%	7.0%
	④これまでにはなかった不安を多少感じるようになった。	度数	699	625	135	4	1463
		年齢群の %	42.8%	38.8%	29.2%	19.0%	39.3%
	⑤これまでにはなかった不安を強く感じるようになった。	度数	413	307	81	3	804
		年齢群の %	25.3%	19.1%	17.5%	14.3%	21.6%
	⑥その他	度数	14	18	5	0	37
		年齢群の %	.9%	1.1%	1.1%	.0%	1.0%
合計		度数	1632	1611	462	21	3726
		年齢群の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Pearson の χ2 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 110.737 15 .000 ）

⑤同居・独居の別による集計結果の分析

			独居同居		
			独居	同居	合計
年齢群	65 - 74	度数	229	1515	1744
		独居同居 の %	**49.4%**	**42.9%**	**43.7%**
	75 - 84	度数	190	1532	1722
		独居同居 の %	**40.9%**	**43.4%**	**43.1%**
	85 - 94	度数	44	458	502
		独居同居 の %	**9.5%**	**13.0%**	**12.6%**
	95+	度数	1	23	24
		独居同居 の %	**.2%**	**.7%**	**.6%**
合計		度数	464	3528	3992
		独居同居 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側) =（ 9.733 3 .021 ）

同居と独居について：一人暮らしの高齢者は，464 人（11.6%）である。独居者は若い年齢群に多い傾向を示す。(クロス集計表 9)

独居者の 6 割は仮設住宅に住んでいる。独居者と同居者について，震災前後での同居者の変化に傾向の差異は見られない。(クロス集計表 10)

仮設住宅に一人で住んでいる高齢者のうち，261 人（16.1%）は独居であり，自宅で生活している独居高齢者の割合（7~9%）と比較して高い。

クロス集計表 9

			独居同居		
			独居	同居	合計
D.震災前後で同居者に変化がありますか。	ある	度数	91	665	756
		独居同居の %	22.5%	21.3%	21.4%
	ない	度数	314	2462	2776
		独居同居の %	77.5%	78.7%	78.6%
合計		度数	405	3127	3532
		独居同居の %	100.0%	100.0%	100.0%

Pearson のχ2乗値，自由度，漸近有意確率(両側) =（ .308 1 .579 ）

クロス集計表 10

			独居同居		
			独居	同居	合計
B.お住まいはどちらですか。	①被害がなかったので自宅にいる。	度数	104	1237	1341
		お住まいの%	7.8%	92.2%	100.0%
	②被害があったが自宅で生活している。	度数	58	619	677
		お住まいの%	8.6%	91.4%	100.0%
	③避難所	度数	1	12	13
		お住まいの%	7.7%	92.3%	100.0%
	④仮設住宅	度数	281	1461	1742
		お住まいの%	16.1%	83.9%	100.0%
	⑤民間借り上げ賃貸住宅	度数	4	65	69
		お住まいの%	5.8%	94.2%	100.0%
	⑥親戚・知人宅で暮らしている。	度数	1	47	48
		お住まいの%	2.1%	97.9%	100.0%
	⑦震災前と同じ高齢者施設にいる。	度数	0	5	5
		お住まいの%	0.0%	100.0%	100.0%
	⑧震災前とは別の高齢者施設にいる。	度数	1	2	3
		お住まいの%	33.3%	66.7%	100.0%
	⑨震災後に高齢者施設に入所している。	度数	4	9	13
		お住まいの%	30.8%	69.2%	100.0%
	⑩その他	度数	8	71	79
		お住まいの%	10.1%	89.9%	100.0%
合計		度数	462	3528	3990
		お住まいの%	11.6%	88.4%	100.0%

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側）＝（ 73.953 9 .000 ）

震災の前後でのお体の状態の変化は,独居と同居で統計学的な差異は見られない(χ^2=5.557,自由度 4, p=0.235)。(クロス集計表 11)

クロス集計表 11

			独居同居		
			独居	同居	合計
２．震災の前後で,お身体の状態に変化はありましたか。	①特にない	度数	277	2288	2565
		独居同居の %	64.1%	68.4%	67.9%
	②新たに病気になり,医療機関を受診した。	度数	71	473	544
		独居同居の %	16.4%	14.1%	14.4%
	③以前からの病気の症状が悪化して,医療機関を受診した。	度数	41	330	371
		独居同居の %	9.5%	9.9%	9.8%
	④体調が悪くなったが,通院したり薬を飲んだりはしていない。	度数	16	104	120
		独居同居の %	3.7%	3.1%	3.2%
	⑤その他	度数	27	149	176
		独居同居の %	6.3%	4.5%	4.7%
合計		度数	432	3344	3776
		独居同居の %	100.0%	100.0%	100.0%

Pearson のχ2乗値, 自由度, 漸近有意確率(両側) = (5.557 4 .235)

⑥就業状況による集計結果の分析

就業状況	平均値	度数	標準偏差
会社員・公務員など	75.57	354	7.169
農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	75.13	881	6.829
主婦・無職（年金・資産・扶養等）	76.71	2696	7.015
合計	76.25	3931	7.019

区分した 3 群において，平均年齢に有意差はない。(クロス集計表 12)

クロス集計表 12

			年齢群				
			65 - 74	75 - 84	85 - 94	95+	合計
就業状況	会社員・公務員など	度数	170	141	40	3	354
		年齢群の %	9.9%	8.4%	8.0%	14.3%	9.0%
	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	度数	458	324	94	2	878
		年齢群の %	26.6%	19.2%	18.9%	9.5%	22.4%
	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	度数	1091	1222	363	16	2692
		年齢群の %	63.5%	72.4%	73.0%	76.2%	68.6%
合計		度数	1719	1687	497	21	3924
		年齢群の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 41.031 6 .000 ）

震災前後で，就業状況が変化した人が全体の 2 割である。震災によって，臨時雇用・アルバイトなどの職に就く人が増えるとともに，職を失うきっかけになった可能性もある。(クロス集計表 13)

クロス集計表 13

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
F.上記のご職業（生計の立て方）は震災以前と同じですか。	はい	度数	281	612	2093	2986
		就業状況の %	82.2%	72.9%	83.0%	80.6%
	いいえ	度数	61	228	428	717
		就業状況の %	17.8%	27.1%	17.0%	19.4%
合計		度数	342	840	2521	3703
		就業状況の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 42.262 2 .000 ）

農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなどの群で，身体状況が良く，次いで会社員・公務員となっている。(クロス集計表 14)

クロス集計表 14

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
１．現在のお身体の状態はいかがですか。	良い	度数	87	239	550	876
		就業状況の %	25.0%	28.4%	21.2%	23.2%
	普通	度数	198	469	1495	2162
		就業状況の %	56.9%	55.8%	57.6%	57.1%
	悪い	度数	63	133	550	746
		就業状況の %	18.1%	15.8%	21.2%	19.7%
合計		度数	348	841	2595	3784
		就業状況の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 25.096 4 .000 ）

設問 6「この一週間で，つぎのようなことにどの程度悩まされましたか。」では，その時の場面が突然頭にうかんでくる（３），寝つきが悪い（４），物事に集中できない（５），震災を思い出すと，身体が反応して汗ばんだり，息が苦しくなったり，むかむかしたりドキドキすることがある（６），何事にもやる気が起きない（８）。の項目で，就業状況の相違での回答傾向に統計学的な差異がある（$p<0.05$）。すなわち，これらの項目では，いずれも主婦・無職（年金・資産・扶養等）群で程度（頻度）が高く，震災による心理的影響の度合いが強いと考えられる。(クロス集計表 15)

クロス集計表 15

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
（１）睡眠の途中で目が覚めてしまう。	① 全くなし	度数	145	346	950	1441
		就業状況 の %	**41.4%**	**41.2%**	**36.6%**	**38.1%**
	② 少し	度数	158	384	1244	1786
		就業状況 の %	**45.1%**	**45.8%**	**47.9%**	**47.2%**
	③ かなり	度数	47	109	404	560
		就業状況 の %	**13.4%**	**13.0%**	**15.6%**	**14.8%**
合計		度数	350	839	2598	3787
		就業状況 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 9.019　4　.061 ）

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
（２）イライラして怒りっぽくなっている。	① 全くなし	度数	226	550	1592	2368
		就業状況 の %	**66.3%**	**68.1%**	**62.5%**	**64.1%**
	② 少し	度数	94	213	777	1084
		就業状況 の %	**27.6%**	**26.4%**	**30.5%**	**29.3%**
	③ かなり	度数	21	45	179	245
		就業状況 の %	**6.2%**	**5.6%**	**7.0%**	**6.6%**
合計		度数	341	808	2548	3697
		就業状況 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 9.337 4 .053 ）

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
（３）その時の場面が，突然頭にうかんでくる。	① 全くなし	度数	193	415	1220	1828
		就業状況 の %	**56.8%**	**51.4%**	**48.6%**	**50.0%**
	② 少し	度数	120	311	980	1411
		就業状況 の %	**35.3%**	**38.5%**	**39.0%**	**38.6%**
	③ かなり	度数	27	81	310	418
		就業状況 の %	**7.9%**	**10.0%**	**12.4%**	**11.4%**
合計		度数	340	807	2510	3657
		就業状況 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 12.36 4 **.015** ）

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
（４）寝つきが悪い。	① 全くなし	度数	222	474	1460	2156
		就業状況 の %	**64.7%**	**58.0%**	**57.4%**	**58.2%**
	② 少し	度数	86	247	726	1059
		就業状況 の %	**25.1%**	**30.2%**	**28.5%**	**28.6%**
	③ かなり	度数	35	96	359	490
		就業状況 の %	**10.2%**	**11.8%**	**14.1%**	**13.2%**
合計		度数	343	817	2545	3705
		就業状況 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 10.279 4 **.036** ）

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
（５）物事に集中できない。	① 全くなし	度数	262	579	1738	2579
		就業状況 の %	**78.0%**	**71.9%**	**69.2%**	**70.6%**
	② 少し	度数	60	192	605	857
		就業状況 の %	**17.9%**	**23.9%**	**24.1%**	**23.5%**
	③ かなり	度数	14	34	167	215
		就業状況 の %	**4.2%**	**4.2%**	**6.7%**	**5.9%**
合計		度数	336	805	2510	3651
		就業状況 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 16.405 4 **.003** ）

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
（６）震災を思い出すと，身体が反応して汗ばんだり，息が苦しくなったり，むかむかしたりドキドキすることがある。	① 全くなし	度数	258	582	1729	2569
		就業状況 の %	**75.0%**	**71.5%**	**68.2%**	**69.6%**
	② 少し	度数	77	199	636	912
		就業状況 の %	**22.4%**	**24.4%**	**25.1%**	**24.7%**
	③ かなり	度数	9	33	170	212
		就業状況 の %	**2.6%**	**4.1%**	**6.7%**	**5.7%**
合計		度数	344	814	2535	3693
		就業状況 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 17.495　4　.002 ）

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
（７）震災についての夢を見る。	① 全くなし	度数	245	572	1757	2574
		就業状況 の %	**71.6%**	**70.4%**	**68.9%**	**69.5%**
	② 少し	度数	80	199	622	901
		就業状況 の %	**23.4%**	**24.5%**	**24.4%**	**24.3%**
	③ かなり	度数	17	41	171	229
		就業状況 の %	**5.0%**	**5.0%**	**6.7%**	**6.2%**
合計		度数	342	812	2550	3704
		就業状況 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 4.227　4　.376 ）

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
（８）何事にもやる気が起きない。	① 全くなし	度数	260	611	1770	2641
		就業状況 の %	**76.2%**	**75.8%**	**70.5%**	**72.2%**
	② 少し	度数	68	160	562	790
		就業状況 の %	**19.9%**	**19.9%**	**22.4%**	**21.6%**
	③ かなり	度数	13	35	180	228
		就業状況 の %	**3.8%**	**4.3%**	**7.2%**	**6.2%**
合計		度数	341	806	2512	3659
		就業状況 の %	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**	**100.0%**

Pearson の $\chi 2$ 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 16.884　4　**.002** ）

設問 15「震災の前後で，将来の生活に対する思いに変化はありましたか。」では，就労状況の相違での統計学的な有意な差異がみられた（χ^2=23.871, 自由度 10, p=0.008）。すなわち，仕事をしていない人＜主婦・無職（年金・資産・扶養等）＞は，仕事している人よりも将来に対しての不安を強く感じている人が多い傾向がある。(クロス集計表 16)

クロス集計表 16

			就業状況			
			会社員・公務員など	農業・漁業・自営業・臨時雇用・アルバイトなど	主婦・無職（年金・資産・扶養等）	合計
１５．震災の前後で，将来の生活に対する思いに変化はありましたか。	①将来の生活に大いに希望を持っている。	度数	10	33	71	114
		就業状況の %	3.0%	4.1%	2.8%	3.1%
	②これまでと同様特に不安などはない。	度数	122	228	669	1019
		就業状況の %	36.6%	28.2%	26.8%	28.0%
	③今現在は不安だが，将来については特に不安は感じない。	度数	18	64	172	254
		就業状況の %	5.4%	7.9%	6.9%	7.0%
	④これまでにはなかった不安を多少感じるようになった。	度数	128	299	1001	1428
		就業状況の %	38.4%	37.0%	40.1%	39.2%
	⑤これまでにはなかった不安を強く感じるようになった。	度数	52	174	561	787
		就業状況の %	15.6%	21.5%	22.5%	21.6%
	⑥その他	度数	3	10	24	37
		就業状況の %	.9%	1.2%	1.0%	1.0%
合計		度数	333	808	2498	3639
		就業状況の %	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Pearson の χ2 乗値，自由度，漸近有意確率(両側) ＝（ 23.871 10 .008 ）

(5)　調査結果の考察

(1)医療について

調査対象とした南三陸町と女川町では，それぞれ公立志津川病院，女川町立病院を中心として，住民に医療が提供されてきた。被災直後の状況については，その建物の被害状況や職員の動きなどがマスメディアなどでも広く伝えられており，現場の医療関係者の尽力は言うに及ばない。そして，その後の継続的な医療活動は，遠隔地から続々と集まったボランティアの医師，保健師，看護師等も大きな役割を果たした。さらに，津波被害がなかった場所から順次医療機関は再開し，住民の医療ニーズに応えるための医療機関の復旧の取り組みは現在も続いている。また，近隣自治体にある医療機関や石巻にある石巻赤十字病院などをはじめ，二次医療，三次医療の拠点も，発災直後から医療の不足を補ってきた。

本調査は平成23年9月から24年2月にかけて実施しているが，震災から半年以上が経過した時点でも，体調が悪い人は 772 人(18.8%)に上る。また，地域差もみられ(南三陸:16.1%，女川:24.0%)，高齢化率の差や被災に伴う居住状況などの因子の関与が示唆される。また，一般に高齢者では慢性疾患を中心に有病率が高いが，様々な形で震災が心身の健康に影響を及ぼしている。すなわち，震災前後での体調の変化について，「新たに病気になり，医療機関を受診した人」が 555 人(13.5%)，「以前からの病気の症状が悪化して医療機関を受診した人」が 379 人(9.2%)であった。そして，高齢者の医療ニーズは多岐にわたり，その頻度も高いことは，現在通院している人が 3271 人(79.8%)という結果からも明らかである。

さらに，病院や診療所の設置を求める要望は高く＜(病院 989 人(24.1%)，診療所498人(12．1%)＞疾患があっても安心して生活できる医療供給体制が望まれる。その一方で，通院のための交通手段に対するニーズが高い＜1079 人(26.3%)＞。震災に伴う道路網の寸断，車両の故障・流失，公共交通機関の停止が，高齢者の医療へのアクセスを妨げ，その結果として必要な受療が実現していないと考えられる。震災からある程度の日数が経過して，避難所から仮設住宅に移る時期，あるいは住民生活や都市基盤が復旧する前のこの時期においては，医療機関の整備よりも，医療へのアクセス手段を確保することにより多くの力を注ぐ必要があるかもしれない。

(2)福祉について

高齢者は身体機能の低下の観点から災害弱者である。高齢の住民が，移動手段がないために，津波被災時に逃げ遅れた可能性がある。その一方で，家族や近隣住民が声を掛け合ったり，避難を助けたとの記載が多い。大規模な災害によってフォーマルな福祉サービスが提供できない状況においては，地域のつながりに基づく相互の助け合いが大きな意味を持つ。避難時の判断，避難方法のみならず，避難所で食料や毛布，衣料品などを分け合ったり，高齢者に配慮した援助が必要である。

調査時点において，介護が必要な状況の人はおよそ 350 人程度と一割に満たないが，介護事業所の機能が回復していない状況においては，必要な介護サービスが提供されていない可能性がある。しかし，震災前後でのサービスの変化について回答した 305 人中 240 人は，震災

前後で介護サービスに変化はないと回答している。また，305 人中 25 人は現在の方が良いサービスを受けていると回答している。これらを併せると 265 人(86.9%)は，現時点で介護保険に基づく必要な介護サービスを受けることができている。しかしながら，要望として，介護サービス事業所や高齢者福祉施設の増加とともに，経費負担の軽減を求める声が多くある(136 人)。震災によって多くの資産を失った人たちにとって，介護に係る負担を軽減してほしいという要望があることは，被災者の経費負担軽減を目的とした諸制度が追い付いていない側面と考えられ，本人や，その人を支える家族の経済的・心理的負担感を十分に軽減しているとは言えない。一方で，このような要望は災害の発生に関わらず生じるものであることも考慮する必要があるだろう。

ボランティアによる介護支援については，大きな地域差がみられた。すなわち，南三陸では介護支援が 15.6%であるのに対し，女川では 2.2%であった。女川町は震災後の道路状況が悪く，ボランティアワーカーのアクセスが困難であったこと，女川では介護支援の必要な人が石巻等の福祉避難所で必要な介護サービスを受けることができた可能性などが考えられ，地理的特色も深く関与していると考えられる。

(3)社会について

震災に伴う物理的な環境の変化は，そこに住む住民の生活を大きく変えた。家屋を失った人たちの仮設住宅への入居者のみならず，家屋が残った人たちにおいても，近隣住民がその家を離れ，人口が減少する状況にあっては，同じコミュニティーを維持することが困難であることも少なくない。一方，仮設住宅では新たな住民組織が作られたり，ボランティア団体などが関与して，コミュニティーづくりを推進する動きがある。

本調査では，震災前後の社会活動の変化に注目した。現在参加している社会活動に関しては老人会(598 人，14.6%)，町内会・自治会(581 人，14.2%)，婦人会(225 人，5.5%)が多い。いずれも，地域に根差した組織であり，その継続状況はコミュニティー崩壊の程度を示すと考えれる。震災前後での社会活動の変化については，838 人(20.4%)が「震災前は参加していたが今はしていない」と回答している。高齢者の社会との接点として，このような地域に根差した組織が重要であるが，同時に，近所付き合いや，家族，親族との往来も重要である。また，年齢群の分析では，震災後に社会活動への参加が途切れているのは「75-85 歳」の群であり，より高齢群では，震災前から参加していない人が多いことなどから，震災がこの年代を中心に社会活動への参画をやめる「契機」になった可能性が示唆される。

(4)住民のメンタルについて

瞬時に多くの財産や大切な人を失った悲しみは，察するに余りある。しかし，その後の生活を維持するためには，この悲しみを乗り越えたり，やり過ごしたりして，恢復を得ることが求められる。人によってその過程の速度は異なり，今回の調査ではその横断面が記録されているものと推察される。若年者においては，仕事や生活の復旧を目指す取り組みの中で，悲しみを忘れる時間ももたらされるが，高齢者においては，そのような状況とは異なって，孤独なうちに悲しみに向き合い続ける人も少なくない。

調査の結果，以前強いストレスを感じている人が 670 人（16.3%）もおり，加えて心理的なストレスに関して周囲の人に相談したり，治療を受けるようになった人が合わせて 107 人いた。また，この一週間で，次のようなことにどの程度悩まされたか」との設問では，睡眠障害や「その時の場面が突然頭に浮かぶ」というフラッシュバックが頻度が高い。年代別の分析においては，60 代，70 代など比較的若い年代層で強いストレスを感じる人が多い傾向がある。また，若い年代層では，「イライラして怒りっぽくなる」「その時の場面が突然頭に浮かぶ」といった傾向が強い。また，就業状況別に分析したところ，仕事をしていない人の群＜主婦・無職（年金・資産・不要等）＞で震災による心理的影響の度合いが強いことが伺える。

被災者の心の問題に向き合うためには，専門的なスキルもさることながら，その人に寄り添い，関わり続けることや，同じような経験によって痛みに共感できる人の存在が大きい。本アンケート調査は，そのようなニーズを探る機会でもあり，リスクの高い高齢者について，地域の保健師や専門職に連絡して対処を求めたり，社会福祉協議会や民生委員への連絡を行ったケースもあった。また，調査後も調査員が再訪問して見守りをしたり，話し相手となったケースも多くある。高齢者の悲しみに寄り添う援助は長期に及ぶ可能性もあるが，家族，地域，専門職が連携を取り合って対処することが大切である。

（5）生活について

震災に伴う生活環境の変化は，住民に様々な障害をもたらしている。また，高齢者においては，家族が仕事を失ったり，家族の構成や生活習慣が変化することで，二次的に生活に影響を受けている人も少なくないと考えられる。震災前後で日常生活に変化があるかとの設問では，多少悪くなった・とても悪くなったが半数を占めている。具体的には買い物（1261 人，30.8%），住まいの状況・住み心地（1106 人，27.0%），地域での交流（415 人，10.1%），近隣の人たちとの関係（401 人，9.8%），仕事（396 人，9.7%），公的なサービスや情報（332 人，8.1%），食生活（273 人，6.7%）の順であった。買い物に関しては，その背景に（医療の項目で述べたように）移動手段がないことも関与していると考えられる。仮設住宅での生活が，様々な制限やストレスを産み，生活への悪影響を及ぼしていることが推察されるが，時間と共に住民組織が確立し，新たな近所付き合いができ，相互の見守りやケアが生まれることが望まれる。また，今後の支援としては，そのような住民のニーズに応える働きが大切である。

生活のための手段と環境が確保され，安心できるコミュニティが構築されることで，生活者の心理的な負担や不安が軽減される。生活基盤の整備は，行政が担う側面がとともに，住民組織の自治的や，その自立を支える様々な支援が望まれるだろう。

＊調査員アンケートについて

本研究事業で雇用した調査員に対して，調査の終盤（2012 年 1 月）に記名式のアンケート調査を実施した。本アンケートは，調査員が調査を通して感じたことや，気づいたことを自由に述べていただくものであり，その回答傾向を分析した。調査内容は以下の通りである。

（1）調査内容

「この度は，本事業の調査員としてご協力を賜りありがとうございます。本アンケートは，調査員の皆様が調査を通じて感じたことをお聞きするものです。報告書を取り纏めるにあたっての貴重な資料にもなりますので，可能な範囲で，忌憚のないお声をお聞かせ願います。」

1）ご自身・ご家族の被災状況について

2）調査内容（アンケート調査項目）について

＊追加したい事項，あるいは削除した方がよいと思う事項があれば，挙げてください。

3）調査対象となる高齢者との関わりを通して感じたことをお書きください。

4）調査を通して気づいたことを 3 つ挙げてください。

5）調査を通して困ったこと・ストレスと感じたことは何ですか？

6）今後，この調査結果を踏まえてどのような対策が必要だと思いますか？

7）今後，どのような調査が必要だと思いますか？

8）東北福祉大学への要望があればお書きください。

9）その他，自由に気づいたこと，感じたことをお書きください。

（2）回答傾向

1）被災状況

自由記述によって得られた回答によると，回答者 40 名中 23 名（57.5%）の自宅が全壊・大規模半壊・流失している。また，7 名の家族・親戚が死亡または行方不明である。10 名は失業中である。現在仮設住宅に住んでいると回答した人は 16 名おり，また，車を流失した人は 5 名である。そのほか，家や家族が無事だった人も，震災の際には数日間家族と連絡が取れず不安な日々を過ごすなど，状況を詳細に記述している調査員もおり，調査員それぞれが，被災の内容は違っていても，震災によって想像を絶する体験をし，その辛い記憶を震災から約1年を経てもなお強く引きずっている様子が伺われる。

一方，本質問項目に無回答であった調査員は 15 名であった。無回答であるのは被災の程度が低かったからなのか，それとも想起したくないからなのかは不明である。

2）調査内容について

追加したい項目については，「要望に関する項目」をあげた回答1件のみであった。そのほかの回答はすべて，削除したほうがよい項目，もしくは改善したほうがよい内容に関する回答であった。

削除したほうがよい項目としては，「原発関連」「認知症関連」「震災前後の同居者の変化」

「生計・収入」「これからの希望・復興」「イライラして怒りっぽくなったなどの心理的変化」があげられた。原発に関しては，回答者の居住地が福島第一原発から距離があり，強い危機感がないためと考えられるが，それ以外の項目については，対面での調査のため，「相手に失礼ではないか」「答えるのは辛いのではないか」という思いから聞きにくいということが理由として考えられる。また，調査員自身が被災者であるため，質問項目によっては調査員自身が自分の体験を想起してしまう場面もあったのではないかと推測される。

改善したほうがよい点として「質問が多くて時間がかかる」「質問が理解しにくい」「内容や項目を調査しやすいように工夫してほしい」「高齢者に自由記述は難しい」という内容があげられた。一般の高齢者向けのアンケートであるため，回答者のリテラシー能力の個人差が大きかったためと考えられる。今後同様の調査を実施する場合には，理解しやすいように易しい表現を用い，回答は選択式を中心にするなど，回答者の立場に立って工夫をする必要がある。

3）高齢者との関わりを通して感じたこと

高齢者への質問を通して「話し相手をほしがっている」「新しい人間関係を築くのに消極的」というような，高齢者の孤独感を強く感じた調査員がほとんどであった。そのほか，交通が不便であることにより困っている点をあげた調査員も多かった。対面して話を聞いたことにより，高齢者の想いがより強く伝わったものと考えられる。

4）調査を通して気づいたこと

直前の設問 3 とほぼ同様の回答が多かった。

5）困ったこと・ストレスと感じたこと

この質問項目では，多くの種類の回答が寄せられ，本調査は調査員にとってさまざまなストレスや困難をともなう作業であったことが推測された。調査員自身が被災者であるため，回答者の体験が自分の体験と重なって辛い思い出がフラッシュバックされてきたり，ともに涙したりする場面もあったようだ。また，面識のない個人の住居を訪問することへのストレスや，強い語調で協力を拒否されたことへのショックもあった。そのほか，寒い中，玄関先で立ったまま長時間行われた調査の大変さを記述している調査員もいた。調査項目を整理するとともに，選択式にするなど，短時間で実施できる調査を工夫する必要があると考えられる。

6）今後の対策

継続的な心のケア，独居老人への支援をあげる調査員が多かった。実際に対面して話を聞くことにより，被災者が人との心の交流を求めていることが強く実感されたものと思われる。

7）今後の調査

健康調査，若年を対象とした調査，半年～1年後の追跡調査，などがあげられた。調査自体については今後も実施を希望する前向きな意見が寄せられた。

8)大学への要望

今後もボランティアを継続してほしい，学生に高齢者の話し相手になってほしいというボランティアに関する要望や，今後も調査をする際には調査員をさせてほしい，という雇用の希望も寄せられた。質問5において，調査において困ったことやストレスを多く記載していた一方で，本質問項目において今後も調査に協力したいと述べる人が多いという結果から，調査員にとってこの調査が有意義な活動であったと考えられる。

9)その他

さまざまな人と出会うことができてよかった，勉強になった，高齢者だけではなく子供への支援にも取り組んでほしい，などの肯定的あるいは発展的な感想が多く，否定的な感想の記述はなかった。この調査を通して調査員自身が多くを学び，震災について客観的に考え，心理的に成長する機会となった様子が伺われる。

(3)調査員アンケート回答抜粋

1. 被災状況
・家屋の流出
・親戚，おじ，おば，多数犠牲。
・震災により解雇，失業。

2. 調査内容について
・原発災害の事は皆さんあまり関心がなかったように思います
・削除したいというか，聞きづらいのは，震災前後の同居者の変化。
・アンケートの調査項目が長いと言われることが多かった。

3. 高齢者との関わりを通して感じたこと
・皆さんがお話をしたがっていると思う。特に一人暮らしの方や，昼間一人で留守番をしているお年寄りの方。
・将来どこで暮らしたいか等の質問では，高台移転する場合は今までの部落単位とか顔見知りの人達と一緒に移転したいという希望が圧倒的で，高齢者にとっては先が短いので新たな人間関係を築くのに消極的になっている。
・対人関係や健康面に不安を持っている人が多い。
・仮設住宅に一人暮らしはやっぱり寂しいと話すお年寄りの方がいて，とても悲しくなりました。できれば若い人達が声をかけてあげて，お年寄りの方が寂しくないような行事をするとか，お茶会をするとかしてあげられたらいいなと思った。

4. 調査を通じて気付いたこと
・自宅が残っている方は孤独感があった。
・一人暮らしの方が多い(一日中誰とも話す事がない方もいる)。

・仮設に住む人達以上に，民家の高齢者に話し相手が必要だと思う。
・仮設生活者と自宅生活者との間に心のわだかまりや小さなトラブルが発生している（物資の配給，コミュニケーションがうまくいかないなど）。
・交通手段（バス）がもっと多くほしい（仮設住宅の所まできてほしい）。

5．困ったこと・ストレスを感じたこと
・震災の犠牲になったお宅に調査に入る時，あまりに知りすぎているお宅だと，項目をとばしてもストレスを感じた。
・この調査をして，津波の事がますます頭から離れず津波に飲まれる夢まで見るようになり辞めようかとも思ったが，調査しながら自分より大変な人がたくさんいて，励まされたりもしながら皆さんに支えられながら頑張っている。
・調査に協力はしていただいたが，何を聞いても「大丈夫，大丈夫」と答える人達が逆に心配だった。
・やはり，辛い話を聞くと，こちらの気持ちも沈む。
・話を聞いてくれて，ちゃんとアンケートに答えてくれる人と，そうでない人がいた。そうでない人に関しては，他にもアンケート調査みたいなのがあったりして「そんなアンケートとって何になるのや？」とか「何してくれるのや？」とか言われ断られた時に確かに返答に困ってしまった。知らない家に言って，話したりする事の難しさを痛感した。

6．今後の対策
・話を聞いてもらいたい人のところには何回か訪れた方が良いと思う。特に一人暮らしや，津波でパートナーを亡くした方など。
・足腰が弱っている方々が多いので，楽しくまた行きたいと思う。リハビリ体操などを考えてやってみたら外に出るきっかけにもなるし，コミュニケーションもとれるし，心と体の健康につながるのではないか。寝たきりでない限り，やる気のある方は迎えに行ってあげたらもっと良いと思う（行きたくても歩けない人が多かったから）。
・高齢者以外にも中高年（40～60歳）にもストレスがあることを感じた。子供や高齢者に対するボランティア含め精神的ケアが手厚いが，それ以外はあまりないように感じる。中高年にもストレス解消できる事があると良い。
・仮設から出ても心のケアは必要だと思う。

7．今後の調査
・健康の調査。
・独居老人とか他人とうまくコミュニケーションがとれない人達への再調査等，対策がとれれば良い。
・高齢者だけでなく，若い方，働き盛りの方への調査も必要だと思う（色々な心配事が高齢者より山積みのような気がする）。

・一年以上経った上で，どのように暮らしが変わったか，将来のめどはある程度ついたのか，とか，気持ちのストレスとか変わったか調査した方が良いのではないか。
・これからの生活面での要望（どこで，誰と暮らしたいかなど）。

8. 大学への要望
・是非今後も高齢者を対象とした健康調査や，ストレスの具合などを定期的に聞き取りをしてあげた方が良いと思う。
・被災地の年寄りを見捨てないでください。心のケアをしてください。
・今後も仕事の場を作ってほしい。話し相手のサポートができるような専門知識のアドバイスを希望したい。そして次の仕事につながればと思う。
・特に自営業（漁業など）者で高齢者の時間の使い方に問題がある。何をしていいか分からずダラダラとしている。無理もないが（まだ立ち直るには時間が必要だと思うが），もうそろそろ立ち上がるきっかけを作る時期ではないか。男性が参加しやすいイベントをぜひ考えてほしい。また在宅の仕事を考えてほしい。

9. その他
・皆さんあたたかく迎えてくれて思ったより聞きやすかった。
・幅広い年代の人とさまざまな職種の人と会えて楽しく仕事ができました。
・今回の調査で，調査をしてみなければ分からなかったこと，知らなかったことが学べたような気がする。
・調査を始めて最初のうちは，ただアンケートに答えてもらう事，枚数をとる事だけを考えていたような気がするが，日が経つうちに，高齢者の気持ちに寄り添いながら話を聞いてあげられるようになってきた。この気持ちをまた何かにつなげていければ良いと思う。

2. 津波被災地域の福祉施設の状況調査

1．津波被災地域の福祉施設の状況調査（報告：社会福祉法人東北福祉会）

① 震災時の高齢者福祉施設の状況

2011 年 3 月 11 日 金曜日 午後 2 時 46 分 三陸沖を震源とするマグニチュード 9 の地震が発生し，直後に襲ってきた巨大な津波によって，広範囲の地域で尊い命が奪われ，いまだ行方不明の方もおられる。日ごろから災害には関心を高め，非常時に備えていたにもかかわらず犠牲者が多数になった。犠牲者の約 6 割が高齢者とされ，災害時の高齢者及び障害者等弱者対策は大きな課題となった。

震災は，平日の昼間に発生したため，高齢者福祉施設（以下，「施設」という。）では平時の体制で運営がされていた。しかし，震災の規模は誰もが経験したことがなく，災害マニュアルの想定をはるかに超える状況であった。多くの施設では，次に何をなすべきかといった行動や予測に役立てる情報を入手できなかった。情報が伝わった施設では，早い時点で危険回避の判断がとられ，被害は最小に抑えられたように，震災発生直後の行動に大きな影響が出た。

実際に余震が続き，大きな余震が起きるたびに利用者，職員の不安は増していたと振り返る。

この報告書を作成するに当たっては，震災による被害の状況と現在について把握するため，被災地にある施設への聞き取り調査（対象：仙台市，石巻市，南三陸町），並びに被災地にある施設へのアンケート調査（対象：気仙沼市，石巻市，仙台市）を実施した。また，法人職員が被災地にボランティアとして従事した活動報告や実践記録を参考にしている。

調査回答があった施設の被害の程度は，全壊 3，半壊 2，一部損壊 11 である。（資料参照）

◇ライフラインの状況

生活に欠かせない水道，電気，燃料の確保は被災した施設にとって大きな問題であった。特に，日常生活ではその大部分を電気に頼らざるを得ない仕組みにあるところから，復旧までの間，さまざまな障害が発生していた。

○停電の有無

震災後，東北・関東の広範囲で停電になったが，被災施設では，停電の期間が最長では 11 日間，最も短い期間でも 5 日間であった。施設には，基本的に「自家発電」設備が整備されているため，被災直後は対応がされている。しかし，停電の期間が長くなると生活形態に支障が出ている。

○断水の有無

調査対象の施設はすべてで断水となった。公共の上水道が断水した期間で，最も長かったところでは 22 日間にも及んだ。短いところでも 11 日間にも及んでいる。断水によっては 10 日以上も日常生活に支障が出ており，水の使用制限による衛生上の問題も発生している。飲料水は，いずれの施設でも 3 日分の備蓄はされていた。

○食糧不足の有無

施設には，非常食の備蓄が指導されており 3 日程度の期間は対応ができる。今回，調査対象となった施設の半分が「不足した」と回答し，半分が「非常食で乗り切れた」との回答している。

また，備蓄の食糧以外にも在庫の食糧がのこっていた施設もあったことが分かった。交通機関が不通になるなどの影響で流通が滞り，食糧の確保が難しかったため，支援物資に頼ることになった。なかには近隣住民から野菜や米の支援を受けた施設がある。常食以外の流動食などは大量には備蓄されてはおらず，多くの施設では流通が回復するまでの間，支援物資や施設間支援に頼らざるを得ない状況であった。とくに，経管栄養は不足していた。また，震災直後の一定期間，1 日の食事の回数を 2 回としていた施設もある。

○通信について

通信については，固定電話の復旧には 5 日～12 日も要している。そのため，医療機関，市町村等との連絡などの障害となった。しかし，携帯電話は通信障害があったものの，ある程度確保された。市町村機関との連絡網の確保は重要である。

○燃料の不足

車両用の燃料，調理用の燃料が相当不足した。車両については，緊急車両以外は使用をやめていた施設や，要請があっても動くことができないなど，要介護者にも厳しい状態になっていた。調理用や暖房用燃料が備蓄されていた施設は少なかったと思われる。調理用の燃料が不足したため，通常に近い食事の提供ができなかった。ガスや灯油の備蓄が行われる必要があると，アンケート調査の「今後の災害に備えること」の回答としてある。燃料の確保に関しては，一般消費者と同じようにガソリンスタンドの営業がされていないため，確保できない状況である。福祉という大きな観点から，施設の車両が緊急車両に加えられることが望まれる。

② 被災地における高齢者の避難状況

被災地では，建物の安全性やライフラインの確保上の問題などで，一時的に他の場所へ避難を強いられた施設があった。避難する期間は「50 日」，「ほぼ 1 年」と大きな開きがある。これらの施設以外にも，震災により要介護高齢者の日常生活に影響を与えている。宮城県内の特別養護老人ホームとグループホームの震災前後の変化について，宮城県の資料をもとに捉える。

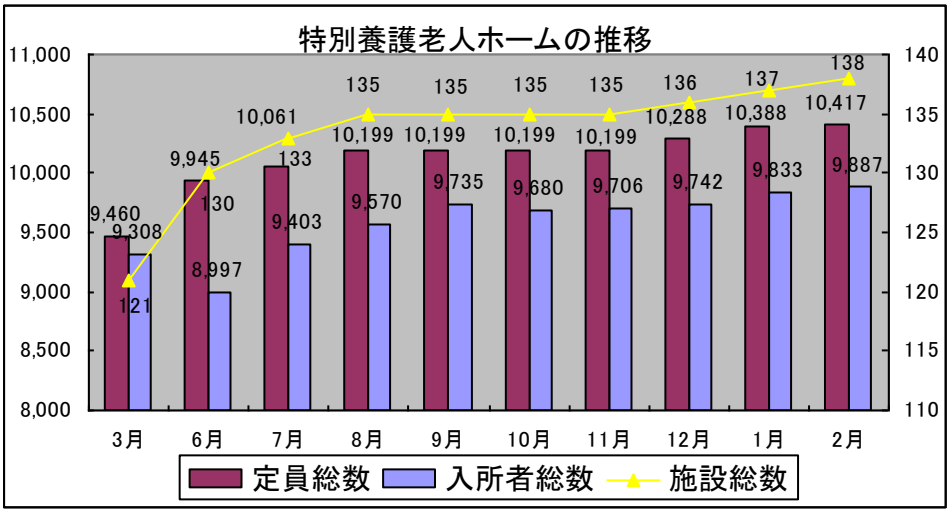
○高齢者施設の数量的変化

2011 年 3 月 1 日現在，宮城県及び仙台市には特別養護老人ホームが 121 施設，グループホームが 207 か所設置になっていた。その後，10 月時点，2012 年 1 月時点には施設数は増加し，全体で特別養護老人ホーム 16 施設，グループホームは 6 か所増加している。これらは，介護保険事業計画に基づいて整備されてきた新たな事業所の開設によるものである。

○震災後の利用状況（稼働状況）

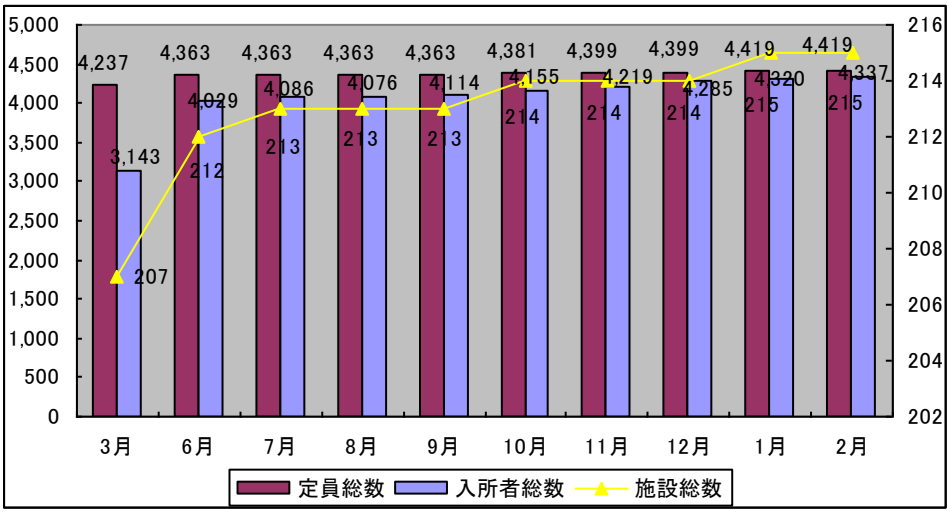
高齢者福祉施設において，震災前と震災後の利用者の受け入れに変化があるかを比較してみた。施設の利用状況（稼働状況）を把握すると＜図表 1＞＜図表 2＞のとおりである。定員に対しての入所実人員である。利用中に（入所中）に医療機関に入院した場合や退所した場合，利用率にはマイナスに作用する。特別養護老人ホームでは，一律に減少している。GH では 10 月時点までは大きく減少している。グループホームの稼働率が減少している原因は，被災地にあるグループホームのうち，数か所が津波被害により事業を休止しているためと推測できる。

＜図表１　宮城県内特別養護老人ホームの推移＞



（出所：宮城県高齢保健福祉部長寿社会政策課「入所調」をもとに作成）

＜図表２　宮城県内グループホームの推移＞

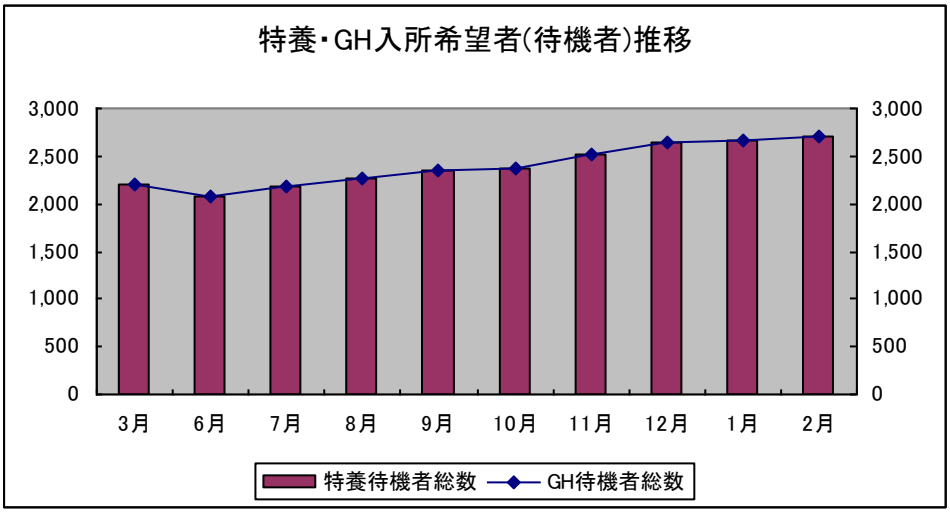


（出所：宮城県高齢保健福祉部長寿社会政策課「入所調」をもとに作成）

要介護高齢者の施設利用希望者（待機者）の変化は＜図表 3＞のとおりである。特別養護老人ホームの場合，利用希望者（待機者）は震災前の 3 月時の人員よりも 1 月時には約 2,000 人も増加している。また，グループホームでも同時期に約 400 人増加している。

これらは，震災後，避難所の閉鎖の時期とほぼ同時期の 10 月から特養，グループホームとも増加し始めている。それは，仮設住宅入居にともない，新たな生活環境になじめない，仮設住宅などでの在宅生活が困難な環境にある高齢者の受け皿として選択されていると考えられる。すなわち，高齢者が取り残されている現状が推測される。

＜図表 3　宮城県内特養・GH 入所希望者の推移＞



（出所：宮城県高齢保健福祉部長寿社会政策課「入所調」をもとに作成）

○被災地への対応

震災直後時から施設利用者以外の養介護の被災者を受け入れた施設が多くある。震災から 6 か月が経過した 10 月でも宮城県内だけで 21 の特別養護老人ホームが自施設利用者以外の被災者等を受け入れている。

＜表１＞　利用定員を超える施設数の変化

	10月		1月	
	施設数	人数	施設数	人数
特養　宮城県	20 施設	183 人	20 施設	134 人
特養　仙台市	1 施設	3 人	2 施設	3 人

出所:「入所状況調」宮城県高齢福祉部長寿社会政策課資料を基に作成

③　高齢者の避難状況（福祉避難所の運営を捉えて）

○石巻市の状況

石巻市は震災直後に避難所を設置した。市内には，防災計画上の避難所のほか，市民が自ら開設したところも合わせると，最大で 259 か所（3 月 18 日）の避難所が開設されていた。この避難所には，最大で 50,758 人（3 月 17 日）が避難した。避難所は 9 月末で原則閉鎖され，10 月末にはすべてが閉鎖となった。この間，「自宅へ戻る」，「仮設住宅へ移る」，「（市外に）転居する」という選択を市民は行った。

現在，石巻市には仮設住宅が 133 か所に分けて建設されている。仮設住宅の総戸数は，7,169 戸である。仮設住宅は「仮設住宅団地」と呼ばれるように，最大の仮設住宅団地の戸数は 1,000 戸を超えている。ここにはおおよそ 2700 人が暮らしている。最少の仮設住宅団地は，20 戸となっている。

○要介護高齢者の状況

この報告をするにあたり石巻市担当者及び石巻市内で市民に震災後の様子をうかがい，図のように津波被害の市民，高齢者の方々の生活空間の移動が捉えられた。震災後，多くの被災者は市町村が「防災計画」に基づいて設置することになっている学校，集会所等に避難を余儀なくされた。これらの避難所は「一次避難所」とされ，多いところでは 1,000 名を超える被災者が学校の教室や体育館，集会室等に身を寄せていた。この中には，要介護高齢者も多数含まれており，要介護高齢者を巡っては被災者同士のトラブルの原因となっていた。

二次避難所は，「福祉避難所」とも言われ，要介護高齢者，単身高齢者等何らかの支援を必要とする高齢者のための避難所である。被災地の中では人口規模の大きな石巻市の場合は，市内に2箇所の「福祉避難所」が設置されている。設置された期間は 2012 年 6 月から 9 月までの 4 か月間である。石巻市によれば，仮設住宅には多くの高齢者が住んでおり，大きな仮設団地には，福祉仮設住宅も併設している。しかし，見守りなどが必要な高齢者が多く，保健師やボランティア（「生活見守り隊」等），社会福祉協議会，NPO により支援が行われている。施設は，施設サービス利用者の自立支援を目的に運営されるが，施設サービス利用者に限らず，在宅高齢者への支援の必要性が高いことから，施設は地域社会資源の一つとして活動を展開した。

〇石巻市ものう福祉避難所のケース

石巻市桃生地区には 6 月に福祉避難所が開設された。設置主体は石巻市，運営は社会福祉法人に委託された。地区内にある市の体育施設に設けられている。利用定員は 50 名で，対象者は被災者で単身高齢者，要介護高齢者，障害者等である。また，対象者は被災時，石巻市内の避難所（一時）にいたことが条件となっている。

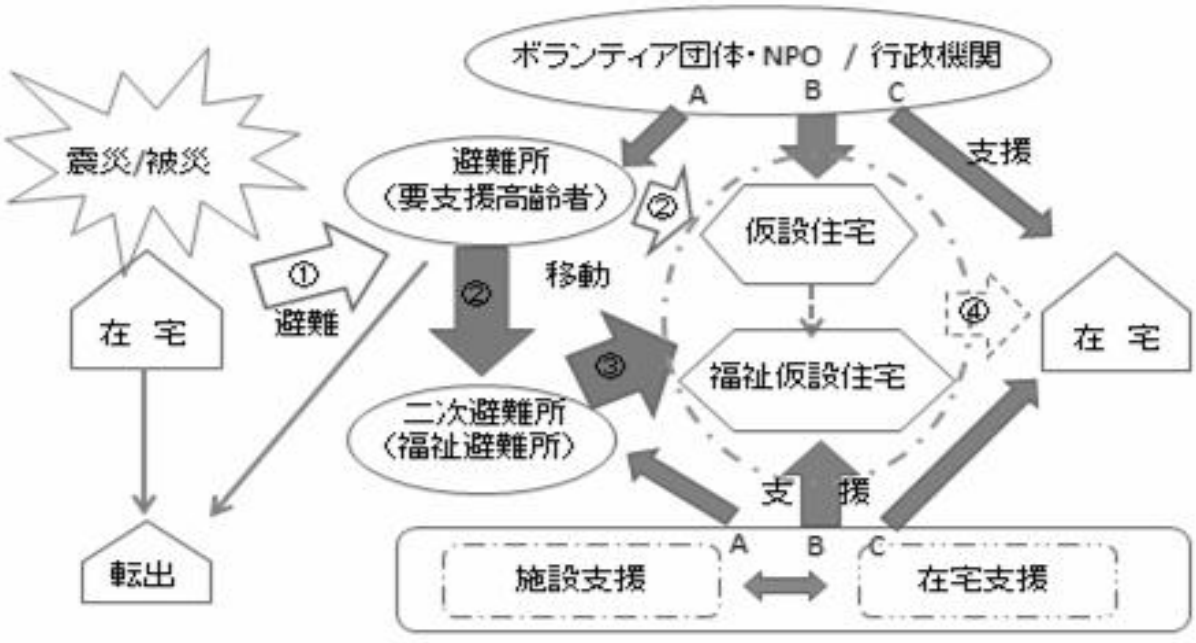
支援にあたるスタッフには看護職，介護職，機能訓練士など生活支援並びに相談員として，今後の生活も含めた相談活動を行うとした体制がとられた。こうした取り組みからも，被災地における高齢者施設では 介護支援にあたるスタッフが不足する状況がみられる。こうした施設を支援するための組織がいくつか立ち上げられた。NPO，ボランティアなど形態は異なるが，被災地の施設機能を支える大きな力になっている。今後は，それぞれの団体が個々の施設と調整するという取り組みから，支援する団体の情報を取りまとめ，受け入れが必要な施設につなぐというネットワークをいずれの地域においても整備しておくことが望まれる。

④ 被災地における高齢者の避難状況

被災地における高齢者（一般市民）の避難状況及び施設における被災した高齢者への支援対応について，調査しさまざまな情報をもとに分析した。その結果，震災被災者の生活は「生活の場」の変更を余儀なくされたが。そのフローは，＜図表 4＞にあらわすことができる。

震災発生時，ほとんどの市民は自宅（在宅）から避難所へ避難している。避難所ではボランティア，NPO，行政等による支援が行われ，一般市民は自宅（在宅）または仮設住宅へと移動する。しかし，要介護高齢者は二次避難所へ移動し，そこを経由して仮設住宅，自宅（在宅）へと移動する。石巻市の場合，133 か所に 7.169 戸の仮設住宅を設置している。この中には相当の高齢者が含まれており，生活を支援する対応が必要になっている。

＜図表4 震災被災者への生活支援フロー＞



Toshihiro Kakinuma 作成

⑤ 今後の課題

震災は平日の日中に発生した。いずれの施設では突然の災害に何をなすべきかといった状況判断ができない状況になっている。こうしたときに最も重要なものが情報である。被災した施設のすべてで通信手段としていた電話が不通となり，どのような状況におかれているのかも含め，外部の状況が分からず混乱している。また，ライフラインが機能しない状況は災害訓練にも含められてはおらず，要介護高齢者の多くが何らかの疾病を抱えていることを踏まえると，ライフラインが回復するまでの数日間は命の危機にさらされている状況におかれていたと考える。

こうした状況把握から，

1．災害時の行動計画（マニュアル）の策定(現状の見直しを含め)

現存の市街対応マニュアルは，震災に対応できていたのかを評価し，見直しが必要なものを改めていくことが求められる。

2．通信手段の確保

今日，通信の役割が大きなものとなっている。次にとるべき対応や避けなければならない危険を知るという「知る」機能だけでなく，外部への発信（支援，応援など）する『知らせる』機能が大きいことを再認識し，災害に強い通信手段を確保する必要性が高い。

3．ライフラインの確保 （食糧の備蓄，上下水道，電気，燃料，おむつ等日用品の確保，暖房機器の確保，医薬品の確保等）

施設における食料や燃料などのストックすべき品目，数量の再検討が早急にされるべきである。また，基本的に 3 日分の備蓄を行政は指導してきた。阪神大震災を教訓としているが，施設の備蓄に関する指導内容も再検討する必要性がある。

4. 災害に強い設備・備品の設置

災害時は，設備，備品の通常の修繕といった業者による対応や流通は機能しにくいことを前提とした設置を推進する必要性がある。

5. 行政，地域医療並びに近隣社会との連携体制の構築

災害では，限定的な地域内での支援対応には限界がある。そのため，広域圏の範囲でネットワークを構成する組織が有効に機能する。他職種が連携し，協働した支援組織である「東北・関東大震災共同支援ネットワーク」や「サンダーバード」などを例にして各地域に早急に立ち上げる必要性が強く求められる。

最後に，市町村が策定する「地域防災計画」等の計画策定の段階から連携を図るべきであり，災害時には，施設が緊急時対応の機関の一つであるという認識と位置づけが必要である。

3. 地元マスメディアの報道にみる被災地（南三陸町・女川町および近隣地域）と高齢者福祉の状況

2．地元マスメディアの報道にみる被災地（南三陸町・女川町および近隣地域）と高齢者福祉の状況（報告：㈱河北新報社）

①　はじめに

悪夢のような東日本大震災から1年。死者・行方不明者が1万9000人を超える1000年に一度の大災害とされ，掛け替えのない尊い命が奪われるとともに，被災者の生活を一瞬にして変えてしまった。犠牲者の死因は9割以上が津波による溺死で，マグニチュード9・0の揺れそのものよりも，その後の巨大津波によって死者や行方不明者が拡大した。阪神・淡路大震災では建物の倒壊などによる外傷や圧死が8割を占め，関東大震災では地震後に発生した火災で大多数が亡くなったのに比べると，被害の実態は大きく異なる。

特に宮城県は死者・行方不明者が計1万1000人と，被災地全体の6割近くを占めた。膨大ながれきの処理や居住地の高台移転，失われた地域経済の再生など課題は山積しており，被災地は復興どころか，いまだ復旧の途上にある。

とりわけ女川，南三陸両町は，巨大津波によって町の中心部がほぼ壊滅し，家屋の7，8割が流失した。まちづくりは一から再興を期す形となる。ともに基幹産業である1次産業の漁業が漁港や漁船，養殖施設の流失によって深刻な打撃を受け，住民の生活，雇用に暗い影を落としている。

両町は震災前から過疎と少子高齢化が進み，高齢者福祉や地域医療の在り方など日本が抱えていた構造的な課題の縮図とも言える地域であった。本報告書では，被災地に本拠を置く地元新聞社として「被災者に寄り添う」をモットーに報道を続けてきた河北新報の記事を通じ，女川，南三陸両町の震災の実情，高齢者をめぐる震災後の動向を探りながら，地域社会再興の道筋を考察する一助としたい。

震災前の女川，南三陸両町の高齢者の実態は，宮城県が2010年に集計した高齢者人口調査によると，総人口に占める65歳以上のお年寄りの割合（高齢化率）が女川町が33・7％，南三陸町は29・3％だった（資料編 C，4ページ参照）。県平均の22・2％をともに大きく上回り，県内35市町村中，女川町は2番目，南三陸町は9番目に高かった。

加えて，甚大な津波被害があった両町では震災後，町外への転出が際立っている。総務省の住民基本台帳に基づく2011年の人口移動報告によると，南三陸町は1628人，女川町は724人の転出超過となっており，人口の流出に歯止めがかかっていない。居住地や仕事が確保できない，子育てに不安があるなどの理由から，働き盛りの年齢層の転出が多いとされる。逆に高齢者は生まれ育った地域への愛着が強く，両町では超高齢化がさらに加速しているとみられる。

住み慣れたわが家や施設を失い，避難生活や仮設住宅暮らしを強いられている「災害弱者」，特に高齢者への支援は震災発生直後から不備が指摘された。

津波によって岩手，宮城，福島3県の高齢者入所施設のうち少なくても59カ所が被災し，高齢者と職員計578人が死亡，行方不明となった（資料編 C，7ページ参照）。沿岸部の高齢者施設の多くは海に臨み，風光明媚な場所に建てられることが多かった。特別養護老人ホー

ムは自力の避難が難しいお年寄りが多い。海辺に建てられた高齢者施設は全国的に見られるが，立地場所の見直しや災害時の避難対策を早急に検討する必要がある。

また，今回の震災では避難所で体調を崩して命を落とすケースや地域医療機関が崩壊する中で医薬品の確保さえままならない事態が相次いだ。認知症や肢体不自由などで介護が必要なお年寄りのケアも，人手不足で限界を超える地域が多かった。震災から1年がたち，仮設住宅で暮らす高齢者の孤立をいかに防ぐかも大きな課題として浮上している。

一方で，それぞれ記事からも汲み取れるように，長期化した避難所生活や仮設住宅の暮らしなどで，地域で支え合う力が随所で発揮され，東北地方における健全なコミュニティーの存在も確認できた。国内外からの継続的な支援も大きな力となっている。

なお，本報告書では河北新報に掲載された社説の中から高齢者福祉や医療に関係する記事の抜粋，並びに東北福祉大学のボランティア活動や医学部設置構想に関わる記事の一部も参考資料として掲載した。

② 女川町の被災状況と高齢者福祉

東日本大震災の大津波によって，女川町では港に面した中心市街地が壊滅した。死者526人（うち死亡確認415人），死亡認定者290人，行方不明者125人に上る（町復興計画を策定した昨年8月3日現在）。

住宅や店舗など6511棟のうち，67％に当たる4363棟が津波で全壊した。大規模半壊と半壊，一部損壊は12％。万石浦に面する浦宿などを除く市街地と離半島部集落の大部分が壊滅した。町役場や消防署といった行政機関，水産加工場や観光施設など産業基盤はほぼ失われた状態となった。

被災前の町の人口は1万14人と，かろうじて1万人台を保っていた。女川町の住民基本台帳ネットワークが復旧した昨年12月末現在の県推計人口では，8233人に激減したことが分かった（資料編 C，23ページ参照）。

震災の深い痛手で人口減少に歯止めが掛からないことに加え，出島，江島といった離島も抱える女川町は高齢化率が高いという悩みもある。県の高齢者人口調査（2010年3月末現在）によると，女川の高齢化率は33・7％。県平均（22・2％）を10ポイント以上も上回り，県内で最高の七ケ宿町に次いで2番目に高い。

町民の3人に1人強が65歳以上という過疎の町。被災からの復旧・復興を目指しながら，高齢者福祉をどう進めるかが待ったなしの課題となっている。

高台にありながら1階が水没して被災した町立病院の再建について，町は今年4月の予定だった公設民営化の計画を前倒しした（資料編 C，16ページ参照）。昨年10月に有床診療所（19床）と50床の老人保健施設を併設する「町地域医療センター」に移行。病院施設の全面復旧を急ぎ，仮設住宅などに入居するお年寄りの在宅医療や健康相談を強化する。

施設改修が終了する4月までに，老健施設を100床に増やし，健診センターも設ける。現在の老健内には高齢者福祉住宅（26床，42人収容）を整備する。

平地が少ない女川町は2階建て，3階建ての仮設住宅を整備するなどの苦労を重ねて，やっと昨年11月，全ての仮設を完成させた（資料編 C，19，21ページ参照）。最大で5720人もいた町民の避難所暮らしが解消した。

ただ，避難所から仮設住宅に移ったとしても高齢者の健康をめぐる不安は尽きない。孤立や閉じこもりの生活に陥りやすい上，環境の変化や運動不足などで認知症や要介護度が悪化するという指摘もある。

町は昨年11月1日，「町こころとからだとくらしの相談センター」を開設。仮設住宅の集会所など7カ所にサブセンターを設置した（資料編 C，21ページ参照）。震災で精神的なダメージを負った住民らの引きこもりや自殺を防ぐのが目的だ。

サブセンターには，保健師などの資格を持つ「ここから専門員」が常駐し，住民の交流を促すサロン活動を企画したり，悩み相談の窓口になったりする。町地域医療センターとも連携を図る。年2回，仮設の全戸訪問を実施し，住民の生活状況や健康状態を把握し，病気予防などに役立てる。

暮らしぶりを把握しにくく支援が手薄になりがちだった在宅被災者を支えようとする動きも出てきた（資料編 C，23ページ参照）。民間支援団体などが女川町と石巻市の沿岸部で昨年11月から，自宅で暮らす被災者を対象にした生活実態の聞き取り調査を実施している。

調査しているのは，石巻市のボランティアグループと，在宅医療専門の診療所を中心とした県内外の支援団体や医療機関。看護師や介護福祉士らを含むスタッフが，調査票を手に被災者が住む家を一軒一軒訪問している。調査結果をデータベース化し，きめ細かいサポートに役立てる。調査内容は行政に対する問題提起のデータとしても活用する。

1995年の阪神大震災では，仮設暮らしの高齢者の「孤独死」や自殺が社会問題化した。東日本大震災でも震災との関連が明らかな自殺者が散見され，独り暮らしが引きこもる負の側面がクローズアップされてきた。地域の特性を生かし，絆を結び合い助け合う心と行動が求められる。

③　南三陸町の被災状況と高齢者福祉

東日本大震災は，南三陸町に壊滅的な被害をもたらした。過去の被災教訓から津波に対する防災意識の高かった町だが，大津波は容赦なく押し寄せた（資料編 C，25ページ参照）。

町のまとめでは死者444人，行方不明者349人（うち死亡届提出251人）に上った（町震災復興を策定した昨年8月末現在）。建物被害は全壊が3166棟，大規模半壊が91棟，半壊が54棟。被災率は実に61・1％にも上る。生活インフラの被害も甚大で，上水道や電気の復旧に長期間を要し，町民の生活再建のおもしになった。

佐藤仁町長も被災して九死に一生を得た。町防災庁舎や町役場をはじめ行政機能はほぼ壊滅。基幹産業の水産業関連施設，観光施設も失い，町はゼロから出直す覚悟での復旧・復興を目指さざるを得ない。集団避難先は町内6カ所，町外50カ所に及び，最大で町民の7割を超す1万2427人が避難生活を送った。

生活，産業の基盤を失った南三陸町から人口の流出が止まらない。同町の住民基本台帳ネットワークが復旧した結果を受けてまとまった県の推計人口（今年1月1日現在）では，南三陸町は1万5141人と，震災前と比べて2237人も減少した（資料編 C，39ページ参照）。

町が被災住民を対象に住宅の移転や再建について調査した中間集計では，町外移転を希望するとした回答が583世帯（回答世帯の17・7％）に上った（資料編 C，39ページ参照）。復興が遅れると，人口流出はさらに深刻化する可能性もある。町外移住が17％強になったことに対し，佐藤町長は「厳しい数字だ」と重く受け止めている。

南三陸町を襲った津波は，高齢者や生活弱者の命を守るはずの病院や福祉施設にも甚大な被害を与えた。公立志津川病院（東棟4階，西棟5階）では津波が4階まで達した。入院患者107人のうち72人が死亡・行方不明となり，看護師と看護助手3人も犠牲になった（資料編 C，29，30ページ参照）。

入院患者の多くは自力歩行が困難な65歳以上の高齢者だった。病院スタッフは懸命に避難誘導や救出に努めたが，限界があった。何度も押し寄せる波と強烈な引き波が犠牲を大きくした。「目の前に患者がいるのに何もできない」。医師らは無力感と絶望感を感じながらも，助かった患者を他の病院に全員搬送するまで見守り続けた。

南三陸町志津川の高台にあった特別養護老人ホーム「慈恵園」は，さらに高台へ入所者を避難させようとしているさなか，津波に襲われた（資料編 C，28ページ参照）。入所者とショートステイ利用者の計67人のうち46人が死亡，2人が行方不明となり，職員も1人が亡くなった。要介護度が高い人たちを車に乗せて移送するのに手間取り，全員を救出できなかった。

ほぼ全壊した公立志津川病院は昨年4月18日，町総合体育館敷地内の仮診療所で外来診療を再開した（資料編 C，27ページ参照）。さらに6月，「新病院建設まで病床を確保したい」という町の意向を受けて登米市よねやま診療所の病床を借り，38床の「間借り病院」を構えた。

町は復興計画の中で，地域医療の核である志津川病院を，復興後の環境に合わせた適正規模や機能の在り方を踏まえて早期再建する方針を打ち出している。しかし，医師と看護職員の離散が加速するという厳しい現実も被災地にはある。医師は複数施設の勤務を掛け持ちするなど激務を続けており，南三陸町は仮診療所と間借り病院を運営するだけで綱渡りの状態だ。

町と国立長寿医療研究センターが昨年10～11月，全町民を対象に健康状況調査を実施したところ，65歳以上の高齢者で「生活不活発病」の疑いが2割を超えることが分かった（資料編 C，38ページ参照）。長時間体を動かさないことで日常動作が困難になる症状であり，災害時の高齢者に起こりやすいとされる。症状を悪化させないようなサポートが急務となっている。

町は高齢者福祉について，自立生活を支援する体制を早期に構築，心理面での変化に気を配り，メンタル支援に取り組みながら，孤立を防ぐ支援にも努めるとしている。マンパワーが不足する現状に配慮し，住民同士で助け合い，支え合う地域づくりも求められている。

④　社説に見る被災地の高齢者福祉と医療

河北新報は東日本大震災以降，震災に関わる諸問題を検証し，解決の道を探る社説を連日掲載している。特に被災地における高齢者の福祉，医療の再生は喫緊の課題が多く，テーマとして取り上げる回数が多い。震災後1年間の社説の中から，福祉・医療にスポットを当てた記事の一部を紹介する。

⑤　大震災に関する東北福祉大学の関連記事

東北福祉大学は，被災16市町村で約3000人の学生，教職員がボラティア活動に励み，高齢者らの心のケアなどにも当たっている。また，仙台厚生病院とともに設置を目指す医学部構想は地域医療再生に寄与するとして，期待が集まっている。河北新報が取り上げた大学関連の記事の一端を掲載する。

⑥　おわりに

東日本大震災からの本格的な復興と東北の新たな発展を目指して，河北新報社は自ら設置した東北再生委員会（委員長・一力雅彦社長）の議論を基に3分野11項目からなる提言をまとめ，今年の元日の朝刊で発表した。

6県による自立的な復興をリードする広域行政組織「東北再生共同体」の創設を呼び掛けているほか，被災地での独自のまちづくりや創造的な産業興しなどの分野で，具体的プロジェクトを掲げた。東北一体の再生という視点を重視し，被災地の報道機関として自治体などの復興計画をより推進させるため，大胆な発想で「戦後」に替わる「災後」の東北像を示している。

提言は全体の考え方や基本理念をまとめた序文と「安全安心のまちづくり」「新しい産業システムの創生」「東北の連帯」の各分野に集約される11項目で構成される。序文では「おこす」「むすぶ」「ひらく」の三つの基本理念を提示。各提言を貫く考え方として，創造的な発想，人や地域の絆，グローバルな視野の大切さを強調した。「復興と創造の道しるべ」として「東北の，東北による，世界のための復興」を宣言。「何十年かかろうと，私たちは必ずやり遂げなければならない」との決意で締めくくっている。

本報告書と密接に関わる「安全安心のまちづくり」では，特別法や復興特区などによって被災土地に法定の定期賃借権を設定し，低地から高台への移住を促進・定着させるアイデアを示した。医師不足が深刻な地域の医療を担う人材育成を図るため，仙台に二つ目の大学医学部を設置するよう提案。持続可能な復興支援の仕組みをつくる取り組みとして，自治体相互支援（ペアリング）の制度化も盛り込んだ。

女川，南三陸両町のように少子高齢化が進行する被災地域の復興に当たっては，保健医療，介護福祉や各種生活支援サービスを一体的に提供する地域包括ケアを中心とした体制整備の必要性を指摘。地域医療・福祉のニーズに沿った地域包括ケア体制の確立は，少子高齢化へと進む全国，世界に開かれた地域医療モデルとなり，医療・福祉ビジネスの展開が期待できる，と訴えている。

また，女川，南三陸両町は震災前，観光振興によるまちづくりに力点を置いていた。観光活性化と交流人口拡大は，今後の地域社会の再生に欠かせない。具体的な取り組みとして，河

北新報社の提言は被災地への地域再生ビジターズ産業の創出を掲げている。それを支える「東北の連帯」には，東北再生共同体のほか，東北共同復興債発行や東北再生機構設立による資金調達を提案。東北全体の交通・物流ネットワーク強化にも触れ，太平洋側と日本海側が一体となったインフラ構築の必要性を訴えた。

復興への道のりは長期にわたり，幾多の困難が予想されるが，復興を支えるのは「地域の力」にほかならない。女川，南三陸両町の高齢者福祉・医療の再生，安全安心で住みよいまちづくりもまた，単なる震災前への復旧ではなく，新しい地域の創造につながり，全国にモデルを示せるよう願いながら，地元報道機関として検証報道を続けていきたい。

4. 被災地での行政・住民(企業等)の協力及び
コミュニティ復興のための取り組み
～宮城県南三陸町の取り組み事例から～

3．被災地での行政・住民（企業等）の協力及びコミュニティ復興のための取り組み

～宮城県南三陸町の取り組み事例から～（報告：㈱東北地域環境研究室）

① はじめに

平成23年3月11日（金），午後2時46分，三陸沖を震源とするマグニチュード9．0，最大震度7（栗原市）の巨大地震が発生した。東日本大震災である。

東北の太平洋沿岸の地域では，その後襲来した大津波が市街地を飲み込み，尊い町民の生命や住まいを奪い，町の主力産業である水産漁業関連施設や漁船を流し去り，商店や公共施設などに壊滅的な被害をもたらした。

震災から1年経過した現在も多くの会社や商店は未だに生産，営業を再開できず，地域の雇用状況は大幅に悪化している。加えて広範囲にわたり地盤沈下した土地のかさ上げに膨大な予算と時間を要するなど，生活の立て直しや地域経済の再生にはさまざまな課題が山積している。また，このような状態が長引くことで，町外への人口流出がさらに進むのではないかと懸念されている。

こうした中，各地において一日でも早く地域の元気を取り戻そうと様々な取り組みが行われている。ここでは，その中から地域の復興，再生に必死に取り組んでいる宮城県南三陸町での取り組みについて，①住民と行政が協力して取り組み成果を挙げている事例，②地域コミュニティの復興にむけ先駆的に取り組んでいる会社，個人について紹介することとしたい。

② “福興市”が復興に向けた町民の心の支えに

～がれきの中からの復興宣言～

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた南三陸町で，“福興市”と名付けられた催しが震災から1ヶ月半後の4月末より毎月開催されている。全国の商店街組織で先進的な防災活動に取り組む「ぼうさい朝市ネットワーク」の支援を受け，地域の商店主有志が「商売で地元を元気にして，人口の流出を食い止めたい」との思いから立ち上がったのだ。

（南三陸町復興市　ホームページより）

震災前から「おさかな通り商店街」には，「商店街がリーダー役となって地域づくりや防災を行うべき」との共通理解が形成されていた。その後，先進的な防災活動に取り組む早稲田商店会の藤村望洋氏と出会ったことがきかけとなり，2003年に「ぼうさい朝市ネットワーク」に加盟していた。

3月11日，テレビで南三陸町の惨状を見た藤村氏は，すぐにネットワークに所属する山形県酒田市の中通り商店街に向かい，南三陸町への支援の拠点としつつ，全国のメンバーに支援を要請した。この迅速な対応により同ネットワークは，3月18日から救援物資を送り続けてきたほか，炊き出し等の支援も行ってきた。

1ヶ月後に現地入りした藤村氏は，失意のどん底にあったおさかな通りの商店主たちに，「あなたたちが頑張らなければ，町は復興しない」と福興市の開催を提案した。この提案を受け，リーダー役の山内正文氏が中心となって準備をすすめ，震災からわずか1ヶ月半後の4月29，30日（土，日）に第1回“福興市”を開催したのである。

第1回は，出店テナント20店のうち町内からの出店は4店と少なかったが，回を重ねるごとに出店数は増え，第6回（9月25日（日））には67店中33店を地元が占めた。第8回（11月27日（日））からは，JR 東日本による福興市応援ツアーが始まり好評を博している。

（JR 東日本　ホームページより）

福興市を構想し実現にまで至ったことについては，地元商工業者が中心となり議論を重ねた結果ではあるが，当初から町が全面的なバックアップ体制をとっていたことが大きく影響している。町としては，非常時における商工振興の柱の事業と位置付け，福興市実行委員会に職員を派遣した他，用地を提供するなど色々な形で後押しした。

福興市の実績は，以下の通りである。コンスタントに集客し売上高を伸ばしているが，この結果を単に経済効果の数値としてみることはできない。壊滅的な被害を受けた南三陸町の商店主や町民にとって，このイベントが復興，再生に向けた心の支えになっていることは間違いない事実である。これは，震災前から町内外に築いてきた広いネットワークの素地があってこそ実現できた事例なのである。

【福興市の実績】

回数	開催日程(※)	集客数	売上高
第 1 回	4 月 29,30 日	15,000 名	2,758,430 円
第 2 回	5 月 29 日	8,000 名	3,956,530 円
第 3 回	6 月 26 日	10,000 名	4,995,331 円
第 4 回	7 月 31 日	18,000 名	6,172,740 円
第 5 回	8 月 28 日	20,000 名	6,265,647 円
第 6 回	9 月 25 日	18,000 名	5,063,928 円
第 7 回	10 月 30 日	21,000 名	7,002,283 円
第 8 回	11 月 27 日	18,000 名	5,285,502 円
第 9 回	12 月 29 日	20,000 名	10,261,030 円
	合計	148,000 名	51,761,421 円

（南三陸観光協会調べ）

※開催日は，第1回は2日間（土日）だったが，第2回から毎月最終日曜日。

※第9回は，毎年恒例の「おすばで祭り」と合わせて「おすばで福興市」として開催。

第8回福興市の様子（平成23年11月27日（日）開催）
（南三陸町福興市　ホームページより）

実行委員長の山内氏は，「南三陸町は海の町です。行政に〝おんぶに抱っこ〟ではなく，自分たちの意見をしっかりと持って，納得のいくまちづくりをしたいと思っています。私たちは，町内にいる方と一緒に頑張って必ずこの町を復興させます。ですから，町外に避難した方にはいつか必ず戻ってきてほしいのです。福興市はその突破口なのです。」と話してくれた。

南三陸町福興市　実行委員長　山内正文さん

（南三陸町復興市　ホームページより）

【福興市　会場の様子】

（いずれも南三陸町福興市　ホームページより）

③　地域とともに生きる宿として

～地域コミュニティの拠点機能強化をめざす南三陸ホテル観洋の取り組み～

「南三陸ホテル観洋」(以下,「ホテル観洋」)は，客室数224室，収容人員1，300人で宮城県内トップクラスの大型リゾートホテルである。平成21年の宿泊客数は20万人と，町全体の宿泊客数24万8千人の8割を占めている。従業員数は200人で，雇用面での貢献度は町内で最も高い。また，全国で唯一，従業員をはじめ町民向けに託児所を設けるなど，町の福利厚生面で大きな役割を果たしていた。

東日本大震災による大津波によって南三陸町の市街地は甚大な被害を受けたが，幸いなことにホテル観洋は高台に位置し，硬い岩盤の上に建っていたことから，2階までの浸水や設備面での不具合が見られたものの，建物は無事だった。

震災直後，町の中心部から望む南三陸ホテル観洋（手前は公立志津川病院）

（ホテル観洋　提供）

震災直後は，宿泊客や地元住民350人を収容し，災害ボランティアの活動拠点，支援物資の供給基地となった。その後，災害復旧関係者の宿泊拠点として開放した。

また，自社ブログで町内の被害状況や住民の生活などを発信し続けた。さらに，町内の商店が殆どなくなってしまったため，4月下旬からレストランや売店の営業を再開し，調査やボランティアで訪れる人にも幅広く対応した。

その後，被災者の生活の場が避難所から仮設住宅に移る時期が近づいたとき，女将の阿部憲子さんは「このままでは，町から人がいなくなってしまう。子供たちがいる家庭，町内での再建をめざす商店主などには優先して来てほしい。」として，5月5日から8月末まで2次避難所としてホテル観洋を開放し，町民600人を受け入れることを決意したのである。

そして，ホテル観洋に受け入れた家族の子供や町内で暮らす子供たちのために，6月下旬，館内8階に学習スペース“TERACO（寺子）”をスタートさせた。

これは，震災後の混乱した生活のなかで恐怖や不安な気持ちを感じたまま限られたスペースで暮らしている子供たちの学習環境がなかなか整わないことから，勉強の場を作ることを目的として大学生ボランティアスタッフの協力を得て学業支援の一環から実現したものである。

生徒は当初10人程度だったが現在では100人を越え，月曜から金曜まで（現在は土日含む毎日）小，中，高生が熱心に授業を受けており，高校，大学受験を控えていた生徒は全員が志望校に合格することができた。

「TERACO」の授業風景

（いずれもホテル観洋　提供）

また，9月には，高齢者の交流促進，孤独死対策のために，お年寄りの外出の機会をつくるため，仮設住宅を巡る「観洋ぐるりんバス」の無料運行を開始した。

観洋ぐるりんバスに乗車しホテル観洋に入る皆さん

控室で久しぶりのおしゃべりに花が咲く

（いずれも　ホテル観洋　提供）

このほか，O.G.A FOR AID の協力により，館内でコミュニティスペース「シーサイド・センター」を設けている（運営は O.G.A FOR AID）。ここは，午前11時から午後10時まで，ネットカフェやスキルアップのための英会話教室，パソコン教室などを行っている。

津波で町内の様々な施設が流され，大人も子供も集まる場所がない状態のなか，組織や団体，ボランティアスタッフの協力を上手に仰ぎつつ，気軽に立ち寄って交流をしたり情報を得る場所であるだけでなく，スキルアップのための場を作り提供していることも地元の方々に対して大きな支援となっている。

パソコン教室の様子　　（ホテル観洋　提供）

地元民間企業として宿泊業を行うホテル観洋が，巨大地震と大津波という“有事”において，「今何が必要か」，「できることは何か」を即座に判断し，経営資源を活かして行ってきた様々な取り組みは大いに評価されるべきものである。

ホテル観洋では7月24日から一般客の受け入れを再開し，9月には客室稼働率は70％まで回復している。宿泊施設の運営にあたっては，避難者と一般客を同時に受け入れる場合，地域内での被災者の受け入れ施設の集約化等調整が不可欠であり，行政等との協力体制をとりつつ進めている。

非常時において力を発揮することができるのは，普段から地域内で“協力体制”を作り上げていたからこそといえ，ホテル観洋の取り組みは，このことを実践で示している。

観光は，関係業種が多岐にわたり，裾野が広く，地域の多様な資源や力を結集し，地域の活性化を図る上で大きな役割を果たす可能性を有している。

それだけに，どんな地域においても，自分たちが住み，暮らしていて，その愛する地域に来訪してもらいたいと考えるならば，地域ぐるみで地域の資源を発掘し続け，磨き込み，的確な評価を行って発信していくことが大切である。

今や，人口減少や少子・高齢化が進み，地域が疲弊する中で，地域の活力を減退させないためには，交流人口に着目し，徹底した増加策を講しなければならない。

これまで，ホテル観洋が年間20万人の宿泊客を挙げていたという実績は，観光庁によるデータ(※)に基づき試算すると定住人口を9，000人増やしたことになり，同社の地域における影響力は極めて大きいものがある。

(※観光庁の試算によれば，定住人口1人の減少に対して，外国人であれば 7 人，国内旅行の宿泊客は24人，国内旅行の日帰り客は79人で補うことができる。(平成 22 年度資料))

平成23年3月26日　館内ロビー前にて

（ホテル観洋　提供）

阿部憲子さんは，「自分たちがこの地域のためにできることは，交流人口を増やしていくことです。被害日本大震災の後は，被災地視察として多くの方に訪れていただいています。これだけ被害が大きかった地域だからこそ，学んでいただけることが多いのだと思います。防災意識を高めることの大切さ，人と人との絆の大切さなど，色々な意味でこうした場所だからこそ感じていただけることがあると思います。

魅力のない町に人は来てくれません。だから町ぐるみで頑張るしかないのです。」と力を込めて話してくれた。

南三陸ホテル観洋　女将　阿部憲子さん

ホテル観洋から望む志津川湾の朝日

（いずれも　ホテル観洋　提供）

Ⅲ. 資料編

A. 複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する実態調査
集計一覧

B. 津波被災地域の福祉施設の状況調査

1　被災地高齢者福祉施設の状況と現状に関するアンケート調査報告書（資料①），石巻市桃生町桃生総合トレーニングセンター福祉避難所事業報告書（資料②）

2　宮城県老人福祉施設入所状況調べ

C. 河北新報報道記事

A. 複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する実態調査

集計一覧

A. 複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する実態調査集計一覧

合計（南三陸+女川）			南三陸			女川		
A.年齢								
	度数	%		度数	%		度数	%
60	1	.0				60	1	.1
62	1	.0	62	1	.0			
63	2	.0	63	1	.0	63	1	.1
64	3	.1	64	2	.1	64	1	.1
65	147	3.6	65	70	2.6	65	77	5.5
66	117	2.9	66	71	2.6	66	46	3.3
67	149	3.6	67	92	3.4	67	57	4.0
68	216	5.3	68	118	4.4	68	98	7.0
69	167	4.1	69	106	3.9	69	61	4.3
70	223	5.4	70	135	5.0	70	88	6.2
71	162	4.0	71	94	3.5	71	68	4.8
72	194	4.7	72	119	4.4	72	75	5.3
73	189	4.6	73	131	4.9	73	58	4.1
74	208	5.1	74	148	5.5	74	60	4.3
75	210	5.1	75	127	4.7	75	83	5.9
76	171	4.2	76	115	4.3	76	56	4.0
77	187	4.6	77	114	4.2	77	73	5.2
78	221	5.4	78	143	5.3	78	78	5.5
79	200	4.9	79	149	5.5	79	51	3.6
80	190	4.6	80	135	5.0	80	55	3.9
81	150	3.7	81	99	3.7	81	51	3.6
82	143	3.5	82	102	3.8	82	41	2.9
83	160	3.9	83	111	4.1	83	49	3.5
84	116	2.8	84	79	2.9	84	37	2.6
85	91	2.2	85	64	2.4	85	27	1.9
86	95	2.3	86	66	2.5	86	29	2.1
87	61	1.5	87	41	1.5	87	20	1.4
88	71	1.7	88	57	2.1	88	14	1.0
89	55	1.3	89	46	1.7	89	9	.6
90	53	1.3	90	43	1.6	90	10	.7
91	34	.8	91	27	1.0	91	7	.5
92	22	.5	92	18	.7	92	4	.3
93	17	.4	93	9	.3	93	8	.6
94	18	.4	94	13	.5	94	5	.4
95	3	.1	95	1	.0	95	2	.1
96	7	.2	96	7	.3			
97	5	.1	97	4	.1	97	1	.1
98	4	.1	98	3	.1	98	1	.1
99	5	.1	99	4	.1	99	1	.1
100	1	.0	100	1	.0			
102	1	.0				102	1	.1
合計	4070	99.3	合計	2666	99.1	合計	1404	99.6
無回答	30	.7	無回答	25	.9	無回答	5	.4
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

A*.性別								
	度数	%		度数	%		度数	%
男性	1588	38.7	男性	1027	38.2	男性	561	39.8
女性	2466	60.1	女性	1629	60.5	女性	837	59.4
無回答	46	1.1	無回答	35	1.3	無回答	11	.8
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
B.お住まい								
	度数	%		度数	%		度数	%
①被害がなかったので自宅にいる。	1361	33.2	①被害がなかったので自宅にいる。	1127	41.9	①被害がなかったので自宅にいる。	234	16.6
②被害があったが自宅で生活している。	687	16.8	②被害があったが自宅で生活している。	330	12.3	②被害があったが自宅で生活している。	357	25.3
③避難所	13	.3	③避難所	6	.2	③避難所	7	.5
④仮設住宅	1770	43.2	④仮設住宅	1076	40.0	④仮設住宅	694	49.3
⑤民間借り上げ賃貸住宅	71	1.7	⑤民間借り上げ賃貸住宅	39	1.4	⑤民間借り上げ賃貸住宅	32	2.3
⑥親戚・知人宅で暮らしている。	48	1.2	⑥親戚・知人宅で暮らしている。	33	1.2	⑥親戚・知人宅で暮らしている。	15	1.1
⑦震災前と同じ高齢者施設にいる。	5	.1	⑦震災前と同じ高齢者施設にいる。	1	.0	⑦震災前と同じ高齢者施設にいる。	4	.3
⑧震災前とは別の高齢者施設にいる。	3	.1	⑧震災前とは別の高齢者施設にいる。	1	.0	⑧震災前とは別の高齢者施設にいる。	2	.1
⑨震災後に高齢者施設に入所している。	16	.4	⑨震災後に高齢者施設に入所している。	6	.2	⑨震災後に高齢者施設に入所している。	10	.7
⑩その他	82	2.0	⑩その他	37	1.4	⑩その他	45	3.2
無回答	44	1.1	無回答	35	1.3	無回答	9	.6
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

C.同居者								
	度数	%		度数	%		度数	%
①一人暮らし	465	11.3	①一人暮らし	237	8.8	①一人暮らし	228	16.2
②配偶者	1056	25.8	②配偶者	556	20.7	②配偶者	500	35.5
③親	75	1.8	③親	58	2.2	③親	17	1.2
④子	575	14.0	④子	390	14.5	④子	185	13.1
⑤孫	71	1.7	⑤孫	47	1.7	⑤孫	24	1.7
⑥兄弟姉妹	47	1.1	⑥兄弟姉妹	30	1.1	⑥兄弟姉妹	17	1.2
⑦配偶者と親	42	1.0	⑦配偶者と親	19	.7	⑦配偶者と親	23	1.6
⑧配偶者と親と子	78	1.9	⑧配偶者と親と子	61	2.3	⑧配偶者と親と子	17	1.2
⑨配偶者と子	560	13.7	⑨配偶者と子	385	14.3	⑨配偶者と子	175	12.4
⑩配偶者と子と孫	655	16.0	⑩配偶者と子と孫	534	19.8	⑩配偶者と子と孫	121	8.6
⑪子と孫	528	12.9	⑪子と孫	428	15.9	⑪子と孫	100	7.1
⑫その他	170	4.1	⑫その他	131	4.9	⑫その他	39	2.8

D.震災前後での同居者の変化								
	度数	%		度数	%		度数	%
ある	769	18.8	ある	508	18.9	ある	261	18.5
ない	2806	68.4	ない	1818	67.6	ない	988	70.1
無回答	525	12.8	無回答	365	13.6	無回答	160	11.4
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
E.生計の立て方								
	度数	%		度数	%		度数	%
①会社員	260	6.3	①会社員	201	7.5	①会社員	59	4.2
②公務員	43	1.0	②公務員	36	1.3	②公務員	7	.5
③主婦	66	1.6	③主婦	34	1.3	③主婦	32	2.3
④パートタイム	62	1.5	④パートタイム	37	1.4	④パートタイム	25	1.8
⑤農業	287	7.0	⑤農業	285	10.6	⑤農業	2	.1
⑥漁業	399	9.7	⑥漁業	286	10.6	⑥漁業	113	8.0
⑦自営業(⑤, ⑥以外)	276	6.7	⑦自営業(⑤, ⑥以外)	153	5.7	⑦自営業(⑤, ⑥以外)	123	8.7
⑧公的年金での生活	2961	72.2	⑧公的年金での生活	1891	70.3	⑧公的年金での生活	1070	75.9
⑨家族の扶養	813	19.8	⑨家族の扶養	700	26.0	⑨家族の扶養	113	8.0
⑩資産収入	23	.6	⑩資産収入	22	.8	⑩資産収入	1	.1
⑪生活保護	23	.6	⑪生活保護	14	.5	⑪生活保護	9	.6
⑫その他	99	2.4	⑫その他	62	2.3	⑫その他	37	2.6

F.生計の立て方は震災以前と同じ？								
	度数	%		度数	%		度数	%
はい	3029	73.9	はい	2012	74.8	はい	1017	72.2
いいえ	742	18.1	いいえ	444	16.5	いいえ	298	21.1
無回答	329	8.0	無回答	235	8.7	無回答	94	6.7
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

1.体調								
	度数	%		度数	%		度数	%
良い	899	21.9	良い	683	25.4	良い	216	15.3
普通	2240	54.6	普通	1431	53.2	普通	809	57.4
悪い	772	18.8	悪い	434	16.1	悪い	338	24.0
無回答	189	4.6	無回答	143	5.3	無回答	46	3.3
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

2.震災前後での体調の変化								
	度数	%		度数	%		度数	%
①特にない	2594	63.3	①特にない	1843	68.5	①特にない	751	53.3
②新たに病気になり、医療機関を受診した。	555	13.5	②新たに病気になり、医療機関を受診した。	335	12.4	②新たに病気になり、医療機関を受診した。	220	15.6
③以前からの病気の症状が悪化して、医療機関を受診した	379	9.2	③以前からの病気の症状が悪化して、医療機関を受診した	211	7.8	③以前からの病気の症状が悪化して、医療機関を受診した	168	11.9
④体調が悪くなったが、通院したり薬を飲んだりはしていない	124	3.0	④体調が悪くなったが、通院したり薬を飲んだりはしていない	70	2.6	④体調が悪くなったが、通院したり薬を飲んだりはしていない	54	3.8
その他	180	4.4	その他	75	2.8	その他	105	7.5
無回答	268	6.5	無回答	157	5.8	無回答	111	7.9
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
3.現在の受療状況								
	度数	%		度数	%		度数	%
①必要がない。	577	14.1	①必要がない。	379	14.1	①必要がない。	198	14.1
②通院している。	3271	79.8	②通院している。	2152	80.0	②通院している。	1119	79.4
③往診・訪問診療を受けている。	57	1.4	③往診・訪問診療を受けている。	44	1.6	③往診・訪問診療を受けている。	13	.9
④入院している。	28	.7	④入院している。	21	.8	④入院している。	7	.5
⑤福祉施設(老人保健施設)に入所している。	19	.5	⑤福祉施設(老人保健施設)に入所している。	9	.3	⑤福祉施設(老人保健施設)に入所している。	10	.7
⑥その他	25	.6	⑥その他	16	.6	⑥その他	9	.6
無回答	123	3.0	無回答	70	2.6	無回答	53	3.8
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

3*.必要な医療サービス								
	度数	%		度数	%		度数	%
①現在のサービスで十分である。	1193	29.1	①現在のサービスで十分である。	667	24.8	①現在のサービスで十分である。	526	37.3
②町内に病院が欲しい。	989	24.1	②町内に病院が欲しい。	864	32.1	②町内に病院が欲しい。	125	8.9
③町内にもっと多くの診療所が欲しい。	498	12.1	③町内にもっと多くの診療所が欲しい。	397	14.8	③町内にもっと多くの診療所が欲しい。	101	7.2
④通院のための交通手段が欲しい。	1079	26.3	④通院のための交通手段が欲しい。	757	28.1	④通院のための交通手段が欲しい。	322	22.9
⑤往診・訪問診療をしてくれる診療所・病院が欲しい。	127	3.1	⑤往診・訪問診療をしてくれる診療所・病院が欲しい。	79	2.9	⑤往診・訪問診療をしてくれる診療所・病院が欲しい。	48	3.4
⑥リハビリをしてくれる診療所・病院が欲しい。	159	3.9	⑥リハビリをしてくれる診療所・病院が欲しい。	113	4.2	⑥リハビリをしてくれる診療所・病院が欲しい。	46	3.3
⑦医療について相談できるところが欲しい。	121	3.0	⑦医療について相談できるところが欲しい。	81	3.0	⑦医療について相談できるところが欲しい。	40	2.8
⑧その他	223	5.4	⑧その他	118	4.4	⑧その他	105	7.5

4.家族に認知症の方がいる？								
	度数	%		度数	%		度数	%
はい	240	5.9	はい	169	6.3	はい	71	5.0
いいえ	3545	86.5	いいえ	2277	84.6	いいえ	1268	90.0
無回答	315	7.7	無回答	245	9.1	無回答	70	5.0
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

4*.震災前後での認知症の方の変化								
	度数	%		度数	%		度数	%
①特にない。	193	4.7	①特にない。	150	5.6	①特にない。	43	3.1
②悪くなった。	103	2.5	②悪くなった。	69	2.6	②悪くなった。	34	2.4
③よくなった。	1	.0	③よくなった。	1	.0	③よくなった。	0	.0
④震災後に発症した。	26	.6	④震災後に発症した。	16	.6	④震災後に発症した。	10	.7
無回答	3777	92.1	無回答	2455	91.2	無回答	1322	93.8
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
4.認知症の方の受けている医療福祉サービス**								
	度数	%		度数	%		度数	%
①特に受けていない。	174	4.2	①特に受けていない。	141	5.2	①特に受けていない。	33	1.2
②入院している。	20	.5	②入院している。	14	.5	②入院している。	6	.4
③施設に入所している。	29	.7	③施設に入所している。	16	.6	③施設に入所している。	13	.9
④訪問介護を受けている。	34	.8	④訪問介護を受けている。	27	1.0	④訪問介護を受けている。	7	.5
⑤その他	43	1.0	⑤その他	20	.7	⑤その他	23	1.6
無回答	3800	92.7	無回答	2473	91.9	無回答	1327	94.2
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	98.9

5.震災前後での心理的な状態の変化								
	度数	%		度数	%		度数	%
①特にない。	1651	40.3	①特にない。	1157	43.0	①特にない。	494	35.1
②多少ストレスを感じるようになった。	1512	36.9	②多少ストレスを感じるようになった。	944	35.1	②多少ストレスを感じるようになった。	568	40.3
③強いストレスを感じるようになった。	670	16.3	③強いストレスを感じるようになった。	424	15.8	③強いストレスを感じるようになった。	246	17.5
④心理的なストレスに関して周囲の人に相談するようになった。	35	.9	④心理的なストレスに関して周囲の人に相談するようになった。	19	.7	④心理的なストレスに関して周囲の人に相談するようになった。	16	1.1
⑤心理的なストレスに関して病院・診療所で治療を受けるようになった。	72	1.8	⑤心理的なストレスに関して病院・診療所で治療を受けるようになった。	30	1.1	⑤心理的なストレスに関して病院・診療所で治療を受けるようになった。	42	3.0
⑥その他	46	1.1	⑥その他	32	1.2	⑥その他	14	1.0
無回答	114	2.8	無回答	85	3.2	無回答	29	2.1
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

6.1睡眠途中で目が覚めてしまう								
	度数	%		度数	%		度数	%
① 全くなし	1491	36.4	① 全くなし	1077	40.0	① 全くなし	414	29.4
② 少し	1842	44.9	② 少し	1171	43.5	② 少し	671	47.6
③ かなり	576	14.0	③ かなり	331	12.3	③ かなり	245	17.4
無回答	191	4.7	無回答	112	4.2	無回答	79	5.6
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

6.2イライラして怒りっぽい								
	度数	%		度数	%		度数	%
① 全くなし	2440	59.5	① 全くなし	1687	62.7	① 全くなし	753	53.4
② 少し	1122	27.4	② 少し	680	25.3	② 少し	442	31.4
③ かなり	251	6.1	③ かなり	147	5.5	③ かなり	104	7.4
無回答	287	7.0	無回答	177	6.6	無回答	110	7.8
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
6.3その時の場面が突然頭に浮かぶ								
	度数	%		度数	%		度数	%
① 全くなし	1893	46.2	① 全くなし	1283	47.7	① 全くなし	610	43.3
② 少し	1444	35.2	② 少し	908	33.7	② 少し	536	38.0
③ かなり	430	10.5	③ かなり	297	11.0	③ かなり	133	9.4
無回答	333	8.1	無回答	203	7.5	無回答	130	9.2
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

6.4寝つきが悪い								
	度数	%		度数	%		度数	%
① 全くなし	2222	54.2	① 全くなし	1548	57.5	① 全くなし	674	47.8
② 少し	1094	26.7	② 少し	675	25.1	② 少し	419	29.7
③ かなり	508	12.4	③ かなり	300	11.1	③ かなり	208	14.8
無回答	276	6.7	無回答	168	6.2	無回答	108	7.7
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

6.5物事に集中できない								
	度数	%		度数	%		度数	%
① 全くなし	2648	64.6	① 全くなし	1844	68.5	① 全くなし	804	57.1
② 少し	891	21.7	② 少し	498	18.5	② 少し	393	27.9
③ かなり	226	5.5	③ かなり	149	5.5	③ かなり	77	5.5
無回答	335	8.2	無回答	200	7.4	無回答	135	9.6
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

6.6震災を思いだし、身体が反応して汗ばんだり、息苦しくなったり、むかむかしたりドキドキすることがある								
	度数	%		度数	%		度数	%
① 全くなし	2647	64.6	① 全くなし	1804	67.0	① 全くなし	843	59.8
② 少し	933	22.8	② 少し	544	20.2	② 少し	389	27.6
③ かなり	221	5.4	③ かなり	161	6.0	③ かなり	60	4.3
無回答	299	7.3	無回答	182	6.8	無回答	117	8.3
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

6.7震災についての夢を見る								
	度数	%		度数	%		度数	%
① 全くなし	2653	64.7	① 全くなし	1775	66.0	① 全くなし	878	62.3
② 少し	926	22.6	② 少し	572	21.3	② 少し	354	25.1
③ かなり	236	5.8	③ かなり	171	6.4	③ かなり	65	4.6
無回答	285	7.0	無回答	173	6.4	無回答	112	7.9
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

6.8何事にもやる気が起きない								
	度数	%		度数	%		度数	%
① 全くなし	2709	66.1	① 全くなし	1880	69.9	① 全くなし	829	58.8
② 少し	823	20.1	② 少し	452	16.8	② 少し	371	26.3
③ かなり	239	5.8	③ かなり	152	5.6	③ かなり	87	6.2
無回答	329	8.0	無回答	207	7.7	無回答	122	8.7
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
6.9その他								
	度数	%		度数	%		度数	%
記述回答あり	151	3.7	記述回答あり	71	2.6	記述回答あり	80	5.7
無回答	3949	96.3	無回答	2620	97.4	無回答	1329	94.3
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

7.震災前後での要介護認定の変化								
	度数	%		度数	%		度数	%
①認定は受けていない。	3251	79.3	①認定は受けていない。	2115	78.6	①認定は受けていない。	1136	80.6
②要支援＜1・2＞のままである。	113	2.8	②要支援＜1・2＞のままである。	73	2.7	②要支援＜1・2＞のままである。	40	2.8
③要介護＜1～5＞のままである。	173	4.2	③要介護＜1～5＞のままである。	104	3.9	③要介護＜1～5＞のままである。	69	4.9
④要支援から要介護に変更になった。	11	.3	④要支援から要介護に変更になった。	4	.1	④要支援から要介護に変更になった。	7	.5
⑤要介護から要支援に変更になった。	5	.1	⑤要介護から要支援に変更になった。	2	.1	⑤要介護から要支援に変更になった。	3	.2
⑥要支援・要介護それぞれの中で悪い方へ変更になった。	7	.2	⑥要支援・要介護それぞれの中で悪い方へ変更になった。	6	.2	⑥要支援・要介護それぞれの中で悪い方へ変更になった。	1	.1
⑦要支援・要介護それぞれの中で良い方へ変更になった。	4	.1	⑦要支援・要介護それぞれの中で良い方へ変更になった。	1	.0	⑦要支援・要介護それぞれの中で良い方へ変更になった。	3	.2
⑧申請(新規・区分変更)をしたいができないでいる。	7	.2	⑧申請(新規・区分変更)をしたいができないでいる。	6	.2	⑧申請(新規・区分変更)をしたいができないでいる。	1	.1
⑨その他	27	.7	⑨その他	11	.4	⑨その他	16	1.1
無回答	502	12.2	無回答	369	13.7	無回答	133	9.4
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

7*.申請ができない理由								
	度数	%		度数	%		度数	%
記述回答あり	42	1.0	記述回答あり	18	.7	記述回答あり	24	1.7
無回答	4058	99.0	無回答	2673	99.3	無回答	1385	98.3
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

8.現在利用中の介護サービス								
	度数	%		度数	%		度数	%
①利用していない。	2520	61.5	①利用していない。	1484	55.1	①利用していない。	1036	73.5
②介護予防サービス＜運動・口腔・栄養＞を受けている。	19	.5	②介護予防サービス＜運動・口腔・栄養＞を受けている。	10	.4	②介護予防サービス＜運動・口腔・栄養＞を受けている。	9	.6
③認定を受けて，介護サービスを利用している。	218	5.3	③認定を受けて，介護サービスを利用している。	129	4.8	③認定を受けて，介護サービスを利用している。	89	6.3
④利用したいができないでいる。	11	.3	④利用したいができないでいる。	5	.2	④利用したいができないでいる。	6	.4
⑤その他	21	.5	⑤その他	15	.6	⑤その他	6	.4
無回答	1311	32.0	無回答	1048	38.9	無回答	263	18.7
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
8*.具体的介護サービス								
	度数	%		度数	%		度数	%
①訪問介護	62	1.5	①訪問介護	48	1.8	①訪問介護	14	1.0
②訪問入浴	60	1.5	②訪問入浴	37	1.4	②訪問入浴	23	1.6
③訪問看護	31	.8	③訪問看護	25	.9	③訪問看護	6	.4
④訪問リハビリテーション	24	.6	④訪問リハビリテーション	7	.3	④訪問リハビリテーション	17	1.2
⑤居宅療養管理指導	7	.2	⑤居宅療養管理指導	5	.2	⑤居宅療養管理指導	2	.1
⑥通所介護	94	2.3	⑥通所介護	56	2.1	⑥通所介護	38	2.7
⑦通所リハビリテーション	51	1.2	⑦通所リハビリテーション	35	1.3	⑦通所リハビリテーション	16	1.1
⑧短期入所生活介護	23	.6	⑧短期入所生活介護	12	.4	⑧短期入所生活介護	11	.8
⑨短期入所療養介護	9	.2	⑨短期入所療養介護	2	.1	⑨短期入所療養介護	7	.5
⑩特定施設入居者生活介護	7	.2	⑩特定施設入居者生活介護	3	.1	⑩特定施設入居者生活介護	4	.3
⑪福祉用具貸与	61	1.5	⑪福祉用具貸与	42	1.6	⑪福祉用具貸与	19	1.3
⑫特定福祉用具販売	5	.1	⑫特定福祉用具販売	2	.1	⑫特定福祉用具販売	3	.2
⑬住宅改修費支給	11	.3	⑬住宅改修費支給	3	.1	⑬住宅改修費支給	8	.6

9.震災前後での介護サービスの変化								
	度数	%		度数	%		度数	%
①かつては現在よりも良いサービスを受けていた。	40	1.0	①かつては現在よりも良いサービスを受けていた。	26	1.0	①かつては現在よりも良いサービスを受けていた。	14	1.0
②変化はない。	240	5.9	②変化はない。	176	6.5	②変化はない。	64	4.5
③現在のほうが良いサービスを受けている。	25	.6	③現在のほうが良いサービスを受けている。	16	.6	③現在のほうが良いサービスを受けている。	9	.6
無回答	3795	92.6	無回答	2473	91.9	無回答	1322	93.8
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

10.必要なサービス								
	度数	%		度数	%		度数	%
①現在のサービスで十分である。	199	4.9	①現在のサービスで十分である。	140	5.2	①現在のサービスで十分である。	59	4.2
②町内にもっと多くの介護サービスの事業者が欲しい。	109	2.7	②町内にもっと多くの介護サービスの事業者が欲しい。	74	2.7	②町内にもっと多くの介護サービスの事業者が欲しい。	35	2.5
③町内にもっと多くの高齢者福祉施設が欲しい。	104	2.5	③町内にもっと多くの高齢者福祉施設が欲しい。	60	2.2	③町内にもっと多くの高齢者福祉施設が欲しい。	44	3.1
④町外でもいいので,利用しやすい介護サービスや福祉施設が欲しい。	49	1.2	④町外でもいいので,利用しやすい介護サービスや福祉施設が欲しい。	26	1.0	④町外でもいいので,利用しやすい介護サービスや福祉施設が欲しい。	23	1.6
⑤もっと経費負担を軽減できる制度が欲しい。	136	3.3	⑤もっと経費負担を軽減できる制度が欲しい。	86	3.2	⑤もっと経費負担を軽減できる制度が欲しい。	50	3.5
⑥介護サービスについて相談できるところが欲しい。	44	1.1	⑥介護サービスについて相談できるところが欲しい。	27	1.0	⑥介護サービスについて相談できるところが欲しい。	17	1.2
⑦その他	15	.4	⑦その他	2	.1	⑦その他	13	.9

合計			南三陸			女川		
11.ボランティアによる介護支援を受けた？								
	度数	%		度数	%		度数	%
はい	450	11.0	はい	419	15.6	はい	31	2.2
いいえ	2429	59.2	いいえ	1491	55.4	いいえ	938	66.6
無回答	1221	29.8	無回答	781	29.0	無回答	440	31.2
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

12.震災前後での日常生活の変化								
	度数	%		度数	%		度数	%
①特にない。	1735	42.3	①特にない。	1149	42.7	①特にない。	586	41.6
②多少悪くなった。	1289	31.4	②多少悪くなった。	858	31.9	②多少悪くなった。	431	30.6
③とても悪くなった。	783	19.1	③とても悪くなった。	486	18.1	③とても悪くなった。	297	21.1
④その他	36	.9	④その他	17	.6	④その他	19	1.3
無回答	257	6.3	無回答	181	6.7	無回答	76	5.4
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

12*.不満や不便								
	度数	%		度数	%		度数	%
①住まいの状況（住み心地等）	1106	27.0	①住まいの状況（住み心地等）	669	24.9	①住まいの状況（住み心地等）	437	31.0
②仕事	396	9.7	②仕事	290	10.8	②仕事	106	7.5
③買い物	1261	30.8	③買い物	924	34.3	③買い物	337	23.9
④食生活	273	6.7	④食生活	199	7.4	④食生活	74	5.3
⑤近隣の人たちとの関係	401	9.8	⑤近隣の人たちとの関係	244	9.1	⑤近隣の人たちとの関係	157	11.1
⑥地域での交流	415	10.1	⑥地域での交流	271	10.1	⑥地域での交流	144	10.2
⑦余暇や自由時間	145	3.5	⑦余暇や自由時間	87	3.2	⑦余暇や自由時間	58	4.1
⑧公的なサービスや情報	332	8.1	⑧公的なサービスや情報	229	8.5	⑧公的なサービスや情報	103	7.3
⑨その他	172	4.2	⑨その他	81	3.0	⑨その他	91	6.5

13.震災前後での社会活動の変化								
	度数	%		度数	%		度数	%
①震災前から同じ活動に参加している。	594	14.5	①震災前から同じ活動に参加している。	400	14.9	①震災前から同じ活動に参加している。	194	13.8
②震災前は参加していたが今はしていない。	838	20.4	②震災前は参加していたが今はしていない。	491	18.2	②震災前は参加していたが今はしていない。	347	24.6
③震災後に参加するようになった。	95	2.3	③震災後に参加するようになった。	70	2.6	③震災後に参加するようになった。	25	1.8
④震災前から参加していない。	2242	54.7	④震災前から参加していない。	1488	55.3	④震災前から参加していない。	754	53.5
無回答	331	8.1	無回答	242	9.0	無回答	89	6.3
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
13*.現在参加している社会活動								
	度数	%		度数	%		度数	%
①町内会や自治会	581	14.2	①町内会や自治会	406	15.1	①町内会や自治会	175	12.4
②婦人会	225	5.5	②婦人会	135	5.0	②婦人会	90	6.4
③老人会	598	14.6	③老人会	400	14.9	③老人会	198	14.1
④消防団	36	.9	④消防団	27	1.0	④消防団	9	.6
⑤商工会	44	1.1	⑤商工会	22	.8	⑤商工会	22	1.6
⑥宗教的活動(寺社・教会など)	42	1.0	⑥宗教的活動(寺社・教会など)	15	.6	⑥宗教的活動(寺社・教会など)	27	1.9
⑦政治的活動	11	.3	⑦政治的活動	6	.2	⑦政治的活動	5	.4
⑧ボランティア団体	105	2.6	⑧ボランティア団体	73	2.7	⑧ボランティア団体	32	2.3
⑨その他	313	7.6	⑨その他	237	8.8	⑨その他	76	5.4

14.原発災害の影響について								
	度数	%		度数	%		度数	%
①特にない。	2661	64.9	①特にない。	1773	65.9	①特にない。	888	63.0
②直接的な影響はないが，復旧・復興の遅れにつながっていると思う。	245	6.0	②直接的な影響はないが，復旧・復興の遅れにつながっていると思う。	139	5.2	②直接的な影響はないが，復旧・復興の遅れにつながっていると思う。	106	7.5
③食料の確保や義援金の配分など支援の推進に影響が出ている。	38	.9	③食料の確保や義援金の配分など支援の推進に影響が出ている。	28	1.0	③食料の確保や義援金の配分など支援の推進に影響が出ている。	10	.7
④漁業・農業への影響がみられる。	353	8.6	④漁業・農業への影響がみられる。	297	11.0	④漁業・農業への影響がみられる。	56	4.0
⑤不安が高まり，心理的なストレスとなっている。	154	3.8	⑤不安が高まり，心理的なストレスとなっている。	83	3.1	⑤不安が高まり，心理的なストレスとなっている。	71	5.0
⑥今はないが，将来への不安が強くなっている。	527	12.9	⑥今はないが，将来への不安が強くなっている。	249	9.3	⑥今はないが，将来への不安が強くなっている。	278	19.7
⑦その他	159	1.3	⑦その他	111	.2	⑦その他	48	3.3

15.将来の生活に対する思い								
	度数	%		度数	%		度数	%
①将来の生活に大いに希望を持っている。	124	3.0	①将来の生活に大いに希望を持っている。	89	3.3	①将来の生活に大いに希望を持っている。	35	2.5
②これまでと同様特に不安などはない。	1043	25.4	②これまでと同様特に不安などはない。	749	27.8	②これまでと同様特に不安などはない。	294	20.9
③今現在は不安だが，将来については特に不安は感じない。	262	6.4	③今現在は不安だが，将来については特に不安は感じない。	162	6.0	③今現在は不安だが，将来については特に不安は感じない。	100	7.1
④これまでにはなかった不安を多少感じるようになった。	1473	35.9	④これまでにはなかった不安を多少感じるようになった。	930	34.6	④これまでにはなかった不安を多少感じるようになった。	543	38.5
⑤これまでにはなかった不安を強く感じるようになった。	812	19.8	⑤これまでにはなかった不安を強く感じるようになった。	502	18.7	⑤これまでにはなかった不安を強く感じるようになった。	310	22.0
⑥その他	37	.9	⑥その他	11	.4	⑥その他	26	1.8
無回答	349	8.5	無回答	248	9.2	無回答	101	7.2
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
15*.どのような点に将来の生活の不安を感じるか								
	度数	%		度数	%		度数	%
①地域社会(コミュニティ)の存続	376	9.2	①地域社会(コミュニティ)の存続	247	9.2	①地域社会(コミュニティ)の存続	129	9.2
②生活環境全般	855	20.9	②生活環境全般	569	21.1	②生活環境全般	286	20.3
③仕事(生計の確保)	669	16.3	③仕事(生計の確保)	494	18.4	③仕事(生計の確保)	175	12.4
④健康	1064	26.0	④健康	697	25.9	④健康	367	26.0
⑤住環境	991	24.2	⑤住環境	608	22.6	⑤住環境	383	27.2
⑥人間関係	258	6.3	⑥人間関係	175	6.5	⑥人間関係	83	5.9
⑦家族の将来	813	19.8	⑦家族の将来	608	22.6	⑦家族の将来	205	14.5
⑧その他	133	3.2	⑧その他	59	2.2	⑧その他	74	5.3

16.将来の希望などに関する自由記述カテゴリー分類①								
	度数	%		度数	%		度数	%
住む場所について	1075	26.2	住む場所について	431	16.0	住む場所について	644	45.7
生活・生き方について	408	10.0	生活・生き方について	346	12.9	生活・生き方について	62	4.4
家族・親類について	294	7.2	家族・親類について	241	9.0	家族・親類について	53	3.8
仕事について	53	1.3	仕事について	35	1.3	仕事について	18	1.3
医療・介護について	13	.3	医療・介護について	7	.3	医療・介護について	6	.4
他者への要望について	30	.7	他者への要望について	17	.6	他者への要望について	13	.9
健康・元気について	54	1.3	健康・元気について	36	1.3	健康・元気について	18	1.3
設備や物資について	73	1.8	設備や物資について	35	1.3	設備や物資について	38	2.7
心の問題について	32	.8	心の問題について	4	.1	心の問題について	28	2.0
経済問題について	11	.3	経済問題について	7	.3	経済問題について	4	.3
地域社会の問題について	34	.8	地域社会の問題について	30	1.1	地域社会の問題について	4	.3
その他	162	4.0	その他	147	5.5	その他	15	1.1
問題・要望なし	34	.8	問題・要望なし	9	.3	問題・要望なし	25	1.8
無回答	1827	44.6	無回答	1346	50.0	無回答	481	34.1
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

16*.将来の希望などに関する自由記述カテゴリー分類②								
	度数	%		度数	%		度数	%
a	1077	26.3	a	556	20.7	a	521	37.0
b	602	14.7	b	426	15.8	b	176	12.5
c	178	4.3	c	97	3.6	c	81	5.7
d	63	1.5	d	34	1.3	d	29	2.1
e	4	.1	e	0	.0	e	4	.3
h	1	.0	h	1	.0	h	0	.0
m	1	.0	m	0	.0	m	1	.1
z	135	3.3	z	73	2.7	z	62	4.4
無回答	2039	49.7	無回答	1504	55.9	無回答	535	38.0
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
16**.将来の希望などに関する自由記述カテゴリー分類③								
	度数	%		度数	%		度数	%
住む場所について	54	1.3	住む場所について	25	.9	住む場所について	29	2.1
生活・生き方について	34	.8	生活・生き方について	11	.4	生活・生き方について	23	1.6
家族・親類について	198	4.8	家族・親類について	116	4.3	家族・親類について	82	5.8
仕事について	17	.4	仕事について	2	.1	仕事について	15	1.1
医療・介護について	10	.2	医療・介護について	1	.0	医療・介護について	9	.6
他者への要望について	14	.3	他者への要望について	1	.0	他者への要望について	13	.9
健康・元気について	21	.5	健康・元気について	10	.4	健康・元気について	11	.8
設備や物資について	16	.4	設備や物資について	1	.0	設備や物資について	15	1.1
心の問題について	33	.8	心の問題について	0	.0	心の問題について	33	2.3
経済問題について	11	.3	経済問題について	3	.1	経済問題について	8	.6
地域社会の問題について	11	.3	地域社会の問題について	1	.0	地域社会の問題について	10	.7
その他	16	.4	その他	2	.1	その他	14	1.0
問題・要望なし	1	.0	問題・要望なし	0	.0	問題・要望なし	1	.1
3つ以上の回答内容	201	4.9	3つ以上の回答内容	164	6.1	3つ以上の回答内容	37	2.6
無回答	3463	84.5	無回答	2354	87.5	無回答	1109	78.7
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

17.震災発生時の行動カテゴリー分類①判断								
	度数	%		度数	%		度数	%
避難の必要なしと判断した	290	7.1	避難の必要なしと判断した	45	1.7	避難の必要なしと判断した	245	17.4
自分で避難を判断した	1026	25.0	自分で避難を判断した	691	25.7	自分で避難を判断した	335	23.8
親族の勧めで判断した	63	1.5	親族の勧めで判断した	19	.7	親族の勧めで判断した	44	3.1
他人(親族以外)の勧めで避難した	63	1.5	他人(親族以外)の勧めで避難した	9	.3	他人(親族以外)の勧めで避難した	54	3.8
親族に対して避難を勧めた	10	.2	親族に対して避難を勧めた	3	.1	親族に対して避難を勧めた	7	.5
他人(親族以外)に対して避難を勧めた	25	.6	他人(親族以外)に対して避難を勧めた	5	.2	他人(親族以外)に対して避難を勧めた	20	1.4
判断について不明	444	10.8	判断について不明	146	5.4	判断について不明	298	21.1
その他・複数回答・分類不能	102	2.5	その他・複数回答・分類不能	12	.4	その他・複数回答・分類不能	90	6.4
無回答	2077	50.7	無回答<一般住宅分未入力のため>	1761	65.4	無回答	316	22.4
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
17*.震災発生時の行動カテゴリー分類②一次避難方法								
	度数	%		度数	%		度数	%
直後は避難できなかった(怪我・病気・閉じ込められた・避難経路がない)	61	1.5	直後は避難できなかった(怪我・病気・閉じ込められた・避難経路がない)	48	1.8	直後は避難できなかった(怪我・病気・閉じ込められた・避難経路がない)	13	.9
自力で避難した	1142	27.9	自力で避難した	753	28.0	自力で避難した	389	27.6
親族の助けによって避難した	86	2.1	親族の助けによって避難した	21	.8	親族の助けによって避難した	65	4.6
他人(親族以外)の助けで避難した	120	2.9	他人(親族以外)の助けで避難した	21	.8	他人(親族以外)の助けで避難した	99	7.0
親族の避難を助けた	15	.4	親族の避難を助けた	5	.2	親族の避難を助けた	10	.7
他人(親族以外)の避難を助けた	40	1.0	他人(親族以外)の避難を助けた	7	.3	他人(親族以外)の避難を助けた	33	2.3
一次避難方法について不明	273	6.7	一次避難方法について不明	65	2.4	一次避難方法について不明	208	14.8
避難しなかった・その他・複数回答・分類不能	286	7.0	避難しなかった・その他・複数回答・分類不能	10	.4	避難しなかった・その他・複数回答・分類不能	276	19.6
無回答	2077	50.7	無回答<一般住宅分未入力のため>	1761	65.4	無回答	316	22.4
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

17**.震災発生時の行動カテゴリー分類③特記事項								
	度数	%		度数	%		度数	%
避難状況に関するコメント（分類不能も含む）	1786	43.6	避難状況に関するコメント（分類不能も含む）	895	33.3	避難状況に関するコメント（分類不能も含む）	891	63.2
避難状況以外のコメント	127	3.1	避難状況以外のコメント	11	.4	避難状況以外のコメント	116	8.2
注目すべき記載(丁寧な長文の記載、問題の提起、生死を分けるような支援の経験、後世への貴重な提言など)	110	2.7	注目すべき記載(丁寧な長文の記載、問題の提起、生死を分けるような支援の経験、後世への貴重な提言など)	24	.9	注目すべき記載(丁寧な長文の記載、問題の提起、生死を分けるような支援の経験、後世への貴重な提言など)	86	6.1
無回答	2077	50.7	無回答<一般住宅分未入力のため>	1761	65.4	無回答	316	22.4
合計	4100	100.0	合計	2691	100.0	合計	1409	100.0

合計			南三陸			女川		
18.震災後の支援で役立ったもの 3つ（合計）								
	度数	%		度数	%		度数	%
飲みもの	908	14.6	飲みもの	792	18.5	飲みもの	116	6.0
食べもの	1720	27.7	食べもの	1262	29.4	食べもの	458	23.7
着るもの	747	12.0	着るもの	527	12.3	着るもの	220	11.4
寝具	187	3.0	寝具	133	3.1	寝具	54	2.8
住まい	26	.4	住まい	5	.1	住まい	21	1.1
避難所	15	.2	避難所	9	.2	避難所	6	.3
生活用品	889	14.3	生活用品	723	16.9	生活用品	166	8.6
風呂	54	.9	風呂	28	.7	風呂	26	1.3
お金	159	2.6	お金	37	.9	お金	122	6.3
民間のボランティアサービス	359	5.8	民間のボランティアサービス	184	4.3	民間のボランティアサービス	175	9.1
公的なサービス	278	4.5	公的なサービス	134	3.1	公的なサービス	144	7.5
身近な人からのサービス	36	.6	身近な人からのサービス	15	.3	身近な人からのサービス	21	1.1
その他のサービス	239	3.8	その他のサービス	174	4.1	その他のサービス	65	3.4
イベント	11	.2	イベント	3	.1	イベント	8	.4
支援なし	124	2.0	支援なし	28	.7	支援なし	96	5.0
複数回答	273	4.4	複数回答	191	4.5	複数回答	82	4.2
その他	194	3.1	その他	43	1.0	その他	151	7.8
合計	6219	100.0	合計	4288	100.0	合計	1931	100.0

B. 津波被災地域の福祉施設の状況調査

1　被災地高齢者福祉施設の状況と現状に関するアンケート調査報告書（資料①），石巻市桃生町桃生総合トレーニングセンター福祉避難所事業報告書（資料②）

1．調査の概要

東日本大震災の被災地に立地する高齢者福祉施設（特別養護老人ホーム）の震災時の被害の状況と現状について把握するため、アンケート調査を実施した。

2．調査対象施設

○仙台市　4施設　　・気仙沼市　6施設　　・石巻市　5施設　　・東松島市　1施設

合計17施設を対象とした。いずれの施設も地震、津波に被災した施設である。

○施設区分は以下のとおり

・種別　　特別養護老人ホーム

・利用定員　　50名～80名　13施設　　81名～100名　2施設

101名以上　　2施設　　（合計17施設）

なお、すべての施設は短期入所生活介護（ショートステイ）を併設している。

3．調査方法

アンケート調査は、Eメールを媒体として依頼先のアドレスに調査票を送付し、協力者によって記入（回答）した調査票を返信する方法をとった。

4．調査時期

・調査依頼　　2012年2月10日～2月20日

・回収期限　　2012年2月27日

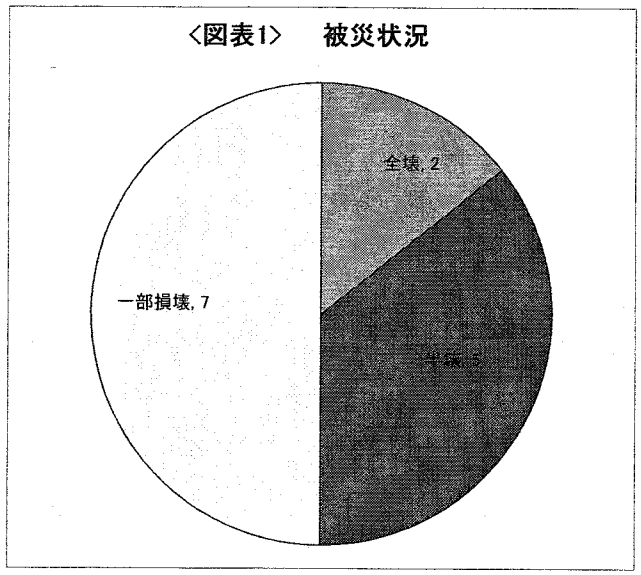
5.回収状況　　14施設から回答を得た（回収率82.3%）

6.集計

1）施設の被害状況

質問1で施設の被害状況を尋ねた。回答があった14施設の中で、全壊は2施設あった。半壊した施設が5施設、一部損壊は7施設であった。全壊した2施設並びに半壊の1施設は津波によるもので、施設利用者並びに職員の中には亡くなられた方もいる。一部損壊の施設のなかにも津波の被害を受けた施設がある。

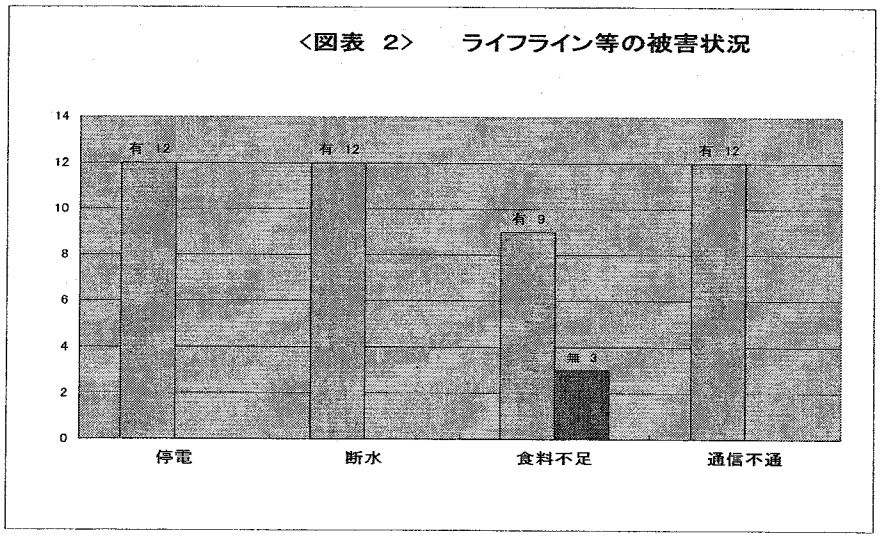
<図表1>　被災状況



2）ライフラインの被害状況

震災時には電気、水道、食料はどのようになっていたのか把握した。その結果、

<図表 2>　ライフライン等の被害状況



全壊を除く 12 施設から回答があった。

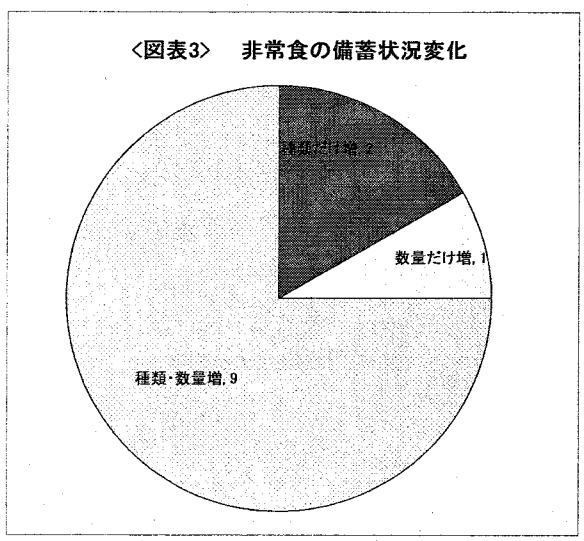
停電は 12 施設とも発生し、復旧までには 3 日から最長で 11 日要している。停電していた期間は、「非常用発電（自家発電）」を使用していたと回答があったが、停電した全期間ではなく、暖房や夜間照明に支障が出ている。

水道に関しても電気と同じく、12 施設で断水している。断水の期間は、5 日から最長で 22 日間と回答があった。その間は、『井戸水』を生活用水として使用するという自衛できた施設と給水に依存した施設がある。飲料水は、非常用に備蓄されていたものを活用している。

食料は、不足した施設が 9 施設、不足はなかったと回答は 3 施設である。ほとんどの施設では、備蓄していた「非常用食料」をつなぎに使い、支援物資に頼る状況が続いていた。

また、特別食といわれる経管栄養などの食料には不足した施設が 7 施設、不足はしなかった施設が 4 施設であった。不足した施設では、支援物資として経管栄養を希望し、支援を受けたところがほとんどである。

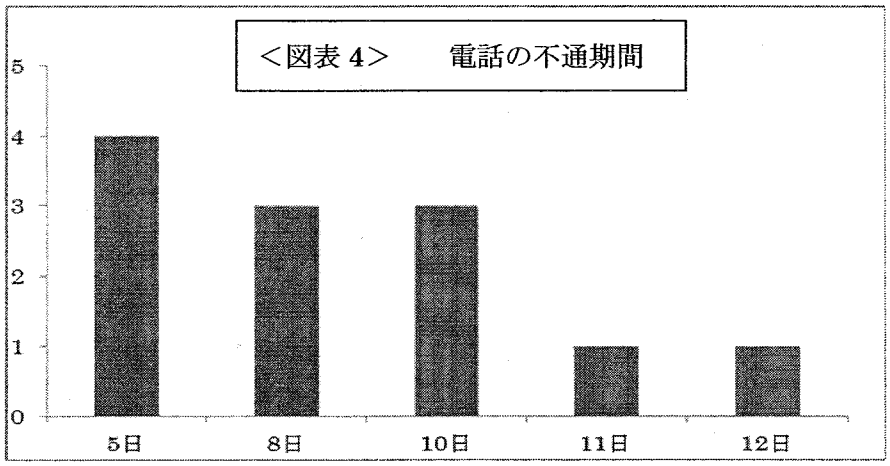
<図表3>　非常食の備蓄状況変化



3）通信手段について

通信に関しては、日常の生活においても状況の把握などの発信、受信において重要な役割がある。震災では、一般でも通信網の不通は広範囲に及び支障が出たが、施設においても同様に障害となっていた。通信手段は、固定電話機及び携帯電話機であるが、通信が回復するまでには<図表 4>にあるように最短で 5 日、最長では 12 日間もの間、情報の管理がされない状態にあった。

通信の遮断は、震災直後の状況を判断する情報の入手ができない状況にあったため、次の行動を判断することができなかったところが多い。津波の被害を受けた地域では、その情報も十分に確保できず、電気の不通も相まって情報の入手に関する対応は必須である。



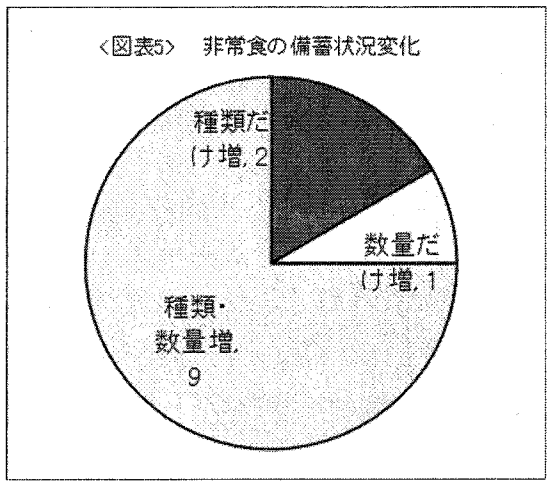
4）災害への備え

震災から 11 か月を経過した時期に行った調査により、被災した施設がこの間にどのような災害対策を講じてきたのか把握した。

最も顕著に現れる対策は非常時の備えの部分である。したがって、非常時の対応をどのようにすべきかの訓練や非常食（備蓄食料）の変化について捉えた。

災害訓練については、施設において消防計画と合わせ実施計画を定めることになっている。震災前は、どの施設でも年 2 回以上消防訓練や災害訓練を実施していることが分かった。多い施設では年間 4 回以上実施している。震災後、災害訓練を実施したと回答があったのは 10 施設で未実施は 2 施設あった。実施したと回答があった施設でも、消防訓練として実施したと回答した施設もあり、地震や津波といった自然災害への備えるという意識が低いようにとらえられる。

震災前との比較であるが、非常食として「備蓄する種類（品目）が増えた」と回答は 2 施設、『備蓄している量が増えた』が 1 施設、『備蓄している種類（品目）と備蓄量とも増えた』が 9 施設であった。



震災前に備蓄していた種類（品目）に加えて新たに「増えた」と回答があった種類（品目）では、

食料品では

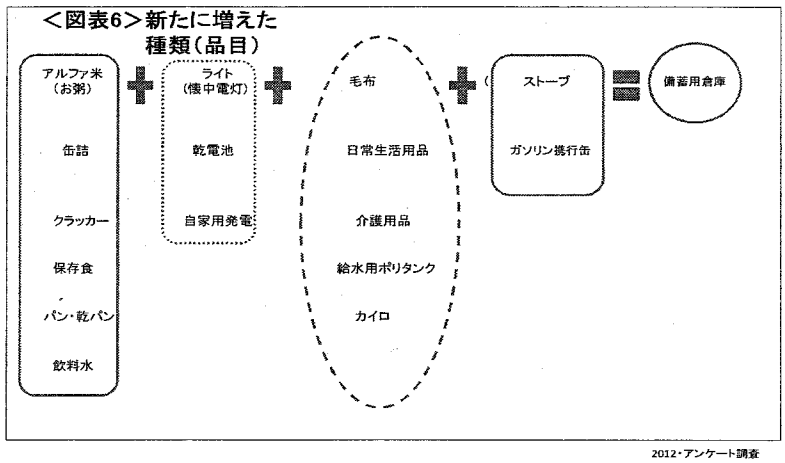
・アルファ米（お粥）　・缶詰　・クラッカー　・パン、乾パン

日用品類では、

・ライト（懐中電灯）　・乾電池　・自家用発電機　・毛布

・飲料水用ポリタンク　・カイロ　・ストーブ　・ガソリン携行缶

さらには、備蓄用品を補完するための備蓄用倉庫も加えられている。

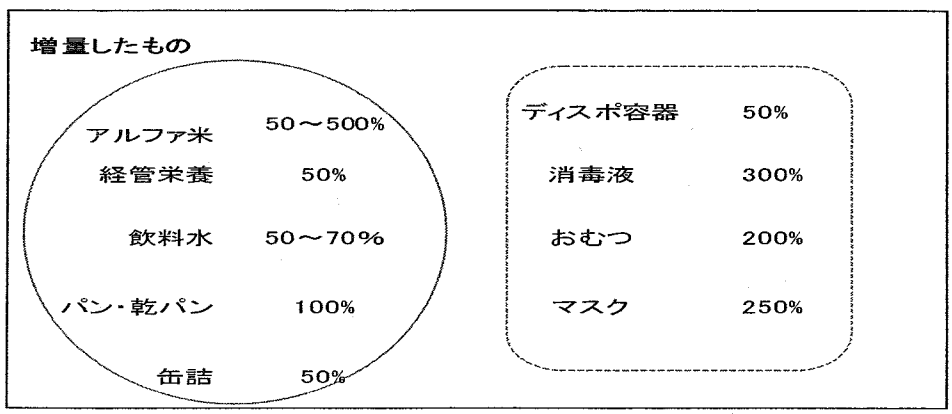


また、『量が増えた』という回答では、既に従来から備蓄してた種類（品目）の中で、震災後にどの種類（品目）を増量したのかを尋ねた。その結果、

食料品には

・アルファ米　最大500%増量　・経管栄養　50%増量　・飲料水　最大70%増量

・パン、乾パン　100%増量　・缶詰　50%増量となっている。



日用品では、

・ディスポ容器　50%増量　　・消毒液　300%増量　　・おむつ　200%増量

・マスク　　250%増量

である。

災害時に活用された非常食に関しては、震災の教訓が活かされ、大きな進展があったという結果が得られた。

5）災害対策として必要なこと

地域社会でも施設でも、震災を経験したことで様々な環境の変化がある。また、災害は大きな教訓を残している。

質問では、今後、災害が発生した時のためにどのようなことを整備する必要があるのかを尋ねた。なお、全壊した施設からの回答があった。

その結果、大きな区分として

① 災害マニュアルの作成　　… 11 施設
② 通信手段の確保　　… 10 施設
③ 電気、灯油等エネルギー源の確保　… 8 施設
④ 近隣団体、行政との連携　　… 6 施設
⑤ 堤防のかさ上げ等の環境整備　　… 4 施設

資料２

石巻市桃生町桃生総合トレーニングセンター

福祉避難所事業報告書

（2011 年 6 月～9 月）

2012 年 2 月

社会福祉法人東北福祉会

Ⅰ　福祉避難所の概要

１．開設の目的

石巻市内避難所において避難生活により身体機能が低下している高齢の避難者で、リハビリテーション等を行うことにより身体機能の回復が見込まれる市民を対象に、福祉避難所を開設する。

２．開設場所　　桃生農業者トレーニングセンター
（設置主体　石巻市）

３．定　　員　　５０名（家族介助者も含む）

４．支援体制

１）コーディネート　石巻市健康推進課保健師　・・・１名

２）施設管理　　石巻市健康部健康推進課職員・・１名
石巻市臨時雇用者　　・・・２名

３）看護　　石巻市夜間急患センター看護師
日中３～６名・夜間２名

４）介護　　社会福祉法人東北福祉会
日中５～８名・夜間２名

５）リハビリ　　NPO 法人リハビリ１０団体　　・・２～５名
（OT・PT・NS・Dr）
宮城県作業療法師会　　・・２～３名

６）移動支援　　NPO 法人移動支援フォーラム　・・１名

７）その他　　各種ボランティア団体（社会福祉士会など）

５．施設設備

１）居住面積・・１区画を３．５㎡(約４畳程度)とした（国連難民高等弁務官事務所 UNHCR 設置基準より）

２）パーテーション・・プライバシー保護のため、段ボール製組立式パーテーションにより各居住スペースを仕切っている。

３）電動ベッド・・電動ベッドを導入し、個人毎の高さに調整し、手すり使用により立ち上がりの確保を行なっている。

４）食事スペース・・全員で食事できるスペースを確保し、避難者同士の交流を深めることを目的としている。あわせて、居住スペースの衛生環境を確保している。

５）休憩スペース・・避難者同士の団欒やコミュニティの場として、また、社会情勢等の情報を得るためにテレビ視聴が可能なスペースを確保している。

６）トイレ設置・・高齢者の身体的負担を軽減するために、各エリア（３箇所）に電動ラ

ップ式トイレを設置している。

６．各職種による対応内容

１）医師・理学療法士、作業療法士等によるリハビリテーション

２）看護師による２４時間見守り・体調管理（必要な方へベッド上に NC 設置）

３）社会福祉士・介護支援専門員　等（ボラ含む）による各種手続き支援や、法律・生活相談

４）介護士等による日中の時間帯の入浴支援、２４時間の生活支援並びに見守り。買物支援、通院支援等。

５）栄養士並びに調理員による朝食・昼食の調理食品の提供（夕食は弁当の物資）

６）移動支援事業者による通院介助（移動含む）や入退所に伴う移転のための支援。

７）石巻市保健師による総合的調整が必要な相談、トラブル対応等。

８）介護支援専門員による、介護保険サービス調整、担当介護支援専門員、包括支援センター職員等との調整等の支援。

９）作業療法士、理学療法士等並びに介護支援専門員、介護士による対処前仮設住宅等の訪問を行い、必要な物品等の調整支援。

６．福祉避難所利用者数

１）高齢者　　35 名（延べ人数　　2,138 名）

２）家族　　12 名（延べ人数　　657 名）　　合計　47 名　（延べ人数　2,795 名）

７．支援団体（敬称略）

公益社団法人日本看護協会、特定非営利活動法人災害人道医療支援会（Humanitarian Medical Assistance)、社団法人宮城県看護協会、一般社団法人宮城県作業療法士会、東日本大震災リハ支援関連１０団体、全国老人デイ・ケア連絡協議会、全国訪問リハビリテーション研究会、特定非営利活動法人移動支援フォーラム、広島県野村病院、医療法人鉄薫会亀田総合病院、アマゾンジャパン（株)、伊藤忠商事（株)、眞野あずさ、日本放送協会　全国からの支援物資　など

Ⅱ（社福）東北福祉会の動き

１．法人内の体制

桃生地区に設置されたことにより、せんだんの杜ものうから 10 名の職員を避難所へ派遣した。

○派遣職種　：介護士５名、栄養士１名、相談員（介護支援専門員）１名、調理員２名

○派遣職員数：仙台市にある３施設（せんだんの杜・せんだんの里・せんだんの館）より１週間交代で各２名を派遣

派遣職員数　87 名　（延べ派遣職員数　　996 名）

○勤務時間：介護職員：

日勤	８：００～１７：００
夜勤	１６：３０～翌９：３０（２交代制）
相談員・栄養士・調理員	８：３０～１７：３０

２.外部からの支援

せんだんの杜ものう内から派遣した職員数が多数であったため、外部からの支援を要請し、７月１日から（特養は７月１５日より）９月３０日までの間支援を頂いた。

○避難所への支援：フィオーレ南海（大阪）より　５名

○特養への支援　：リデルライトホーム（熊本）　計４名

白寿会（広島）・苗場福祉会（新潟）・湖成会（静岡）・養和会（鳥取）

計１４名

Ⅲ　支援内容

１.介護職員：避難所内の主に日常生活全般の支援を行なった。

支援内容	実際の状況	課題・反省点	今後に向けて
入浴	・円滑に入浴ができるよう男女を曜日毎に分けて対応 ・軽微な介助がほとんどで、自立できていることは見守りを実施した ・入浴設備が隣の建物の為移動についての支援をした ・リハ団体と協働したことで身体面の評価の仕方などを学ぶことが出来た ・密室での関わりの中で、避難者の方の思いを聞く機会となり、関係作りにつながった	・入浴の調整を行う中で、順番に関して伝え忘れなどがあった ・手を出し過ぎてしまい、自立支援の観点からずれてしまった	・施設・在宅サービスにおいて、要介護者であっても「自立支援」という観点を持つことを改めて見直すことにつなげられる。 ・安心して入浴するための支援に多職種で関わることができ、視野が広がった
排泄	・日中：自力で行かれる方がほとんどであったため、支援することはほとんどなかった。 ・夜間：１名のみおむつ交	・排泄に関して、自立していた方がほとんどであったため特に課題となる点はみられなかった	・自立している方へ過度に声掛けすることもせず、「見守る」という役割も必要である

	換を支援、夜勤者が対応 ・トイレ使用場所 日中は主に一般用トイレ、車椅子用トイレを使用した夜間は、３箇所に設けられたラップポンを使用する方が多く、２名程尿器使用する方がいた（片づけは職員対応） ・ラップポンは１日６回程度使用回数を確認し、使用限度の５０回に近い数字の場合に交換を行った		・看護師との連携を図り、排便コントロールなどを行う中での連携は重要である
食事	・栄養士が支援物資を利用しながら、朝食・昼食の準備を行った。 ・仕掛けとしてお盆を使用することにより、配膳・下膳を自身で行なうよう自立を促した ・利用者全員、職員が一緒に食事をすることで円滑にコミュニケーションを取ることができ、良好な関係作りにつなげることが出来た ・利用者の状態に合わせた食事を提供することで、栄養状態の低下を防ぐことにつながった。	・準備・片づけ等を職員が行っていたため、避難者の方の役割を奪う結果にもつながり、自立支援の観点から外れてしまっていた感じになってしまった ・食事形態を状態に合せて変えたのは良かったが、今後の生活でも出来るようにご家族等へ申し送りが出来ていなかった ・必要に応じて食事量の確認、水分量の確認を行うことができていなかった	・次の行き先（仮設住宅・自宅等）での生活において、できることを継続するための支援、できなかったことを行えるようにするための支援の大切さ、役割の大切さを改めて感じた。 ・避難所であっても、生活並びに食事の大切さを知ることが出来た
洗濯・掃除	・毎朝、体育館内・トイレ・玄関の掃除機がけ、モップでの水拭き・から拭きを行い衛生管理に努めた ・個人のブース内も定期的	・掃除機は自身で出来る方も多いので、各自に任せることも必要であった ・洗濯も同様で、洗	･IADL の分野全てにおいてスタッフが「やってしまう」ということが多かったため、本人の役割を

	に声がけしながら掃除機がけを行った ・入浴後の浴室、脱衣場の清掃、足ふきマットの洗濯を行った。 ・調理場の衛生管理を栄養士・調理員が行った ・避難者の衣類の洗濯は、入浴した際に依頼され対応した	濯機が外に設置され動線が長かったが、散歩しながら洗濯を行うという支援のあり方が実現できなかった ・洗濯畳等も同様に本人へ畳んだものを渡すだけであったため、役割として畳まずに渡すことも必要であった	持って頂くこと、行ってからのモニタリング・評価の重要性を学べた
コミュニケーション	・活動当初は関係づくりのため一所懸命会話を持とうと対応していた ・利用者には先が見えないことでの苛立ちがあり、積極的に関わることをあえて行わなかった時期がある ・お盆頃からは、避難者が抱える様々な不安や今後への思いを聞くため、積極的にコミュニケーションを図るように努めた	・派遣されたスタッフに申し送りが不十分になったため、避難者に同じことを何度も聞いてしまい、煩わしい思いをさせた ・精神面での支援が必要であったが、その方の思いを知ること・共感することが難しかった ・話しやすい方と接している時間が多くなり、避難者へのかかわりに偏りができてしまった ・関係が深くなることで、言葉が雑になり不快感を持った方もいた	・思いを知ること、気持ちの本質を知ること、共感することの難しさをスタッフが感じ、コミュニケーションの難しさと大切さを学ぶ機会になった ・言葉遣いについて、見直す機会となった ・関わりに偏りが出ることで、生活状況にも影響を与えた.今後の支援の中での注意点である
トラブルへの対応	・飲酒により、泥酔・口論等のトラブルがあった	・スタッフの対応だけを行うことで問題	・保健師と連携を図り、本人が納得でき

	→本人の気持ちを聞きながら、適度な距離を保って思いを吐き出せるような支援を行った ・金銭の盗難トラブルがあった →一緒に探す等して対応を行った。 ・避難者同士の口論 →双方の話しを聞きながら両者の思いを確認した上でその後の対応を行った	がこじれてしまった ・本人の思いを中途半端な確認で対応をしたことにより、余計に怒りを持たせてしまう結果につなげてしまった ・双方の思いを聞きながら対応では無く偏りが出てしまう対応を行った	る対応を行うことが出来た。保健師の声掛け、タイミング等専門職としての対応を学ぶことができた ・対人援助職として、介護だけでなく相談機能を担っていることを理解するとともにコミュニケーション能力を高めることが必要であると
買い物支援	・次の生活に向けた必要物品の買い物について移動及び店内での購入支援を行った ・移動ボランティアの活用が多かった. ・閉所が近づく９月中頃は介護職員へ直接依頼される方が多くなった. ・購入されたものは、家具類・食器類が多くなった	・自ら申し出ることが出来る方はスムーズに買い物に行くことができ、購入することができたが、言えずにいた方のニーズを拾い上げることが少なかった	・ニーズを掘り起こす対応が必要であると改めて感じた ・仮設住宅の場所によっては買い物が不便な場所もあり、買物難民となってしまう方も出てくるため、スタッフとして何が出来るか考える必要がある．関係機関や行政並びに商店などに働きかけをしていく必要がある
認知症の方への対応	・　アルツハイマー型認知症の方が避難しており、環境の違いが大きく、混乱が強く出るなど時もあった ・認知症の方は、他者からの非難を受ける場面もあり、本人の支援とともに、他者へ認知症の方に対する対応の仕方や病気について	・双方が安心して暮らせるための策を早期に手だてすることが必要であった ・対応者が変わることで対応の継続性が失われた時もあり、避難者の方へ不安を持たせてしまった	・認知症に対する正しい理解をスタッフが再確認するとともに、地域の方への説明等が大切である

	説明する		

２．相談職員；避難所内での相談支援、申請等手続きにおける支援、外部サービスとの調整を主に行った。

支援内容	実際の状況（評価含む）	課題・反省点	今後に向けて
相談支援	・退所に向けた相談が主であった ・夫婦間の問題についても対応することがあった ・不安や不満など「こころ」の相談も受けることが多かった	・退所等に関する説明の中で、不安を持たせてしまう結果につながったことがあった ・精神に疾患のある避難者への説明が上手くいかず対応に苦慮した ・夫婦間の問題について、対人援助職としてどこまで対応すべきかの線引きが難しかった ・不安や不満を解消することに関心がいってしまい、根本的な部分が薄れてしまうように解決をしてしまった	・相談援助職として「対象者理解」、「伝える力」の必要性を強く感じ、今後の課題として学びを深めていく ・要援護者だけでなく、取り巻くご家族の状態にも臨機応変に対応できるよう医学的知識の必要性がある ・ご家族の状況に対しての支援の必要性があるのかを確認しながら、全ての援助者が共有し共通認識の中で関わることが必要である ・　物事の表面だけを見るのではなく、本質的な部分まで見ることが出来るための学びが必要である ・多職種連携の必要性がある
外部サービス調整	・避難所内で支援（リハビリ・介護・健康管理等）を終結するのではなく、コミィニティーとの関係性を構築するための方法として外部サービスの調整を支援し	・多職種が協働する中で支援を行ったため、避難所内だけで完結する様な関わりになっていた ・滞在中、外部サー	・避難所を施設としてとらえるのか、在宅としてとらえるのかを明確にすることが必要である ・在宅としてとらえ

	た ・担当ケアマネジャーがいる方について、現状報告を行うとともに次の展開に向けた相談・調整を行った	ビスを新たに導入された方が数名しかいなかった ・　担当ケアマネジャーと役割が重複したため、対象者の方の混乱を招いてしまった ・居住地域の変更もあり、外部サービスを導入することに消極的になった	ることが大切であり、退所前からサービスを導入し関係を作ることで以前の生活に早く戻れると感じた ・役割を明確にすることと、責任を持つということの両方の意味を互いに認識し、確認作業を行いながら対応することが大切である
退所に向けた支援	・仮設住宅に移るための支援として、必要書類の確認及び整備を支援した ・退所前訪問をリハビリスタッフと共に行い、引っ越した際に必要な手すり、シャワーチェアなど福祉用具の選定・準備の支援を行った ・担当ケアマネジャーと連携を密にとり、退所日から逆算した中でサービスの調整等を一緒に行った ・仮設住宅入居に関する説明会への同行、契約等手続きの支援を行った ・引っ越しに必要な車両・人員の手配並びに必要物品の買い物支援を介護職と一緒に行った	・外部サービスとの調整同様に、役割が重複し、特に福祉用具の選定等について混乱を招いた ・ご家族の状況によって、退所日が数度変更になることもあり、その後の対応に苦慮した ・閉所が近づくほど退所のことだけが目的となってしまう現状も多々見られた ・買い物や受診等の支援を行う中で、コミュニケーションを多くとることができ、その中で不安等を吐露されるが、聞きとるだけで、その後のケアやフォローが薄くなってしまっ	・退所することが目的という結果につながった ・避難所を在宅としてとらえ、入所や退所が目的ではないということを共通認識として持ち合わせ、在宅生活をどの様に支援するべきなのかを考えることにつながった ・退所前訪問を多職種で行ったことにより、視点の違いや、専門性をいかに活用するかという視点を持てたことで、考え方にも広がりが出た ・避難者からのニーズや相談ごとを聞くだけにとどまったことは大きな反省点で

		た	ある
申請支援等	・介護認定の新規申請を支援した ・生活支援金、義援金受理に関する申請を社会福祉士会で行っていた内容を引継ぎ、申請の支援を行った ・仮設住宅に必要な申請に関して、ご家族で出来ない方について一緒に支援しながら行った	・社会福祉士会からの引継ぎを経て申請代行などを行うこともあったが、状況確認が不足したことで対応の不備につながったケースもあった ・サービスを受けるためだけに介護認定の申請を行ったケースもあり、必要の有無の見極めが弱かった	・関係機関との情報共有の大切さを改めて感じ、不備があることでの利用者に対する不利益が生じないように今後の業務内容の中での対応を見直していく ・アセスメントをしっかりと行うことで、その方の本質を知り、不必要な支援に結び付けないよう対応を行う
退所後の支援	・リハビリスタッフ、介護職員と共に仮設住宅へ移られた方の所を訪問し、引っ越し後の状態、困りごと、ニーズ等の聞き取り調査を行い、必要なことに関して調整並びに担当ケアマネジャーへ報告する等して不安解消できるように支援した。	・どこまで関わるべきなのかというラインを明確にすることができず、その場限りの対応を行ってしまった ・ニーズを聞いた上で、ケアマネジャー等へ報告した後の確認を行わなかったケースもあり、任せきりの対応をした	・関わり・関係を切らないという思いを大切にするとともに関係機関との連携を密にすることで、相談者がいつでも安心して相談できる環境設定を作る必要性を学んだ ・避難所から仮設住宅へ移ることを目標として支援していた経過があった。しかし、そこがゴールではないことから、本人の望む生活をどの様に支援することで実現できるのかを検討することが重要であることに気づけた。

３.まとめ

６月１３日から９月３０日まで３ヶ月半の活動期間が滞りなく終了した。

避難所が閉鎖となったことが終了ではない、福祉雛所を活用された皆さんは、自宅（修繕中)、仮設住宅、養護老人ホーム、有料老人ホームなどの「居場所」へ移られている。震災前の日常に戻るには相当の時間がかかることから、これからが始まりといっても過言ではない。

福祉雛所の運営には、法人内で協力・連携を図りニーズに応えながら、それぞれが専門性を発揮できたことが大きな柱となっている。さらには、全国から支援を頂けたことによる賜物であると感じている。開設当初から関わっていた石巻市健康推進課の保健師、石巻市立病院急患センター看護師、リハビリ１０団体のほか、多くの方々と試行錯誤しながら支援できたことが大きな事故やトラブルがなく終了につながっている。改めて、ご協力、ご支援をいただいた関係各位に感謝いたします。

今後のサポートは、東北福祉会だけでなく、多くの団体が支援策を検討し、実施していくことが期待されている。その中で当法人が行うべきことは何か？何をするべきなのか？を検討する必要が求められ、今回ご支援をいただいた関係機関・団体とのつながりを活かして、幅広く、長期間の支援ができるよう法人内の連携を強化しなければならない。

今回の震災は数多くの尊い命を奪い、多くの悲しみを与える結果となっている。その中で、３ヶ月半の間に避難所へ派遣された職員は多くの経験を得るとともに、深い悲しみを持った方々と接して様々な思いを感じ取っている。その思いを今後の勤務の中でどの様に活かせるのか、経験をどう活かしていくのか、更に深めていければと考える。

派遣された職員は、期間中現場を守ってくれていた職員へ報告することで、今後の支援内容について共通認識し検討できるように連携を図れればと考える。また、今後の有事の際にどの様に対応すべきか等、災害対策マニュアルの改訂作業の際にも提言をするなど、復興だけでなく防災・減災にも目を向けていけるようにしなればならない。

今後、災害が来ないことを切望するが、有事の際には今回の経験を活かせるよう振返りながら、日々対応をしていくことが必要である。

註） 本報告書は、2011 年 10 月に作成された「石巻市桃生町桃生総合トレーニングセンター(準)福祉避難所運営委託事業総括」をもとに編集したものです。

B. 津波被災地域の福祉施設の状況調査

2 宮城県老人福祉施設入所状況調べ

様式３　　**入所状況調（ 平成23年3月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	八宮荘	83	83	90	3	9.0	2	31.0	2	0	0	0
		えんじゅ	54	52	98	1	9.0	2	56.0	2	0	0	0
	角田市	みどり荘	94	92	208	2	14.5	4	46.0	4	0	0	0
		聖母の家	50	49	103	5	30.0	5	21.6	0	5	0	0
	蔵王町	楽園が丘	50	50	127	2	11.0	0	0.0	0	0	0	0
		ざおうの杜	40	39	156	1	7.0	1	39.0	0	1	0	0
	七ヶ宿町	ゆりの里七ヶ宿	30	29	36	1	14.0	2	47.0	0	2	0	0
	大河原町	桜寿苑	50	50	305	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	柏松苑	50	50	128	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	柴田町	常盤園	56	56	383	1	18.6	1	80.6	1	0	0	0
	川崎町	釜房みどりの園	40	40	104	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二釜房みどりの園	10	10	36	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	仙南ｼﾞｪﾛﾝﾄﾋﾟｱ	104	104	261	1	11.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	13	711	704	2,035	17	－	17	－	9	8	0	0
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	2,488	2,445	12,893	48	－	38	－	34	2	1	1
	塩竈市	清楽苑	50	48	554	0	0.0	1	126.0	1	0	0	0
		ウィズ月見ヶ丘	29	29	95	1	31.0	0	0.0	0	0	0	0
	名取市	松陽苑	80	78	429	1	38.0	1	104.0	1	0	0	0
		うらやす	50	45	454	0	0.0	1	63.0	1	0	0	0
		けやき	50	50	378	4	32.8	0	0.0	0	0	0	0
	多賀城市	多賀城苑	54	53	670	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		桜花	29	25	110	4	8.0	3	8.0	2	1	0	0
	岩沼市	チアフル岩沼	60	60	513	1	3.0	1	110.0	1	0	0	0
		赤井江マリンホーム	50	50	180	1	18.0	0	0.0	0	0	0	0
	亘理町	日就苑	84	83	299	1	8.0	2	13.5	1	1	0	0
		第二日就苑	50	47	136	2	33.0	2	48.0	0	2	0	0
	山元町	みやま荘	50	50	146	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	松島町	松島長松苑	50	49	460	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	第二清楽苑	50	49	427	1	12.0	0	0.0	0	0	0	0
	利府町	十符・風の音	50	50	326	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	和風園	200	197	276	6	22.1	9	63.7	6	3	0	0
	大郷町	郷和荘	54	53	281	0	0.0	1	12.0	1	0	0	0
	富谷町	杜の風	50	50	323	4	14.0	2	15.0	2	0	0	0
	大衡村	七峰荘	52	52	265	3	7.0	3	44.7	3	0	0	0
	小計	57	3,630	3,563	19,215	78	－	64	－	53	9	1	1
北部保健福祉	大崎市	大崎ホーム	50	49	241	0	0.0	1	29.1	1	0	0	0
		寿楽苑	54	54	465	1	2.3	0	0.0	0	0	0	0
		百才館	40	40	372	1	48.4	1	32.2	1	0	0	0
		敬風園	200	195	319	7	33.9	5	93.5	5	0	0	0
		岩出の郷	54	53	468	0	0.0	1	84.0	1	0	0	0
		りんどう苑	50	50	228	2	29.9	1	0.6	1	0	0	0
		かごぼうの里	54	52	210	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	青風園	54	54	424	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やくらいサンホーム	54	52	374	0	0.0	1	64.0	0	1	0	0
		みやざき	50	50	148	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	色麻町												
	涌谷町	ゆうらいふ	30	29	85	0	0.0	1	25.3	1	0	0	0
	美里町	いなほの里	54	52	283	1	3.7	0	0.0	0	0	0	0
		みさとの杜	50	50	123	2	18.5	0	0.0	0	0	0	0
	栗原市	いちょうの里	60	60	147	1	114.0	1	1.0	0	1	0	0
		若藤園	50	50	163	1	32.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛光園	50	50	264	1	134.8	1	0.3	1	0	0	0
		白鳥苑	60	59	65	1	24.0	0	0.0	0	0	0	0
		千葉福寿園	52	52	191	2	28.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王	54	53	223	2	18.0	1	64.0	1	0	0	0
		うぐいすの里	30	29	100	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	30	30	66	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	21	1,180	1,163	4,959	23	－	14	－	12	2	0	0
東部保健福祉	石巻市	和香園	50	49	615	3	23.0	1	21.0	0	1	0	0
		第二和香園	50	48	626	0	0.0	1	3.0	1	0	0	0
		アゼイリア	50	49	208	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
		涼風園	50	47	403	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		仁風園	54	52	590	0	0.0	2	94.5	1	1	0	0
		雄心苑	50	49	180	3	44.7	4	81.8	0	4	0	0
		一心苑	50	50	192	2	20.5	2	23.0	2	0	0	0
		花水木	20	18	136	0	0.0	2	50.5	1	1	0	0
		ファミリオ	50	50	108	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		おしか清心苑	50	50	106	2	9.0	0	0.0	0	0	0	0
		きたかみ	40	39	136	3	25.0	1	37.0	1	0	0	0
	東松島市	矢本華の園	54	52	340	2	22.0	4	36.0	3	1	0	0
		不老園	50	49	129	1	12.0	0	0.0	0	0	0	0
		やもと赤井の里	30	30	173	2	10.0	0	0.0	0	0	0	0
	女川町	おながわ	40	40	186	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	迫風園	50	51	163	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		光風園	50	50	130	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩風園	50	50	104	2	6.0	1	84.0	1	0	0	0
		松風園	50	50	103	3	1.0	2	72.0	1	1	0	0
		さーらの樹	30	30	45	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南風園	54	55	133	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		柳風園	86	86	82	4	6.5	2	21.0	2	0	0	0
		東和	20	18	19	3	8.0	2	19.3	2	0	0	0
	小計	23	1,078	1,062	4,907	32	－	24	－	15	9	0	0
気仙沼保健福祉	気仙沼市	恵風荘	85	84	335	2	8.0	2	35.0	2	0	0	0
		恵潮苑	54	53	441	1	33.0	1	5.0	1	0	0	0
		恵心寮	50	50	121	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		キングス・タウン	50	49	250	1	4.0	1	59.0	1	0	0	0
		春圃苑	50	51	127	2	2.0	1	4.0	1	0	0	0
		唐桑園	30	30	82	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	南三陸町	慈恵園	54	54	121	1	24.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	373	371	1,477	8	－	5	－	5	0	0	0
	合計	全体 121　県分 83	6,972	6,863	32,593	158		124		94	28	1	1

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　124

（注）入所希望者数は、以前の措置制度とは異なり、申込は契約制となり自由かつ複数施設へ申し込むことができるようになっているため、その多くは重複しております。この為「入所希望者数」を従来の待機者数と同様に捉えることはできない性格のものです。

様式３－２

入所状況調（ 平成23年3月1日現在 ）

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	洛風苑	100	100	242	3	4.3	4	54.3	4	0	0	0
		仙台楽生園	90	89	256	1	27.0	2	38.5	2	0	0	0
		思行園	50	46	145	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		自生苑	70	68	129	0	0.0	1	1.0	1	0	0	0
		シオンの園	70	70	282	2	12.5	1	19.0	1	0	0	0
		アルテイル青葉	55	54	125	1	3.0	2	87.5	1	0	1	0
		賓樹苑	100	100	314	2	2.0	1	3.0	1	0	0	0
		大石原苑	50	49	120	2	40.0	0	0.0	0	0	0	0
		リベラ荘	50	49	369	3	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	150	150	371	1	3.0	1	118.0	1	0	0	0
		国見苑	50	50	396	1	9.0	1	11.0	1	0	0	0
		せんだんの館	100	98	628	2	23.0	2	53.5	2	0	0	0
		仙台敬寿園	60	60	192	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		エコーが丘	60	59	276	2	6.0	2	17.3	1	1	0	0
	小計	14	1,055	1,042	3,845	20	－	17	－	15	1	1	0
	宮城野区	暁星園	56	56	243	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
		パルシア	50	50	815	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かむりの里	50	49	363	2	12.0	2	76.0	2	0	0	0
		Ｊ＆Ｂ	52	52	230	1	8.0	0	0.0	0	0	0	0
		リーフ鶴ヶ谷	50	50	338	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	5	258	257	1,989	4	－	2	－	2	0	0	0
	若林区	チアフル遠見塚	50	50	489	1	16.0	0	0.0	0	0	0	0
		潮音荘	50	50	463	2	14.0	0	0.0	0	0	0	0
		杜の里	130	126	680	2	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩の風	40	39	277	1	24.0	1	4.2	1	0	0	0
	小計	4	270	265	1,909	6	－	1	－	1	0	0	0
	太白区	大東苑	50	49	137	2	5.5	3	32.0	3	0	0	0
		白東苑	50	50	775	2	5.5	1	59.0	1	0	0	0
		茂庭苑	100	99	118	1	7.0	1	24.0	1	0	0	0
		八木山翠風苑	50	50	511	1	3.0	1	83.0	1	0	0	0
		サン・つばき	50	49	794	4	12.6	2	30.8	2	0	0	0
		一重の里	60	51	178	1	12.0	1	12.0	1	0	0	0
		春の森から	50	50	350	3	9.6	0	0.0	0	0	0	0
		大年寺山ジェロントピア	50	50	244	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	8	460	448	3,107	14	－	9	－	9	0	0	0
	泉区	愛泉荘	50	50	245	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		泉和荘	50	45	170	0	0.0	3	120.0	2	1	0	0
		泉陵虹の苑	50	48	227	1	36.0	2	86.5	2	0	0	0
		水泉荘	100	99	341	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		泉寿荘	95	92	436	2	5.0	3	5.0	2	0	0	1
		百合ヶ丘苑	50	49	320	0	0.0	1	82.0	1	0	0	0
		泉ふるさと村	50	50	304	1	7.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	445	433	2,043	4	－	9	－	7	1	0	1
合　計		38	2,488	2,445	12,893	48		38		34	2	1	1

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　38

様式１５

入所状況調（ 平成23年3月1日現在 ）

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	ながさか	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たかのす	18	18	5	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		しろいし	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の街	18	17	5	0	0.0	1	11.0	0	1	0	0
		幸福の郷	18	18	8	1	1.0	1	6.0	1	0	0	0
	角田市	花水木	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むくげ	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	蔵王ユートピア	9	8	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふるさと	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	七ヶ宿こもれびの家	9	9	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	さくら	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらの杜	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	あいやまこもれびの家	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	柴田町	ゆう柴田	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もみの木	9	8	2	0	0.0	1	72.0	1	0	0	0
		多機能型ケアホーム つきのき	8	8	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		つくし	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふなおか	18	18	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	川崎町	さわやか	9	9	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあい	18	18	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	リリーハイム	9	9	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		21	269	266	135	2	－	3	－	2	1	0	0
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	1,110	1,086	565	19	－	14	－	0	6	3	5
	塩竈市	小松崎あさひ園	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		清水沢あさひ園	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		オリーブ	9	9	1	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		ももせやすらぎの里	27	27	5	1	0.0	1	40.0	0	1	0	0
	名取市	こもれびの家	27	27	22	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		おうじゅ	9	9	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もも太郎さん	18	17	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		うらやす	18	18	59	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	多賀城市	あやめの里	27	27	9	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうゆう・多賀城	27	25	10	0	0.0	1	3.1	0	1	0	0
		貞山みよりの家	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	岩沼市	あぶくま	18	18	16	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		朝日サポートセンター	18	17	10	0	0.0	1	41.0	0	1	0	0
		しんせん長春館	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	亘理町	しんまち	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		悠里の郷	18	18	7	1	10.0	1	41.0	0	1	0	0
		たいじん荘	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	メサイア	18	16	7	1	1.0	1	4.0	0	1	0	0
		さかもと	18	18	18	2	0.1	0	0.0	0	0	0	0
	松島町	桜の家	18	18	34	1	43.0	1	96.0	0	0	0	1
	七ヶ浜町												
	利府町	やすらぎ苑利府	18	16	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		十符の里	18	18	0	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	すずらん	8	8	9	1	10.0	1	138.0	0	1	0	0
		けやき	9	9	2	2	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん吉岡	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大郷町	もも太郎さん(大郷)	18	13	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	そよかぜ	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかりの里	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いちいの杜	9	9	7	1	1.0	1	12.0	1	0	0	0
	大衡村	サンすまいるおおひら	9	6	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		95	1,613	1,573	863	33	－	22	－	1	12	3	6
北部保健福祉	大崎市	やすらぎ苑古川	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		笹森の屋	18	18	4	1	11.7	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご ふるかわ	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		プロンプター甲斐	18	18	26	2	3.2	2	26.7	1	0	1	0
		太陽	9	9	8	1	7.2	1	20.1	0	1	0	0
		グループホームコスモス	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なのはな	9	9	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		和楽路	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩出山	18	18	2	1	7.4	1	42.0	0	0	0	1
		ふかふか・はうす	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひだまり	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たじりの杜	18	17	4	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		かなでの杜	18	16	6	1	3.0	2	7.5	1	0	1	0
	加美町	加美	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		バルムなかにいだ	18	17	5	0	0.0	1	1.0	0	1	0	0
		にこトピア加美	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	色麻町	サンすまいるしかま	9	8	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	涌谷町	後楽庵	6	6	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		スローライフ	9	8	2	0	0.0	1	0.2	0	1	0	0
		ゆうらいふ	18	17	21	0	0.0	1	36.8	1	0	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
北部保健福祉	美里町	花水月	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		よつば荘	6	6	0	1	0.4	0	0.0	0	0	0	0
		歩風楽	18	18	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みのりの家	16	16	3	2	0.4	1	89.4	0	1	0	0
		たんぽぽ	18	17	5	0	0.0	1	1.0	0	1	0	0
	栗原市	ぎんなん荘	18	17	19	1	8.0	2	71.0	0	0	1	1
		山王こもれびの家	27	27	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まりやの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ＳＡＫＵＲＡ	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まいはあと	27	27	26	1	1.6	1	2.0	0	0	0	1
		快栗駒	9	9	2	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しわひめ	18	17	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なごみ	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		梅ヶ丘の里	6	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやきの里	18	17	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		うぐいすの里 こもれびの家	18	16	6	0	0.0	1	21.0	0	0	0	1
		堤通り	18	18	4	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	18	18	15	1	9.7	0	0.0	0	0	0	0
小計		38	565	552	269	15	－	15	－	3	5	3	4
東部保健福祉	石巻市	いこいの家	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぬくもりの家	9	8	1	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム青葉	9	9	4	1	38.0	1	46.0	0	1	0	0
		グループホーム桜花	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム親孝行	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものうなかつやま	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものううした	9	9	10	1	1.7	0	0.0	0	0	0	0
		しらさぎ苑	18	17	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ﾂｸｲ大街道　ｻﾝﾌﾗﾜｰ	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		隠居の家	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		希慈	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ねむの木	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		馬っこ山	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかり	18	18	6	1	14.0	1	6.0	1	0	0	0
		グループホームきたかみ	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛慈	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あいわ	18	17	0	0	0.0	1	15.0	0	1	0	0
		あゆかわの郷	18	18	1	1	0.0	1	6.0	0	0	0	1
		なんてん河北	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん雄勝	18	17	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム 石巻開北	18	15	2	6	0.3	0	0.0	0	0	0	0
		ぐらんす	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	東松島市	さざなみ	9	9	22	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム日和	9	9	1	1	24.0	0	0.0	0	0	0	0
		すみちゃんの家	9	9	1	1	36.0	0	0.0	0	0	0	0
		あさぎり	9	8	10	0	0.0	1	3.6	1	0	0	0
		やすらぎ	18	17	1	4	1.0	2	39.5	0	2	0	0
	女川町	のどか	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	あんど	18	18	6	1	24.0	0	0.0	0	0	0	0
		にしだて	18	17	1	0	0.0	1	19.0	0	1	0	0
		あさみず	33	33	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		快豊里	9	9	1	1	2.0	1	13.0	0	1	0	0
		ほほえみ	9	9	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はさま	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら	18	17	4	1	12.0	1	46.0	0	1	0	0
		翔裕園	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらおか	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		米山	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みんなの家	9	9	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	536	525	180	20	－	10	－	2	7	0	1
気仙沼保健福祉	気仙沼市	星谷ブランチ	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みずなしの丘	18	17	15	0	0.0	1	12.0	0	1	0	0
		村伝	9	9	29	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桑の実	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん気仙沼	9	9	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こころ	9	9	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝さいち	9	9	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝おもせ	9	9	28	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あんしん館	9	9	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん	9	8	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの杜	18	17	4	2	2.0	2	7.6	0	0	1	1
		ポラーノの杜	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	南三陸町	はまゆり	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの丘	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		14	144	141	184	2	－	3	－	0	1	1	1
合計		全体　県分 207　142	3,127	3,057	1,631	72		53		8	26	7	12

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　53

様式１５－２　　**入所状況調（ 平成23年3月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	せんだんの里 国見ヶ丘３丁目	8	8	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	24	24	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほくと苑	8	8	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せせらぎの里	9	7	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ハートピアエスト	9	7	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		広瀬の郷	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		青葉の風	9	8	8	2	1.4	0	0.0	0	0	0	0
		ひなた	18	18	2	1	10.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽庵	9	8	15	1	18.0	1	62.0	0	0	0	1
		さくら高野原	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛和の郷	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん上杉	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		木かげ	18	18	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム 北根黒松	18	18	7	0	0.0	1	2.0	0	0	1	0
		みつばち	18	16	10	0	0.0	1	8.0	0	1	0	0
	小計	15	220	212	147	4	－	3	－	0	1	1	1
	宮城野区	みやぎの杜	27	27	43	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台福室	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあいの家白鳥	18	16	3	0	0.0	1	3.3	0	0	0	1
		やわらぎ	18	18	10	3	9.3	3	73.6	0	1	0	2
		愛の家GH仙台岩切	27	27	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご燕沢東	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス鶴ヶ谷	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		デイジー	18	18	3	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア萩野町	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム よもぎ杢	18	18	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	10	189	187	102	4	－	4	－	0	1	0	3
	若林区	くつろぎ保養館 仙台東	18	17	7	0	0.0	1	0.8	0	0	0	1
		なんてん伊在荘	27	27	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台やまとまち	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すだちの里	18	18	9	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウィンズの森 遠見塚３丁目	9	8	19	0	0.0	1	25.0	0	1	0	0
		連坊小路グループホームスカイ	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		テルウェルグループホームひなた	17	17	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なつぎ埜	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	8	134	132	72	1	－	2	－	0	1	0	1
	太白区	おちあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		袋原ふれあいの家	27	27	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆきあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台柳生	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん長嶺荘	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎホーム富沢	27	27	1.4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台なかた	18	18	2	1	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		縄文の風	18	16	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご こおりやま	18	18	1	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		ほくとの里	18	17	2	1	1.0	1	32.0	0	1	0	0
		やぎあん	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご 西多賀	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		人来田の風	18	18	2	1	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		こまち	18	17	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩ヶ丘	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	270	266	33	4	－	1	－	0	1	0	0
	泉区	いずみの杜	18	18	52	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さちの家	9	9	54	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台あさひがおか	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台八乙女	18	17	4	0	0.0	1	30.0	0	1	0	0
		蘭	27	27	15	1	24.0	0	0.0	0	0	0	0
		フォークソング	18	18	5	0	0.0	1	0.9	0	1	0	0
		なんてん水の森公園	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いずみの里	18	18	2	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松陵	18	18	3	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわり	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム北中山	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南光台ｹｱｾﾝﾀｰそよ風	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム仙台実沢	18	17	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むらでん高森	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		長徳	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はごうの杜	18	18	39	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふくろうの杜寺岡	18	12	6	3	1.3	2	1.0	0	0	2	0
	小計	17	297	289	211	6	－	4	－	0	2	2	0
合　計		65	1,110	1,086	565	19		14		0	6	3	5

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　14

様式３　　**入所状況調（ 平成23年6月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	八宮荘	83	83	92	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		えんじゅ	54	53	95	1	3.0	1	167.0	1	0	0	0
		ひだまり	29	17	29	17	0.0						
	角田市	みどり荘	94	93	189	2	3.5	2	82.0	2	0	0	0
		聖母の家	50	50	100	2	12.5	1	1.0	1	0	0	0
	蔵王町	楽園が丘	50	49	116	1	32.0	1	51.0	1	0	0	0
		ざおうの杜	40	40	57	4	12.0	4	39.0	2	2	0	0
		ざおうの杜あおそ	30	20	30	6	8.5	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	ゆりの里七ヶ宿	30	30	36	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	桜寿苑	50	50	251	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	柏松苑	50	50	72	2	5.0	1	94.0	1	0	0	0
	柴田町	常盤園	67	65	331	9	4.1	5	49.8	3	1	0	1
		第二常盤園	80	71	304	33	5.2	0	0.0	0	0	0	0
	川崎町	釜房みどりの園	40	39	88	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二釜房みどりの園	10	9	41	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	仙南ｼﾞｪﾛﾝﾄﾋﾞｱ	104	102	284	4	38.0	2	24.0	1	1	0	0
小計		16	861	821	2,115	82	－	17	－	12	4	0	1
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	2,517	2,290	12,023	82	－	49	－	41	6	1	0
	塩竈市	清楽苑	50							0	0	0	0
		ウィズ月見ヶ丘	29	28	90	1	5.0	1	33.0	1	0	0	0
	名取市	松陽苑	80	79	458	2	24.0	2	44.0	2	0	0	0
		うらやす	50										
		けやき	50	48	414	2	1.0	3	5.7	2	1	0	0
	多賀城市	多賀城苑	54	55	688	0	0.0	1	57.0	1	0	0	0
		桜花	29										
	岩沼市	チアフル岩沼	60	61	542	1	1.0	3	35.0	2	1	0	0
		赤井江マリンホーム	50										
	亘理町	日就苑	84	83	301	4	6.3	4	32.0	4	0	0	0
		第二日就苑	50	50	137	1	0.2	0	0.0	0	0	0	0
		けいけん荘	50	45	168	15	5.0	2	1.0	0	0	0	0
	山元町	みやま荘	50	51	142	2	2.0	0	0.0	0	0	0	0
	松島町	松島長松苑	50	65	488	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	第二清楽苑	50	46	439	1	31.0	1	47.0	0	1	0	0
	利府町	十符・風の音	50	51	328	2	5.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	和風園	200	207	272	5	11.8	2	68.8	2	0	0	0
	大郷町	郷和荘	54	55	294	1	4.0	1	7.0	1	0	0	0
	富谷町	杜の風	50	50	337	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	七峰荘	52	52	275	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		59	3,709	3,316	17,396	119	－	69	－	56	9	1	0
北部保健福祉	大崎市	大崎ホーム	50	50	219	1	12.1	1	35.1	0	1	0	0
		寿楽苑	54	54	485	1	1.5	0	0.0	0	0	0	0
		百才館	40	43	387	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		敬風園	200	190	313	7	20.3	5	64.7	4	1	0	0
		岩出の郷	54	54	477	1	34.1	2	30.9	2	0	0	0
		りんどう苑	50	49	234	0	0.0	1	20.9	1	0	0	0
		かごぼうの里	54	50	210	1	5.5	3	113.9	1	2	0	0
		楽々楽館	29	29	64	29	3.6	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	青風園	54	53	443	2	41.5	2	50.8	1	1	0	0
		やくらいサンホーム	54	53	361	0	0.0	1	159.0	1	0	0	0
		みやざき	50	55	137	0	0.0	2	19.5	1	1	0	0
	色麻町												
	涌谷町	ゆうらいふ	30	30	94	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	美里町	いなほの里	54	54	302	2	41.5	2	41.5	0	1	1	0
		みさとの杜	50	50	127	3	6.0	1	59.9	0	1	0	0
	栗原市	いちょうの里	60	60	152	1	65.0	2	42.0	0	0	0	0
		若藤園	50	51	158	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛光園	50	50	267	3	22.0	1	44.4	1	0	0	0
		白鳥苑	60	58	65	0	0.0	1	43.0	1	0	0	0
		千葉福寿園	52	50	193	3	7.0	1	96.0	1	0	0	0
		山王	54	51	240	1	1.0	2	5.0	2	0	0	0
		うぐいすの里	30	29	101	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	30	29	40	0	0.0	1	37.0	0	1	0	0
小計		22	1,209	1,192	5,069	55	－	28	－	16	9	1	0
東部保健福祉	石巻市	和香園	50	50	607	1	23.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二和香園	50	48	626	2	3.5	1	138.0	1	0	0	0
		アゼイリア	50	49	213	2	15.0	1	41.0	1	0	0	0
		涼風園	50	48	401	3	4.0	0					
		仁風園	94	68	616	19	11.0	5	112.0	2	0	0	3
		雄心苑	50										
		一心苑	50	41	236	2	1.0	2	50.5	2	0	0	0
		花水木	20	24	128	1	0.1	2	0.1	1	0	1	0
		ファミリオ	50	50	105	3	8.0	0					
		おしか清心苑	50	48	115	4	1.3	4	35.5	4	0	0	0
		きたかみ	40										
		万葉苑	100	45	159	26	2.0	0					
	東松島市	矢本華の園	54	52	339	1	0.0	1	15.0	1	0	0	0
		不老園	50										
		やもと赤井の里	30	47	184	16	0.0	2	28.0	1	0	1	0
	女川町	おながわ	40	39	174	2	40.0	1	60.0	1	0	0	0
	登米市	迫風園	50	49	152	1	3.0	2	41.5	1	1	0	0
		光風園	50	50	122	2	9.5	0	0.0	0	0	0	0
		萩風園	50	50	99	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		松風園	50	50	87	1	2.0	1	6.0	1	0	0	0
		さーらの樹	30	30	49	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南風園	54	52	132	0	0.0	1	88.0	1	0	0	0
		柳風園	86	86	87	3	5.3	0	0.0	0	0	0	0
		東和	20	20	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほたるの郷	29	28	111	3	6.7	0	0.0	0	0	0	0
		ゆりの郷	29	26	70	11	4.5	0	0.0	0	0	0	0
小計		26	1,276	1,050	4,828	103	－	23	－	17	1	2	3
気仙沼保健福祉	気仙沼市	恵風荘	85	103	339	9	6.0	5	23.0	5	0	0	0
		恵潮苑	54	90	431	4	4.5	4	36.2	3	1	0	0
		恵心寮	50										
		キングス・タウン	50	49	258	3	2.0	1	62.0	1	0	0	0
		春圃苑	50	56	152	13	1.0	2	39.0	2	0	0	0
		唐桑園	30	30	87	0	0.0	1	10.8	0	1	0	0
	南三陸町	慈恵園	54										
小計		7	373	328	1,267	29	－	13	－	11	2	0	0
合計		全体 130　県分 91	7,428	6,707	30,675	388		150		112	25	4	4

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　145

（注）入所希望者数は、以前の措置制度とは異なり、申込は契約制となり自由かつ複数施設へ申し込むことができるようになっているため、その多くは重複しております。この為「入所希望者数」を従来の待機者数と同様に捉えることはできない性格のものです。

様式３－２

入所状況調（ 平成23年6月1日現在 ）

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	洛風苑	100	100	189	6	1.8	5	26.6	4	1	0	0
		仙台楽生園	90	90	274	2	14.0	2	15.5	2	0	0	0
		思行園	50	46	151	1	67.0	0	0.0	0	0	0	0
		自生苑	70	65	111	2	11.5	5	59.0	5	0	0	0
		シオンの園	70	71	290	0	0.0	1	23.0	1	0	0	0
		アルテイル青葉	55	52	130	1	2.0	1	85.0	1	0	0	0
		賓樹苑	100	100	318	5	8.6	1	11.0	0	0	0	0
		大石原苑	50	48	133	1	5.0	2	5.5	2	0	0	0
		リベラ荘	50	51	389	2	2.5	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	150	147	375	3	3.0	4	23.2	4	0	0	0
		国見苑	50	50	398	2	8.5	2	75.0	2	0	0	0
		せんだんの館	100	99	641	0	0.0	1	75.0	1	0	0	0
		仙台敬寿園	60	60	202	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		エコーが丘	60	59	273	3	1.6	0	0.0	0	0	0	0
		自生苑サテライト	29	12	111	12	14.7	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	1,084	1,050	3,985	40	－	24	－	22	1	0	0
	宮城野区	暁星園	56	55	213	2	8.0	2	105.0	1	1	0	0
		パルシア	50	50	817	2	35.0	1	25.0	1	0	0	0
		かむりの里	50	48	379	3	4.0	4	59.2	4	0	0	0
		Ｊ＆Ｂ	52	52	230	2	8.0	0	0.0	0	0	0	0
		リーフ鶴ヶ谷	50	49	343	1	13.0	2	6.4	2	0	0	0
	小計	5	258	254	1,982	10	－	9	－	8	1	0	0
	若林区	チアフル遠見塚	50	50	517	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		潮音荘	50										
		杜の里	130										
		萩の風	40	39	258	1	18.8	0	0.0	0	0	0	0
	小計	4	270	89	775	2	－	0	－	0	0	0	0
	太白区	大東苑	50	50	113	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		白東苑	50	52	793	5	0.0	1	60.0	1	0	0	0
		茂庭苑	100	100	220	3	4.6	2	48.0	1	1	0	0
		八木山翠風苑	50	50	510	4	13.8	3	35.3	3	0	0	0
		サン・つばき	50	49	823	3	6.6	3	36.4	2	1	0	0
		一重の里	60	57	192	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		春の森から	50	48	366	0	0.0	1	13.0	0	1	0	0
		大年寺山ジェロントピア	50	50	263	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	8	460	456	3,280	15	－	10	－	7	3	0	0
	泉区	愛泉荘	50	50	242	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		泉和荘	50	50	47	4	14.2	0	0.0	0	0	0	0
		泉陵虹の苑	50	49	235	1	22.0	1	6.0	1	0	0	0
		水泉荘	100	99	366	4	14.7	1	8.0	1	0	0	0
		泉寿荘	95	94	463	2	3.5	2	42.0	1	0	1	0
		百合ヶ丘苑	50	50	328	2	8.5	0	0.0	0	0	0	0
		泉ふるさと村	50	49	320	1	13.0	2	23.5	1	1	0	0
	小計	7	445	441	2,001	15	－	6	－	4	1	1	0
合　計		39	2,517	2,290	12,023	82		49		41	6	1	0

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　48

様式１５　　**入所状況調（ 平成23年6月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	ながさか	18	17	4	0	0.0	1	0.0	0	1	0	0
		たかのす	18	18	7	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		しろいし	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の街	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の郷	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	花水木	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むくげ	18	18	6	1	2.0	2	5.0	0	0	0	2
		ウインズの森角田	18	10	1	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	蔵王ユートピア	9	10	0	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		ふるさと	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	七ヶ宿こもれびの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	さくら	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらの杜	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	あいやまこもれびの家	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	柴田町	ゆう柴田	9	9	0	1	1.0	1	49.0	0	0	0	1
		もみの木	9	8	2	4	2.0	3	32.0	0	1	0	2
		多機能型ケアホーム つきのき	8	8	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		つくし	9	7	1	0	0.0	1	11.0	0	1	0	0
		ふなおか	18	18	14	1	1.0	1	57.0	0	0	0	1
	川崎町	さわやか	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあい	18	18	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	リリーハイム	9	9	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわりの郷	9	9	1	1	0.0	1	1.0	0	0	0	1
小計		22	296	285	134	12	－	10	－	0	3	0	7
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	1,128	1,105	635	19	－	11	－	4	6	1	2
	塩竈市	小松崎あさひ園	18	18	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		清水沢あさひ園	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		オリーブ	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ももせやすらぎの里	27	26	5	4	5.0	3	9.0	0	3	0	0
	名取市	こもれびの家	27	27	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		おうじゅ	9	9	8	1	20.1	1	69.3	0	1	0	0
		もも太郎さん	18	20	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		うらやす	18										
	多賀城市	あやめの里	27	27	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうゆう・多賀城	27	27	18	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		貞山みよりの家	18	18	4	1	2.0	1	19.0	0	1	0	0
	岩沼市	あぶくま	18	18	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		朝日サポートセンター	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しんせん長春館	18	17	4	0	0.0	1	13.0	0	0	0	1
		なんてん岩沼	18	17	2	7	1.4	0	0.0	0	0	0	0
	亘理町	しんまち	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		悠里の郷	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たいじん荘	18	18	5	1	6.0	1	72.0	0	1	0	0
		ニチイケアセンター 亘理うらきど	18	8	3	2	0.5	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	メサイア	18	15	6	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		さかもと	18										
	松島町	桜の家	18	16	17	0	0.0	1	51.0	1	0	0	0
	七ヶ浜町												
	利府町	やすらぎ苑利府	18	19	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		十符の里	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	すずらん	8	8	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやき	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん吉岡	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大郷町	もも太郎さん(大郷)	18	14	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	そよかぜ	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかりの里	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いちいの杜	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	サンすまいるおおひら	9	8	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		98	1,667	1,588	869	38	－	19	－	5	12	1	3
北部保健福祉	大崎市	やすらぎ苑古川	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		笹森の屋	18	18	3	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご ふるかわ	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ブロンプター甲斐	18	18	24	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		太陽	9	9	1	1	1.0	1	2.0	0	1	0	0
		グループホームコスモス	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なのはな	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		和楽路	9	9	3	2	15.3	2	98.6	0	1	0	1
		なんてん岩出山	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふかふか・はうす	18	17	8	1	0.3	0	0.0	0	0	0	0
		ひだまり	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たじりの杜	18	17	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かなでの杜	18	16	5	2	0.8	1	12.0	0	0	0	1
	加美町	加美	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		バルムなかにいだ	18	17	3	0	0.0	1	17.0	0	1	0	0
		にこトピア加美	18	21	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	色麻町	サンすまいるしかま	9	9	3	1	12.0	0	0.0	0	0	0	0
	涌谷町	後楽庵	15	12	2	3	6.5	0	0.0	0	0	0	0
		スローライフ	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうらいふ	18	18	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
北部保健福祉	美里町	花水月	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		よつば荘	6	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		歩風楽	18	23	15	5	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みのりの家	16	18	3	1	0.3	0	0.0	0	0	0	0
		たんぽぽ	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	栗原市	ぎんなん荘	18	17	18	0	0.0	1	23.0	0	1	0	0
		山王こもれびの家	27	26	18	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まりやの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ＳＡＫＵＲＡ	9	7	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まいはあと	27	27	21	0	0.0	1	20.3	0	1	0	0
		快栗駒	9	10	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しわひめ	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なごみ	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		梅ヶ丘の里	6	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやきの里	18	18	0	3	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		うぐいすの里 こもれびの家	18	18	6	0	0.0	1	4.7	1	0	0	0
		堤通り	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	18	18	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		宮野	18	10	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	592	582	241	21	－	8	－	1	5	0	2
東部保健福祉	石巻市	いこいの家	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぬくもりの家	9	9	2	2	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム青葉	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム桜花	9	8	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム親孝行	18	17	5	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものうなかつやま	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものううした	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しらさぎ苑	18	16	3	0	0.0	1	0.0	0	1	0	0
		ﾂｸｲ大街道　ｻﾝﾌﾗﾜｰ	18	14	2	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		隠居の家	9	6	3	0	0.0	1	6.0	0	1	0	0
		希慈	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ねむの木	18	15	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		馬っこ山	18	18	0	2	0.0	1	18.5	0	0	0	1
		ひかり	18										
		グループホームきたかみ	9										
		愛慈	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あいわ	18	17	0	1	0.0	1	1.0	0	1	0	0
		あゆかわの郷	18										
		なんてん河北	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん雄勝	18										
		愛の家グループホーム 石巻開北	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぐらんす	18	18	2	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	東松島市	さざなみ	9	9	31	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム日和	9	8	1	0	0.0	1	1.1	0	1	0	0
		すみちゃんの家	9										
		あさぎり	9	9	20	1	14.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎ	18										
	女川町	のどか	9	9	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	あんど	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にしだて	18	18	3	1	0.5	1	108.0	0	0	0	1
		あさみず	33	34	7	2	5.0	2	24.0	0	1	0	1
		快豊里	9	9	1	1	1.0	1	2.0	0	0	1	0
		ほほえみ	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はさま	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		翔裕園	18	18	7	1	0.3	0	0.0	0	0	0	0
		さくらおか	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		米山	9	8	0	0	0.0	1	37.0	1	0	0	0
		みんなの家	9	9	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	536	430	177	15	－	10	－	1	5	1	3
気仙沼保健福祉	気仙沼市	星谷ブランチ	9										
		みずなしの丘	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝	9										
		桑の実	9	11	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん気仙沼	9	10	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こころ	9										
		村伝さいち	9										
		村伝おもせ	9										
		あんしん館	9										
		ぽらん	9										
		リアスの杜	18										
		ポラーノの杜	9										
	南三陸町	はまゆり	9										
		リアスの丘	9										
小計		14	144	39	12	0	－	0	－	0	0	0	0
合計		全体　県分 212　146	3,235	2,924	1,433	86		47		7	25	2	15

様式１５－２　　**入所状況調（ 平成23年6月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	せんだんの里 国見ヶ丘３丁目	8	8	30	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	24	24	30	1	0.8	0	0.0	0	0	0	0
		ほくと苑	8	8	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せせらぎの里	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ハートピアエスト	9	7	3	1	2.0	1	20.0	0	1	0	0
		広瀬の郷	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		青葉の風	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひなた	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽庵	9	9	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら高野原	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛和の郷	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん上杉	18	18	6	1	1.1	0	0.0	0	0	0	0
		木かげ	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム 北根黒松	18	18	8	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		みつばち	18	18	10	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	220	218	155	5	－	1	－	0	1	0	0
	宮城野区	みやぎの杜	27	27	44	0	0.0	0	0.0	0	2	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台福室	18	17	7	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあいの家白鳥	18	15	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やわらぎ	18	18	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家GH仙台岩切	27	27	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご燕沢東	18	18	3	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス鶴ヶ谷	9	9	5	1	0.0	0	0.1	0	0	0	0
		デイジー	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア萩野町	18	17	16	0	0.0	1	0.5	0	1	0	0
		ジャパンケアサービス遊宴・萩野町	18	18	12	3	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム よもぎ杢	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	11	207	202	128	6	－	1	－	0	3	0	0
	若林区	くつろぎ保養館 仙台東	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん伊在荘	27	26	6	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台やまとまち	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すだちの里	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウィンズの森 遠見塚３丁目	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		連坊小路グループホームスカイ	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		テルウェルグループホームひなた	17	16	10	1	1.1	1	1.8	0	0	0	1
		なつぎ埜	18	11	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	8	134	125	69	2	－	1	－	0	0	0	1
	太白区	おちあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		袋原ふれあいの家	27	26	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆきあい	9	9	0	1	0.0	1		1	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台柳生	18	17	4	0	0.0	1	41.0	1	0	0	0
		なんてん長嶺荘	18	19	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎホーム富沢	27	27	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台なかた	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		縄文の風	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご こおりやま	18	17	1	0	0.0	1	65.0	0	0	0	1
		ほくとの里	18	17	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やぎあん	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご 西多賀	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		人来田の風	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こまち	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩ヶ丘	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	270	267	57	1	－	3	－	2	0	0	1
	泉区	いずみの杜	18	19	50	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さちの家	9	8	50	1	7.8	1	5.1	0	0	1	0
		ニチイのほほえみ 仙台あさひがおか	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台八乙女	18	18	5	2	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		蘭	27	27	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		フォークソング	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん水の森公園	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いずみの里	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松陵	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわり	18	17	2	1	0.0	1	0.0	1	0	0	0
		セントケアホーム北中山	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南光台ｹｱｾﾝﾀｰそよ風	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム仙台実沢	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むらでん高森	18	17	10	0	0.0	1	12.0	1	0	0	0
		長徳	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はごうの杜	18	18	41	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふくろうの杜寺岡	18	16	8	1	2.0	2	2.8	0	2	0	0
	小計	17	297	293	226	5	－	5	－	2	2	1	0
合　計		66	1,128	1,105	635	19		11		4	6	1	2

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　13

様式３　　**入所状況調（ 平成23年7月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	八宮荘	83	83	92	1	3.0	1	14.0	0	1	0	0
		えんじゅ	54	52	81	3	9.7	3	27.0	3	0	0	0
		ひだまり	29	20	36	5	2.6	5	0.7	0	5	0	0
	角田市	みどり荘	94	94	183	3	9.3	2	38.5	2	0	0	0
		聖母の家	50	49	110	0	0.0	1	24.0	0	1	0	0
	蔵王町	楽園が丘	50	50	113	1	28.0	0	0.0	0	0	0	0
		ざおうの杜	40	40	40	1	4.0	1	18.0	1	0	0	0
		ざおうの杜あおそ	30	14	26	4	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	ゆりの里七ヶ宿	30	30	38	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	桜寿苑	50	50	251	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	柏松苑	50	50	71	1	105.0	1	26.0	1	0	0	0
	柴田町	常盤園	67	67	325	7	9.8	3	9.2	1	2	0	0
		第二常盤園	80	79	313	9	6.8	1	2.0	1	0	0	0
	川崎町	釜房みどりの園	40	37	88	1	3.0	1	10.0	0	0	0	1
		第二釜房みどりの園	10	9	39	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	仙南ｼﾞｪﾛﾝﾄﾋﾞｱ	104	103	289	2	8.0	2	113.0	1	1	0	0
	小　計	16	861	827	2,095	38	－	21	－	10	10	0	1
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	2,546	2,455	13,079	50	－	45	－	37	7	1	0
	塩竈市	清楽苑	50										
		ウィズ月見ヶ丘	29	28	93	1	5.0	1	34.0	0	1	0	0
	名取市	松陽苑	80	80	460	4	24.0	2	85.5	2	0	0	0
		うらやす	50										
		けやき	50	46	426	0	0.0	2	11.5	2	0	0	0
	多賀城市	多賀城苑	54	55	680	1	0.0	1	1.2	0	0	1	0
		桜花	29										
	岩沼市	チアフル岩沼	60	60	556	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		赤井江マリンホーム	50										
	亘理町	日就苑	84	83	306	3	12.0	2	84.5	1	1	0	0
		第二日就苑	50	50	138	1	0.4	1	28.0	0	0	0	1
		けいけん荘	50	47	184	3	4.6	1	1.0	0	1	0	0
	山元町	みやま荘	50	49	148	0	0.0	1	24.0	1	0	0	0
	松島町	松島長松苑	50	46	510	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	第二清楽苑	50	45	431	0	0.0	1	47.0	1	0	0	0
	利府町	十符・風の音	50	51	336	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	和風園	200	200	276	1	4.2	1	5.2	1	0	0	0
	大郷町	郷和荘	54	55	297	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	杜の風	50	50	342	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		成田の里	29	11	25	11	4.5	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	七峰荘	52	52	275	1	28.0	1	47.0	0	1	0	0
	小　計	61	3,767	3,463	18,562	76	－	59	－	45	11	2	1
北部保健福祉	大崎市	大崎ホーム	50	50	226	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		寿楽苑	54	53	495	0	0.0	1	49.5	1	0	0	0
		百才館	40	42	390	0	0.0	1	98.6	1	0	0	0
		敬風園	200	198	313	11	29.7	3	49.8	3	0	0	0
		岩出の郷	54	53	477	0	0.0	1	10.0	1	0	0	0
		りんどう苑	50	50	237	1	0.6	0	0.0	0	0	0	0
		楽々楽館	29	29	61	1	6.0	1	1.0	0	0	1	0
		かごぼうの里	54	51	230	1	7.8	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	青風園	54	53	443	1	5.1	1	63.9	1	0	0	0
		やくらいサンホーム	54	53	362	0	0.0	1	188.0	1	0	0	0
		みやざき	50	53	138	0	0.0	2	3.0	2	0	0	0
	色麻町												
	涌谷町	ゆうらいふ	30	30	96	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	美里町	いなほの里	54	53	305	0	0.0	1	17.7	1	0	0	0
		みさとの杜	50	51	132	2	29.3	1	27.6	0	1	0	0
	栗原市	いちょうの里	60	60	151	1	18.0	0	0.0	0	0	0	0
		若藤園	50	52	172	2	3.0	1	42.0	1	0	0	0
		愛光園	50	50	270	2	22.2	2	66.0	2	0	0	0
		白鳥苑	60	57	63	0	0.0	4	55.0	4	0	0	0
		千葉福寿園	52	47	160	3	13.6	1	68.3	0	1	0	0
		山王	54	50	251	0	0.0	1	9.0	1	0	0	0
		うぐいすの里	30	30	102	1	18.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	30	30	43	1	13.0	0	0.0	0	0	0	0
	小　計	22	1,209	1,195	5,117	27	－	22	－	19	2	1	0
東部保健福祉	石巻市	和香園	50	54	585	6	1.0	2	70.0	2	0	0	0
		第二和香園	50	50	569	2	8.5	0	0.0	0	0	0	0
		アゼイリア	50	48	216	1	5.0	2	87.0	1	1	0	0
		涼風園	50	48	364	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		仁風園	94	77	634	11	10.1	2	29.5	2	0	0	0
		雄心苑	50										
		一心苑	50	44	245	4	0.5	1	106.0	0	1	0	0
		花水木	20	26	130	2	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		ファミリオ	50	49	110	1	2.0	2	53.5	2	0	0	0
		おしか清心苑	50	50	111	3	2.0	1	67.0	1	0	0	0
		きたかみ	40	8	100	8	3.2	0	0.0	0	0	0	0
		万葉苑	100	62	163	17	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	東松島市	矢本華の園	54	54	324	3	9.0	1	84.0	1	0	0	0
		不老園	50										
		やもと赤井の里	30	52	187	6	1.0	1	4.0	1	0	0	0
	女川町	おながわ	40	40	174	1	13.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	迫風園	50	50	163	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		光風園	50	54	118	1	6.0	2	53.0	2	0	0	0
		萩風園	50	50	107	1	5.0	1	3.0	0	1	0	0
		松風園	50	49	88	2	18.5	2	50.0	1	1	0	0
		さーらの樹	30	30	55	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南風園	54	51	140	0	0.0	1	205.0	1	0	0	0
		柳風園	86	83	92	0	0.0	3	49.0	3	0	0	0
		東和	20	20	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほたるの郷	29	29	119	1	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆりの郷	29	26	70	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		風の路	29	18	82	18	5.4	0	0.0	0	0	0	0
	小　計	27	1,305	1,122	4,963	89	－	21	－	17	4	0	0
気仙沼保健福祉	気仙沼市	恵風荘	85	106	315	3	4.6	0	0.0	0	0	0	0
		恵潮苑	54	91	424	3	4.7	2	13.0	2	0	0	0
		恵心寮	50										
		キングス・タウン	50	50	262	2	2.0	1	27.0	1	0	0	0
		春圃苑	50	60	152	9	4.6	3	35.0	3	0	0	0
		唐桑園	30	34	90	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	南三陸町	慈恵園	54										
	小　計	7	373	341	1,243	17	－	6	－	6	0	0	0
合　計		全体　県分 133　93	7,515	6,948	31,980	247		129		97	27	3	2

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　129

（注）入所希望者数は、以前の措置制度とは異なり、申込は契約制となり自由かつ複数施設へ申し込むことができるようになっているため、その多くは重複しております。この為「入所希望者数」を従来の待機者数と同様に捉えることはできない性格のものです。

様式３－２

入所状況調（ 平成23年7月1日現在 ）

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	洛風苑	100	100	233	5	1.6	5	19.0	5	0	0	0
		仙台楽生園	90	90	280	1	32.0	1	27.0	1	0	0	0
		思行園	50	47	154	1	13.0	0	0.0	0	0	0	0
		自生苑	70	68	111	3	3.0	2	48.5	1	0	1	0
		シオンの園	70	70	292	2	44.0	2	16.8	2	0	0	0
		アルテイル青葉	55	52	132	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		賓樹苑	100	97	324	1	2.0	4	57.3	2	2	0	0
		大石原苑	50	48	135	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リベラ荘	50	51	325	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	150	147	402	4	5.3	4	30.8	3	1	0	0
		国見苑	50	50	406	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの館	100	100	655	2	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		仙台敬寿園	60	60	193	1	35.0	1	39.0	1	0	0	0
		エコーが丘	60	61	280	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		自生苑サテライト	29	19	111	7	5.2	0	0.0	0	0	0	0
		アルテイル宮町	29	0	79	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	1,113	1,060	4,112	28	－	19	－	15	3	1	0
	宮城野区	暁星園	56	54	242	1	7.4	1	0.8	1	0	0	0
		パルシア	50	50	823	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かむりの里	50	50	381	4	9.6	2	35.5	2	0	0	0
		Ｊ＆Ｂ	52	51	230	0	0.0	2	64.0	0	2	0	0
		リーフ鶴ヶ谷	50	48	346	1	27.0	2	37.0	2	0	0	0
	小計	5	258	253	2,022	6	－	7	－	5	2	0	0
	若林区	チアフル遠見塚	50	49	528	0	0.0	1	18.0	1	0	0	0
		潮音荘	50										
		杜の里	130	123	703	3	3.3	2	20.5	2	0	0	0
		萩の風	40	39	272	1	5.5	1	28.5	0	1	0	0
	小計	4	270	211	1,503	4	－	4	－	3	1	0	0
	太白区	大東苑	50	50	111	1	5.0	2	87.0	2	0	0	0
		白東苑	50	49	795	0	0.0	3	143.0	3	0	0	0
		茂庭苑	100	100	209	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		八木山翠風苑	50	50	504	1	5.0	1	30.0	1	0	0	0
		サン・つばき	50	50	838	2	17.0	1	24.5	1	0	0	0
		一重の里	60	57	197	2	6.0	1	3.0	1	0	0	0
		春の森から	50	86	362	2	5.1	1	14.5	1	0	0	0
		大年寺山ジェロントピア	50	49	258	0	0.0	1	14.0	1	0	0	0
	小計	8	460	491	3,274	8	－	10	－	10	0	0	0
	泉区	愛泉荘	50	50	245	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		泉和荘	50	48	180	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		泉陵虹の苑	50	47	234	0	0.0	2	86.0	2	0	0	0
		水泉荘	100	101	374	1	3.0	2	26.5	1	1	0	0
		泉寿荘	95	95	471	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		百合ヶ丘苑	50	49	336	0	0.0	1	31.0	1	0	0	0
		泉ふるさと村	50	50	328	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	445	440	2,168	4	－	5	－	4	1	0	0
合　計		40	2,546	2,455	13,079	50		45		37	7	1	0

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　45

様式１５　　**入所状況調（ 平成23年7月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	ながさか	18	18	3	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たかのす	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しろいし	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の街	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の郷	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	花水木	9	9	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むくげ	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウインズの森角田	18	9	1	0	0.0	1	0.0	0	0	0	1
	蔵王町	蔵王ユートピア	9	10	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふるさと	18	18	5	0	0.0	1	105.0	1	0	0	0
	七ヶ宿町	七ヶ宿こもれびの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	さくら	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらの杜	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	あいやまこもれびの家	9	8	2	0	0.0	1	18.0	0	0	0	1
	柴田町	ゆう柴田	9	8	0	0	0.0	1	24.0	0	0	0	1
		もみの木	9	8	2	4	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		多機能型ケアホーム つきのき	8	8	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		つくし	9	7	1	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふなおか	18	18	14	1	5.0	1	1.5	0	0	0	1
	川崎町	さわやか	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあい	18	18	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	リリーハイム	9	9	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわりの郷	9	9	1	1	1.0	1	2.0	0	0	0	1
小計		23	296	283	150	8	－	6	－	1	0	0	5
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	1,128	1,109	681	19	－	20	－	14	3	0	4
	塩竈市	小松崎あさひ園	18	18	18	1	1.9	1	2.6	0	1	0	0
		清水沢あさひ園	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		オリーブ	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ももせやすらぎの里	27	27	5	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	名取市	こもれびの家	27	27	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		おうじゅ	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もも太郎さん	18	20	4	1	0.0	1	0.0	1	0	0	0
		うらやす	18										
	多賀城市	あやめの里	27	27	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうゆう・多賀城	27	26	18	0	0.0	1	0.6	1	0	0	0
		貞山みよりの家	18	18	4	1	2.0	1	2.0	0	0	1	0
	岩沼市	あぶくま	18	18	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		朝日サポートセンター	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しんせん長春館	18	18	6	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩沼	18	18	2	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	亘理町	しんまち	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		悠里の郷	18	19	9	0	0.0	1	2.0	0	0	0	1
		たいじん荘	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイケアセンター 亘理うらきど	18	9	2	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	メサイア	18	16	4	1	1.5	0	0.0	0	0	0	0
		さかもと	18										
	松島町	桜の家	18	18	16	2	8.5	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町												
	利府町	やすらぎ苑利府	18	19	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		十符の里	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	すずらん	8	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやき	9	17	3	0	0.0	1	6.0	0	1	0	0
		なんてん吉岡	18	17	3	0	0.0	1	6.0	0	1	0	0
	大郷町	もも太郎さん(大郷)	18	12	0	0	0.0	2	12.0	0	1	0	1
	富谷町	そよかぜ	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかりの里	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いちいの杜	9	8	7	0	0.0	1	1.8	0	0	0	1
	大衡村	サンすまいるおおひら	9	9	0	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
小計		98	1,667	1,605	908	30	－	30	－	16	7	1	7
北部保健福祉	大崎市	やすらぎ苑古川	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		笹森の屋	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご ふるかわ	18	18	2	1	2.0	1	26.0	1	0	0	0
		プロンプター甲斐	18	18	25	1	1.8	1	1.7	0	1	0	0
		太陽	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームコスモス	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なのはな	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		和楽路	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩出山	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふかふか・はうす	18	17	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひだまり	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たじりの杜	18	18	4	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		かなでの杜	18	18	3	1	1.0	1	13.0	0	1	0	0
	加美町	加美	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		バルムなかにいだ	18	18	1	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア加美	18	21	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	色麻町	サンすまいるしかま	9	9	5	1	1.8	1	0.0	0	0	1	0
	涌谷町	後楽庵	15	12	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		スローライフ	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうらいふ	18	18	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
北部保健福祉	美里町	花水月	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		よつば荘	6	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		歩風楽	18	22	14	0	0.0	1	0.0	0	0	0	1
		みのりの家	16	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たんぽぽ	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	栗原市	ぎんなん荘	18	18	18	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王こもれびの家	27	27	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まりやの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ＳＡＫＵＲＡ	9	8	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まいはあと	27	27	22	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		快栗駒	9	9	1	0	0.0	1	66.0	1	0	0	0
		しわひめ	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なごみ	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		梅ヶ丘の里	6	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやきの里	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		うぐいすの里 こもれびの家	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		堤通り	18	17	1	1	1.0	2	0.0	0	0	0	2
		桂葉	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		宮野	18	16	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小　計	39	592	592	238	8	－	8	－	2	2	1	3
東部保健福祉	石巻市	いこいの家	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぬくもりの家	9	8	1	1	0.5	2	21.0	0	2	0	0
		グループホーム青葉	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム桜花	9	8	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム親孝行	18	17	5	1	5.0	1	1.0	0	1	0	0
		せんだんの杜 ものうなかつやま	9	9	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものううした	9	9	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しらさぎ苑	18	16	2	1	2.0	1	0.0	0	1	0	0
		ﾂｸｲ大街道　ｻﾝﾌﾗﾜｰ	18	16	4	2	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		隠居の家	9	5	3	0	0.0	1	5.0	0	1	0	0
		希慈	9										
		ねむの木	18	14	0	0	0.0	1	54.0	0	0	0	1
		馬っこ山	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかり	18										
		グループホームきたかみ	9										
		愛慈	9	17	0	1	0.0	2	16.0	0	0	0	2
		あいわ	18	15	0	1	0.0	3	16.0	0	2	1	0
		あゆかわの郷	18										
		なんてん河北	18	20	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん雄勝	18										
		愛の家グループホーム 石巻開北	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぐらんす	18	43	3	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	東松島市	さざなみ	9	9	32	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム日和	9	8	1	0	0.0	1	1.1	0	1	0	0
		すみちゃんの家	9										
		あさぎり	9	9	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎ	18										
	女川町	のどか	9	9	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	あんど	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にしだて	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あさみず	33	34	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		快豊里	9	10	2	1	1.0	1	1.0	0	1	0	0
		ほほえみ	9	8	2	0	0.0	1	104.0	0	0	0	1
		はさま	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		翔裕園	18	18	6	1	0.7	1	25.8	0	1	0	0
		さくらおか	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		米山	9	9	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みんなの家	9	10	15	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小　計	39	536	455	176	13	－	15	－	0	10	1	4
気仙沼保健福祉	気仙沼市	星谷ブランチ	9										
		みずなしの丘	18	22	12	4	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝	9										
		桑の実	9	11	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん気仙沼	9	9	9	0	0.0	1	3.0	0	0	0	3
		こころ	9										
		村伝さいち	9										
		村伝おもせ	9										
		あんしん館	9										
		ぽらん	9										
		リアスの杜	18										
		ボラーノの杜	9										
	南三陸町	はまゆり	9	0	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの丘	9										
	小　計	14	144	42	30	4	－	1	－	0	0	0	3
合　計		全体　県分 213　147	3,235	2,977	1,502	63		60		19	19	3	22

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　63

様式１５－２　　**入所状況調（ 平成23年7月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	せんだんの里国見ヶ丘３丁目	8	8	41	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	24	24	41	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほくと苑	8	7	8	0	0.0	1	41.0	0	0	0	1
		せせらぎの里	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ハートピアエスト	9	7	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		広瀬の郷	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		青葉の風	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひなた	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽庵	9	9	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら高野原	18	18	3	1	6.0	1	55.0	1	0	0	0
		愛和の郷	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん上杉	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		木かげ	18	18	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム北根黒松	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みつばち	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	220	217	186	1	－	2	－	1	0	0	1
	宮城野区	みやぎの杜	27	27	46	2	3.0	2	96.0	2	0	0	0
		ニチイのほほえみ仙台福室	18	18	5	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあいの家白鳥	18	18	4	1	0.1	0	0.0	0	0	0	0
		やわらぎ	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家GH仙台岩切	27	26	3	1	1.0	2	12.0	2	0	0	0
		あったかいご燕沢東	18	18	3	1	3.0	2	56.5	2	0	0	0
		コスモス鶴ヶ谷	9	8	7	0	0.0	1	8.6	1	0	0	0
		デイジー	18	17	3	0	0.0	1	5.0	0	0	0	1
		にこトピア萩野町	18	18	15	1	12.0	0	0.0	0	0	0	0
		ジャパンケアサービス遊宴・萩野町	18	17	14	0	0.0	1	3.0	0	1	0	0
		グループホームよもぎ杢	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	11	207	203	130	7	－	9	－	7	1	0	1
	若林区	くつろぎ保養館仙台東	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん伊在荘	27	26	5	1	6.0	1	46.0	0	1	0	0
		ニチイのほほえみ仙台やまとまち	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すだちの里	18	17	8	0	0.0	1	90.0	1	0	0	0
		ウィンズの森遠見塚３丁目	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		連坊小路グループホームスカイ	9	8	6	0	0.0	1	0.0	1	0	0	0
		テルウェルグループホームひなた	17	16	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なつぎ埜	18	11	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	8	134	123	74	1	－	3	－	2	1	0	0
	太白区	おちあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		袋原ふれあいの家	27	27	5	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆきあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ仙台柳生	18	18	3	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん長嶺荘	18	19	5	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎホーム富沢	27	27	18	1	14.0	1	18.0	1	0	0	0
		ニチイのほほえみ仙台なかた	18	17	5	0	0.0	1	3.0	1	0	0	0
		縄文の風	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいごこおりやま	18	18	1	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほくとの里	18	17	1	0	0.0	1	5.0	1	0	0	0
		やぎあん	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご西多賀	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		人来田の風	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こまち	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩ヶ丘	18	19	4	0	0.0	1	3.0	0	0	0	1
	小計	15	270	270	64	5	－	4	－	3	0	0	1
	泉区	いずみの杜	18	19	52	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さちの家	9	9	50	1	1.3	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ仙台あさひがおか	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ仙台八乙女	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	1	0	0
		蘭	27	27	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		フォークソング	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん水の森公園	18	19	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いずみの里	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松陵	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわり	18	18	2	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム北中山	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南光台ｹｱｾﾝﾀｰそよ風	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム仙台実沢	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むらでん高森	18	18	7	1	0.3	0	0.0	0	0	0	0
		長徳	18	17	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はごうの杜	18	18	42	1	6.0	1	3.0	0	0	0	1
		ふくろうの杜寺岡	18	16	5	1	2.0	1	4.5	1	0	0	0
	小計	17	297	296	227	5	－	2	－	1	1	0	1
合計		66	1,128	1,109	681	19		20		14	3	0	4

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　21

様式３　　**入所状況調（ 平成23年8月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	八宮荘	83	83	86	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		えんじゅ	54	50	82	1	62.0	3	130.0	3	0	0	0
		ひだまり	29	24	35	4	3.1	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	みどり荘	94	94	176	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		聖母の家	50	50	114	1	4.0	1	20.0	0	1	0	0
	蔵王町	楽園が丘	50	48	109	1	8.0	2	75.0	0	2	0	0
		ざおうの杜	40	40	41	1	1.0	1	48.0	0	1	0	0
		ざおうの杜あおそ	30	18	30	5	5.3	1	1.0	1	0	0	0
	七ヶ宿町	ゆりの里七ヶ宿	30	30	38	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	桜寿苑	50	50	253	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	柏松苑	50	50	71	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	柴田町	常盤園	67	67	312	1	0.1	1	3.8	1	0	0	0
		第二常盤園	80	80	328	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	川崎町	釜房みどりの園	40	38	91	0	0.0	1	17.0	1	0	0	0
		第二釜房みどりの園	10	10	38	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	仙南ｼﾞｪﾛﾝﾄﾋﾞｱ	104	104	292	1	30.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	861	836	2,096	16	－	10	－	6	4	0	0
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	2,575	2,492	13,180	87	－	50	－	44	6	0	0
	塩竈市	清楽苑	50										
		ウィズ月見ヶ丘	29	28	82	1	14.0	1	6.0	1	0	0	0
	名取市	松陽苑	80	80	464	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		うらやす	50										
		けやき	50	48	427	2	2.5	0	0.0	0	0	0	0
	多賀城市	多賀城苑	54	55	689	1	2.0	1	149.0	1	0	0	0
		桜花	29										
	岩沼市	チアフル岩沼	60	60	562	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		赤井江マリンホーム	50										
	亘理町	日就苑	84	84	306	2	13.5	1	128.0	1	0	0	0
		第二日就苑	50	50	113	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けいけん荘	50	50	200	4	2.3	1	3.0	1	0	0	0
	山元町	みやま荘	50	49	143	3	7.2	3	4.7	1	2	0	0
	松島町	松島長松苑	50	47	517	1	27.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	第二清楽苑	50	48	440	2	83.0	2	115.0	2	0	0	0
	利府町	十符・風の音	50	50	340	0	0.0	1	11.0	1	0	0	0
	大和町	和風園	200	207	273	5	12.7	6	47.2	3	3	0	0
	大郷町	郷和荘	54	55	299	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	杜の風	50	50	349	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		成田の里	29	21	18	10	5.0	1	0.7	0	1	0	0
	大衡村	七峰荘	52	52	283	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	62	3,796	3,526	18,685	118	－	67	－	55	12	0	0
北部保健福祉	大崎市	大崎ホーム	50	49	223	1	6.0	2	125.5	1	1	0	0
		寿楽苑	54	54	498	1	2.4	0	0.0	0	0	0	0
		百才館	40	42	355	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		敬風園	200	198	314	5	26.0	5	52.1	5	0	0	0
		岩出の郷	54	53	477	1	36.1	2	77.6	2	0	0	0
		りんどう苑	50	50	243	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽々楽館	29	29	65	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かごぼうの里	54	52	230	1	25.2	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	青風園	54	53	446	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やくらいサンホーム	54	53	360	1	37.0	1	115.0	1	0	0	0
		みやざき	50	46	134	1	33.0	7	14.5	3	0	0	4
	色麻町												
	涌谷町	ゆうらいふ	30	30	94	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	美里町	いなほの里	54	52	311	1	10.2	2	24.0	2	0	0	0
		みさとの杜	50	51	135	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	栗原市	いちょうの里	60	58	151	0	0.0	2	72.5	1	1	0	0
		若藤園	50	52	175	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛光園	50	50	263	2	42.0	2	18.0	2	0	0	0
		白鳥苑	60	58	58	5	24.0	0	0.0	0	0	0	0
		千葉福寿園	52	51	161	0	0.0	2	53.5	2	0	0	0
		山王	54	50	243	2	26.0	0	0.0	0	0	0	0
		うぐいすの里	30	30	104	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	30	30	47	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	22	1,209	1,191	5,087	21	－	25	－	19	2	0	4
東部保健福祉	石巻市	和香園	50	54	579	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二和香園	50	48	492	1	2.0	3	73.0	0	3	0	0
		アゼイリア	50	47	220	1	3.0	2	80.0	1	1	0	0
		涼風園	50	46	304	0	0.0	2	78.5	0	2	0	0
		仁風園	94	77	634	11	10.1	2	29.5	2	0	0	0
		雄心苑	50										
		一心苑	50	45	203	2	8.0	1	27.0	1	0	0	0
		花水木	20	29	134	4	1.0	1	1.0	1	0	0	0
		ファミリオ	50	50	111	2	30.5	1	146.0	1	0	0	0
		おしか清心苑	50	50	104	2	1.0	2	8.0	2	0	0	0
		きたかみ	40	33	88	27	4.0	2	11.0	2	0	0	0
		万葉苑	100	71	119	12	2.0	3	2.0	3	0	0	0
	東松島市	矢本華の園	54	53	323	0	0.0	1	4.0	1	0	0	0
		不老園	50										
		やもと赤井の里	30	54	188	2	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	女川町	おながわ	40	40	175	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	迫風園	50	50	160	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		光風園	50	54	131	1	2.0	1	77.0	1	0	0	0
		萩風園	50	47	109	0	0.0	3	52.6	3	0	0	0
		松風園	50	49	89	1	16.0	1	19.0	1	0	0	0
		さーらの樹	30	30	53	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南風園	54	56	145	1	13.0	0	0.0	0	0	0	0
		柳風園	86	81	78	3	13.0	5	45.0	5	0	0	0
		東和	20	20	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほたるの郷	29	28	118	1	7.0	2	3.0	1	1	0	0
		ゆりの郷	29	28	60	1	2.0	1	2.5	1	0	0	0
		風の路	29	29	85	11	7.3	0	0.0	0	0	0	0
	小計	27	1,305	1,169	4,719	83	－	33	－	26	7	0	0
気仙沼保健福祉	気仙沼市	恵風荘	85	106	323	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		恵潮苑	54	89	424	1	6.0	3	26.0	3	0	0	0
		恵心寮	50										
		キングス・タウン	50	49	231	1	2.0	2	28.0	1	1	0	0
		春圃苑	50	61	123	1	0.0	1	1.0	1	0	0	0
		唐桑園	30	32	82	0	0.0	2	1.1	1	1	0	0
	南三陸町	慈恵園	54										
		いこいの海・あらと	80	19	78	18	2.5	0	0.0	0	0	0	0
	小計	8	453	356	1,261	21	－	8	－	6	2	0	0
合計		全体　県分 135　94	7,624	7,078	31,848	259		143		112	27	0	4

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　143

（注）入所希望者数は、以前の措置制度とは異なり、申込は契約制となり自由かつ複数施設へ申し込むことができるようになっているため、その多くは重複しております。この為「入所希望者数」を従来の待機者数と同様に捉えることはできない性格のものです。

様式３－２　　**入所状況調（ 平成23年8月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	洛風苑	100	100	242	2	2.5	2	27.5	2	0	0	0
		仙台楽生園	90	89	283	0	0.0	1	21.0	1	0	0	0
		思行園	50	50	154	3	10.0	0	0.0	0	0	0	0
		自生苑	70	66	107	2	3.5	3	56.6	3	0	0	0
		シオンの園	70	69	289	1	2.0	1	2.0	1	0	0	0
		アルテイル青葉	55	55	153	3	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		賓樹苑	100	99	324	5	12.2	3	31.3	3	0	0	0
		大石原苑	50	48	138	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リベラ荘	50	51	319	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	150	148	388	3	4.3	2	25.0	1	1	0	0
		国見苑	50	50	424	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの館	100	100	664	3	0.0	2	6.5	2	0	0	0
		仙台敬寿園	60	60	191	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		エコーが丘	60	60	286	0	0.0	1	1.0	1	0	0	0
		自生苑サテライト	29	21	107	3	4.1	1	1.5	0	1	0	0
		アルテイル宮町	29	26	110	26	2.8	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	1,113	1,092	4,179	51	－	16	－	14	2	0	0
	宮城野区	暁星園	56	56	241	2	4.5	1	130.5	1	0	0	0
		パルシア	50	53	831	3	36.0	0	0.0	0	0	0	0
		かむりの里	50	50	387	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		Ｊ＆Ｂ	52	51	235	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リーフ鶴ヶ谷	50	50	343	2	16.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	5	258	260	2,037	7	－	1	－	1	0	0	0
	若林区	チアフル遠見塚	50	49	526	2	3.0	2	78.0	2	0	0	0
		潮音荘	50										
		杜の里	130	122	702	4	5.0	3	42.0	3	0	0	0
		萩の風	40	39	270	1	19.7	1	33.1	1	0	0	0
	小計	4	270	210	1,498	7	－	6	－	6	0	0	0
	太白区	大東苑	50	50	95	2	21.0	1	1.0	1	0	0	0
		白東苑	50	49	785	2	3.0	2	71.0	2	0	0	0
		茂庭苑	100	99	214	5	9.0	6	71.0	2	4	0	0
		八木山翠風苑	50	48	516	1	6.0	3	56.3	3	0	0	0
		サン・つばき	50	50	844	2	20.1	2	48.8	2	0	0	0
		一重の里	60	58	197	1	24.0	0	0.0	0	0	0	0
		春の森から	50	87	355	1	20.8	0	0.0	0	0	0	0
		大年寺山ジェロントピア	50	50	273	2	3.5	1	1.4	1	0	0	0
		第二白東苑	29	4	70	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	9	489	495	3,349	16	－	15	－	11	4	0	0
	泉区	愛泉荘	50	48	248	1	29.0	3	138.0	3	0	0	0
		泉和荘	50	46	185	0	0.0	2	79.0	2	0	0	0
		泉陵虹の苑	50	49	240	2	6.5	0	0.0	0	0	0	0
		水泉荘	100	101	385	0	0.0	1	8.0	1	0	0	0
		泉寿荘	95	93	383	1	8.0	3	9.0	3	0	0	0
		百合ヶ丘苑	50	48	342	0	0.0	1	10.0	1	0	0	0
		泉ふるさと村	50	50	334	2	11.0	2	32.5	2	0	0	0
	小計	7	445	435	2,117	6	－	12	－	12	0	0	0
合　計		41	2,575	2,492	13,180	87		50		44	6	0	0

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　50

様式１５　　**入所状況調（ 平成23年8月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	ながさか	18	17	5	0	0.0	1	0.5	0	1	0	0
		たかのす	18	18	7	1	3.0	1	12.0	0	0	0	1
		しろいし	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の街	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の郷	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	花水木	9	9	13	1	0.8	1	9.5	0	1	0	0
		むくげ	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウインズの森角田	18	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	リラの風	9	9	0	0	0.0	1	3.0	0	1	0	0
		ふるさと	18	17	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	七ヶ宿こもれびの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	さくら	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらの杜	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	あいやまこもれびの家	9	8	2	1	1.0	1	8.0	0	0	1	0
	柴田町	ゆう柴田	9	8	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もみの木	9	8	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		多機能型ケアホーム つきのき	8	8	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		つくし	9	7	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふなおか	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	川崎町	さわやか	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあい	18	17	14	0	0.0	1	42.0	1	0	0	0
	丸森町	リリーハイム	9	9	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわりの郷	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		23	296	279	155	3	－	6	－	1	3	1	1
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	1,128	1,112	689	16	－	11	－	3	4	1	2
	塩竈市	小松崎あさひ園	18	18	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		清水沢あさひ園	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		オリーブ	9	8	3	0	0.0	1	71.0	0	1	0	0
		ももせやすらぎの里	27	27	4	1	0.5	1	2.0	0	1	0	0
	名取市	こもれびの家	27	27	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		おうじゅ	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もも太郎さん	18	19	5	0	0.0	1	0.0	0	1	0	0
		うらやす	18										
	多賀城市	あやめの里	27	27	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうゆう・多賀城	27	27	17	1	0.1	0	0.0	0	0	0	0
		貞山みよりの家	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	岩沼市	あぶくま	18	18	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		朝日サポートセンター	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しんせん長春館	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩沼	18	17	2	1	1.0	2	2.5	0	0	0	2
	亘理町	しんまち	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		悠里の郷	18	19	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たいじん荘	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイケアセンター 亘理うらきど	18	8	1	0	0.0	1	2.0	0	1	0	0
	山元町	メサイア	18	17	3	1	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		さかもと	18										
	松島町	桜の家	18	18	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町												
	利府町	やすらぎ苑利府	18	19	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		十符の里	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	すずらん	8	8	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやき	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん吉岡	18	18	3	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	大郷町	もも太郎さん(大郷)	18	11	3	1	0.0	1	0.0	0	0	1	0
	富谷町	そよかぜ	9	9	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかりの里	18	16	0	0	0.0	2	24.0	1	0	0	0
		いちいの杜	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	サンすまいるおおひら	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		98	1,667	1,596	906	22	－	20	－	4	8	2	4
北部保健福祉	大崎市	やすらぎ苑古川	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		笹森の屋	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご ふるかわ	18	18	2	1	2.0	1	55.0	0	0	0	1
		プロンプター甲斐	18	18	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		太陽	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームコスモス	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なのはな	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		和楽路	9	9	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩出山	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふかふか・はうす	18	17	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひだまり	9	8	10	0	0.0	1	64.9	0	0	0	1
		たじりの杜	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かなでの杜	18	17	4	0	0.0	1	3.0	0	0	0	1
	加美町	加美	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		バルムなかにいだ	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア加美	18	18	8	0	0.0	3	25.0	1	0	0	2
	色麻町	サンすまいるしかま	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	涌谷町	後楽庵	15	13	5	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		スローライフ	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうらいふ	18	17	24	0	0.0	1	86.4	0	1	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
北部保健福祉	美里町	花水月	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		よつば荘	6	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		歩風楽	18	20	14	0	0.0	2	2.6	0	0	0	2
		みのりの家	16	18	2	1	1.8	1	12.5	0	0	1	0
		たんぽぽ	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	栗原市	ぎんなん荘	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王こもれびの家	27	26	16	1	1.0	1	70.0	1	0	0	0
		まりやの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ＳＡＫＵＲＡ	9	8	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まいはあと	27	27	23	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		快栗駒	9	10	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しわひめ	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なごみ	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		梅ヶ丘の里	6	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやきの里	18	17	1	0	0.0	1	3.0	0	1	0	0
		うぐいすの里 こもれびの家	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		堤通り	18	17	1	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	18	18	11	1	2.2	1	13.2	0	1	0	0
		宮野	18	18	3	2	0.6	1	1.9	0	1	0	0
小計		39	592	586	249	9	－	14	－	2	4	1	7
東部保健福祉	石巻市	いこいの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぬくもりの家	9	8	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム青葉	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム桜花	9	9	0	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム親孝行	18	17	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものうなかつやま	9	9	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものううした	9	8	13	0	0.0	1	26.2	0	0	0	1
		しらさぎ苑	18	17	2	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		ﾂｸｲ大街道　ｻﾝﾌﾗﾜｰ	18	17	2	1	0.4	0	0.0	0	0	0	0
		隠居の家	9	5	3	0	0.0	1	5.0	0	1	0	0
		希慈	9										
		ねむの木	18	12	0	0	0.0	2	55.0	1	0	0	1
		馬っこ山	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかり	18	16	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームきたかみ	9										
		愛慈	9	17	0	0	0.0	1	2.0	0	0	0	1
		あいわ	18	16	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あゆかわの郷	18										
		なんてん河北	18	20	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん雄勝	18										
		愛の家グループホーム 石巻開北	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぐらんす	18	17	3	0	0.0	1	7.0	0	0	1	0
	東松島市	さざなみ	9	9	33	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム日和	9	9	2	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		すみちゃんの家	9										
		あさぎり	9	9	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎ	18										
	女川町	のどか	9	9	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	あんど	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にしだて	18	17	5	1	0.5	2	161.0	0	2	0	0
		あさみず	33	34	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		快豊里	9	10	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほほえみ	9	8	2	1	0.0	1	64.0	0	0	0	1
		はさま	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		翔裕園	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらおか	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		米山	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みんなの家	9	10	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	536	446	183	8	－	9	－	1	3	1	4
気仙沼保健福祉	気仙沼市	星谷ブランチ	9										
		みずなしの丘	18	22	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝	9										
		桑の実	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん気仙沼	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こころ	9										
		村伝さいち	9										
		村伝おもせ	9										
		あんしん館	9										
		ぽらん	9										
		リアスの杜	18										
		ポラーノの杜	9										
	南三陸町	はまゆり	9	8	0	8	3.7	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの丘	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		14	144	57	32	8	－	0	－	0	0	0	0
合計		全体　県分 213　147	3,235	2,964	1,525	50		49		8	18	5	16

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　47

様式１５－２　　**入所状況調（ 平成23年8月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	せんだんの里 国見ヶ丘３丁目	8	8	37	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	24	24	37	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほくと苑	8	8	4	1	14.0	0	0.0	0	0	0	0
		せせらぎの里	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ハートピアエスト	9	7	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		広瀬の郷	18	17	3	0	0.0	1	25.0	0	0	0	1
		青葉の風	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひなた	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽庵	9	9	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら高野原	18	18	4	1	8.0	1	61.0	1	0	0	0
		愛和の郷	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん上杉	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		木かげ	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム 北根黒松	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みつばち	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	220	217	179	2	－	2	－	1	0	0	1
	宮城野区	みやぎの杜	27	27	47	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台福室	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあいの家白鳥	18	18	3	1	0.1	0	0.0	0	0	0	0
		やわらぎ	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家GH仙台岩切	27	27	3	3	1.0	3	5.3	0	1	0	0
		あったかいご燕沢東	18	18	3	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス鶴ヶ谷	9	8	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		デイジー	18	18	3	1	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア萩野町	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ジャパンケアサービス遊宴・萩野町	18	17	14	1	5.0	1	4.0	0	2	0	0
		グループホーム よもぎ杢	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	11	207	205	129	7	－	4	－	0	3	0	0
	若林区	くつろぎ保養館 仙台東	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん伊在荘	27	27	6	0	0.0	1	95.0	0	1	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台やまとまち	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すだちの里	18	17	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウィンズの森 遠見塚３丁目	9	9	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		連坊小路グループホームスカイ	9	9	3	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		テルウェルグループホームひなた	17	17	15	1	1.2	0	0.0	0	0	0	0
		なつぎ埜	18	11	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	8	134	126	79	2	－	1	－	0	1	0	0
	太白区	おちあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		袋原ふれあいの家	27	27	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆきあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台柳生	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん長嶺荘	18	17	5	0	0.0	1	48.0	1	0	0	0
		やすらぎホーム富沢	27	27	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台なかた	18	17	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		縄文の風	18	17	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご こおりやま	18	18	10	0	0.0	1	48.0	0	0	1	0
		ほくとの里	18	18	1	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		やぎあん	18	17	6	0	0.0	1	36.0	1	0	0	0
		あったかいご 西多賀	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		人来田の風	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こまち	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩ヶ丘	18	19	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	270	267	77	1	－	3	－	2	0	1	0
	泉区	いずみの杜	18	19	49	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さちの家	9	9	50	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台あさひがおか	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台八乙女	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		蘭	27	27	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		フォークソング	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん水の森公園	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いずみの里	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松陵	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわり	18	18	2	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム北中山	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南光台ｹｱｾﾝﾀｰそよ風	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム仙台実沢	18	18	3	1	1.0	1	20.0	0	0	0	1
		むらでん高森	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		長徳	18	18	10	1	12.0	0	0.0	0	0	0	0
		はごうの杜	18	18	40	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふくろうの杜寺岡	18	17	4	1	2.5	0	0.0	0	0	0	0
	小計	17	297	297	225	4	－	1	－	0	0	0	1
合　計		66	1,128	1,112	689	16		11		3	4	1	2

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　10

様式３　　**入所状況調（ 平成23年9月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	八宮荘	83	82	86	0	0.0	1	40.0	1	0	0	0
		えんじゅ	54	51	76	3	25.0	2	63.0	2	0	0	0
		ひだまり	29	26	34	2	2.9	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	みどり荘	94	93	177	2	3.0	3	28.0	3	0	0	0
		聖母の家	50	50	120	1	2.0	1	1.0	1	0	0	0
	蔵王町	楽園が丘	50	50	104	2	6.0	0	0.0	0	0	0	0
		ざおうの杜	40	40	38	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ざおうの杜あおそ	30	19	32	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	ゆりの里七ヶ宿	30	30	39	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	桜寿苑	50	50	226	1	14.0	1	95.0	0	0	0	1
	村田町	柏松苑	50	50	82	1	4.0	1	127.0	1	0	0	0
	柴田町	常盤園	67	65	321	1	32.0	2	93.7	2	0	0	0
		第二常盤園	80	94	341	2	4.0	2	3.0	2	0	0	0
	川崎町	釜房みどりの園	40	40	91	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二釜房みどりの園	10	10	38	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	仙南ｼﾞｪﾛﾝﾄﾋﾞｱ	104	104	297	1	0.5	1	27.0	0	1	0	0
	小　計	16	861	854	2,102	18	－	14	－	12	1	0	1
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	2,575	2,501	13,271	68	－	55	－	45	9	0	1
	塩竈市	清楽苑	50										
		ウィズ月見ヶ丘	29	29	84	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
	名取市	松陽苑	80	80	472	1	4.0	1	17.0	1	0	0	0
		うらやす	50										
		けやき	50	49	432	2	14.0	1	138.0	1	0	0	0
	多賀城市	多賀城苑	54	63	705	0	0.0	1	161.0	1	0	0	0
		桜花	29										
	岩沼市	チアフル岩沼	60	60	572	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		赤井江マリンホーム	50										
	亘理町	日就苑	84	83	311	1	7.0	2	26.0	2	0	0	0
		第二日就苑	50	50	118	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けいけん荘	50	53	202	3	4.0	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	みやま荘	50	50	148	2	24.0	1	50.0	0	1	0	0
	松島町	松島長松苑	50	73	513	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	第二清楽苑	50	61	446	3	82.0	0	0.0	0	0	0	0
	利府町	十符・風の音	50	50	344	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	和風園	200	208	256	4	8.7	3	53.8	3	0	0	0
	大郷町	郷和荘	54	55	306	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	杜の風	50	50	355	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		成田の里	29	21	20	1	3.0	1	2.0	1	0	0	0
	大衡村	七峰荘	52	52	284	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小　計	62	3,796	3,588	18,839	86	－	65	－	54	10	0	1
北部保健福祉	大崎市	大崎ホーム	50	50	230	1	0.8	0	0.0	0	0	0	0
		寿楽苑	54	54	503	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		百才館	40	42	368	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		敬風園	200	199	326	4	26.9	3	48.7	2	1	0	0
		岩出の郷	54	54	475	2	67.2	1	115.5	0	1	0	0
		りんどう苑	50	50	246	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽々楽館	29	29	74	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かごぼうの里	54	54	230	2	36.8	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	青風園	54	53	439	1	22.4	1	3.0	0	1	0	0
		やくらいサンホーム	54	54	297	1	33.0	0	0.0	0	0	0	0
		みやざき	50	47	98	3	4.0	2	26.5	0	2	0	0
	色麻町												
	涌谷町	ゆうらいふ	30	30	102	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	美里町	いなほの里	54	52	313	2	8.0	2	73.1	2	0	0	0
		みさとの杜	50	50	140	0	0.0	1	32.4	0	1	0	0
	栗原市	いちょうの里	60	60	134	2	45.0	0	0.0	0	0	0	0
		若藤園	50	52	175	1	12.0	1	100.0	1	0	0	0
		愛光園	50	50	267	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		白鳥苑	60	60	63	2	24.0	0	0.0	0	0	0	0
		千葉福寿園	52	51	172	2	30.0	1	2.7	1	0	0	0
		山王	54	54	243	1	22.0	1	39.0	1	0	0	0
		うぐいすの里	30	29	106	0	0.0	1	26.0	1	0	0	0
		桂葉	30	30	47	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小　計	22	1,209	1,204	5,048	24	－	14	－	8	6	0	0
東部保健福祉	石巻市	和香園	50	53	575	0	0.0	1	6.0	0	1	0	0
		第二和香園	50	48	498	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		アゼイリア	50	46	224	1	4.0	2	118.0	0	2	0	0
		涼風園	50	49	308	3	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		仁風園	94	94	386	6	14.3	0	0.0	0	0	0	0
		雄心苑	50										
		一心苑	50	46	206	2	1.5	1	133.0	1	0	0	0
		花水木	20	29	135	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ファミリオ	50	51	115	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		おしか清心苑	50	50	104	3	1.3	3	5.3	3	0	0	0
		きたかみ	40	40	70	8	4.0	2	1.0	2	0	0	0
		万葉苑	100	84	120	9	4.0	1	1.0	1	0	0	0
	東松島市	矢本華の園	54	53	331	2	0.0	2	26.0	2	0	0	0
		不老園	50										
		やもと赤井の里	30	55	184	2	8.0	1	58.0	1	0	0	0
	女川町	おながわ	40	39	176	0	0.0	1	63.0	1	0	0	0
	登米市	迫風園	50	49	170	0	0.0	1	18.0	1	0	0	0
		光風園	50	52	134	0	0.0	2	27.0	2	0	0	0
		萩風園	50	47	109	0	0.0	3	52.6	3	0	0	0
		松風園	50	50	117	3	12.0	0	0.0	0	0	0	0
		さーらの樹	30	30	53	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南風園	54	55	147	0	0.0	1	44.0	1	0	0	0
		柳風園	86	81	69	3	54.0	3	102.0	3	0	0	0
		東和	20	20	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほたるの郷	29	29	76	1	3.5	0	0.0	0	0	0	0
		ゆりの郷	29	28	119	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		風の路	29	29	85	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小　計	27	1,305	1,207	4,529	44	－	24	－	21	3	0	0
気仙沼保健福祉	気仙沼市	恵風荘	85	107	325	3	9.0	2	19.0	2	0	0	0
		恵潮苑	54	89	416	3	18.0	2	64.6	2	0	0	0
		恵心寮	50										
		キングス・タウン	50	49	234	1	49.0	1	33.0	1	0	0	0
		春圃苑	50	64	123	4	29.0	1	31.0	1	0	0	0
		唐桑園	30	32	82	0	0.0	1	4.3		1	0	0
	南三陸町	慈恵園	54										
		いこいの海・あらと	80	40	61	21	2.5	0	0.0	0	0	0	0
	小　計	8	453	381	1,241	32	－	7	－	6	1	0	0
合　計		全体　県分 135　94	7,624	7,234	31,759	204		124		101	21	0	2

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　124

（注）入所希望者数は、以前の措置制度とは異なり、申込は契約制となり自由かつ複数施設へ申し込むことができるようになっているため、その多くは重複しております。この為「入所希望者数」を従来の待機者数と同様に捉えることはできない性格のものです。

様式３－２　　**入所状況調（ 平成23年9月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	洛風苑	100	101	245	2	3.5	1	4.0	0	1	0	0
		仙台楽生園	90	90	286	1	10.0	0	0.0	0	0	0	0
		思行園	50	49	155	0	0.0	1	58.0	1	0	0	0
		自生苑	70	65	110	0	0.0	1	120.0	1	0	0	0
		シオンの園	70	70	290	2	52.5	1	14.0	1	0	0	0
		アルテイル青葉	55	53	142	0	0.0	2	22.0	2	0	0	0
		賓樹苑	100	99	338	1	2.0	1	24.0	1	0	0	0
		大石原苑	50	49	140	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
		リベラ荘	50	49	321	0	0.0	2	106.0	2	0	0	0
		せんだんの里	150	146	397	3	57.6	5	30.8	5	0	0	0
		国見苑	50	50	422	2	18.0	2	56.0	1	1	0	0
		せんだんの館	100	100	677	2	20.5	4	51.0	3	0	0	1
		仙台敬寿園	60	58	208	0	0.0	2	37.5	1	1	0	0
		エコーが丘	60	60	290	1	2.0	1	25.0	1	0	0	0
		自生苑サテライト	29	23	65	3	52.6	1	76.0	1	0	0	0
		アルテイル宮町	29	28	115	2	3.9	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	1,113	1,090	4,201	20	－	24	－	20	3	0	1
	宮城野区	暁星園	56	54	224	1	11.0	2	91.0	2	0	0	0
		パルシア	50	53	831	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かむりの里	50	50	393	3	17.3	3	92.0	3	0	0	0
		Ｊ＆Ｂ	52	51	235	1	14.0	1	60.0	0	1	0	0
		リーフ鶴ヶ谷	50	50	368	1	13.0	1	23.0	1	0	0	0
	小計	5	258	258	2,051	6	－	7	－	6	1	0	0
	若林区	チアフル遠見塚	50	49	533	1	25.0	1	27.0	1	0	0	0
		潮音荘	50										
		杜の里	130	121	697	0	0.0	1	2.5	1	0	0	0
		萩の風	40	40	261	2	11.5	1	33.6	1	0	0	0
	小計	4	270	210	1,491	3	－	3	－	3	0	0	0
	太白区	大東苑	50	50	97	1	53.0	1	27.9	1	0	0	0
		白東苑	50	48	782	4	4.5	5	29.2	5	0	0	0
		茂庭苑	100	100	214	3	14.0	2	24.0	1	1	0	0
		八木山翠風苑	50	48	520	2	4.5	2	39.5	2	0	0	0
		サン・つばき	50	50	853	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		一重の里	60	58	205	1	4.0	1	41.0	1	0	0	0
		春の森から	50	84	349	1	0.6	3	14.3	0	3	0	0
		大年寺山ジェロントピア	50	50	275	1	14.0	1	12.0	1	0	0	0
		第二白東苑	29	20	80	20	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	9	489	508	3,375	33	－	15	－	11	4	0	0
	泉区	愛泉荘	50	49	250	2	13.0	1	23.0	1	0	0	0
		泉和荘	50	46	190	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		泉陵虹の苑	50	50	242	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		水泉荘	100	98	385	0	0.0	3	85.3	3	0	0	0
		泉寿荘	95	95	395	2	20.0	0	0.0	0	0	0	0
		百合ヶ丘苑	50	47	347	1	13.0	2	21.0	1	1	0	0
		泉ふるさと村	50	50	344	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	445	435	2,153	6	－	6	－	5	1	0	0
合　計		41	2,575	2,501	13,271	68		55		45	9	0	1

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　55

様式１５　　**入所状況調（ 平成23年9月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	ながさか	18	18	4	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たかのす	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しろいし	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の街	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の郷	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	花水木	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むくげ	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウインズの森角田	18	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	蔵王ユートピア	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふるさと	18	18	7	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	七ヶ宿こもれびの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	さくら	9	9	6	1	0.0	1	0.0	0	1	0	0
		さくらの杜	9	9	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	あいやまこもれびの家	9	9	1	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
	柴田町	ゆう柴田	9	9	0	2	0.2	0	0.0	0	0	0	0
		もみの木	9	9	2	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		多機能型ケアホーム つきのき	8	8	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		つくし	9	9	0	1	0.2	0	0.0	0	0	0	0
		ふなおか	18	18	8	0	0.0	1	46.0	0	0	1	0
	川崎町	さわやか	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあい	18	18	14	1	29.0	1	42.0	1	0	0	0
	丸森町	リリーハイム	9	9	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわりの郷	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		23	296	287	140	9	－	3	－	1	1	1	0
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	1,128	1,109	700	16	－	20	－	11	2	1	6
	塩竈市	小松崎あさひ園	18	18	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		清水沢あさひ園	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		オリーブ	9	9	2	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		ももせやすらぎの里	27	27	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	名取市	こもれびの家	27	26	28	0	0.0	1	43.0	1	0	0	0
		おうじゅ	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もも太郎さん	18	19	7	1	0.0	1	0.0	0	0	1	0
		うらやす	18										
	多賀城市	あやめの里	27	27	6	1	6.0	1	72.0	0	1	0	0
		ゆうゆう・多賀城	27	27	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		貞山みよりの家	18	18	4	1	1.0	1	2.0	0	0	0	1
	岩沼市	あぶくま	18	32	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		朝日サポートセンター	18	33	12	0	0.0	1	4.3	0	1	0	0
		しんせん長春館	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩沼	18	18	1	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	亘理町	しんまち	9	9	14	1	1.0	1	72.0	0	1	0	0
		悠里の郷	18	19	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たいじん荘	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイケアセンター亘理うらきど	18	8	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	メサイア	18	17	3	1	2.0	1	43.0	0	1	0	0
		さかもと	18										
	松島町	桜の家	18	18	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町												
	利府町	やすらぎ苑利府	18	19	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		十符の里	18	17	3	0	0.0	1	2.7	0	1	0	0
	大和町	すずらん	8	8	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやき	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん吉岡	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大郷町	もも太郎さん(大郷)	18	12	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	そよかぜ	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかりの里	18	16	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いちいの杜	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	サンすまいるおおひら	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		98	1,667	1,623	955	23	－	28	－	12	7	2	7
北部保健福祉	大崎市	やすらぎ苑古川	18	17	5	0	0.0	1	8.0	0	0	0	1
		笹森の屋	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご ふるかわ	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		プロンプター甲斐	18	18	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		太陽	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームコスモス	18	18	7	2	0.0	2	5.1	2	0	0	0
		なのはな	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		和楽路	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩出山	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふかふか・はうす	18	17	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひだまり	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たじりの杜	18	17	5	0	0.0	1	38.5	0	1	0	0
		かなでの杜	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	加美	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		バルムなかにいだ	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア加美	18	17	8	0	0.0	1	48.0	1	0	0	0
	色麻町	サンすまいるしかま	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	涌谷町	後楽庵	15	13	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		スローライフ	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうらいふ	18	16	24	0	0.0	1	66.4	1	0	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
北部保健福祉	美里町	花水月	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		よつば荘	6	6	0	1	0.6	1	39.3	0	1	0	0
		歩風楽	18	21	13	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		みのりの家	16	18	2	1	0.2	1	5.3	0	0	0	1
		たんぽぽ	18	18	3	1	1.0	1	9.0	0	0	0	1
	栗原市	ぎんなん荘	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王こもれびの家	27	26	18	1	11.0	1	3.0	1	0	0	0
		まりやの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ＳＡＫＵＲＡ	9	7	0	0	0.0	1	30.0	0	1	0	0
		まいはあと	27	27	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		快栗駒	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しわひめ	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なごみ	18	17	8	0	0.0	1	27.0	0	1	0	0
		梅ヶ丘の里	6	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやきの里	18	17	0	1	0.3	1	36.4	0	1	0	0
		うぐいすの里 こもれびの家	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		堤通り	18	17	1	0	0.0	1	36.0	0	0	0	1
		桂葉	18	18	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		宮野	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	592	582	258	8	－	14	－	5	5	0	4
東部保健福祉	石巻市	いこいの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぬくもりの家	9	9	1	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム青葉	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム桜花	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム親孝行	18	17	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものうなかつやま	9	9	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものううした	9	9	12	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		しらさぎ苑	18	18	3	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		ﾂｸｲ大街道　ｻﾝﾌﾗﾜｰ	18	17	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		隠居の家	9	6	3	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		希慈	9										
		ねむの木	18	12	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		馬っこ山	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかり	18	17	3	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームきたかみ	9										
		愛慈	9	17	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あいわ	18	18	0	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あゆかわの郷	18										
		なんてん河北	18	20	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん雄勝	18										
		愛の家グループホーム 石巻開北	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぐらんす	18	17	1	1	1.0	1	8.0	0	1	0	0
	東松島市	さざなみ	9	9	34	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム日和	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すみちゃんの家	9										
		あさぎり	9	9	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎ	18										
	女川町	のどか	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	あんど	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にしだて	18	18	4	2	0.5	1	87.0	0	0	0	1
		あさみず	33	33	9	0	0.0	1	3.0	0	0	0	1
		快豊里	9	10	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほほえみ	9	9	4	1	9.0	0	0.0	0	0	0	0
		はさま	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		翔裕園	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらおか	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		米山	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みんなの家	9	10	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	536	454	182	11	－	3	－	0	1	0	2
気仙沼保健福祉	気仙沼市	星谷ブランチ	9										
		みずなしの丘	18	22	9	1	10.0	1	14.0	0	0	1	0
		村伝	9										
		桑の実	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん気仙沼	9	10	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こころ	9										
		村伝さいち	9										
		村伝おもせ	9										
		あんしん館	9										
		ぽらん	9										
		リアスの杜	18										
		ボラーノの杜	9										
	南三陸町	はまゆり	9	9	0	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの丘	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		14	144	59	37	2	－	1	－	0	0	1	0
合計		全体　県分 213　147	3,235	3,005	1,572	53		49		18	14	4	13

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　49

様式１５－２　　**入所状況調（ 平成23年9月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	せんだんの里 国見ヶ丘３丁目	8	8	41	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	24	23	41	0	0.0	1	124.0	0	0	0	1
		ほくと苑	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せせらぎの里	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ハートピアエスト	9	6	2	0	0.0	1	4.0	1	0	0	0
		広瀬の郷	18	18	5	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		青葉の風	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひなた	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽庵	9	9	26	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら高野原	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛和の郷	18	17	14	0	0.0	1	0.8	0	0	0	1
		なんてん上杉	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		木かげ	18	18	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム 北根黒松	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みつばち	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	220	215	199	1	－	3	－	1	0	0	2
	宮城野区	みやぎの杜	27	26	49	0	0.0	1	2.0	1	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台福室	18	17	6	0	0.0	1	13.0	0	0	0	1
		ふれあいの家白鳥	18	18	3	1	0.1	0	0.0	0	0	0	0
		やわらぎ	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家GH仙台岩切	27	26	3	0	0.0	1	17.0	1	0	0	0
		あったかいご燕沢東	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス鶴ヶ谷	9	8	8	1	0.4	1	8.1	1	0	0	0
		デイジー	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア萩野町	18	18	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ジャパンケアサービス遊宴・萩野町	18	18	14	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム よもぎ杢	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	11	207	203	137	3	－	4	－	3	0	0	1
	若林区	くつろぎ保養館 仙台東	18	17	11	0	0.0	1	110.0	0	0	0	1
		なんてん伊在荘	27	26	11	1	6.0	1	30.0	1	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台やまとまち	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すだちの里	18	18	7	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウィンズの森 遠見塚３丁目	9	9	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		連坊小路グループホームスカイ	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		テルウェルグループホームひなた	17	17	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	116	114	73	2	－	2	－	1	0	0	1
	太白区	おちあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		袋原ふれあいの家	27	27	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆきあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台柳生	18	18	5	1	1.0	1	91.0	0	0	0	1
		なんてん長嶺荘	18	18	3	1	3.0	1	24.0	1	0	0	0
		やすらぎホーム富沢	27	27	19	0	0.0	1	14.0	1	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台なかた	18	17	5	1	5.0	1	20.0	0	1	0	0
		縄文の風	18	18	6	0	0.0	1	92.0	1	0	0	0
		あったかいご こおりやま	18	18	2	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほくとの里	18	17	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やぎあん	18	18	8	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご 西多賀	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		人来田の風	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こまち	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩ヶ丘	18	18	5	0	0.0	1	16.0	1	0	0	0
		なつぎ埜	18	13	4	3	0.0	1	0.0	0	1	0	0
	小計	16	288	281	75	8	－	7	－	4	2	0	1
	泉区	いずみの杜	18	19	49	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さちの家	9	9	51	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台あさひがおか	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台八乙女	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		蘭	27	26	15	0	0.0	1	84.0	1	0	0	0
		フォークソング	18	18	7	1	0.1	1	1.1	0	0	1	0
		なんてん水の森公園	18	17	7	0	0.0	2	48.0	1	0	0	1
		いずみの里	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松陵	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわり	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム北中山	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南光台ｹｱｾﾝﾀｰそよ風	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム仙台実沢	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むらでん高森	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		長徳	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はごうの杜	18	18	30	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふくろうの杜寺岡	18	18	4	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	17	297	296	216	2	－	4	－	2	0	1	1
合　計		66	1,128	1,109	700	16		20		11	2	1	6

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　20

様式３
施設区分　特別養護老人ホーム

入所状況調（ 平成23年10月1日現在 ）

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	八宮荘	83	83	69	1	8.0	0	0.0	0	0	0	0
		えんじゅ	54	50	76	2	30.0	3	73.0	3	0	0	0
		ひだまり	29	27	39	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	みどり荘	94	94	171	1	74.0	0	0.0	0	0	0	0
		聖母の家	50	50	123	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	楽園が丘	50	50	106	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ざおうの杜	40	40	38	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ざおうの杜あおそ	30	20	33	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	ゆりの里七ヶ宿	30	30	38	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	桜寿苑	50	51	233	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	柏松苑	50	49	83	0	0.0	1	6.0	1	0	0	0
	柴田町	常盤園	67	68	329	3	16.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二常盤園	80	94	350	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	川崎町	釜房みどりの園	40	40	92	1	38.0	1	36.0	1	0	0	0
		第二釜房みどりの園	10	10	40	0	0.0	1	54.0	1	0	0	0
	丸森町	仙南ｼﾞｪﾛﾝﾄﾋﾞｱ	104	104	298	3	17.0	3	44.0	0	3	0	0
小計		16	861	860	2,118	12	－	9	－	6	3	0	0
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	2,575	2,467	13,413	52	－	54	－	46	5	1	2
	塩竈市	清楽苑	50										
		ウィズ月見ヶ丘	29	29	88	2	18.5	1	36.0	0	1	0	0
	名取市	松陽苑	80	79	476	1	3.0	2	148.5	2	0	0	0
		うらやす	50										
		けやき	50	49	434	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	多賀城市	多賀城苑	54	65	710	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		桜花	29										
	岩沼市	チアフル岩沼	60	65	573	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		赤井江マリンホーム	50										
	亘理町	日就苑	84	84	302	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二日就苑	50	50	119	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けいけん荘	50	53	201	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	みやま荘	50	50	146	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	松島町	松島長松苑	50	74	522	1	16.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	第二清楽苑	50	64	451	2	32.0	1	27.0	1	0	0	0
	利府町	十符・風の音	50	49	347	0	0.0	1	78.0	1	0	0	0
	大和町	和風園	200	208	264	3	23.7	3	24.0	3	0	0	0
	大郷町	郷和荘	54	55	311	3	11.6	3	81.6	3	0	0	0
	富谷町	杜の風	50	50	363	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		成田の里	29	25	18	4	2.4	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	七峰荘	52	52	291	1	16.0	1	32.0	1	0	0	0
小計		62	3,796	3,568	19,029	71	－	66	－	57	6	1	2
北部保健福祉	大崎市	大崎ホーム	50	50	239	1	31.3	1	45.3	0	1	0	0
		寿楽苑	54	53	508	0	0.0	1	6.0	0	1	0	0
		百才館	40	42	372	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		敬風園	200	196	345	0	0.0	3	85.1	3	0	0	0
		岩出の郷	54	53	471	0	0.0	1	38.0	1	0	0	0
		りんどう苑	50	50	227	1	22.2	1	29.0	1	0	0	0
		楽々楽館	29	29	81	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かごぼうの里	54	52	230	0	0.0	2	108.5	1	1	0	0
	加美町	青風園	54	53	382	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やくらいサンホーム	54	53	282	0	0.0	1	53.0	1	0	0	0
		みやざき	50	50	95	3	9.0	0	0.0	0	0	0	0
	色麻町												
	涌谷町	ゆうらいふ	30	30	105	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	美里町	いなほの里	54	51	313	1	15.3	2	14.6	2	0	0	0
		みさとの杜	50	50	142	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	栗原市	いちょうの里	60	59	142	0	0.0	1	36.0	0	1	0	0
		若藤園	50	51	176	0	0.0	1	56.0	1	0	0	0
		愛光園	50	50	268	3	26.4	3	11.6	3	0	0	0
		白鳥苑	60	57	66	0	0.0	3	79.0	3	0	0	0
		千葉福寿園	52	52	176	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王	54	54	250	0	0.0	1	35.0	1	0	0	0
		うぐいすの里	30	28	105	0	0.0	1	60.0	1	0	0	0
		桂葉	30	30	51	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		22	1,209	1,193	5,026	10	－	22	－	18	4	0	0
東部保健福祉	石巻市	和香園	50	51	533	0	0.0	2	36.0	1	1	0	0
		第二和香園	50	47	472	1	39.0	2	14.5	1	1	0	0
		アゼイリア	50	50	228	5	6.0	1	21.0	1	0	0	0
		涼風園	50	48	312	1	10.0	2	40.5	2	0	0	0
		仁風園	94	93	384	0	0.0	1	8.0	1	0	0	0
		雄心苑	50										
		一心苑	50	48	208	2	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		花水木	20	29	135	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ファミリオ	50	50	121	0	0.0	1	10.0	0	1	0	0
		おしか清心苑	50	50	108	1	4.0	1	100.0	1	0	0	0
		きたかみ	40	40	100	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		万葉苑	100	90	137	9	3.4	3	1.5	2	1	0	0
	東松島市	矢本華の園	54	54	334	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		不老園	50										
		やもと赤井の里	30	53	184	0	0.0	2	15.0	2	0	0	0
	女川町	おながわ	40	39	179	1	13.0	1	24.0	1	0	0	0
	登米市	迫風園	50	50	183	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
		光風園	50	53	145	2	8.5	1	8.0	1	0	0	0
		萩風園	50	50	117	1	7.0	1	90.0	1	0	0	0
		松風園	50	49	99	2	3.0	1	23.0	0	1	0	0
		さーらの樹	30	30	54	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南風園	54	54	152	1	12.0	2	66.0	2	0	0	0
		柳風園	86	83	76	3	21.0	1	111.0	1	0	0	0
		東和	20	20	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほたるの郷	29	29	79	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆりの郷	29	29	125	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		風の路	29	29	88	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		27	1,305	1,218	4,573	32	－	22	－	17	5	0	0
気仙沼保健福祉	気仙沼市	恵風荘	85	102	327	0	0.0	5	4.0	2	0	0	3
		恵潮苑	54	85	384	1	18.0	5	4.0	0	0	0	5
		恵心寮	50										
		キングス・タウン	50	49	237	1	2.0	1	48.0	0	1	0	0
		春圃苑	50	63	123	4	29.0	1	3.0	1	0	0	0
		唐桑園	30	31	73	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	南三陸町	慈恵園	54										
		いこいの海・あらと	80	44	62	3	1.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		8	453	374	1,206	9	－	12	－	3	1	0	8
合計		全体 135　県分 94	7,624	7,213	31,952	134		131		101	19	1	10

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　131

（注）入所希望者数は、以前の措置制度とは異なり、申込は契約制となり自由かつ複数施設へ申し込むことができるようになっているため、その多くは重複しております。この為「入所希望者数」を従来の待機者数と同様に捉えることはできない性格のものです。

様式３－２　　**入所状況調（ 平成23年10月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	洛風苑	100	100	249	3	2.3	4	64.3	3	1	0	0
		仙台楽生園	90	89	292	1	5.0	2	37.5	1	1	0	0
		思行園	50	48	161	0	0.0	1	103.0	1	0	0	0
		自生苑	70	62	97	2	4.0	6	29.8	6	0	0	0
		シオンの園	70	70	294	1	10.0	1	57.0	1	0	0	0
		アルテイル青葉	55	54	150	1	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		賓樹苑	100	99	343	4	10.3	4	66.0	4	0	0	0
		大石原苑	50	49	142	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リベラ荘	50	51	330	2	18.5	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	150	145	399	4	7.7	5	30.2	5	0	0	0
		国見苑	50	50	421	1	2.0	1	18.0	1	0	0	0
		せんだんの館	100	100	692	4	31.5	2	38.0	2	0	0	0
		仙台敬寿園	60	60	212	2	10.5	0	0.0	0	0	0	0
		エコーが丘	60	60	290	0	0.0	3	27.0	2	0	1	0
		自生苑サテライト	29	23	63	1	4.0	1	3.0	0	0	0	1
		アルテイル宮町	29	28	117	1	4.0	1	3.1	1	0	0	0
	小計	16	1,113	1,088	4,252	27	－	31	－	27	2	1	1
	宮城野区	暁星園	56	55	231	2	6.5	2	26.8	2	0	0	0
		パルシア	50	53	846	1	5.0	1	21.0	1	0	0	0
		かむりの里	50	50	367	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		Ｊ＆Ｂ	52	51	240	2	32.0	2	32.5	1	1	0	0
		リーフ鶴ヶ谷	50	50	343	1	3.0	1	41.0	1	0	0	0
	小計	5	258	259	2,027	6	－	6	－	5	1	0	0
	若林区	チアフル遠見塚	50	48	545	0	0.0	1	1.0	0	0	0	1
		潮音荘	50										
		杜の里	130	119	701	0	0.0	2	8.8	2	0	0	0
		萩の風	40	40	257	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	4	270	207	1,503	0	－	3	－	2	0	0	1
	太白区	大東苑	50	50	97	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		白東苑	50	50	785	2	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		茂庭苑	100	100	220	1	10.0	2	115.0	0	2	0	0
		八木山翠風苑	50	50	522	2	7.0	0	0.0	0	0	0	0
		サン・つばき	50	50	855	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		一重の里	60	57	208	0	0.0	1	2.0	1	0	0	0
		春の森から	50	50	359	2	19.4	0	0.0	0	0	0	0
		大年寺山ジェロントピア	50	50	289	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二白東苑	29	25	80	5	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	9	489	482	3,415	12	－	3	－	1	2	0	0
	泉区	愛泉荘	50	50	258	2	24.0	1	25.0	1	0	0	0
		泉和荘	50	45	195	2	2.5	3	109.0	3	0	0	0
		泉陵虹の苑	50	47	247	0	0.0	3	30.6	3	0	0	0
		水泉荘	100	96	403	0	0.0	2	36.0	2	0	0	0
		泉寿荘	95	95	407	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		百合ヶ丘苑	50	48	351	3	8.7	2	70.5	2	0	0	0
		泉ふるさと村	50	50	355	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	445	431	2,216	7	－	11	－	11	0	0	0
合　計		41	2,575	2,467	13,413	52		54		46	5	1	2

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　54

様式１５　　**入所状況調（ 平成23年10月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	ながさか	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たかのす	18	18	9	1	3.0	1	12.0	0	0	0	1
		しろいし	18	18	6	1	5.0	1	18.0	0	1	0	0
		幸福の街	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の郷	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	花水木	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むくげ	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウインズの森角田	18	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	蔵王ユートピア	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふるさと	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	七ヶ宿こもれびの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	さくら	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらの杜	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	あいやまこもれびの家	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	柴田町	ゆう柴田	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もみの木	9	8	2	0	0.0	1	5.0	0	0	0	1
		多機能型ケアホーム つきのき	8	8	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		つくし	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふなおか	18	18	9	1	20.0	0	0.0	0	0	0	0
	川崎町	さわやか	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあい	18	18	14	0	0.0	1	90.0	1	0	0	0
	丸森町	リリーハイム	9	9	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわりの郷	9	9	1	1	3.0	1	5.0	0	0	0	1
小計		23	296	286	134	4	－	5	－	1	1	0	3
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	1,128	1,114	718	18	－	12	－	4	4	0	4
	塩竈市	小松崎あさひ園	18	18	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		清水沢あさひ園	18	17	4	0	0.0	1	21.0	0	1	0	0
		オリーブ	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ももせやすらぎの里	27	27	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	名取市	こもれびの家	27	27	29	2	24.0	1	17.0	1	0	0	0
		おうじゅ	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もも太郎さん	18	18	8	0	0.0	1	0.0	0	1	0	0
		うらやす	18										
	多賀城市	あやめの里	27	26	11	1	6.0	1	2.5	0	1	0	0
		ゆうゆう・多賀城	27	27	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		貞山みよりの家	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	岩沼市	あぶくま	18	32	20	1	0.2	2	49.0	1	1	0	0
		朝日サポートセンター	18	31	12	0	0.0	2	6.6	2	0	0	0
		しんせん長春館	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩沼	18	17	3	0	0.0	1	6.0	0	1	0	0
	亘理町	しんまち	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		悠里の郷	18	19	17	1	2.0	1	34.0	0	1	0	0
		たいじん荘	18	17	9	0	0.0	1	35.0	1	0	0	0
		ニチイケアセンター亘理 うらきど	18	9	2	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	メサイア	18	17	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さかもと	18										
	松島町	桜の家	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームコスモス	18	16	3	5	0.0	1	1.5	0	1	0	0
	七ヶ浜町												
	利府町	やすらぎ苑利府	18	19	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		十符の里	18	18	4	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	すずらん	8	8	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやき	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん吉岡	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大郷町	もも太郎さん(大郷)	18	11	0	1	0.0	2	0.0	1	0	0	1
	富谷町	そよかぜ	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかりの里	18	17	2	1	1.5	0	0.0	0	0	0	0
		いちいの杜	9	8	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	サンすまいるおおひら	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		99	1,685	1,639	992	32	－	26	－	10	11	0	5
北部保健福祉	大崎市	やすらぎ苑古川	18	17	5	1	1.5	1	79.0	0	1	0	0
		笹森の屋	18	17	5	0	0.0	1	28.9	0	1	0	0
		あったかいご ふるかわ	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		プロンプター甲斐	18	18	27	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		太陽	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームコスモス	18	17	7	0	0.0	1	2.0	1	0	0	0
		なのはな	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		和楽路	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩出山	18	18	3	1	1.6	1	53.0	0	1	0	0
		ふかふか・はうす	18	18	11	1	0.6	0	0.0	0	0	0	0
		ひだまり	9	8	10	0	0.0	1	41.0	0	1	0	0
		たじりの杜	18	16	6	1	2.0	2	71.7	0	2	0	0
		かなでの杜	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	加美	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		バルムなかにいだ	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア加美	18	18	8	1	1.2	0	0.0	0	0	0	0
	色麻町	サンすまいるしかま	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	涌谷町	後楽庵	15	12	9	0	0.0	1	68.4	1	0	0	0
		スローライフ	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうらいふ	18	17	19	1	13.9	1	43.2	0	1	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
北部保健福祉	美里町	花水月	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		よつば荘	6	6	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		歩風楽	18	21	13	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		みのりの家	16	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たんぽぽ	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	栗原市	ぎんなん荘	18	18	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王こもれびの家	27	27	16	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		まりやの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ＳＡＫＵＲＡ	9	7	0	0	0.0	1	30.0	0	1	0	0
		まいはあと	27	25	14	1	36.0	3	33.3	0	3	0	0
		快栗駒	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しわひめ	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なごみ	18	18	8	1	0.6	0	0.0	0	0	0	0
		梅ヶ丘の里	6	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやきの里	18	17	0	1	0.2	1	4.3	0	1	0	0
		うぐいすの里 こもれびの家	18	18	6	1	48.0	0	0.0	0	0	0	0
		堤通り	18	18	2	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		宮野	18	18	4	0	6.9	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	592	581	270	13	－	14	－	2	12	0	0
東部保健福祉	石巻市	いこいの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぬくもりの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム青葉	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム桜花	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム親孝行	18	17	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものうなかつやま	9	9	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものううした	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しらさぎ苑	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ﾂｸｲ大街道　ｻﾝﾌﾗﾜｰ	18	18	1	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		隠居の家	9	8	1	2	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		希慈	9	1	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ねむの木	18	11	5	0	0.0	1	65.0	0	0	1	0
		馬っこ山	18	17	0	0	0.0	1	29.3	0	0	0	1
		ひかり	18	18	3	2	0.0	1	2.0	0	0	1	0
		グループホームきたかみ	9	2	3	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛慈	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あいわ	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あゆかわの郷	18	9	1	0	0.0	2	15.0	1	1	0	0
		なんてん河北	18	19	1	0	0.0	1	0.7	1	0	0	0
		なんてん雄勝	18	2	14	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム 石巻開北	18	17	0	0	0.0	1	7.0	0	0	0	1
		ぐらんす	18	17	1	1	1.0	1	0.0	0	0	1	0
	東松島市	さざなみ	9	9	34	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム日和	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すみちゃんの家	9										
		あさぎり	9	9	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎ	18	0	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	女川町	のどか	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	あんど	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にしだて	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あさみず	33	32	10	1	7.0	2	84.0	0	0	1	1
		快豊里	9	10	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほほえみ	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はさま	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		翔裕園	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらおか	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		米山	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みんなの家	9	10	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	536	459	205	12	－	10	－	2	1	4	3
気仙沼保健福祉	気仙沼市	星谷ブランチ	9										
		みずなしの丘	18	22	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝	9										
		桑の実	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぼらん気仙沼	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こころ	9	9	2	9	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝さいち	9	9	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝おもせ	9										
		あんしん館	9										
		ぼらん	9										
		リアスの杜	18										
		ポラーノの杜	9										
	南三陸町	はまゆり	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの丘	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		14	144	76	58	9	－	0	－	0	0	0	0
合計		全体　県分 214　148	3,253	3,041	1,659	70		55		15	25	4	11

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　55

様式１５－２　　**入所状況調（ 平成23年10月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	せんだんの里 国見ヶ丘３丁目	8	8	43	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	24	24	43	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほくと苑	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せせらぎの里	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ハートピアエスト	9	7	2	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		広瀬の郷	18	17	4	0	0.0	1	23.0	1	0	0	0
		青葉の風	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひなた	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽庵	9	9	26	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら高野原	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛和の郷	18	18	14	1	0.4	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん上杉	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		木かげ	18	18	10	1	10.0	1	37.0	0	1	0	0
		セントケアホーム 北根黒松	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みつばち	18	18	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	220	217	198	4	－	2	－	1	1	0	0
	宮城野区	みやぎの杜	27	27	50	1	24.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台福室	18	16	6	0	0.0	1	53.0	0	0	0	1
		ふれあいの家白鳥	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やわらぎ	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家GH仙台岩切	27	27	3	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご燕沢東	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス鶴ヶ谷	9	9	13	1	0.1	0	0.0	0	0	0	0
		デイジー	18	17	3	0	0.0	1	63.0	0	1	0	0
		にこトピア萩野町	18	18	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ジャパンケアサービス遊宴・萩野町	18	18	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム よもぎ杢	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	11	207	204	142	3	－	2	－	0	1	0	1
	若林区	くつろぎ保養館 仙台東	18	18	8	2	4.0	2	110.0	0	0	0	2
		なんてん伊在荘	27	26	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台やまとまち	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すだちの里	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウィンズの森 遠見塚３丁目	9	9	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		連坊小路グループホームスカイ	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		テルウェルグループホームひなた	17	17	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	116	115	70	2	－	2	－	0	0	0	2
	太白区	おちあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		袋原ふれあいの家	27	27	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆきあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台柳生	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん長嶺荘	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎホーム富沢	27	26	19	1	36.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台なかた	18	18	5	1	2.0	1	21.0	0	1	0	0
		縄文の風	18	18	2	2	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご こおりやま	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほくとの里	18	18	3	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		やぎあん	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご 西多賀	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		人来田の風	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こまち	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩ヶ丘	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なつぎ埜	18	15	5	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	288	284	79	7	－	1	－	0	1	0	0
	泉区	いずみの杜	18	18	49	0	0.0	1	120.0	1	0	0	0
		さちの家	9	9	51	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台あさひがおか	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台八乙女	18	18	4	0	0.0	1	30.0	0	1	0	0
		蘭	27	25	17	0	0.0	1	72.0	1	0	0	0
		フォークソング	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん水の森公園	18	17	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いずみの里	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松陵	18	18	7	2	2.0	2	36.5	1	0	0	1
		ひまわり	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム北中山	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南光台ｹｱｾﾝﾀｰそよ風	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム仙台実沢	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むらでん高森	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		長徳	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はごうの杜	18	18	43	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふくろうの杜寺岡	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	17	297	294	229	2	－	5	－	3	1	0	1
合　計		66	1,128	1,114	718	18		12		4	4	0	4

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　12

様式３　　**入所状況調（ 平成23年 11月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	八宮荘	83	83	85	1	9.0	1	12.0	0	1	0	0
		えんじゅ	54	52	80	2	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひだまり	29	27	39	1	3.0	1	2.5	1	0	0	0
	角田市	みどり荘	94	94	164	2	8.0	2	33.0	2	0	0	0
		聖母の家	50	50	125	1	6.0	1	61.0	0	1	0	0
	蔵王町	楽園が丘	50	50	106	1	13.0	1	26.0	0	1	0	0
		ざおうの杜	40	39	51	0	0.0	1	40.0	0	1	0	0
		ざおうの杜あおそ	30	20	39	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	ゆりの里七ヶ宿	30	30	39	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	桜寿苑	50	51	251	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	柏松苑	50	50	82	1	21.0	0	0.0	0	0	0	0
	柴田町	常盤園	67	65	334	2	2.0	3	43.1	3	0	0	0
		第二常盤園	80	94	362	1	3.0	1	6.0	0	0	1	0
	川崎町	釜房みどりの園	40	40	96	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二釜房みどりの園	10	10	37	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	仙南ｼﾞｪﾛﾝﾄﾋﾟｱ	104	103	286	2	23.0	3	15.0	3	0	0	0
小計		16	861	858	2,176	14	－	14	－	9	4	1	0
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	2,575	2,475	13,514	57	－	56	－	45	5	3	3
	塩竈市	清楽苑	50										
		ウィズ月見ヶ丘	29	29	88	1	13.0	1	38.0	1	0	0	0
	名取市	松陽苑	80	78	484	2	22.0	3	24.0	3	0	0	0
		うらやす	50										
		けやき	50	47	407	0	0.0	2	49.0	2	0	0	0
	多賀城市	多賀城苑	54	65	723	3	3.0	2	39.0	2	0	0	0
		桜花	29										
	岩沼市	チアフル岩沼	60	63	577	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		赤井江マリンホーム	50										
	亘理町	日就苑	84	84	307	1	8.0	1	6.0	1	0	0	0
		第二日就苑	50	50	124	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けいけん荘	50	49	208	0	0.0	4	5.8	3	1	0	0
	山元町	みやま荘	50	50	151	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	松島町	松島長松苑	50	74	524	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	第二清楽苑	50	65	417	1	30.0	0	0.0	0	0	0	0
	利府町	十符・風の音	50	49	349	3	3.0	3	62.7	3	0	0	0
	大和町	和風園	200	208	268	4	11.3	4	40.5	3	1	0	0
	大郷町	郷和荘	54	55	317	1	10.0	1	38.0	1	0	0	0
	富谷町	杜の風	50	50	368	1	78.0	1	14.0	1	0	0	0
		成田の里	29	27	19	2	2.1	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	七峰荘	52	52	295	1	1.0	1	68.0	1	0	0	0
小計		62	3,796	3,570	19,140	77	－	79	－	66	7	3	3
北部保健福祉	大崎市	大崎ホーム	50	50	245	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		寿楽苑	54	53	515	1	12.1	1	99.4	1	0	0	0
		百才館	40	42	383	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		敬風園	200	199	319	6	13.4	3	100.1	2	1	0	0
		岩出の郷	54	53	477	2	50.2	2	88.3	2	0	0	0
		りんどう苑	50	50	217	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽々楽館	29	29	89	1	9.0	1	5.0	0	1	0	0
		かごぼうの里	54	51	230	1	6.8	2	26.9	1	1	0	0
	加美町	青風園	54	54	384	1	21.7	0	0.0	0	0	0	0
		やくらいサンホーム	54	54	284	1	32.0	0	0.0	0	0	0	0
		みやざき	50	48	103	0	0.0	2	2.3	1	1	0	0
	色麻町												
	涌谷町	ゆうらいふ	30	26	109	0	0.0	3	42.7	1	2	0	0
	美里町	いなほの里	54	52	315	2	26.0	1	26.6	1	0	0	0
		みさとの杜	50	50	143	1	33.9	1	48.0	0	1	0	0
	栗原市	いちょうの里	60	60	159	3	41.7	2	94.0	1	1	0	0
		若藤園	50	52	176	1	39.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛光園	50	50	274	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		白鳥苑	60	58	66	2	11.0	1	27.0	1	0	0	0
		千葉福寿園	52	52	183	1	10.0	1	42.6	0	1	0	0
		山王	54	54	260	2	53.0	2	94.0	2	0	0	0
		うぐいすの里	30	30	103	2	26.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	30	30	54	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		22	1,209	1,197	5,088	27	－	22	－	13	9	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
東部保健福祉	石巻市	和香園	50	51	530	1	12.0	1	111.0	0	1	0	0
		第二和香園	50	49	457	3	27.0	1	25.0	0	1	0	0
		アゼイリア	50	50	232	5	6.0	1	21.0	1	0	0	0
		涼風園	50	49	298	1	65.0	0	0.0	0	0	0	0
		仁風園	94	91	349	0	0.0	2	22.5	2	0	0	0
		雄心苑	50										
		一心苑	50	49	212	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		花水木	20	29	136	1	1.0	1	30.0	1	0	0	0
		ファミリオ	50	48	124	1	2.0	3	59.3	2	1	0	0
		おしか清心苑	50	50	110	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		きたかみ	40	39	24	1	6.5	2	4.5	2	0	0	0
		万葉苑	100	88	150	1	3.0	3	5.0	1	1	1	0
	東松島市	矢本華の園	54	54	321	1	4.0	1	71.0	1	0	0	0
		不老園	50										
		やもと赤井の里	30	53	186	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	女川町	おながわ	40	39	178	1	43.0	1	6.0	1	0	0	0
	登米市	迫風園	50	50	194	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		光風園	50	54	153	2	9.0	1	25.0	0	1	0	0
		萩風園	50	50	140	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		松風園	50	48	97	2	4.0	3	37.0	2	1	0	0
		さーらの樹	30	29	57	0	0.0	1	57.0	1	0	0	0
		南風園	54	54	159	2	7.0	2	18.0	2	0	0	0
		柳風園	86	98	74	1	22.0	2	87.0	2	0	0	0
		東和	20	19	19	0	0.0	1	8.6	1	0	0	0
		ほたるの郷	29	29	126	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆりの郷	29	29	83	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		風の路	29	28	91	2	0.0	3	4.3	2	1	0	0
小計		27	1,305	1,227	4,500	26	－	29	－	21	7	1	0
気仙沼保健福祉	気仙沼市	恵風荘	85	99	328	0	0.0	5	41.0	4	1	0	0
		恵潮苑	54	83	380	1	3.0	3	17.0	3	0	0	0
		恵心寮	50										
		キングス・タウン	50	49	238	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		春圃苑	50	62	121	1	3.0	2	50.0	2	0	0	0
		唐桑園	30	32	74	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	南三陸町	慈恵園	54										
		いこいの海・あらと	80	54	57	10	1.5	0	0.0	0	0	0	0
小計		8	453	379	1,198	13	－	10	－	9	1	0	0
合計		全体 135 県分 94	7,624	7,231	32,102	157		154		118	28	5	3

各施設→ 保健福祉事務所→ **長寿（在宅・施設支援班）→** 保健福祉事務所→市町村 計 154

（注）入所希望者数は、以前の措置制度とは異なり、申込は契約制となり自由かつ複数施設へ申し込むことができるようになっているため、その多くは重複しております。この為「入所希望者数」を従来の待機者数と同様に捉えることはできない性格のものです。

様式３－２

入所状況調（ 平成23年 11月1日現在 ）

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	洛風苑	100	100	249	2	3.5	2	136.5	2	0	0	0
		仙台楽生園	90	90	309	2	28.5	1	69.0	1	0	0	0
		思行園	50	47	160	0	0.0	1	27.0	1	0	0	0
		自生苑	70	63	102	5	4.0	7	27.5	6	0	1	0
		シオンの園	70	69	298	0	0.0	1	58.0	1	0	0	0
		アルテイル青葉	55	55	150	3	1.0	2	66.0	2	0	0	0
		賓樹苑	100	99	343	4	10.3	4	66.0	4	0	0	0
		大石原苑	50	49	150	1	7.0	1	46.0	1	0	0	0
		リベラ荘	50	50	341	0	0.0	1	60.0	0	1	0	0
		せんだんの里	150	147	397	4	13.2	2	31.0	2	0	0	0
		国見苑	50	50	426	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの館	100	100	698	2	15.0	2	40.0	2	0	0	0
		仙台敬寿園	60	59	218	0	0.0	1	54.0	0	1	0	0
		エコーが丘	60	60	286	3	12.3	5	32.4	4	0	1	0
		自生苑サテライト	29	27	101	6	6.8	2	3.5	0	1	0	1
		アルテイル宮町	29	29	120	1	5.3	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	1,113	1,094	4,348	33	－	32	－	26	3	2	1
	宮城野区	暁星園	56	53	236	1	16.1	2	15.2	1	0	0	1
		パルシア	50	53	850	1	35.0	1	156.0	1	0	0	0
		かむりの里	50	50	378	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		Ｊ＆Ｂ	52	52	216	1	18.0	0	0.0	0	0	0	0
		リーフ鶴ヶ谷	50	50	340	1	35.0	1	32.0	1	0	0	0
	小計	5	258	258	2,020	4	－	4	－	3	0	0	1
	若林区	チアフル遠見塚	50	49	545	1	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		潮音荘	50										
		杜の里	130	120	699	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩の風	40	39	248	0	0.0	1	4.0	0	1	0	0
	小計	4	270	208	1,492	2	－	1	－	0	1	0	0
	太白区	大東苑	50	50	98	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		白東苑	50	50	785	2	12.0	2	40.0	1	0	0	1
		茂庭苑	100	100	224	3	2.0	2	9.0	0	1	1	0
		八木山翠風苑	50	50	531	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		サン・つばき	50	48	857	1	6.3	3	39.2	3	0	0	0
		一重の里	60	57	217	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		春の森から	50	50	363	1	16.6	1	3.7	1	0	0	0
		大年寺山ジェロントピア	50	50	290	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二白東苑	29	28	90	4	2.0	1	2.0	1	0	0	0
	小計	9	489	483	3,455	11	－	9	－	6	1	1	1
	泉区	愛泉荘	50	50	262	1	29.0	1	13.0	1	0	0	0
		泉和荘	50	45	141	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		泉陵虹の苑	50	47	245	2	2.5	2	10.0	2	0	0	0
		水泉荘	100	96	406	0	0.0	3	93.0	3	0	0	0
		泉寿荘	95	94	423	0	0.0	1	82.0	1	0	0	0
		百合ヶ丘苑	50	50	357	3	10.0	2	23.0	2	0	0	0
		泉ふるさと村	50	50	365	1	13.0	1	45.0	1	0	0	0
	小計	7	445	432	2,199	7	－	10	－	10	0	0	0
合　計		41	2,575	2,475	13,514	57		56		45	5	3	3

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　56

様式１５　　**入所状況調（ 平成23年 11月1日現在 ）**

施設区分 認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	ながさか	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たかのす	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しろいし	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の街	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の郷	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	花水木	9	9	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むくげ	18	18	3	1	0.1	1	1.3	0	0	0	1
		ウインズの森角田	18	8	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	蔵王ユートピア	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふるさと	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	七ヶ宿こもれびの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	さくら	9	9	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらの杜	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	あいやまこもれびの家	9	8	0	0	0.0	1	2.0	0	0	0	1
	柴田町	ゆう柴田	9	8	2	0	0.0	1	0.2	0	1	0	0
		もみの木	9	8	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		多機能型ケアホーム つきのき	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		つくし	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふなおか	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	川崎町	さわやか	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあい	18	18	15	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	リリーハイム	9	9	12	1	2.0	1	8.0	0	1	0	0
		ひまわりの郷	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		23	296	283	139	3	－	4	－	0	2	0	2
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	1,137	1,122	698	29	－	19	－	10	6	0	3
	塩竈市	小松崎あさひ園	18	18	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		清水沢あさひ園	18	17	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		オリーブ	9	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ももせやすらぎの里	27	27	2	3	6.5	3	10.1	0	3	0	0
	名取市	こもれびの家	27	25	31	0	0.0	2	103.0	1	0	0	1
		おうじゅ	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もも太郎さん	18	19	9	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		うらやす	18										
	多賀城市	あやめの里	27	26	9	3	6.0	4	3.0	1	3	0	0
		ゆうゆう・多賀城	27	27	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		貞山みよりの家	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	岩沼市	あぶくま	18	31	22	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		朝日サポートセンター	18	30	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しんせん長春館	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩沼	18	17	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	亘理町	しんまち	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		悠里の郷	18	19	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たいじん荘	18	18	8	2	5.3	1	68.0	0	1	0	0
		ニチイケアセンター 亘理うらきど	18	11	1	2	0.5	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	メサイア	18	17	3	1	1.0	1	67.0	0	0	0	1
		さかもと	18										
	松島町	桜の家	18	17	19	0	0.0	1	120.0	1	0	0	0
		コスモス松島	18	16	4	1	0.0	1	2.0	0	1	0	0
	七ヶ浜町												
	利府町	やすらぎ苑利府	18	19	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		十符の里	18	18	3	1	1.0	1	3.8	0	1	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	大和町	すずらん	8	8	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやき	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん吉岡	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大郷町	もも太郎さん(大郷)	18	14	0	3	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	そよかぜ	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかりの里	18	17	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いちいの杜	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	サンすまいるおおひら	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		99	1,694	1,644	965	46	－	33	－	13	15	0	5
北部保健福祉	大崎市	やすらぎ苑古川	18	18	2	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		笹森の屋	18	18	4	1	2.6	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご ふるかわ	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		プロンプター甲斐	18	18	27	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		太陽	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームコスモス	18	18	7	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なのはな	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		和楽路	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩出山	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふかふか・はうす	18	17	12	0	0.0	1	99.6	1	0	0	0
		ひだまり	9	8	11	0	0.0	1	41.0	0	1	0	0
		たじりの杜	18	16	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かなでの杜	18	17	8	0	0.0	1	13.0	0	1	0	0
	加美町	加美	9	8	0	0	0.0	1	75.2	0	1	0	0
		バルムなかにいだ	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア加美	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	色麻町	サンすまいるしかま	9	9	5	1	0.4	0	0.0	0	0	0	0
	涌谷町	後楽庵	15	12	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		スローライフ	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうらいふ	18	17	20	1	24.5	0	0.0	0	0	0	0
	美里町	花水月	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		よつば荘	6	6	0	1	0.1	1	2.6	0	1	0	0
		歩風楽	18	21	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みのりの家	16	16	4	0	0.0	3	47.3	0	2	1	0
		たんぽぽ	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	栗原市	ぎんなん荘	18	18	18	2	5.5	2	61.5	1	0	0	1
		山王こもれびの家	27	25	18	0	0.0	2	35.5	1	1	0	0
		まりやの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ＳＡＫＵＲＡ	9	8	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まいはあと	27	27	12	2	9.5	0	0.0	0	0	0	0
		快栗駒	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しわひめ	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なごみ	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		梅ヶ丘の里	6	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやきの里	18	18	0	1	0.2	0	0.0	0	0	0	0
		うぐいすの里 こもれびの家	18	16	5	0	0.0	2	71.5	1	0	0	1
		堤通り	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		宮野	18	17	5	0	0.0	1	2.5	0	0	0	1
小計		39	592	578	268	11	－	15	－	4	7	1	3
東部保健福祉	石巻市	いこいの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぬくもりの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム青葉	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム桜花	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム親孝行	18	17	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものうなかつやま	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
東部保健福祉	石巻市	せんだんの杜ものううした	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しらさぎ苑	18	17	3	0	0.0	1	17.0	0	0	0	1
		ﾂｸｲ大街道　ｻﾝﾌﾗﾜｰ	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		隠居の家	9	9	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		希慈	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ねむの木	18	13	4	2	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		馬っこ山	18	17	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかり	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームきたかみ	9	5	1	5	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛慈	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あいわ	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あゆかわの郷	18	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん河北	18	20	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん雄勝	18	7	13	5	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム石巻開北	18	18	0	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		ぐらんす	18	18	1	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	東松島市	さざなみ	9	9	34	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム日和	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すみちゃんの家	9										0
		あさぎり	9	9	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎ	18	3	1	3	1.3	0	0.0	0	0	0	0
	女川町	のどか	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	あんど	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にしだて	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あさみず	33	32	9	1	6.0	1	86.0	0	0	0	1
		快豊里	9	10	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほほえみ	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はさま	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		翔裕園	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらおか	8	8	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		米山	9	8	0	0	0.0	1	4.5	0	0	1	0
		みんなの家	9	10	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	536	482	189	20	－	3	－	0	0	1	2
気仙沼保健福祉	気仙沼市	星谷ブランチ	9										
		みずなしの丘	18	22	11	0	0.0	1	7.0	0	1	0	0
		村伝	9										
		桑の実	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん気仙沼	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こころ	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝さいち	9	9	24	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝おもせ	9										
		あんしん館	9										
		ぽらん	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの杜	18	17	2	1	0.5	1	37.0	0	0	1	0
		ポラーノの杜	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	南三陸町	はまゆり	9	8	2	0	0.0	1	2.5	0	1	0	0
		リアスの丘	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		14	144	110	92	1	－	3	－	0	2	1	0
合計		全体　県分 214　148	3,262	3,097	1,653	81		58		17	26	3	12

各施設→ 保健福祉事務所→ **長寿（在宅・施設支援班）**→保健福祉事務所→市町村　　計　58

様式１５－２　　**入所状況調（ 平成23年 11月1日現在 ）**

施設区分 認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	せんだんの里 国見ヶ丘３丁目	8	8	48	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	24	23	48	0	0.0	1	124.0	1	0	0	0
		ほくと苑	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せせらぎの里	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ハートピアエスト	9	7	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		広瀬の郷	18	18	6	1	18.0	0	0.0	0	0	0	0
		青葉の風	9	8	12	0	0.0	1	5.0	1	0	0	0
		ひなた	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽庵	9	9	26	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら高野原	18	18	3	2	2.0	2	32.0	2	0	0	0
		愛和の郷	18	17	14	0	0.0	1	2.4	1	0	0	0
		なんてん上杉	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		木かげ	18	18	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム 北根黒松	18	18	7	1	9.0	1	12.0	0	0	0	1
		みつばち	18	18	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	220	215	215	4	－	6	－	5	0	0	1
	宮城野区	みやぎの杜	27	25	52	0	0.0	2	60.0	2	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台福室	18	17	5	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあいの家白鳥	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やわらぎ	18	18	15	0	0.3	1	5.5	0	1	0	0
		愛の家GH仙台岩切	27	27	6	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご燕沢東	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス鶴ヶ谷	18	17	6	7	0.2	0	0.0	0	0	0	0
		デイジー	18	18	3	1	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア萩野町	18	18	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ジャパンケアサービス遊宴・萩野町	18	18	12	2	5.5	2	6.5	0	1	0	1
		グループホーム よもぎ杢	18	17	8	0	0.0	1	39.0	0	0	0	1
	小計	11	216	211	135	12	－	6	－	2	2	0	2
	若林区	くつろぎ保養館 仙台東	18	17	5	2	3.0	1	12.0	0	1	0	0
		なんてん伊在荘	27	27	8	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台やまとまち	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すだちの里	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウィンズの森 遠見塚３丁目	9	9	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		連坊小路グループホームスカイ	9	9	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		テルウェルグループホームひなたぼっこ	17	17	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	116	115	68	3	－	1	－	0	1	0	0
	太白区	おちあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		袋原ふれあいの家	27	27	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆきあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台柳生	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん長嶺荘	18	18	3	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎホーム富沢	27	27	18	1	14.0	1	12.0	0	1	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台なかた	18	17	3	0	0.0	1	9.0	1	0	0	0
		縄文の風	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0

仙台保健福祉	太白区	あったかいご こおりやま	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほくとの里	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やぎあん	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご 西多賀	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		人来田の風	18	18	7	1	7.0	1	7.0	1	0	0	0
		こまち	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩ヶ丘	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なつぎ埜	18	16	3	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	288	285	80	4	－	3	－	2	1	0	0
	泉区	いずみの杜	18	18	49	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さちの家	9	9	5.2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台あさひがおか	18	17	4	0	0.0	1	6.0	0	1	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台八乙女	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		蘭	27	27	23	2	18.0	0	0.0	0	0	0	0
		フォークソング	18	18	9	1	0.1	1	1.8	0	1	0	0
		なんてん水の森公園	18	18	6	2	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		いずみの里	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松陵	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわり	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム北中山	18	18	5	1	4.0	1	36.0	1	0	0	0
		南光台ｹｱｾﾝﾀｰそよ風	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループ ホーム仙台実沢	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むらでん高森	18	18	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		長徳	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はごうの杜	18	18	44	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふくろうの杜寺岡	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	17	297	296	200	6	－	3	－	1	2	0	0
合　計		66	1,137	1,122	698	29		19		10	6	0	3

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　19

様式３

入所状況調（ 平成23年 12月1日現在 ）

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	八宮荘	83	83	84	1	3.0	1	30.0	0	1	0	0
		えんじゅ	54	53	83	2	2.0	1	12.0	1	0	0	0
		ひだまり	29	29	30	2	1.7	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	みどり荘	94	93	151	0	0.0	1	124.0	1	0	0	0
		聖母の家	50	50	127	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	楽園が丘	50	49	105	1	14.0	2	31.0	0	2	0	0
		ざおうの杜	40	40	59	1	8.0	0	0.0	0	0	0	0
		ざおうの杜あおそ	30	20	40	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	ゆりの里七ヶ宿	30	28	39	0	0.0	2	46.5	1	1	0	0
	大河原町	桜寿苑	50	50	248	1	0.1	2	21.0	2	0	0	0
	村田町	柏松苑	50	50	83	0	0.0	1	86.0	1	0	0	0
	柴田町	常盤園	67	69	331	4	18.0	3	36.1	2	0	0	1
		第二常盤園	80	94	359	1	14.0	2	6.0	1	1	0	0
	川崎町	釜房みどりの園	40	40	82	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二釜房みどりの園	10	10	39	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	仙南ｼﾞｪﾛﾝﾄﾋﾞｱ	104	103	293	3	17.0	3	5.2	3	0	0	0
	小計	16	861	861	2,153	16	－	18	－	12	5	0	1
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	2,575	2,474	13,748	43	－	43	－	37	4	0	2
	塩竈市	清楽苑	50										
		ウィズ月見ヶ丘	29	29	92	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	名取市	松陽苑	80	78	486	2	14.0	2	7.0	2	0	0	0
		うらやす	50										
		けやき	50	49	400	2	19.5	0	0.0	0	0	0	0
	多賀城市	多賀城苑	54	64	724	1	6.0	2	30.5	2	0	0	0
		桜花	29										
	岩沼市	チアフル岩沼	60	61	587	0	0.0	2	23.5	2	0	0	0
		赤井江マリンホーム	50										
	亘理町	日就苑	84	84	309	1	5.0	1	48.0	1	0	0	0
		第二日就苑	50	50	124	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けいけん荘	50	45	212	0	0.0	4	6.5	1	3	0	0
	山元町	みやま荘	50	50	155	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	松島町	松島長松苑	50	75	533	1	7.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	第二清楽苑	50	63	421	1	31.0	3	106.0	2	0	0	1
	利府町	十符・風の音	50	49	355	1	7.0	1	47.0	1	0	0	0
	大和町	和風園	200	208	272	3	15.3	3	127.7	3	0	0	0
	大郷町	郷和荘	54	55	321	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	杜の風	50	50	371	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		成田の里	29	27	23	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	七峰荘	52	52	296	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	62	3,796	3,563	19,429	55	－	61	－	51	7	0	3
北部保健福祉	大崎市	大崎ホーム	50	49	247	0	0.0	1	16.2	0	1	0	0
		寿楽苑	54	53	518	3	27.4	3	10.2	2	1	0	0
		百才館	40	41	392	0	0.0	1	38.2	1	0	0	0
		敬風園	200	195	316	2	56.8	6	82.4	6	0	0	0
		岩出の郷	54	54	484	1	286.0	0	0.0	0	0	0	0
		りんどう苑	50	49	207	0	0.0	1	47.5	1	0	0	0
		楽々楽館	29	29	94	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かごぼうの里	54	53	230	2	64.5	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	青風園	54	54	389	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やくらいサンホーム	54	54	292	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みやざき	50	47	103	2	6.0	3	40.0	2	1	0	0
	色麻町												
	涌谷町	ゆうらいふ	30	30	113	4	41.8	1	24.0	1	0	0	0
	美里町	いなほの里	54	53	321	1	11.1	0	0.0	0	0	0	0
		みさとの杜	50	49	158	0	0.0	1	64.4	0	1	0	0
	栗原市	いちょうの里	60	60	164	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		若藤園	50	51	173	3	27.7	4	38.3	2	2	0	0
		愛光園	50	50	279	1	15.6	1	34.8	1	0	0	0
		白鳥苑	60	58	66	2	11.0	2	19.0	2	0	0	0
		千葉福寿園	52	52	192	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王	54	53	245	1	11.0	1	1.0	1	0	0	0
		うぐいすの里	30	28	100	0	0.0	2	56.0	2	0	0	0
		桂葉	30	30	60	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		金成の家	29	26	42	19	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	23	1,238	1,218	5,185	41	－	27	－	21	6	0	0

様式３

入所状況調（ 平成23年 12月1日現在 ）

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
東部保健福祉	石巻市	和香園	50	51	511	1	18.0	1	27.0	1	0	0	0
		第二和香園	50	49	426	1	37.0	1	102.0	1	0	0	0
		アゼイリア	50	49	242	0	0.0	1	8.0	0	1	0	0
		涼風園	50	50	258	2	11.0	1	71.0	1	0	0	0
		仁風園	94	92	314	2	14.0	1	86.0	1	0	0	0
		雄心苑	50										
		一心苑	50	50	213	2	15.5	1	37.0	1	0	0	0
		花水木	20	30	137	2	18.0	1	5.0	1	0	0	0
		ファミリオ	50	49	127	2	13.0	1	57.0	0	1	0	0
		おしか清心苑	50	50	118	2	4.0	2	46.0	2	0	0	0
		きたかみ	40	39	29	2	8.5	2	53.5	2	0	0	0
		万葉苑	100	88	156	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	東松島市	矢本華の園	54	54	331	2	10.0	2	13.0	2	0	0	0
		不老園	50										
		やもと赤井の里	30	52	197	1	1.0	2	32.0	2	0	0	0
	女川町	おながわ	40	39	176	2	30.0	2	38.0	2	0	0	0
	登米市	迫風園	50	49	189	1	5.0	2	26.0	0	2	0	0
		光風園	50	54	164	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩風園	50	50	140	0	0.0	3	106.7	3	0	0	0
		松風園	50	49	99	2	17.5	1	7.0	0	1	0	0
		さーらの樹	30	30	59	1	27.0	0	0.0	0	0	0	0
		南風園	54	54	162	1	3.0	1	18.0	1	0	0	0
		柳風園	86	97	90	1	3.0	2	78.0	2	0	0	0
		東和	20	20	22	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほたるの郷	29	29	128	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆりの郷	29	29	87	1	8.0	1	6.0	1	0	0	0
		風の路	29	29	99	2	5.5	0	0.0	0	0	0	0
小計		27	1,305	1,232	4,474	31	－	28	－	23	5	0	0
気仙沼保健福祉	気仙沼市	恵風荘	85	100	332	4	5.0	1	65.0	1	0	0	0
		恵潮苑	54	82	389	0	0.0	1	56.0	1	0	0	0
		恵心寮	50										
		キングス・タウン	50	50	241	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		春圃苑	50	66	121	3	4.5	0	0.0	0	0	0	0
		唐桑園	30	32	84	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	南三陸町	慈恵園	54										
		いこいの海・あらと	80	64	61	10	1.5	0	0.0	0	0	0	0
小計		8	453	394	1,228	17	－	2	－	2	0	0	0
合計		全体 136　県分 95	7,653	7,268	32,469	160		136		109	23	0	4

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　136

（注）入所希望者数は、以前の措置制度とは異なり、申込は契約制となり自由かつ複数施設へ申し込むことができるようになっているため、その多くは重複しております。この為「入所希望者数」を従来の待機者数と同様に捉えることはできない性格のものです。

様式３－２

入所状況調（ 平成23年 12月1日現在 ）

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	洛風苑	100	100	240	2	4.0	2	12.5	2	0	0	0
		仙台楽生園	90	90	320	1	8.0	1	71.0	1	0	0	0
		思行園	50	48	163	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		自生苑	70	70	100	5	4.0	1	22.0	1	0	0	0
		シオンの園	70	69	295	1	14.0	1	61.0	0	1	0	0
		アルテイル青葉	55	56	147	1	90.0	0	0.0	0	0	0	0
		賓樹苑	100	99	338	2	13.0	2	47.5	2	0	0	0
		大石原苑	50	46	155	0	0.0	3	81.0	1	0	0	2
		リベラ荘	50	49	269	0	0.0	1	36.0	1	0	0	0
		せんだんの里	150	146	408	2	12.0	3	63.0	3	0	0	0
		国見苑	50	50	412	1	2.0	1	24.0	1	0	0	0
		せんだんの館	100	100	710	1	10.0	1	1.0	1	0	0	0
		仙台敬寿園	60	60	222	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		エコーが丘	60	58	288	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		自生苑サテライト	29	27	87	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		アルテイル宮町	29	28	105	0	0.0	1	4.0	1	0	0	0
		せんじゅ	80	0	300	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	1,113	1,096	4,559	18	－	17	－	14	1	0	2
	宮城野区	暁星園	56	55	220	2	3.6	1	24.5	1	0	0	0
		パルシア	50	52	865	2	25.0	2	40.0	1	1	0	0
		かむりの里	50	49	399	2	9.0	3	58.3	3	0	0	0
		Ｊ＆Ｂ	52	51	219	0	0.0	1	2.0	0	1	0	0
		リーフ鶴ヶ谷	50	50	345	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	5	258	257	2,048	6	－	7	－	5	2	0	0
	若林区	チアフル遠見塚	50	50	556	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		潮音荘	50										
		杜の里	130	119	714	0	0.0	1	5.0	1	0	0	0
		萩の風	40	40	143	1	36.1	0	0.0	0	0	0	0
	小計	4	270	209	1,413	2	－	1	－	1	0	0	0
	太白区	大東苑	50	50	100	1	7.0	1	119.0	1	0	0	0
		白東苑	50	49	790	2	7.0	3	51.0	3	0	0	0
		茂庭苑	100	100	237	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		八木山翠風苑	50	50	535	1	1.0	1	48.0	1	0	0	0
		サン・つばき	50	50	865	2	5.2	0	0.0	0	0	0	0
		一重の里	60	57	226	0	0.0	1	60.0	0	1	0	0
		春の森から	50	50	366	1	4.3	1	8.9	1	0	0	0
		大年寺山ジェロントピア	50	50	304	1	7.0	1	20.0	1	0	0	0
		第二白東苑	29	29	90	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	9	489	485	3,513	9	－	8	－	7	1	0	0
	泉区	愛泉荘	50	48	283	0	0.0	2	45.0	2	0	0	0
		泉和荘	50	44	146	0	0.0	1	6.0	1	0	0	0
		泉陵虹の苑	50	46	248	1	2.5	2	17.5	2	0	0	0
		水泉荘	100	96	428	5	4.4	3	45.0	3	0	0	0
		泉寿荘	95	93	429	0	0.0	1	110.0	1	0	0	0
		百合ヶ丘苑	50	50	306	2	19.5	1	91.0	1	0	0	0
		泉ふるさと村	50	50	375	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	445	427	2,215	8	－	10	－	10	0	0	0
合　計		41	2,575	2,474	13,748	43		43		37	4	0	2

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　43

様式１５　　**入所状況調（ 平成23年 12月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	ながさか	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たかのす	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しろいし	18	18	6	1	5.0	1	11.0	1	0	0	0
		幸福の街	18	18	6	1	5.0	1	11.0	1	0	0	0
		幸福の郷	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	角田市	花水木	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むくげ	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウインズの森角田	18	18	0	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	蔵王ユートピア	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふるさと	18	18	6	1	1.0	1	6.0	0	0	0	1
	七ヶ宿町	七ヶ宿こもれびの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	さくら	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらの杜	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	あいやまこもれびの家	9	8	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	柴田町	ゆう柴田	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もみの木	9	6	4	0	0.0	1	28.0	0	1	0	0
		多機能型ケアホーム つきのき	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		つくし	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふなおか	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	川崎町	さわやか	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあい	18	18	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	リリーハイム	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわりの郷	9	9	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		23	296	292	140	5	－	4	－	2	1	0	1
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	1,137	1,128	780	14	－	7	－	5	0	1	1
	塩竈市	小松崎あさひ園	18	18	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		清水沢あさひ園	18	18	4	1	12.0	0	0.0	0	0	0	0
		オリーブ	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ももせやすらぎの里	27	26	4	1	1.0	2	17.0	1	1	0	0
	名取市	こもれびの家	27	27	31	2	9.0	0	0.0	0	0	0	0
		おうじゅ	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もも太郎さん	18	19	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		うらやす	18										
	多賀城市	あやめの里	27	27	9	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうゆう・多賀城	27	27	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		貞山みよりの家	18	18	4	1	2.0	1	2.0	0	1	0	0
	岩沼市	あぶくま	18	32	22	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		朝日サポートセンター	18	28	8	0	0.0	2	24.0	1	1	0	0
		しんせん長春館	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩沼	18	18	6	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	亘理町	しんまち	9	9	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		悠里の郷	18	19	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たいじん荘	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイケアセンター亘理うらきど	18	12	2	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	メサイア	18	16	11	0	0.0	1	9.0	0	1	0	0
		さかもと	18										
	松島町	桜の家	18	18	18	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松島	18	18	18	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町												
	利府町	やすらぎ苑利府	18	19	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		十符の里	18	17	3	0	0.0	1	45.0	0	0	0	1
	大和町	すずらん	8	8	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやき	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん吉岡	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大郷町	もも太郎さん(大郷)	18	14	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	そよかぜ	9	9	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかりの里	18	18	2	2	0.5	1	42.0	0	0	0	1
		いちいの杜	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	サンすまいるおおひら	9	9	1	0	0.0	1	13.0	0	1	0	0
小計		99	1,694	1,662	1,084	27	－	16	－	7	5	1	3
北部保健福祉	大崎市	やすらぎ苑古川	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		笹森の屋	18	17	4	0	0.0	1	107.1	0	0	0	1
		あったかいご ふるかわ	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		プロンプター甲斐	18	18	27	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		太陽	9	9	4	1	4.0	1	8.0	0	1	0	0
		グループホームコスモス	18	18	6	1	0.9	1	2.9	0	1	0	0
		なのはな	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		和楽路	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩出山	18	18	2	0	0.0	1	19.7	0	1	0	0
		ふかふか・はうす	18	18	8	1	5.4	0	0.0	0	0	0	0
		ひだまり	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たじりの杜	18	16	7	1	2.0	1	1.0	0	1	0	0
		かなでの杜	18	18	9	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	加美	9	9	1	1	0.3	0	0.0	0	0	0	0
		バルムなかにいだ	18	17	5	0	0.0	1	1.0	0	1	0	0
		にこトピア加美	18	18	6	1	1.2	1	43.2	0	0	0	1
	色麻町	サンすまいるしかま	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	涌谷町	後楽庵	15	13	8	1	1.3	0	0.0	0	0	0	0
		スローライフ	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうらいふ	18	15	19	0	0.0	2	15.0	0	1	0	1

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
北部保健福祉	美里町	花水月	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		よつば荘	6	6	0	1	0.0	1	0.5	0	1	0	0
		歩風楽	18	21	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みのりの家	16	18	3	3	2.8	2	64.8	0	2	0	0
		たんぽぽ	18	16	5	0	0.0	2	40.0	1	0	1	0
	栗原市	ぎんなん荘	18	18	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王こもれびの家	27	26	18	2	2.0	1	40.0	1	0	0	0
		まりやの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ＳＡＫＵＲＡ	9	9	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まいはあと	27	26	0	0	0.0	1	3.0	0	1	0	0
		快栗駒	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しわひめ	18	17	3	0	0.0	1	33.6	0	0	0	1
		なごみ	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		梅ヶ丘の里	6	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやきの里	18	17	0	1	0.3	2	37.1	1	1	0	0
		うぐいすの里 こもれびの家	18	17	5	1	0.4	0	0.0	0	0	0	0
		堤通り	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	18	18	18	2	13.0	2	12.0	0	0	1	1
		宮野	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	592	580	252	19	－	21	－	3	11	2	5
東部保健福祉	石巻市	いこいの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぬくもりの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム青葉	9	9	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム桜花	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム親孝行	18	17	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものうなかつやま	9	8	13	0	0.0	1	6.1	1	0	0	0
		せんだんの杜 ものううした	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しらさぎ苑	18	17	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ﾂｸｲ大街道　ｻﾝﾌﾗﾜｰ	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		隠居の家	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		希慈	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ねむの木	18	13	7	1	0.5	1	1.0	1	0	0	0
		馬っこ山	18	18	0	1	0.3	0	0.0	0	0	0	0
		ひかり	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームきたかみ	9	6	4	1	1.8	1	1.0	0	0	0	1
		愛慈	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あいわ	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あゆかわの郷	18	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん河北	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん雄勝	18	13	10	6	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム 石巻開北	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぐらんす	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	東松島市	さざなみ	9	9	34	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム日和	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すみちゃんの家	9										
		あさぎり	9	9	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎ	18	5	1	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	女川町	のどか	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	あんど	18	17	9	0	0.0	1	114.0	1	0	0	0
		にしだて	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あさみず	33	33	10	1	9.0	0	0.0	0	0	0	0
		快豊里	9	10	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほほえみ	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はさま	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら	18	17	6	0	0.0	1	11.0	1	0	0	0
		翔裕園	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらおか	8	8	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		米山	9	9	0	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みんなの家	9	10	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	536	489	201	13	－	5	－	4	0	0	1
気仙沼保健福祉	気仙沼市	星谷ブランチ	9										
		みずなしの丘	18	20	10	0	0.0	1	5.0	0	1	0	0
		村伝	9	9	30	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桑の実	9	8	7	0	0.0	1	87.0	0	1	0	0
		ぽらん気仙沼	9	10	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こころ	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝さいち	9	8	24	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝おもせ	9	9	27	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あんしん館	9	9	7	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの杜	18	17	2	1	0.5	1	21.0	0	0	0	1
		ポラーノの杜	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	南三陸町	はまゆり	9	8	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの丘	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		14	144	134	151	4	－	3	－	0	2	0	1
合計		全体　県分 214　148	3,262	3,157	1,828	68		49		16	19	3	11

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　49

様式１５－２　　**入所状況調（ 平成23年 12月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	せんだんの里 国見ヶ丘３丁目	8	8	52	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	24	24	52	1	27.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほくと苑	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せせらぎの里	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ハートピアエスト	9	8	2	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		広瀬の郷	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		青葉の風	9	8	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひなた	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽庵	9	9	27	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら高野原	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛和の郷	18	18	14	1	0.2	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん上杉	18	18	10	1	1.0	1	47.0	1	0	0	0
		木かげ	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム北根黒松	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みつばち	18	18	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	15	220	218	229	4	－	1	－	1	0	0	0
	宮城野区	みやぎの杜	27	27	54	3	6.0	1	104.0	1	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台福室	18	18	6	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあいの家白鳥	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やわらぎ	18	18	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家GH仙台岩切	27	27	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご燕沢東	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス鶴ヶ谷	18	17	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		デイジー	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア萩野町	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ジャパンケアサービス遊宴・萩野町	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム よもぎ杢	18	17	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	11	216	214	142	4	－	1	－	1	0	0	0
	若林区	くつろぎ保養館 仙台東	18	18	6	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん伊在荘	27	26	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台やまとまち	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すだちの里	18	18	7	1	0.0	1	48.0	1	0	0	0
		ウィンズの森 遠見塚３丁目	9	9	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		連坊小路グループホームスカイ	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		テルウェルグループホームひなた	17	16	15	0	0.0	1	1.1	0	0	0	1
	小計	7	116	114	69	2	－	2	－	1	0	0	1
	太白区	おちあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		袋原ふれあいの家	27	27	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆきあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台柳生	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん長嶺荘	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎホーム富沢	27	27	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台なかた	18	17	3	1	4.0	1	48.0	1	0	0	0
		縄文の風	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご こおりやま	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほくとの里	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やぎあん	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご 西多賀	18	17	5	0	0.0	1	36.0	1	0	0	0
		人来田の風	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こまち	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩ヶ丘	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なつぎ埜	18	17	2	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	288	285	82	2	－	2	－	2	0	0	0
	泉区	いずみの杜	18	18	51	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さちの家	9	9	54	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台あさひがおか	18	18	4	1	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台八乙女	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		蘭	27	27	24	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		フォークソング	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん水の森公園	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いずみの里	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松陵	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわり	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ｾﾝﾄｹｱﾎｰﾑ北中山	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南光台ｹｱｾﾝﾀｰそよ風	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム仙台実沢	18	18	3	1	1.0	1	28.0	0	0	1	0
		むらでん高森	18	18	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		長徳	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はごうの杜	18	18	45	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふくろうの杜寺岡	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	17	297	297	258	2	－	1	－	0	0	1	0
合　計		66	1,137	1,128	780	14		7		5	0	1	1

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　7

様式３　　**入所状況調（ 平成24年1月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	八宮荘	83	83	67	4	10.0	4	34.0	3	1	0	0
		えんじゅ	54	52	86	1	25.0	2	75.0	2	0	0	0
		ひだまり	29	28	32	1	0.5	2	6.7	1	0	0	1
	角田市	みどり荘	94	94	148	3	20.0	2	30.5	2	0	0	0
		聖母の家	50	46	120	2	4.5	6	27.8	2	4	0	0
	蔵王町	楽園が丘	50	50	102	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		ざおうの杜	40	39	56	2	3.0	2	29.0	1	1	0	0
		ざおうの杜あおそ	30	20	42	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	ゆりの里七ヶ宿	30	29	38	3	11.7	2	56.0	2	0	0	0
	大河原町	桜寿苑	50	47	227	1	5.0	3	58.0	3	0	0	0
	村田町	柏松苑	50	49	82	2	43.0	2	39.0	2	0	0	0
	柴田町	常盤園	67	69	328	1	12.0	1	6.2	1	0	0	0
		第二常盤園	80	89	362	2	8.0	2	8.0	1	0	1	0
	川崎町	釜房みどりの園	40	40	81	2	8.0	2	52.0	2	0	0	0
		第二釜房みどりの園	10	10	40	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	仙南ｼﾞｪﾛﾝﾄﾋﾞｱ	104	103	288	2	5.0	2	27.0	2	0	0	0
小計		16	861	848	2,099	27	－	32	－	24	6	1	1
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	2,655	2,522	13,854	115	－	56	－	46	7	1	2
	塩竈市	清楽苑	50	43	728	5	10.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウィズ月見ヶ丘	29	29	97	1	11.0	1	11.0	1	0	0	0
	名取市	松陽苑	80	79	484	3	17.3	2	45.5	2	0	0	0
		うらやす	50										
		けやき	50	49	404	2	32.0	2	48.5	2	0	0	0
	多賀城市	多賀城苑	54	59	731	4	15.0	0	0.0	0	0	0	0
		桜花	29										
	岩沼市	チアフル岩沼	60	61	600	1	18.0	1	31.0	1	0	0	0
		赤井江マリンホーム	50										
	亘理町	日就苑	84	83	306	3	5.0	4	102.0	4	0	0	0
		第二日就苑	50	49	121	0	0.0	1	10.0	1	0	0	0
		けいけん荘	50	46	213	1	10.0	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	みやま荘	50	50	156	1	6.0	1	99.0	0	1	0	0
	松島町	松島長松苑	50	49	533	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	第二清楽苑	50	52	427	1	27.0	2	118.0	2	0	0	0
	利府町	十符・風の音	50	50	362	1	8.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	和風園	200	209	278	2	6.7	1	8.7	1	0	0	0
	大郷町	郷和荘	54	55	321	0	0.0	1	68.0	1	0	0	0
	富谷町	杜の風	50	50	373	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		成田の里	29	29	23	2	3.5	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	七峰荘	52	53	299	2	1.0	1	199.0	0	1	0	0
小計		63	3,876	3,617	20,310	144	－	73	－	61	9	1	2
北部保健福祉	大崎市	大崎ホーム	50	50	247	1	19.1	0	0.0	0	0	0	0
		寿楽苑	54	53	523	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		百才館	40	41	395	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		敬風園	200	197	332	7	19.6	5	42.5	5	0	0	0
		岩出の郷	54	54	487	1	22.4	1	8.2	1	0	0	0
		りんどう苑	50	49	209	1	24.4	1	24.4	0	1	0	0
		楽々楽館	29	28	100	1	12.0	2	7.0	1	1	0	0
		かごぼうの里	54	51	267	1	8.1	3	4.2	2	1	0	0
	加美町	青風園	54	54	390	1	4.0	1	7.1	1	0	0	0
		やくらいサンホーム	54	53	299	0	0.0	1	16.3	1	0	0	0
		みやざき	50	49	101	3	15.0	1	40.0	1	0	0	0
	色麻町												
	涌谷町	ゆうらいふ	30	27	108	0	0.0	3	60.7	0	3	0	0
	美里町	いなほの里	54	54	328	1	38.7	0	0.0	0	0	0	0
		みさとの杜	50	48	123	0	0.0	1	1.6	0	1	0	0
	栗原市	いちょうの里	60	60	170	1	20.0	1	19.0	1	0	0	0
		若藤園	50	51	176	2	18.0	2	42.0	2	0	0	0
		愛光園	50	50	282	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		白鳥苑	60	59	72	2	12.0	1	2.0	1	0	0	0
		千葉福寿園	52	51	194	1	22.0	2	32.5	2	0	0	0
		山王	54	52	252	1	14.0	1	12.0	1	0	0	0
		うぐいすの里	30	28	104	1	24.0	1	81.0	1	0	0	0
		桂葉	30	30	65	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		金成の家	29	29	43	3	0.0	1	1.0	1	0	0	0
小計		23	1,238	1,218	5,267	28	－	28	－	21	7	0	0
東部保健福祉	石巻市	和香園	50	51	498	1	41.0	1	15.0	1	0	0	0
		第二和香園	50	49	435	1	48.0	1	86.0	0	1	0	0
		アゼイリア	50	50	249	1	8.0	0	0.0	0	0	0	0
		涼風園	50	50	241	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		仁風園	94	91	316	1	49.0	2	68.5	1	1	0	0
		雄心苑	50										
		一心苑	50	49	212	1	1.0	2	5.5	2	0	0	0
		花水木	20	30	140	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ファミリオ	50	49	118	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		おしか清心苑	50	50	120	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		きたかみ	40	40	29	1	5.0	0	0.0	0	0	0	0
		万葉苑	100	89	160	2	2.0	1	3.0	1	0	0	0
	東松島市	矢本華の園	54	56	325	2	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		不老園	50										
		やもと赤井の里	30	51	199	2	7.0	3	12.0	3	0	0	0
	女川町	おながわ	40	40	174	2	2.5	1	67.0	0	0	1	0
	登米市	追風園	50	50	198	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		光風園	50	54	158	1	2.0	1	16.0	0	1	0	0
		萩風園	50	50	139	2	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		松風園	50	50	103	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		さーらの樹	30	29	60	0	0.0	1	76.0	1	0	0	0
		南風園	54	54	165	2	6.0	1	20.0	1	0	0	0
		柳風園	86	94	90	0	0.0	3	21.0	3	0	0	0
		東和	20	20	22	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほたるの郷	29	29	88	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆりの郷	29	29	130	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		風の路	29	29	105	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		27	1,305	1,233	4,474	21	－	17	－	13	3	1	0
気仙沼保健福祉	気仙沼市	恵風荘	85	99	345	1	10.0	2	34.0	2	0	0	0
		恵潮苑	54	80	398	0	0.0	4	28.3	4	0	0	0
		恵心寮	50										
		キングス・タウン	50	49	248	1	10.0	2	52.0	2	0	0	0
		春圃苑	50	65	123	0	0.0	1	1.0	1	0	0	0
		唐桑園	30	31	90	1	12.0	2	19.5	0	2	0	0
	南三陸町	慈恵園	54										
		いこいの海・あらと	80	71	63	8	1.2	1	5.0	1	0	0	0
小計		8	453	395	1,267	11	－	12	－	10	2	0	0
合計		全体　県分 137　95	7,733	7,311	33,417	231		162		129	27	3	3

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　162

（注）入所希望者数は、以前の措置制度とは異なり、申込は契約制となり自由かつ複数施設へ申し込むことができるようになっているため、その多くは重複しております。この為「入所希望者数」を従来の待機者数と同様に捉えることはできない性格のものです。

様式３－２

入所状況調（ 平成24年1月1日現在 ）

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	洛風苑	100	100	246	2	4.5	2	30.0	2	0	0	0
		仙台楽生園	90	90	328	1	8.0	2	79.5	2	0	0	0
		思行園	50	48	163	1	8.0	1	102.0	1	0	0	0
		自生苑	70	69	104	7	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		シオンの園	70	67	293	4	8.8	6	52.8	6	0	0	0
		アルテイル青葉	55	56	148	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		賓樹苑	100	100	335	3	48.6	2	3.5	2	0	0	0
		大石原苑	50	45	152	0	0.0	1	40.0	0	0	0	1
		リベラ荘	50	48	248	0	0.0	1	33.0	1	0	0	0
		せんだんの里	150	145	416	2	6.5	2	72.5	1	1	0	0
		国見苑	50	50	425	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの館	100	100	707	2	11.0	3	56.7	2	1	0	0
		仙台敬寿園	60	60	223	1	8.0	1	3.0	1	0	0	0
		エコーが丘	60	58	299	2	2.0	1	8.0	1	0	0	0
		自生苑サテライト	29	28	107	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		アルテイル宮町	29	28	107	1	8.1	1	4.3	1	0	0	0
		せんじゅ	80	65	310	66	0.0	1	1.0	1	0	0	0
	小計	17	1,193	1,157	4,611	93	－	24	－	21	2	0	1
	宮城野区	暁星園	56	55	216	2	8.2	1	93.0	1	0	0	0
		パルシア	50	52	872	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かむりの里	50	49	406	1	10.0	1	140.0	1	0	0	0
		Ｊ＆Ｂ	52	51	227	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リーフ鶴ヶ谷	50	50	331	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	5	258	257	2,052	3	－	2	－	2	0	0	0
	若林区	チアフル遠見塚	50	49	568	2	49.0	3	80.0	2	1	0	0
		潮音荘	50										
		杜の里	130	119	711	2	10.5	2	69.5	2	0	0	0
		萩の風	40	40	140	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	4	270	208	1,419	4	－	5	－	4	1	0	0
	太白区	大東苑	50	50	104	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		白東苑	50	47	793	0	0.0	2	7.5	2	0	0	0
		茂庭苑	100	99	235	1	2.0	2	40.0	1	1	0	0
		八木山翠風苑	50	49	539	1	2.0	2	59.5	2	0	0	0
		サン・つばき	50	50	871	2	26.6	2	85.2	1	1	0	0
		一重の里	60	55	229	1	24.0	1	36.0	0	0	1	0
		春の森から	50	48	370	0	0.0	2	23.0	1	1	0	0
		大年寺山ジェロントピア	50	50	308	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二白東苑	29	29	90	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	9	489	477	3,539	5	－	11	－	7	3	1	0
	泉区	愛泉荘	50	48	275	2	10.0	2	30.0	2	0	0	0
		泉和荘	50	45	150	1	7.0	0	0.0	0	0	0	0
		泉陵虹の苑	50	47	249	3	1.6	2	43.5	2	0	0	0
		水泉荘	100	94	425	1	25.0	3	38.7	3	0	0	0
		泉寿荘	95	91	437	1	6.0	3	87.0	3	0	0	0
		百合ヶ丘苑	50	48	322	0	0.0	2	67.5	2	0	0	0
		泉ふるさと村	50	50	375	2	11.0	2	48.5	0	1	0	1
	小計	7	445	423	2,233	10	－	14	－	12	1	0	1
合　計		42	2,655	2,522	13,854	115		56		46	7	1	2

様式１５　　**入所状況調（ 平成24年1月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	ながさか	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たかのす	18	18	6	1	0.5	1	4.0	1	0	0	0
		しろいし	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の街	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の郷	18	18	3	2	12.0	1	79.0	1	0	0	0
	角田市	花水木	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むくげ	18	18	6	1	0.1	1	4.0	0	0	0	1
		ウインズの森角田	18	10	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	蔵王ユートピア	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふるさと	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	七ヶ宿こもれびの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	さくら	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらの杜	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	あいやまこもれびの家	9	9	2	1	0.2	0	0.0	0	0	0	0
	柴田町	ゆう柴田	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もみの木	9	8	2	2	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		多機能型ケアホームつきのき	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		つくし	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふなおか	18	18	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	川崎町	さわやか	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあい	18	18	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	リリーハイム	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわりの郷	9	9	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		23	296	287	143	7	－	3	－	2	0	0	1
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	1,146	1,143	796	31	－	20	－	10	3	1	6
	塩竈市	小松崎あさひ園	18	18	22	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		清水沢あさひ園	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		オリーブ	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ももせやすらぎの里	27	27	6	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	名取市	こもれびの家	27	26	32	0	0.0	1	23.0	0	0	0	1
		おうじゅ	9	9	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もも太郎さん	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		うらやす	18										
	多賀城市	あやめの里	27	27	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうゆう・多賀城	27	27	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		貞山みよりの家	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	岩沼市	あぶくま	18	33	23	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		朝日サポートセンター	18	32	16	4	10.0	0	0.0	0	0	0	0
		しんせん長春館	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩沼	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	亘理町	しんまち	9	9	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		悠里の郷	18	19	13	1	6.0	1	15.7	0	0	0	1
		たいじん荘	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイケアセンター亘理うらきど	18	13	3	2	0.5	1	2.0	0	0	1	0
	山元町	メサイア	18	17	7	1	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		さかもと	18										
	松島町	桜の家	18	17	14	1	10.0	2	112.0	2	0	0	0
		コスモス松島	18	18	1	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町												
	利府町	やすらぎ苑利府	18	19	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		十符の里	18	18	3	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	すずらん	8	8	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやき	9	9	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん吉岡	18	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大郷町	もも太郎さん(大郷)	18	13	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	そよかぜ	9	9	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかりの里	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いちいの杜	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	サンすまいるおおひら	9	9	0	1	1.1	0	0.0	0	0	0	0
小計		50	1,703	1,667	1,115	44	－	25	－	12	3	2	8
北部保健福祉	大崎市	やすらぎ苑古川	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		笹森の屋	18	17	3	1	1.2	1	84.5	0	1	0	0
		あったかいご ふるかわ	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		プロンプター甲斐	18	18	28	1	0.0	1	36.2	0	1	0	0
		太陽	9	9	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームコスモス	18	18	7	1	0.7	1	3.3	0	1	0	0
		なのはな	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		和楽路	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩出山	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふかふか・はうす	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひだまり	9	9	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たじりの杜	18	16	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かなでの杜	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	加美	9	9	1	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		パルムなかにいだ	18	18	9	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア加美	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	色麻町	サンすまいるしかま	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	涌谷町	後楽庵	15	13	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		スローライフ	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうらいふ	18	17	20	2	18.0	1	18.1	0	1	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
北部保健福祉	美里町	花水月	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		よつば荘	6	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		歩風楽	18	21	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みのりの家	18	17	3	0	0.0	1	85.2	0	0	0	1
		たんぽぽ	18	18	2	2	2.0	0	0.0	0	0	0	0
	栗原市	ぎんなん荘	18	18	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王こもれびの家	27	27	18	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まりやの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ＳＡＫＵＲＡ	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まいはあと	27	26	12	1	1.0	1	57.0	0	1	0	0
		快栗駒	9	10	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しわひめ	18	16	3	0	0.0	1	23.0	0	0	0	1
		なごみ	18	18	5	1	20.0	1	71.0	0	0	0	1
		梅ヶ丘の里	6	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやきの里	18	17	0	1	0.2	1	3.2	0	1	0	0
		うぐいすの里 こもれびの家	18	17	5	1	1.7	1	51.9	1	0	0	0
		堤通り	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	18	18	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		宮野	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	594	585	268	14	－	10	－	1	6	0	3
東部保健福祉	石巻市	いこいの家	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぬくもりの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム青葉	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム桜花	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム親孝行	18	17	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものうなかつやま	9	7	15	0	0.0	1	12.1	0	1	0	0
		せんだんの杜 ものううした	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しらさぎ苑	18	16	3	0	0.0	1	12.0	0	0	0	1
		ﾂｸｲ大街道　ｻﾝﾌﾗﾜｰ	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		隠居の家	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		希慈	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ねむの木	18	13	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		馬っこ山	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかり	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームきたかみ	9	9	0	3	0.3	0	0.0	0	0	0	0
		愛慈	9	9	0	0	0.0	1	52.0	0	1	0	0
		あいわ	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あゆかわの郷	18	13	3	3	0.5	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん河北	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてんおがつ	18	18	6	5	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム 石巻開北	18	18	0	1	0.0	1	10.0	0	1	0	0
		ぐらんす	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	東松島市	さざなみ	9	9	34	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム日和	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すみちゃんの家	9										
		あさぎり	9	9	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎ	18	6	1	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	女川町	のどか	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	あんど	18	17	9	1	18.0	1	94.0	1	0	0	0
		にしだて	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あさみず	33	35	7	3	6.0	1	28.0	0	1	0	0
		快豊里	9	10	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほほえみ	9	9	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はさま	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら	18	18	6	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		翔裕園	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらおか	8	8	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		米山	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みんなの家	9	10	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	536	503	185	18	－	6	－	1	4	0	1
気仙沼保健福祉	気仙沼市	星谷ブランチ	9										
		みずなしの丘	18	19	12	0	0.0	1	7.0	0	1	0	0
		村伝	9	9	34	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桑の実	9	9	7	1	8.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん気仙沼	9	10	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こころ	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝さいち	9	9	23	1	13.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝おもせ	9	9	28	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あんしん館	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの杜	18	17	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ボラーノの杜	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	南三陸町	はまゆり	9	8	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの丘	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		14	144	135	155	2	－	1	－	0	1	0	0
合計		全体　県分 165　98	3,273	3,177	1,866	85		45		16	14	2	13

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　45

様式１５－２　　**入所状況調（ 平成24年1月1日現在 ）**

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	せんだんの里 国見ヶ丘３丁目	8	8	40	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	24	23	40	0	0.0	1	54.0	1	0	0	0
		ほくと苑	8	8	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せせらぎの里	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ハートピアエスト	9	9	1	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		広瀬の郷	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		青葉の風	9	9	14	1	17.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひなた	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽庵	9	9	27	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら高野原	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛和の郷	18	17	14	0	0.0	1	0.9	0	1	0	0
		なんてん上杉	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		木かげ	18	18	7	2	9.0	2	25.5	0	0	0	2
		セントケアホーム 北根黒松	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みつばち	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛・グループホーム	18	17	9	17	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	238	235	200	21	－	4	－	1	1	0	2
	宮城野区	みやぎの杜	27	26	56	0	0.0	1	104.0	1	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台福室	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあいの家白鳥	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やわらぎ	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家GH仙台岩切	27	27	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご燕沢東	18	18	9	0	0.0	1	12.0	0	0	1	0
		コスモス鶴ヶ谷	9	18	8	1	0.1	0	0.0	0	0	0	0
		デイジー	18	17	3	0	0.0	1	12.0	0	1	0	0
		にこトピア萩野町	18	18	15	1	18.2	1	46.0	1	0	0	0
		ジャパンケアサービス遊宴・萩野町	18	18	16	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム よもぎ杢	18	18	12	1	8.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	11	207	214	156	3	－	4	－	2	1	1	0
	若林区	くつろぎ保養館 仙台東	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん伊在荘	27	27	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台やまとまち	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すだちの里	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウィンズの森 遠見塚３丁目	9	9	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		連坊小路グループホームスカイ	9	9	8	1	3.0	1	15.0	0	0	0	1
		テルウェルグループホームひなた	17	16	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	116	115	68	1	－	1	－	0	0	0	1
	太白区	おちあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		袋原ふれあいの家	27	25	3	0	0.0	2	58.0	2	0	0	0
		ゆきあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台柳生	18	18	3	1	2.0	1	4.0	0	0	0	1
		なんてん長嶺荘	18	17	6	0	0.0	1	7.5	1	0	0	0
		やすらぎホーム富沢	27	27	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台なかた	18	18	3	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		縄文の風	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご こおりやま	18	17	3	0	0.0	1	23.0	1	0	0	0
		ほくとの里	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やぎあん	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご 西多賀	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		人来田の風	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こまち	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩ヶ丘	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なつぎ埜	18	17	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	288	283	94	2	－	5	－	4	0	0	1
	泉区	いずみの杜	18	18	51	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さちの家	9	9	57	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台あさひがおか	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台八乙女	18	18	5	1	0.0	1	0.3	0	0	0	1
		蘭	27	26	28	0	0.0	1	90.0	0	0	0	1
		フォークソング	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん水の森公園	18	18	7	1	1.5	1	80.0	1	0	0	0
		いずみの里	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松陵	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわり	18	18	4	1	6.0	1	0.0	1	0	0	0
		ｾﾝﾄｹｱﾎｰﾑ北中山	18	18	3	0	0.0	1	1.0	0	1	0	0
		南光台ｹｱｾﾝﾀｰそよ風	9	9	3	1	27.0	1	58.0	1	0	0	0
		愛の家グループホーム仙台実沢	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むらでん高森	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		長徳	18	18	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はごうの杜	18	18	45	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふくろうの杜寺岡	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	17	297	296	278	4	－	6	－	3	1	0	2
合　計		67	1,146	1,143	796	31		20		10	3	1	6

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　20

様式３　　**入所状況調（ 平成24年2月1日現在 ）**

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	八宮荘	83	83	71	2	2.0	2	52.0	2	0	0	0
		えんじゅ	54	54	101	2	16.0	1	9.4	1	0	0	0
		ひだまり	29	28	35	1	0.5	1	4.0	1	0	0	0
	角田市	みどり荘	94	94	155	3	7.3	3	132.0	2	1	0	0
		聖母の家	50	46	110	2	8.0	3	50.0	0	3	0	0
	蔵王町	楽園が丘	50	49	91	2	5.5	3	44.7	3	0	0	0
		ざおうの杜	40	40	61	1	4.0	1	42.0	1	0	0	0
		ざおうの杜あおそ	30	20	47	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	ゆりの里七ヶ宿	30	29	35	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	桜寿苑	50	50	231	4	32.7	1	24.0	1	0	0	0
	村田町	柏松苑	50	50	98	1	3.0	1	19.0	1	0	0	0
	柴田町	常盤園	67	70	320	2	13.2	2	7.5	0	2	0	0
		第二常盤園	80	80	345	2	4.0	1	9.0	1	0	0	0
	川崎町	釜房みどりの園	40	37	83	1	37.0	3	28.0	3	0	0	0
		第二釜房みどりの園	10	10	41	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	仙南ｼﾞｪﾛﾝﾄﾋﾞｱ	104	103	303	2	29.0	2	31.0	0	2	0	0
小計		16	861	843	2,127	25	－	24	－	16	8	0	0
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	2,655	2,539	13,896	71	－	57	－	47	9	0	1
	塩竈市	清楽苑	50	46	758	3	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウィズ月見ヶ丘	29	29	101	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	名取市	松陽苑	80	79	479	2	18.0	2	61.0	2	0	0	0
		うらやす	50										
		けやき	50	48	408	0	0.0	1	125.0	1	0	0	0
	多賀城市	多賀城苑	54	58	739	0	0.0	1	21.0	1	0	0	0
		桜花	29										
	岩沼市	チアフル岩沼	60	61	584	3	6.0	3	17.0	1	0	0	2
		チアフル三色吉	29	26	337	26	3.0	0	0.0	0	0	0	0
		赤井江マリンホーム	50										
	亘理町	日就苑	84	84	313	2	7.0	1	71.0	1	0	0	0
		第二日就苑	50	50	131	1	11.0	0	0.0	0	0	0	0
		けいけん荘	50	46	225	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	みやま荘	50	50	155	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	松島町	松島長松苑	50	49	541	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町	第二清楽苑	50	55	435	3	60.0	0	0.0	0	0	0	0
	利府町	十符・風の音	50	50	361	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	和風園	200	208	288	3	18.6	4	31.7	4	0	0	0
	大郷町	郷和荘	54	56	329	1	6.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	杜の風	50	50	376	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		成田の里	29	29	33	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	七峰荘	52	53	296	1	3.0	1	15.0	1	0	0	0
小計		64	3,905	3,666	20,785	116	－	70	－	58	9	0	3
北部保健福祉	大崎市	大崎ホーム	50	50	253	1	30.0	1	18.1	0	1	0	0
		寿楽苑	54	54	531	1	25.4	0	0.0	0	0	0	0
		百才館	40	40	399	1	37.3	1	43.1	1	0	0	0
		敬風園	200	192	326	3	38.0	8	62.5	8	0	0	0
		岩出の郷	54	54	480	2	84.3	2	23.7	2	0	0	0
		りんどう苑	50	50	211	1	95.8	0	0.0	0	0	0	0
		楽々楽館	29	29	100	1	9.0	0	0.0	0	0	0	0
		かごぼうの里	54	52	257	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	加美町	青風園	54	52	396	0	0.0	2	115.6	1	1	0	0
		やくらいサンホーム	54	53	304	0	0.0	1	121.1	0	1	0	0
		みやざき	50	49	103	1	1.0	1	2.0	1	0	0	0
	色麻町												
	涌谷町	ゆうらいふ	30	29	100	3	14.5	1	23.7	0	0	0	1
	美里町	いなほの里	54	52	331	0	0.0	2	34.3	2	0	0	0
		みさとの杜	50	48	130	2	23.9	2	21.2	0	2	0	0
	栗原市	いちょうの里	60	60	175	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		若藤園	50	51	173	3	12.3	3	68.7	1	2	0	0
		愛光園	50	50	289	4	32.3	4	79.9	4	0	0	0
		白鳥苑	60	59	88	2	11.0	1	96.0	0	1	0	0
		千葉福寿園	52	51	186	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王	54	54	26	2	60.0	0	0.0	0	0	0	0
		うぐいすの里	30	28	96	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桂葉	30	30	56	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		金成の家	29	29	33	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		23	1,238	1,216	5,043	27	－	29	－	20	8	0	1
東部保健福祉	石巻市	和香園	50	52	489	1	25.0	0	0.0	0	0	0	0
		第二和香園	50	49	451	1	1.0	1	4.0	0	1	0	0
		アゼイリア	50	50	251	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		涼風園	50	50	245	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		仁風園	94	90	332	1	28.0	2	44.5	2	0	0	0
		雄心苑	50										
		一心苑	50	56	210	2	5.5	1	4.0	1	0	0	0
		花水木	20	30	146	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ファミリオ	50	49	113	1	37.0	1	153.0	0	1	0	0
		おしか清心苑	50	50	119	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		きたかみ	40	40	29	1	8.0	1	55.0	1	0	0	0
		万葉苑	100	90	161	2	7.0	1	10.0	1	0	0	0
	東松島市	矢本華の園	54	56	330	1	18.0	1	1.0	1	0	0	0
		不老園	50										
		やもと赤井の里	30	50	198	0	0.0	1	1.0	1	0	0	0
	女川町	おながわ	40	40	174	1	1.0	1	16.0	1	0	0	0
	登米市	迫風園	50	50	203	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		光風園	50	48	156	0	0.0	6	30.5	4	0	0	2
		萩風園	50	49	145	0	0.0	1	162.0	1	0	0	0
		松風園	50	50	104	1	8.0	1	35.0	1	0	0	0
		さーらの樹	30	30	63	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		南風園	54	52	174	0	0.0	4	82.0	3	1	0	0
		柳風園	86	95	89	1	4.0	0	0.0	0	0	0	0
		東和	20	17	22	0	0.0	3	24.3	3	0	0	0
		ほたるの郷	29	28	89	0	0.0	1	8.0	1	0	0	0
		ゆりの郷	29	29	130	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		風の路	29	29	108	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		27	1,305	1,229	4,531	14	－	26	－	21	3	0	2
気仙沼保健福祉	気仙沼市	恵風荘	85	98	343	0	0	1	17.0	1	0	0	0
		恵潮苑	54	78	397	0	0	0	0.0	0	0	0	0
		恵心寮	50										
		キングス・タウン	50	49	252	1	1	1	69.0	1	0	0	0
		春圃苑	50	65	126	1	9	1	169.0	1	0	0	0
		唐桑園	30	32	78	2	11.6	1	18.2	0	1	0	0
	南三陸町	慈恵園	54										
		いこいの海・あらと	80	72	64	3	1.4	2	4.5	2	0	0	0
小計		8	453	394	1,260	7	－	6	－	5	1	0	0
合計		全体　県分 138　96	7,762	7,348	33,746	189		155		120	29	0	6

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　155

（注）入所希望者数は、以前の措置制度とは異なり、申込は契約制となり自由かつ複数施設へ申し込むことができるようになっているため、その多くは重複しております。この為「入所希望者数」を従来の待機者数と同様に捉えることはできない性格のものです。

様式３－２

入所状況調（ 平成24年2月1日現在 ）

施設区分　特別養護老人ホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	洛風苑	100	100	246	4	1.5	4	28.5	4	0	0	0
		仙台楽生園	90	90	334	1	15.0	0	0.0	0	0	0	0
		思行園	50	48	166	1	4.0	1	25.0	1	0	0	0
		自生苑	70	68	116	1	2.0	2	110.0	2	0	0	0
		シオンの園	70	70	290	6	12.5	3	49.0	2	1	0	0
		アルテイル青葉	55	55	148	0	0.0	1	69.0	1	0	0	0
		賓樹苑	100	100	338	1	5.0	1	15.0	1	0	0	0
		大石原苑	50	46	158	3	21.0	2	17.0	0	2	0	0
		リベラ荘	50	51	240	3	17.6	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	150	148	388	5	12.2	2	112.5	2	0	0	0
		国見苑	50	49	402	0	0.0	3	68.0	3	0	0	0
		せんだんの館	100	100	707	2	11.0	3	56.7	2	1	0	0
		仙台敬寿園	60	60	225	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		エコーが丘	60	57	300	1	2.0	2	17.5	2	0	0	0
		自生苑サテライト	29	29	116	3	4.3	2	8.0	0	2	0	0
		アルテイル宮町	29	27	120	0	0.0	1	6.0	1	0	0	0
		せんじゅ	80	70	320	7	0.0	2	1.0	2	0	0	0
	小計	17	1,193	1,168	4,614	38	－	29	－	23	6	0	0
	宮城野区	暁星園	56	56	260	1	1.5	0	0.0	0	0	0	0
		パルシア	50	52	882	1	35.0	1	88.0	1	0	0	0
		かむりの里	50	49	400	1	9.0	1	80.0	1	0	0	0
		Ｊ＆Ｂ	52	52	230	1	50.0	0	0.0	0	0	0	0
		リーフ鶴ヶ谷	50	50	323	1	33.0	1	19.0	0	1	0	0
	小計	5	258	259	2,095	5	－	3	－	2	1	0	0
	若林区	チアフル遠見塚	50	50	579	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		潮音荘	50										
		杜の里	130	119	716	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩の風	40	40	153	1	9.3	1	7.7	1	0	0	0
	小計	4	270	209	1,448	2	－	1	－	1	0	0	0
	太白区	大東苑	50	50	94	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		白東苑	50	50	790	3	5.6	0	0.0	0	0	0	0
		茂庭苑	100	99	240	2	6.0	2	19.0	2	0	0	0
		八木山翠風苑	50	48	540	1	5.0	2	19.5	2	0	0	0
		サン・つばき	50	50	871	1	1.7	1	0.4	1	0	0	0
		一重の里	60	54	232	2	12.0	3	56.0	2	1	0	0
		春の森から	50	48	368	3	30.7	3	20.5	2	1	0	0
		大年寺山ジェロントピア	50	50	312	1	14.0	1	21.0	1	0	0	0
		第二白東苑	29	29	36	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	9	489	478	3,483	13	－	12	－	10	2	0	0
	泉区	愛泉荘	50	47	273	1	1.0	2	10.5	2	0	0	0
		泉和荘	50	46	154	1	12.0	0	0.0	0	0	0	0
		泉陵虹の苑	50	48	251	3	3.5	2	27.0	2	0	0	0
		水泉荘	100	98	438	4	24.0	1	109.0	0	0	0	1
		泉寿荘	95	88	446	2	25.5	5	66.5	5	0	0	0
		百合ヶ丘苑	50	50	320	2	5.5	0	0.0	0	0	0	0
		泉ふるさと村	50	48	374	0	0.0	2	42.0	2	0	0	0
	小計	7	445	425	2,256	13	－	12	－	11	0	0	1
合　計		42	2,655	2,539	13,896	71		57		47	9	0	1

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　57

様式１５

入所状況調（ 平成24年2月1日現在 ）

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙南保健福祉	白石市	ながさか	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たかのす	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しろいし	18	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の街	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		幸福の郷	18	17	7	0	0.0	1	3.5	0	1	0	0
	角田市	花水木	9	9	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むくげ	18	18	5	1	0.1	1	1.3	0	0	0	1
		ウインズの森角田	18	11	5	1	0.1	0	0.0	0	0	0	0
	蔵王町	リラの虹	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふるさと	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ宿町	七ヶ宿こもれびの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大河原町	さくら	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらの杜	9	9	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	村田町	あいやまこもれびの家	9	8	2	0	0.0	1	8.0	0	0	0	1
	柴田町	ゆう柴田	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もみの木	9	9	2	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		多機能型ケアホームつきのき	8	8	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		つくし	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふなおか	18	18	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	川崎町	さわやか	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふれあい	18	18	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	丸森町	リリーハイム	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわりの郷	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		23	296	287	166	3	－	3	－	0	1	0	2
仙台保健福祉	仙台市	別紙のとおり	1,146	1,136	797	16	－	16	－	6	4	2	4
	塩竈市	小松崎あさひ園	18	18	22	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		清水沢あさひ園	18	17	2	0	0.0	1	13.0	0	1	0	0
		オリーブ	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ももせやすらぎの里	27	27	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	名取市	こもれびの家	27	25	27	0	0.0	1	96.0	1	0	0	0
		おうじゅ	9	9	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		もも太郎さん	18	19	17	1	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		うらやす	18										
	多賀城市	あやめの里	27	27	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうゆう・多賀城	27	27	28	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		貞山みよりの家	18	17	4	0	0.0	1	68.0	0	1	0	0
	岩沼市	あぶくま	18	38	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		朝日サポートセンター	18	37	15	6	3.1	1	52.0	1	0	0	0
		しんせん長春館	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩沼	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	亘理町	しんまち	9	9	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		悠里の郷	18	19	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たいじん荘	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイケアセンター亘理うらきど	18	14	5	1	0.5	0	0.0	0	0	0	0
	山元町	メサイア	18	18	5	1	9.0	0	0.0	0	0	0	0
		さかもと	18										
	松島町	桜の家	18	17	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松島	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	七ヶ浜町												
	利府町	やすらぎ苑利府	18	18	3	0	0.0	1	0.7	1	0	0	0
		十符の里	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大和町	すずらん	8	8	11	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやき	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん吉岡	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大郷町	もも太郎さん(大郷)	18	16	4	3	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	富谷町	そよかぜ	9	9	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかりの里	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		いちいの杜	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	大衡村	サンすまいるおおひら	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		100	1,703	1,687	1,127	28	－	21	－	9	6	2	4
北部保健福祉	大崎市	やすらぎ苑古川	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		笹森の屋	18	18	3	1	1.2	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご ふるかわ	18	18	4	1	4.0	1	19.0	0	0	0	1
		プロンプター甲斐	18	18	29	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		太陽	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームコスモス	18	18	6	1	0.3	1	5.1	0	1	0	0
		なのはな	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		和楽路	9	9	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん岩出山	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふかふか・はうす	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひだまり	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たじりの杜	18	16	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		かなでの杜	18	17	10	0	0.0	1	18.0	0	1	0	0
	加美町	加美	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		バルムなかにいだ	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア加美	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	色麻町	サンすまいるしかま	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	涌谷町	後楽庵	15	14	4	1	3.8	0	0.0	0	0	0	0
		スローライフ	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆうらいふ	18	17	25	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
北部保健福祉	美里町	花水月	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		よつば荘	6	6	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		歩風楽	18	21	10	1	3.0	1	25.0	0	1	0	0
		みのりの家	18	17	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		たんぽぽ	18	16	2	0	0.0	2	68.0	1	1	0	0
	栗原市	ぎんなん荘	18	18	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		山王こもれびの家	27	27	21	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		まりやの家	9	9	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ＳＡＫＵＲＡ	9	8	2	0	0.0	1	3.0	1	0	0	0
		まいはあと	27	27	12	2	5.5	1	1.0	0	1	0	0
		快栗駒	9	9	0	1	0.1	1	13.3	1	0	0	0
		しわひめ	18	15	2	0	0.0	1	28.5	0	0	0	1
		なごみ	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		梅ヶ丘の里	6	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		けやきの里	18	17	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		うぐいすの里 こもれびの家	18	17	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		堤通り	18	17	1	0	0.0	1	18.0	0	0	0	1
		桂葉	18	18	15	1	2.7	1	19.0	0	1	0	0
		宮野	18	18	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	594	581	272	9	－	12	－	3	6	0	3
東部保健福祉	石巻市	いこいの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぬくもりの家	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム青葉	9	9	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム桜花	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム親孝行	18	18	1	1	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの杜 ものうなかつやま	9	7	13	1	0.8	1	7.3	0	0	0	1
		せんだんの杜 ものううした	9	9	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		しらさぎ苑	18	18	2	2	2.0	0	0.0	0	0	0	0
		ﾂｸｲ大街道　ｻﾝﾌﾗﾜｰ	18	17	3	0	0.0	1	18.0	0	1	0	0
		隠居の家	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		希慈	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ねむの木	18	15	4	2	1.0	0	0.0	0	0	0	0
		馬っこ山	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひかり	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホームきたかみ	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛慈	9	8	2	1	2.0	1	26.0	0	0	0	1
		あいわ	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あゆかわの郷	18	13	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん河北	18	17	3	0	0.0	1	44.0	0	1	0	0
		なんてん雄勝	18	17	2	0	0.0	1	4.0	0	0	0	1
		愛の家グループホーム 石巻開北	18	18	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぐらんす	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	東松島市	さざなみ	9	9	36	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		グループホーム日和	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すみちゃんの家	9										
		あさぎり	9	9	22	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やすらぎ	18	7	1	1	1.0	0	0.0	0	0	0	0
	女川町	のどか	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	登米市	あんど	18	18	6	1	11.0	0	0.0	0	0	0	0
		にしだて	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あさみず	33	35	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		快豊里	9	10	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ほほえみ	9	9	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はさま	18	18	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		翔裕園	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくらおか	8	8	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		米山	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みんなの家	9	10	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		39	536	506	187	9	－	5	－	0	2	0	3
気仙沼保健福祉	気仙沼市	星谷ブランチ	9	5	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みずなしの丘	18	19	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝	9	9	32	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		桑の実	9	8	0	0	0.0	1	103.0	1	0	0	0
		ぽらん気仙沼	9	10	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こころ	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝さいち	9	9	26	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		村伝おもせ	9	9	32	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あんしん館	9	9	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ぽらん	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの杜	18	17	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ポラーノの杜	9	9	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	南三陸町	はまゆり	9	9	0	1	2.5	0	0.0	0	0	0	0
		リアスの丘	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
小計		14	144	140	158	1	－	1	－	1	0	0	0
合計		全体　県分 215　148	3,273	3,201	1,910	50		42		13	15	2	12

各施設→　保健福祉事務所→　**長寿（在宅・施設支援班）→**　保健福祉事務所→市町村　　計　42

様式１５－２

入所状況調（ 平成24年2月1日現在 ）

施設区分　認知症高齢者グループホーム

長寿社会政策課　在宅・施設支援班
電話022-211-2549　FAX 022-211-2596

事務所	所在地	施設名	定員	入所現員	入所希望者	前月中の新たな入所者		前月中の退所者		退所理由			
						人員	平均待機期間(月)	人員	平均利用期間(月)	死亡	入院	在宅	他施設
仙台保健福祉	青葉区	せんだんの里 国見ヶ丘３丁目	8	8	43	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せんだんの里	24	23	43	1	4.0	1	36.0	1	0	0	0
		ほくと苑	8	8	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		せせらぎの里	9	9	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ハートピアエスト	9	9	1	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		広瀬の郷	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		青葉の風	9	9	14	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひなた	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		楽庵	9	9	28	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さくら高野原	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛和の郷	18	18	15	1	0.1	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん上杉	18	18	10	1	2.0	1	30.0	1	0	0	0
		木かげ	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム 北根黒松	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		みつばち	18	17	10	0	0.0	1	18.0	0	0	1	0
		愛・グループホーム	18	17	10	1	10.0	1	29.0	0	0	0	1
	小計	16	238	235	211	4	－	4	－	2	0	1	1
	宮城野区	みやぎの杜	27	27	57	1	36.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台福室	18	17	8	1	1.8	2	78.0	1	0	0	1
		ふれあいの家白鳥	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やわらぎ	18	18	17	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家GH仙台岩切	27	27	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご燕沢東	18	18	10	1	7.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス鶴ヶ谷	9	18	10	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		デイジー	18	17	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		にこトピア萩野町	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ジャパンケアサービス遊宴・萩野町	18	17	16	1	7.0	1	6.0	0	1	0	0
		グループホーム よもぎ杢	18	18	12	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	11	207	213	158	4	－	3	－	1	1	0	1
	若林区	くつろぎ保養館 仙台東	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん伊在荘	27	27	6	1	6.0	1	102.0	0	1	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台やまとまち	18	18	8	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		すだちの里	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ウィンズの森 遠見塚３丁目	9	9	19	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		連坊小路グループホームスカイ	9	9	5	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		テルウェルグループホームひなた	17	17	16	1	1.4	0	0.0	0	0	0	0
	小計	7	116	116	70	2	－	1	－	0	1	0	0
	太白区	おちあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		袋原ふれあいの家	27	25	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ゆきあい	9	9	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台柳生	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なんてん長嶺荘	18	18	5	2	24.0	1	7.0	1	0	0	0
		やすらぎホーム富沢	27	27	20	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台なかた	18	18	3	1	2.0	1	22.0	0	1	0	0
		縄文の風	18	17	3	0	0.0	1	5.4	0	0	1	0
		あったかいご こおりやま	18	16	3	0	0.0	1	77.0	1	0	0	0
		ほくとの里	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		やぎあん	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		あったかいご 西多賀	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		人来田の風	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		こまち	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		萩ヶ丘	18	18	9	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		なつぎ埜	18	18	2	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	16	288	283	80	3	－	4	－	2	1	1	0
	泉区	いずみの杜	18	18	51	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		さちの家	9	9	60	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台あさひがおか	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ニチイのほほえみ 仙台八乙女	18	18	6	1	0.0	1	4.7	0	0	0	1
		蘭	27	27	28	1	12.0	0	0.0	0	0	0	0
		フォークソング	18	17	6	1	0.4	2	3.0	0	1	0	1
		なんてん水の森公園	18	17	6	0	0.0	1	72.0	1	0	0	0
		いずみの里	18	18	18	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		コスモス松陵	18	18	7	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ひまわり	18	18	4	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		セントケアホーム北中山	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		南光台ｹｱｾﾝﾀｰそよ風	9	3	0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		愛の家グループホーム仙台実沢	18	18	3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		むらでん高森	18	18	15	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		長徳	18	18	13	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		はごうの杜	18	18	45	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
		ふくろうの杜寺岡	18	18	6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0
	小計	17	297	289	278	3	－	4	－	1	1	0	2
合　計		67	1,146	1,136	797	16		16		6	4	2	4

各施設→　長寿（在宅・施設支援班）　→　保健福祉事務所　→　市町村　　計　16

C. 河北新報報道記事

目　次

【Ⅰ】はじめに……　２
①東北福祉大が被災高齢者８０００人調査
②２０１０年の宮城県内の市町村別高齢化率
③震災後の宮城県内の人口移動報告
④不安募る災害弱者（高齢者）
⑤高齢者施設で死亡・不明が多数

【Ⅱ】女川町の被災状況と高齢者福祉……　８

【Ⅲ】南三陸町の被災状況と高齢者福祉……２４

【Ⅳ】社説に見る被災地の高齢者福祉と医療……４０

【Ⅴ】大震災に関する東北福祉大学の関連記事……４５

【Ⅵ】おわりに……４８

はじめに

悪夢のような東日本大震災から１年。死者・行方不明者が1万9000人を超える1000年に一度の大災害とされ、掛け替えのない尊い命が奪われるとともに、被災者の生活を一瞬にして変えてしまった。犠牲者の死因は９割以上が津波による溺死で、マグニチュード9・0の揺れそのものよりも、その後の巨大津波によって死者や行方不明者が拡大した。阪神・淡路大震災では建物の倒壊などによる外傷や圧死が８割を占め、関東大震災では地震後に発生した火災で大多数が亡くなったのに比べると、被害の実態は大きく異なる。

特に宮城県は死者・行方不明者が計1万1000人と、被災地全体の６割近くを占めた。膨大ながれきの処理や居住地の高台移転、失われた地域経済の再生など課題は山積しており、被災地は復興どころか、いまだ復旧の途上にある。

とりわけ女川、南三陸両町は、巨大津波によって町の中心部がほぼ壊滅し、家屋の7、8割が流失した。まちづくりは一から再興を期す形となる。ともに基幹産業である１次産業の漁業が漁港や漁船、養殖施設の流失によって深刻な打撃を受け、住民の生活、雇用に暗い影を落としている。

両町は震災前から過疎と少子高齢化が進み、高齢者福祉や地域医療の在り方など日本が抱えていた構造的な課題の縮図とも言える地域であった。本報告書では、被災地に本拠を置く地元新聞社として「被災者に寄り添う」をモットーに報道を続けてきた河北新報の記事を通じ、女川、南三陸両町の震災の実情、高齢者をめぐる震災後の動向を探りながら、地域社会再興の道筋を考察する一助としたい。

震災前の女川、南三陸両町の高齢者の実態は、宮城県が 2010 年に集計した高齢者人口調査によると、総人口に占める65歳以上のお年寄りの割合（高齢化率）が女川町が33・７％、南三陸町は29・３％だった（４ページ参照）。県平均の22・2％をともに大きく上回り、県内 35 市町村中、女川町は２番目、南三陸町は９番目に高かった。

加えて、甚大な津波被害があった両町では震災後、町外への転出が際立っている。総務省の住民基本台帳に基づく 2011 年の人口移動報告によると、南三陸町は1628人、女川町は724人の転出超過となっており、人口の流出に歯止めがかかっていない。居住地や仕事が確保できない、子育てに不安があるなどの理由から、働き盛りの年齢層の転出が多いとされる。逆に高齢者は生まれ育った地域への愛着が強く、両町では超高齢化がさらに加速しているとみられる。

住み慣れたわが家や施設を失い、避難生活や仮設住宅暮らしを強いられている「災害弱者」、特に高齢者への支援は震災発生直後から不備が指摘された。

津波によって岩手、宮城、福島３県の高齢者入所施設のうち少なくても59カ所が被災し、高齢者と職員計578人が死亡、行方不明となった（７ページ参照）。沿岸部の高齢者施設の多くは海に臨み、風光明媚な場所に建てられることが多かった。特別養護老人ホームは自力の避難が難しいお年寄りが多い。海辺に建てられた高齢者施設は全国的に見られるが、立地場所の見直しや災害時の避難対策を早急に検討する必要がある。

また、今回の震災では避難所で体調を崩して命を落とすケースや地域医療機関が崩壊する中で医薬品の確保さえままならない事態が相次いだ。認知症や肢体不自由などで介護が必要なお年寄りのケアも、人手不足で限界を超える地域が多かった。震災から１年がたち、仮設住宅で暮らす高齢者の孤立をいかに防ぐかも大きな課題として浮上している。

一方で、それぞれの記事からも汲み取れるように、長期化した避難所生活や仮設住宅の暮らしなどで、地域で支え合う力が随所で発揮され、東北地方における健全なコミュニティーの存在も確認できた。国内外からの継続的な支援も大きな力となっている。

なお、本報告書では河北新報に掲載された社説の中から高齢者福祉や医療に関係する記事の抜粋、並びに東北福祉大学のボランティア活動や医学部設置構想に関わる記事の一部も参考資料として掲載した。

掲載日：2012年01月16日

被災高齢者8000人調査

南三陸と女川対象 福祉の実態把握

東北福祉大

東日本大震災後の高齢者福祉政策の在り方を考えるため、東北福祉大（仙台市）などは津波で甚大な被害を受けた宮城県南三陸、女川両町で、高齢者ら計8000人を対象に生活状況や健康状態などの実態を把握する調査に乗り出した。3月末までに結果を分析し、被災地での新たな地域福祉政策の指針として提言する。

調査は同大総合福祉学部の渡辺誠教授（高齢者医学）のグループが中心となって進める。渡辺教授は「大規模災害の被災地の高齢者を対象とした福祉調査としては、国際的にも最大規模ではないか」としている。

調査対象は原則65歳以上の高齢者のほか、特別養護老人ホームなど関連施設職員にも広げる。国の財政支援を受け、調査員には両町の被災住民を雇用。現地での聞き取り調査を既に始めた。

調査内容は①医療②福祉③社会④住民のメンタル⑤生活行動⑥原発事故の影響―の6分野。介護支援の状況や近所付き合いの増減、震災ストレスの影響など震災前後の環境変化を多角的に尋ね、高齢者が置かれている状況や課題を把握する。

グループは両町長らを交えてデータを分析、それを基に高齢者福祉にポイントを絞った「地域社会再生ビジョン」を策定する。被災自治体が復興計画を進める際に参考にしてもらうのが狙いで、全国の自治体に配布することも検討するという。

渡辺教授は「大規模複合災害は例がなく、被災地での高齢者福祉に関する基礎データの収集は、学術的にも社会的にも急務。復興を進めていく上でどのような福祉政策が望ましいのかを示していきたい」と話している。

掲載日：2010年05月29日

県高齢化率 最高22.2％

3割超 七ヶ宿など7市町

県が3月末現在で集計した高齢者人口調査によると、総人口に占める65歳以上のお年寄りの割合（高齢化率）は22・2％で過去最高となった。

県人口は232万9344人で前年同期を0・1％下回った。65歳以上の高齢者は51万6790人で前年同期比1・7％の増。これに伴い、高齢化率は前年と比べ0・4ポイント増加した。

75歳以上は1・1％上回る26万2237人となり、高齢者人口の50・4％を占めた。

在宅の一人暮らしの高齢者は7万7462人で、前年比5・5％増えた。高齢者に占める割合は15・0％で前年比0・6ポイント上回った。

市町村別の高齢化率は表の通り。大和、色麻の両町は前年と横ばいだったが、ほかの33市町村は高齢化が進んだ。

高齢者が3割を超えた自治体は、前年より2市町増えて7市町になった。最高は七ヶ宿町の43・8％（前年比0・7ポイント増）。女川町33・7％（0・5ポイント増）、丸森町33・1％（0・2ポイント増）と続いた。

高齢者が2割を下回った自治体は6市町。低い順に富谷町13・0％（0・4ポイント増）、利府町15・4％（0・4ポイント増）、多賀城市18・1％（0・6ポイント増）など。仙台市は前年度比0・4ポイント増の18・6％だった。

圏域別で高齢化率の最高は栗原圏の31・8％。最も低かったのは仙台圏の19・2％だった。

市町村別の高齢化率（３月末現在）

市町村名	高齢化率(％)	65歳以上人口	総人口
七ケ宿町	43.8	764	1,744
女川町	33.7	3,449	10,232
丸森町	33.1	5,306	16,033
栗原市	31.8	24,577	77,340
山元町	30.8	5,206	16,892
気仙沼市	30.1	22,575	74,926
松島町	30.1	4,671	15,540
加美町	29.4	7,744	26,330
南三陸町	29.3	5,215	17,815
美里町	28.0	7,169	25,592
登米市	28.0	24,160	86,289
大郷町	28.0	2,547	9,111
蔵王町	28.0	3,693	13,212
白石市	27.5	10,461	38,049
川崎町	27.4	2,785	10,148
涌谷町	27.2	4,860	17,854
石巻市	26.8	43,901	163,594
角田市	26.7	8,572	32,062
塩釜市	26.7	15,437	57,837
村田町	26.5	3,247	12,259
色麻町	26.1	1,976	7,569
大崎市	24.1	32,771	135,975
大衡村	23.9	1,306	5,458
亘理町	22.8	8,117	35,648
東松島市	22.6	9,814	43,337
大河原町	22.0	5,167	23,437
柴田町	21.8	8,407	38,491
七ケ浜町	21.4	4,490	20,991
大和町	20.3	5,033	24,825
岩沼市	19.4	8,577	44,308
名取市	19.0	13,707	72,150
仙台市	18.6	188,341	1,010,256
多賀城市	18.1	11,354	62,658
利府町	15.4	5,257	34,171
富谷町	13.0	6,134	47,211
計	22.2	516,790	2,329,344

掲載日：2012年01月31日

11年・人口移動

仙台市、転入大幅増

前年より5000人以上多く 岩手・福島からも

東日本大震災で甚大な津波被害に遭った県内の沿岸部が、軒並み転出超過になっていることが30日、総務省の住民基本台帳に基づく2011年の人口移動報告で分かった。仙台市は県内外からの転入が大幅に増え、前年比5000人以上多い6633人の転入超過で、市町村別では全国5位だった。（1・24面に関連記事）

報告によると、県内の転入者数は4万7662人（男2万7493人、女2万169人）、転出者数は5万4064人（男2万9713人、女2万4351人）。転出超過は6402人（男2220人、女4182人）で、昨年の転出超過数556人を大幅に上回った。

市町村別の転入、転出超過数は表の通り。

転出超過は5位の多賀城市に続き、東松島市（1276人）、亘理町（900人）、女川町（724人）など、沿岸部が上位を占めた。県外転出先で多かったのは、盛岡、山形、一関、秋田、郡山の各市だった。

仙台市は津波が押し寄せた宮城野、若林両区が転出超過となったが、残る3区は県内市町村に加え、岩手、福島両県からの転入もあり、転入者の数字を押し上げた。

内陸部の中核地域の大崎市や登米市、大河原町、柴田町などへの転入が多かったのも特徴となっている。

自動車関連産業や半導体製造装置の工場進出があった仙台圏北部の転入超過も際立った。

市町村別転入・転出超過数（上位5位）

【転出超過】	2011年	2010年
1 石巻市	▲5,459人	▲418人
2 気仙沼市	▲2,375人	▲402人
3 南三陸町	▲1,628人	▲ 66人
4 山元町	▲1,481人	▲ 98人
5 多賀城市	▲1,463人	▲306人

【転入超過】	2011年	2010年
1 仙台市	6,633人	1,170人
青葉区	4,656人	1,251人
宮城野区	▲1,506人	▲ 436人
若林区	▲ 319人	136人
太白区	2,514人	68人
泉区	1,288人	151人
2 富谷町	865人	783人
3 大和町	752人	529人
4 大崎市	700人	▲ 93人
5 登米市	612人	▲ 302人

掲載日：2011年03月16日

不安募る災害弱者

どこに行けばいいの

避難所から外部へ、安否を伝えることすら今はおぼつかない。災害弱者と呼ばれるお年寄りならなおさらだ。「年老いたお父さん、お母さん、大丈夫ですか。心配しています。寒くないですか。食べ物はありますか。聞きたい。元気な声を。無事でいるという一言だけでも」。高齢者の心細さを思う。困っていること、必要なもの、涙のわけを教えてほしい。

避難所いま

高齢者

母の市川きちさん(78)=名取市小塚原=が配給されたつみれ汁をすする。服にこぼさないよう長男の新一さん(56)がひざの上に新聞紙を敷いてあげた。仙台市太白区の袋原小に親子が寄り添っていた。

きちさんはくも膜下出血を患って足腰が弱り、つえが手放せない。新一さんに背負われて車に乗り、がむしゃらに津波から逃げた。ガソリンが底を突いた震災3日目、避難所に入った。

袋原小の避難者は学校近くの住民がほとんどだ。家も大きな被害は受けていない。15日、周辺地区で電気が復旧したのに伴って避難者の多くが家に戻り、避難所は閉鎖された。「家がないのは私だけ。どこに行けばいいのか」ときちさんはつぶやき、新一さんと名取市の避難所に向かった。

仙台市若林区の蒲町小で仲良くカップ麺をすする女性4人。皆、同区かすみ町の近所で暮らす70歳すぎの一人暮らしの高齢者だ。そのうちの一人、鳴海清栄さん(85)は「これまでこんなに会話したことはなかった」としみじみ語った。「温かいご飯はおいしいね」「感謝しなくちゃね」。4人に前向きな会話が増えてきた。

気仙沼市民会館で避難生活を送る小野寺彦一さん(78)は、わが身より先に孫の大学進学が気に掛かる。東京の国立大に進学する予定だ。「きちんと入学手続きができるだろうか。気仙沼は電話が通じない。連絡が付かないまま手続き期限が来たら…」と気をもむ。

震災に遭ったのは、銀行に入学祝いの現金を下ろしに行く途中だった。胸ポケットの預金通帳を押さえ、「せめて入学金は用意してやりたい。近くに開いている銀行はありませんか」と尋ねた。

宮城県南三陸町。志津川小で芳賀仁子さん(67)は「衣類の援助が欲しい。下着だけでも着替えたい」と訴えた。避難者500人のうち半数近くが高齢者とみられる歌津中で山内一郎さん(86)も「日一日と体調を崩す人が増えている」と感じている。底冷えする体育館で困窮の度合いが高まる。

石巻市湊の高台にある梅渓寺。70人が身を寄せるが、指定避難所ではないため、食料配給がほとんどない。忘れ去られたかのような状況に砂沢弘さん(71)、勝江さん(66)夫妻に不安が募る。

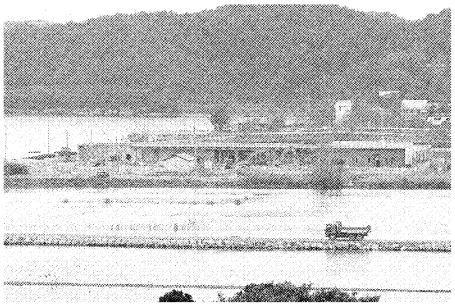
弘さんは狭心症、心臓弁膜症、高血圧の症状があり、勝江さんは肺を患っている。常用薬を持ち出して逃げる余裕はなかった。弘さんは「医師が来てくれない。どうにかして薬を手に入れたい」と話した。

配給されたつみれ汁を味わう市川きちさん。長男の新一さんが世話をしていた=15日、仙台市太白区の袋原小

高齢者施設578人死亡・不明

被災3県59カ所 津波被害

東日本大震災の津波で岩手、宮城、福島3県の高齢者入所施設が少なくとも59カ所被災し、高齢者と職員計578人が死亡、行方不明になったことが各自治体や施設への取材で分かった。多くの施設は海に臨み、景観の良い立地が裏目に出た格好だ。海辺に立つ高齢者施設は全国的に多く、避難対策や立地条件の見直しが急務となる。（藤田杏奴、野内貴史）



3.11 大震災

海沿いの立地が裏目

避難対策見直しも急務

各自治体や施設が10月から12月にかけてまとめた施設の被災状況は表の通り。

東北3県の高齢者入所施設の津波被害

	被災施設	入所者死亡・不明（人） 特別養護老人ホーム	養護老人ホーム	介護老人保健施設	ケアハウス	グループホーム	計	職員死亡・不明（人）	計（人）
岩手	8	62	1	74	0	0	137	15	152
宮城	47	141	64	59	22	37	323	66	389
福島	4	0	0	33	0	3	36	1	37
計	59	203	65	166	22	40	496	82	578

最大の被害を受けた宮城県では4施設が被災し、入所者36人、職員1人が死亡した。

施設の種類別では特別養護老人ホーム（特養）の3人、職員は66人を数える。岩手県では8施設が全半壊の被害を受け、死亡、行方不明は入所者137人、職員15人。福島県は4施設が被災し、入所者32、半壊7、浸水8の計47施設。入所者の死亡、行方不明は32人、被害が突出、犠牲者の4割を占めた。特養の入所者は要介護度が高い上、50人以上が暮らす大規模施設も多く、避難に時間を要したとみられる。

半島の付け根にあり、海岸に面する介護老人保健施設「シーサイドかつら」（岩手県山田町）は2階屋根まで水をかぶり、3県で最多の88人の犠牲者を出した。入所者98人のうち61人が死亡、13人の行方が分からない。職員も48人中12人が亡くなり、2人が不明のままだ。

このほか、死亡・不明の入所者が多い施設は特養では「さんりくの園」（大船渡市）62人、「不老園」（東松島市）56人、「慈恵園」（宮城県南三陸町）49人など。養護老人ホームは梅香園（同県山元町）で43人、介護老人保健施設はリバーサイド春圃（気仙沼市）で59人が犠牲になった。

福島県では老人保健施設「ヨッシーランド」（南相馬市）と併設グループホームの2施設の入所者が計36人亡くなった。

被災施設のほとんどが海沿いに立ち、避難が間に合わず、施設内で津波に襲われたケースが目立つ。不老園など複数の施設では避難中に車ごと津波に巻き込まれたり、たどり着いた指定避難所が浸水したりして被害が拡大した。津波を逃れた後、所者70人全員を2階へ避難させ、無事だった。

昨年2月のチリ大地震津波の際、避難所への移動に1時間かかった経験から「間に合わない」と即断したという。施設側は「避難所に向かっていたら半数は津波に巻き込まれていただろう。2階まで水が来なかったことも幸いした」と話す。

28・29面に関連記事

安全考慮し高台に建設を

震災による高齢者施設の被災状況を調べている島野猛ひろし学院大准教授（社会保障法）の話　これまで高齢者施設は行政が用意した風光明媚（めいび）な場所に建てられることが多かった。今後は都市計画の段階から優先して立地を考慮し、高台など安全な場所に造るべきだ。

中でも特養は要介護度が高く、自力の避難が難しいお年寄りが多い。避難先は従来の学校よりも、医療器具や薬がそろった近隣の特養など高齢者施設が望ましい。他の施設と平時から絶えず連携を図る必要がある。ライフラインが断たれ、孤立した際の備えも重要だ。

災害時、限られた職員で高齢者を迅速にどう避難させるかは、全ての施設にとって喫緊の課題。車いすごと運ぶのか、1人で背負うのか。要介護度が高い人と低い人、どちらを優先すべきか。今後に備え、効率的な避難方法を研究しなければならない。

津波で全壊し、入所者56人が犠牲になった特別養護老人ホーム「不老園」。平屋の施設に逃げ場はなかった＝10月25日、東松島市大塚

再生へ 心ひとつに

女川町の被災状況と高齢者福祉

東日本大震災の大津波によって、女川町では港に面した中心市街地が壊滅した。死者526人（うち死亡確認415人）、死亡認定者290人、行方不明者125人に上る（町復興計画を策定した昨年８月３日現在）。

住宅や店舗など6511棟のうち、67％に当たる4363棟が津波で全壊した。大規模半壊と半壊、一部損壊は12％。万石浦に面する浦宿などを除く市街地と離半島部集落の大部分が壊滅した。町役場や消防署といった行政機関、水産加工場や観光施設など産業基盤はほぼ失われた状態となった。

被災前の町の人口は１万14人と、かろうじて１万人台を保っていた。女川町の住民基本台帳ネットワークが復旧した昨年12月末現在の県推計人口では、8233人に激減したことが分かった（23ページ参照）。

震災の深い痛手で人口減少に歯止めが掛からないことに加え、出島、江島といった離島も抱える女川町は高齢化率が高いという悩みもある。県の高齢者人口調査（2010年３月末現在）によると、女川の高齢化率は33・7％。県平均（22・2％）を10ポイント以上も上回り、県内で最高の七ケ宿町に次いで２番目に高い。

町民の３人に１人強が65歳以上という過疎の町。被災からの復旧・復興を目指しながら、高齢者福祉をどう進めるかが待ったなしの課題となっている。

高台にありながら１階が水没して被災した町立病院の再建について、町は今年４月の予定だった公設民営化の計画を前倒しした（16ページ参照）。昨年10月に有床診療所（19床）と50床の老人保健施設を併設する「町地域医療センター」に移行。病院施設の全面復旧を急ぎ、仮設住宅などに入居するお年寄りの在宅医療や健康相談を強化する。

施設改修が終了する４月までに、老健施設を100床に増やし、健診センターも設ける。現在の老健内には高齢者福祉住宅（26床、42人収容）を整備する。

平地が少ない女川町は２階建て、３階建ての仮設住宅を整備するなどの苦労を重ねて、やっと昨年11月、全ての仮設を完成させた（19、21ページ参照）。最大で5720人もいた町民の避難所暮らしが解消した。

ただ、避難所から仮設住宅に移ったとしても高齢者の健康をめぐる不安は尽きない。孤立や閉じこもりの生活に陥りやすい上、環境の変化や運動不足などで認知症や要介護度が悪化するという指摘もある。

町は昨年11月１日、「町こころとからだとくらしの相談センター」を開設。仮設住宅の集会所など７カ所にサブセンターを設置した（21ページ参照）。震災で精神的なダメージを負った住民らの引きこもりや自殺を防ぐのが目的だ。

サブセンターには、保健師などの資格を持つ「ここから専門員」が常駐し、住民の交流を促すサロン活動を企画したり、悩み相談の窓口になったりする。町地域医療センターとも連携を図る。年２回、仮設の全戸訪問を実施し、住民の生活状況や健康状態を把握し、病気予防などに役立てる。

暮らしぶりを把握しにくく支援が手薄になりがちだった在宅被災者を支えようとする動きも出てきた（23ページ参照）。民間支援団体などが女川町と石巻市の沿岸部で昨年11月から、自宅で暮らす被災者を対象にした生活実態の聞き取り調査を実施している。

調査しているのは、石巻市のボランティアグループと、在宅医療専門の診療所を中心とした県内外の支援団体や医療機関。看護師や介護福祉士らを含むスタッフが、調査票を手に被災者が住む家を一軒一軒訪問している。調査結果をデータベース化し、きめ細かいサポートに役立てる。調査内容は行政に対する問題提起のデータとしても活用する。

1995年の阪神大震災では、仮設暮らしの高齢者の「孤独死」や自殺が社会問題化した。東日本大震災でも震災との関連が明らかな自殺者が散見され、独り暮らしが引きこもる負の側面がクローズアップされてきた。地域の特性を生かし、絆を結び合い助け合う心と行動が求められる。

掲載日：2011年03月13日

女川

迫る波、町をのむ

押し流される住宅・船

津波に巻き込まれた家リ地震津波を経験した女性がつぶやいた。

屋が、車が、樹木が次々と役場庁舎にぶつかる。そのたびに鈍い震動ときしむ音が聞こえる。夢中でシャッターを押す。「死ぬかもしれない」。本気でそう思った。

11日午後3時すぎ。宮城県女川町役場の屋上。真っ二つに割れた民家、横倒しになった漁船、鉄筋のビルまでもがこちらに向かってくる。

町議会定例会を取材していた。突然の地鳴り。議場が大きく揺れた。いったん外に出る。「（津波が）小屋取（浜）を超えたぞ」という声。また役場に駆け込んだ。職員や住民ら約70人がいた。

4階のベランダに出たときに白波が現れ、あっという間に4階まで水が迫ってきた。避難はしごで屋上に行った。

降り始めた横殴りの雪が体を冷やす。役場裏にある無傷の2軒の民家に移動。70人が二手に分かれる。「全部なくなってしまった」。51年前のチ朝。目の前に美しい女川のまちはなかった。高台にある町立病院を目指す。1階は泥まみれ。車椅子のまま溺れかけた患者もいたという。

町民から自転車を借り、石巻市を目指した。2時間後にたどり着いたものの中心部は水没していた。知り合いの車で昼すぎに仙台に着いた。一つのまちが消えた事実をどうしても伝えたかった。

（三陸河北新報社・佐藤紀生）

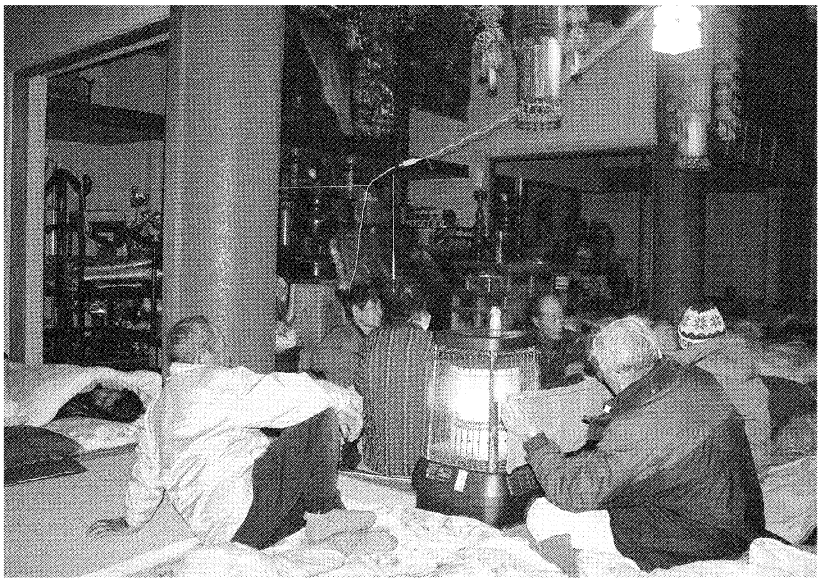
掲載日：2011年03月21日

宮城・女川

団結力生かし自活

何時間も歩き食料調達／仕事上の人脈で物資

尾浦地区200人 乏しい公的支援補う



保福寺の本堂で身を寄せ合う被災者＝19日午後6時30分ごろ

震災で約200人が避難生活を送る宮城県女川町尾浦地区の保福寺では、公的な救援物資が不十分な中、避難者たちが自ら集めた食料や、仕事上の人脈で届けられた物資で命をつないでいる。

小松長一区長(69)によると、住民が町に出向き、安否を報告したのは震災から3日後の14日。自衛隊が15日に海から非常食約40食、19日に灯油200ℓを届けたが、それ以外は、ほとんど公的機関の支援はない。

食料は住民が何時間も歩いて調達し、持ち寄った。最小限の明かりは、津波をかぶった発電機を分解、修理して確保した。くみ取り式のトイレは一時満杯になったが、知り合いのバキュームカーを回してもらった。

約70戸の尾浦地区は町中心部から北東に約5キロ。主要産業のカキや銀ザケの養殖は、津波で壊滅的な被害を受けた。

約30年間、銀ザケのエサなどを届けてきた大崎市の運送会社は19日、2トントラックで食料などを輸送。自ら運転した社長(59)は「長年お世話になっている。できる限りのことはしたい」と語る。

阿部整骨院(仙台市)の阿部義浩院長(48)は母の出身地に近い尾浦の惨状を知り、15日から毎日、仙台からワゴン車に物資を積んで届けている。19日からは仲間も加わった。

避難している鈴木実さん(71)は「町役場も混乱しているから、公的支援が十分でないのは仕方がない。ここの住民は団結力が強く、支え合っていく」と話した。

（中島剛、石川威一郎）

避難所いま

女川町総合体育館

避難者数　800人（23日正午現在）
避難地区　女川町の女川浜、大原、石浜宮ケ崎など
住所　宮城県女川町女川浜大原190

寒空の洗濯 お湯が好評

体育館の外で、バケツにお湯を張り、洗濯に汗を流す女性たちの姿があった。洗浄機メーカーが、お湯の供給車両を派遣してくれた。まだまだ寒い日が続く中、避難住民に好評だ。

水道の復旧は見通しが立たない。電気も自家発電で賄っている。食事の支給は朝、夕2回。そんな不便な暮らしでも住民は、しっかりと自立の道を探り始めた。

住民間で七つの班を編成。班長と副班長は黄色い腕章を着け、誰でも一目で役員と分かるように工夫した。

班ごとに清掃、配食、給水、たき火用のまき集めなどを分担。避難所周辺をパトロールする自警団も手分けして担う。

自衛隊が簡易の風呂を設けたほか、日帰り温泉施設へのバス送迎も始まった。震災から間もなく2週間。緊張の連続だった避難所生活にも、少しずつ気が休まる時間が生まれている。

避難所を担当する女川町生涯学習課の佐藤誠一課長(52)は「長期戦になるだろうが、使えるものをフル活用し、少しでも避難生活を充実させていきたい」と話した。

お湯で洗濯する避難住民＝23日午後2時10分ごろ、宮城県女川町の町総合体育館

●青山実さん(49)＝女川町女川浜北伊勢
股関節に腫瘍ができて以来、左足が全く動かない。その分、周りが心配して助けてくれる。みんなに感謝でいっぱいだ。

●内海由紀さん(42)＝女川町女川浜伊勢
食料は充実してきた。欲を言えば、心が落ち着く温かい物が食べたい。

●林佐恵子さん(64)＝女川町清水町
東京にいる同級生が22日、津波の記憶は、まだ鮮明に頭に残っている。

●菅原孝子さん(71)＝女川町石浜石浜
着の身着のままで逃げてきた。寒いので、防寒用の衣類が欲しい。津波で家がなくなった。この先どうなるか不安だ。

●鈴木ゆかさん(42)＝女川町女川浜新田
主人がウイルス性胃腸炎にかかってしまった。わたしも娘も風邪気味。避難所でも風邪がはやり始めたので心配だ。

●伊藤凛さん(9)＝女川町清水町
学校の先生が、たまに避難所近くの公園などに連れて行ってくれる。今は友達とリレーなどをしているときが楽しい。

●伊藤唯さん(12)＝石巻市渡波旭ケ浦
23日に女川二小を卒業した。

●平塚みきさん(42)＝女川町女川浜新田
今まで付き合いのなかった人や疎遠だった親戚も「大丈夫？」と声を掛けてくれる。みんなの心遣いがうれしい。

●鈴木茂美さん(53)＝女川町大原大原
必要な物は下着や着替えるための洋服。津波で家や物は流されてしまったけれど、家族が無事だったのが今の希望だ。

●竹高仁海さん(30)＝女川町清水町
風呂に入れるようになったのがよかった。不便なのは洗濯。干す場所も洗濯ばさみもなくて苦労している。

●山本泰雄さん(67)＝女川町宮ケ崎川尻
着の身着のまま逃げてきた。ここには食料があるし、寝られる。少しずつだが避難所の暮らしはよくなっている。

●鈴木達也さん(30)＝女川町女川浜新田
食べ物を融通するなど、近くにいる人たちと協力し合えるようになってきた。水道を早く復旧してほしい。

●岩井幸一さん(47)＝女川町清水町
1日3食、食べられるようにお願いしたい。大人は我慢できても、子どもは難しい。風邪薬も空腹時は飲めない。

●遠藤恵美さん(47)＝女川町石浜高森
仕事がなくなり、家も車も流された。仮設住宅に入れるかどうかも分からない。今後の避難生活は不安でいっぱいだ。

●佐藤臣一さん(33)＝女川町清水町
炊き出しや衣類配給など町役場の人は避難住民のために一生懸命やっている。これ以上のお願いはとても言えない。

掲載日：2011年04月09日

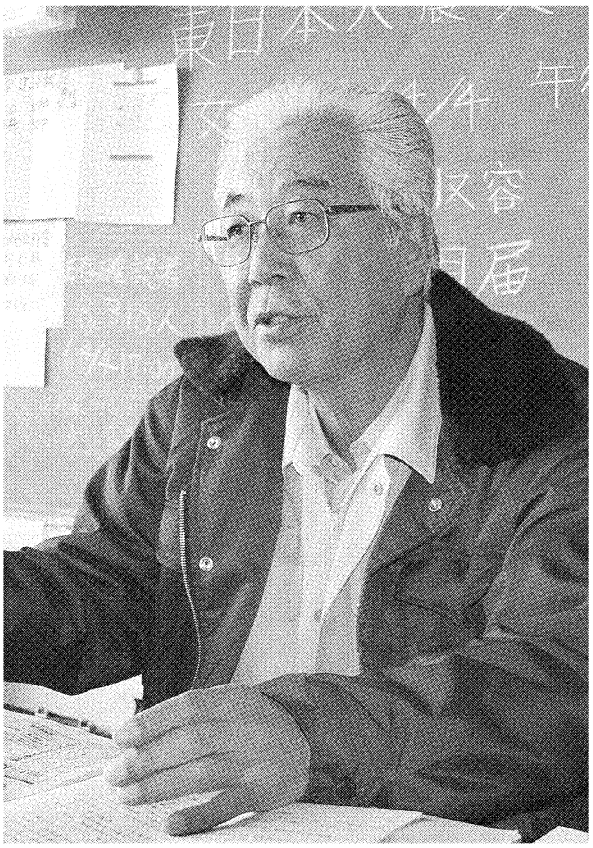
郷土再興

津波被災 首長に聞く

9

役場機能の回復急ぐ

安住　宣孝町長(65)



女川町

死者384人 不明者調査中

主な被害状況（8日現在）　死者384人、行方不明者は調査中。避難者は17カ所に1980人。電気は旭が丘や浦宿地区、避難所の一部などで復旧。上水道は7日深夜の地震で再び全域で断水した。

―震災から間もなく1カ月になる。

避難者2000人切る

「震災直後、5000人に上った避難者は2000人を切った。電気、水道の復旧さえままならない所が大半だが、物資は行き届き、避難所の生活環境は少しずつ落ち着いてきた。精神的ケアも含め衛生環境を整え、長期化が避けられない避難所暮らしを少しでも快適に続けられるよう全神経を注いでいく」

―被災者は仮設住宅への早期入居を強く求めている。見通しは。

「7割以上の家屋が全壊、流失した。最低でも2000戸の仮設住宅が必要だ。建設場所が町内で確保できない場合、隣接する石巻市にも建設できるよう県にお願いしている」

「仮設住宅ができるまでの間、町外への2次避難も検討しなければならない。住み慣れた土地を離れたくないという住民感情に配慮しつつ、地区単位での集団避難を呼び掛けていくことになるだろう」

―町庁舎も津波の直撃を受け、戸籍や住民票のデータが消滅するなど町役場の機能がまひした。

「罹災（りさい）証明の発行開始が今月7日にずれ込むなど、町民には不便をお掛けしている。役場の機能を早く回復させなければ町の復興も遅れてしまう。7月には仮設庁舎が完成する予定だ。万全の体制を築けるよう引き続き努力する」

―平地にあった行政機関や商店街、水産関連施設はほぼ壊滅した。

「山を切り崩し、大量に発生したがれきを使って護岸と市街地をかさ上げし、まちを再生させたい。漁村も高台に移し、そこから港に通うようなイメージだ」

国が買い上げも

「さまざまな手法が考えられるが、被災した土地を国が買い上げて新たな市街地を造成し、町民に分配するやり方もあるのではないか。住民が希望を持って女川に住み続けることができるよう、国や県は従来の枠組みにとらわれず、超法規的措置も含め大胆な発想で取り組んでほしい」

―東京電力福島第1原子力発電所の事故で原発の安全性、信頼性が大きく崩れた。

「機能不全に陥った福島原発の問題は人ごとではないが、幸いにして女川原発は安全に停止した。立地町の首長として原発を否定するつもりはない。女川原発が住民の避難先の一つになっていることを見ても、住民と発電所との信頼関係は崩れてはいないと感じる。運転再開に関しては、国や東北電力に福島原発の反省を踏まえた対策をしっかり取った上で、住民の理解を得ることが前提だ」

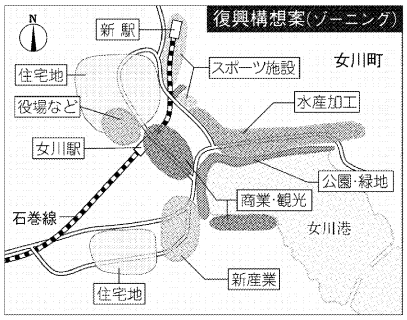
（聞き手は大友庸一）

掲載日：2011年05月23日

住宅地高台2カ所に集約

女川町 ゾーニング案公表

東日本大震災の津波で壊滅した市街地の再生に向け、女川町は22日、復興方針案に基づく土地利用のゾーニング案を公表した。住宅地を現在の町総合運動公園周辺など高台の2カ所に集約、臨港地区に水産加工ゾーンと商業・観光ゾーンを設けた。



山越えの避難路を新設

平地のほとんどが浸水、街地を造る。各エリアにしたため、盛り土と丘陵地の切り崩しで新たな市街地を造る。各エリアに避難所を設け、避難所間をつなぐ連絡路を整備する。

女川港の周囲に、津波の威力を弱めるための公園・緑地帯を設定、後背地に水産加工と商業・観光ゾーンを設けた。住宅地だった清水地区に運動施設を整備する。公共施設も高台に移動させる。

石巻方面への道路が海沿いを走る国道398号以外になかったため、山越えの避難路を新たに建設する。女川駅が終着のJR石巻線を清水地区まで延伸する案も盛り込んだ。

掲載日：2011年05月19日

突然死を防ごう 心肺蘇生講習会
宮城・女川の避難所

東日本大震災の避難生活が長引く中、被災者の突然死を防ごうと、宮城県女川町立病院の医療スタッフらが18日、避難所となっている町内の施設で、心肺蘇生法の講習会を開いた。50人以上が避難し、自動体外式除細動器（AED）が設置されていない施設には、新たにAEDを設置した。

同日は勤労青少年センターなど2カ所で、町立病院の高橋洋子総看護師長と鳥取県立厚生病院のスタッフ計4人が実施した。住民や避難所スタッフ計約15人が見守る中、心臓マッサージやAEDの使用方法を説明した。

避難住民を対象に開かれた心肺蘇生法の講習会＝18日、宮城県女川町の勤労青少年センター

講習とAED設置は17日に始まり、19日までの予定。期間中、講習が計5カ所、機器の設置は計4カ所で行う。講習は今後も随時開く。

女川町では、震災後に避難所に身を寄せていた80代女性が突然死した事例があったという。高橋総看護師長は「避けられる死をしっかりと防いでいきたい」と話した。

掲載日：2011年06月08日

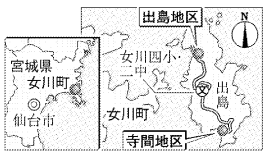
〝細い糸〟届いたSOS

孤立島民 ヘリで搬送

島を救った衛星電話（宮城・女川の出島）

宮城県女川町の離島・出島（いずしま）。巨大津波に襲われ、島民らが一時孤立する事態に陥った。外部との連絡が途絶え、不安の中で一夜を過ごした島民は、翌日午後には陸上自衛隊のヘリコプターで全員が石巻市に無事搬送された。震災直後の混乱の中での「スピード救出」。それを可能にしたのは、1台の衛星電話だった。

ドキュメント大震災 その時 何が 21



養殖業が盛んで、釣り客にも人気の出島は人口約450人。地震発生時は350人前後が島にいたと推定される。

3月11日の津波は「高さ20㍍近かった」と島民たちは証言する。養殖施設や漁港に係留していた船はあっという間に流され、付近の家々も壊滅。町災害対策本部は後日、出島で13人が死亡、11人が行方不明だと確認した。

津波を逃れた住民たちは島の中央部の山を駆け登り、多くは山頂付近の女川四小・二中の校庭に避難した。下校時間を迎えていた27人の児童・生徒も身を寄せ合っていた。

気温が下がり、雪が吹き付けた。島民は体育館や教室に入り、近くの民宿などから運んだ毛布にくるまった。

次第に、自分たちの置かれた深刻な状況が分かってきた。情報源はラジオだけ。電気・水道が止まり、携帯電話やインターネットも使えない。飲料水は残りわずか。夜が更けるにつれて不安と焦りが募った。

◇ ◆ ◇

12日早朝、外部と連絡を取ろうと教職員らは校庭の雪を払い、石灰で大きく「SOS 水 むせん」と書いた。数機のヘリが上空を横切ったが、気付かないのか、そのまま通り過ぎていく。

出島地区の赤坂宏介区長（70）は必死にがれきの中を走った。島には町から配備された2台の可搬型衛星電話がある。出島、寺間の両区長の家に1台ずつ置かれていた。漁港に近い自宅の1台は水没してしまった。もう1台は寺間地区の高台に立つ植木千万夫区長（68）宅にある。

寺間地区に着いた時、植木さんは沖に出した漁船で一晩過ごし、家に帰る途中だった。「出島区長が来てる。早く戻って」。遠くから自分を呼ぶ住民の声を聞いて、植木さんは「衛星電話を取りに来たとすぐに察しがついた」。走って戻り、家に無事残っていた衛星電話を手渡した。

衛星電話は学校に運ばれ、当時女川四小校長だった今野孝一さん（51）が通信を試みた。訓練以外に触れることのない衛星電話は、バッテリーが切れていた。近くの道路工事現場の発電機から電源を取った。慎重にアンテナの向きを調整すると、受話器から発信音が聞こえる。

今野さんは女川町や県の防災関係機関に次々と電話をかけた。だが、一向につながらない。少し考えて、ここは海の上だと気付いた。かけたのは海上保安庁の「118」。「救助要請ですか」。頼もしい声が耳に響いた。

◇ ◆ ◇

電話から約2時間後の午後1時ごろ、陸上自衛隊のヘリが島に降り立った。30人乗りの大型ヘリ2機が、島と石巻市総合運動公園との間を何度も往復した。全員を搬送し終えた時は午後5時を回っていた。

島民たちは「われわれは運がよかった」と振り返る。万が一に備えて数年前に配備された衛星電話。1台は偶然高台にあった。学校の近くが道路工事中で、発電機が使えたことも幸いした。いずれが欠けても〝細い糸〟はつながらなかった。

出島は今も電気・水道が止まり、島民は昼間、がれきの撤去などで島に渡りながら、夜は本土で避難生活を送っている。NTTドコモ東北支社によると、応急処置によって出島で同社の携帯電話がほぼ使えるようになったのは、震災1カ月後の4月10日だった。

（成田浩二）

出島から陸上自衛隊のヘリコプターで搬送された島民たち
＝3月12日午後2時25分ごろ、石巻市総合運動公園

掲載日：2011年06月27日

再生の針路

被災市町３ヵ月

13 女川町

港町づくり 減災基本に

安住宣孝町長

「安心・安全な港町づくり」「港町産業の再生と発展」「住みよい港町づくり」の三つが町の復興のテーマになる。

大きな痛手を受けたが、女川は海の恵みを受けながら生きていくしかない。18㍍もの高さに達した津波を完全には防げない。「減災」の考えを基本にしたい。

住宅や行政機能は高台に移し、海岸沿いには津波の威力を弱める公園を造る。盛り土した上で背後地に水産加工施設を復活させたい。

反対意見が強かった漁村集落の集約化はゾーニング案を一部修正したが、基本的な考えは変わっていない。どうすれば漁村コミュニティーを次世代に引き継げるかという視点が不可欠。粘り強く話し合っていく。

防波堤整備や市街地のかさ上げなどインフラ整備には膨大な予算が必要。予算がどこまで付くか不安もあり、期待もしているが、町としては計画を一日も早く町民に示したい。税収の問題も含め、しっかり財源を確保してもらえるよう国、県に働きかけている。

一人でも多くの人が町に踏みとどまってもらうため、生活に希望を見いだせる短期的な施策も大切だ。サンマの漁期に間に合うよう、製氷工場を仮復旧させるために予算化した補助金はその一つ。「何かしてほしい」ではなく、経済団体や組合関係者には具体的要望を町に上げてもらうようお願いしている。

（聞き手は大友庸一）

復興スケジュール

町復興計画策定委員会（会長・鈴木浩福島大名誉教授）が復興方針や計画をまとめている。５月９日、復興方針の中間答申案を作成。公聴会などを経て、６月10日に修正案を打ち出した。

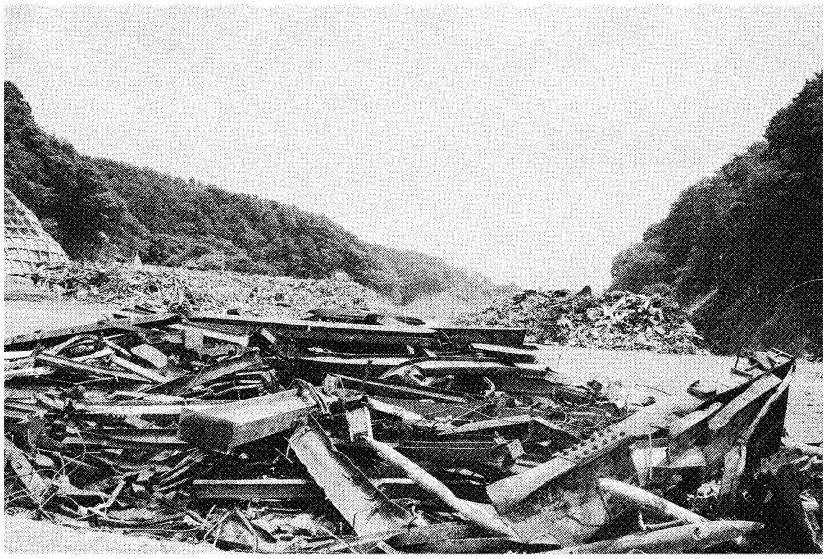
計画作りの実務は町企画課内に設置した復興推進室が担う。委員会副会長の木村拓郎氏＝石巻市出身＝が理事長を務める「減災・復興支援機構」から技術的支援を受けている。

委員会は７月９日に第４回会合を開いた後、再び公聴会を開催。８月中に最終の答申を行う方針。町は委員会の答申と県の復興計画を踏まえ、震災半年をめどに復興計画を決定する。

被害まとめ

町によると、23日現在、死者542人（死亡認定134人含む）、行方不明者286人。住宅や店舗など6511棟のうち、67％に当たる4363棟が津波で全壊した。大規模半壊と半壊、一部損壊は12％。万石浦に面する浦宿地区などを除く市街地と離半島部集落の大部分が壊滅。町役場や消防署などの行政機関、水産加工場や観光施設など産業基盤はほぼ失われた。

町総合体育館など13カ所に避難所が開設され、1148人が避難生活を続けている。大崎市などへの2次避難者は251人。応急仮設住宅は整備目標1340戸のうち、清水地区や旭が丘地区に946戸が完成した。平地が少ないため、町境に近い石巻市の県道予定地にも236戸を建設する。賃貸住宅の仮設住宅扱い受け付け申請は約300件。



女川港周辺のがれき置き場が満杯になり、かつて住宅地だった清水地区にも仮置き場が開設された

掲載日：2011年08月03日

老健転換方針の女川町立病院

10月、医療センターに再編

計画前倒し　診察機能も存続

女川町は2日、公設民営化を進めていた町立病院について、計画を前倒しし、10月に有床診療所と老人保健施設を併設する「町医療センター」に移行することを決めた。東日本大震災で被災した病院の復旧を急ぎ、仮設住宅などに入居するお年寄りの在宅医療や健康相談を強化する。

町は昨年、慢性的な赤字解消を図り、医療・介護サービスを安定的に提供するため、病院（98床）を19床の診療所と100床の老健施設に転換する方針を決めた。ことし4月、「地域医療振興協会」（東京）に運営を移管し来年4月にセンターを開設する予定だった。

震災の津波で、海抜16㍍の高台にあった同病院は1階が水没した。外来機能を2階に移し、救護活動と診療を続けてきた。運営移管は10月まで見送り、本格復旧への準備を進めてきた。

震災で800人以上が犠牲になるなど深刻な被害に遭った町は、震災前にも増して町民の健康相談や巡回診療が必要になると判断。限られたスタッフでニーズに対応するため、センターへの移行を前倒しした。

計画では、センターは一般19床、老健50床で開業する。水没して使えなくなった医療機器や電子カルテも復旧させる。町内に4軒あった調剤薬局が全て流されたため、敷地内に県薬剤医師会が運営する薬局を開設する。施設改修が終わる来年4月までに老健を100床に増やし、1階には健診センターも設ける。現在の老健内には高齢者福祉住宅（26床、42人収容）を整備する。施設改修と機能転換に掛かる費用は約19億円で、日本赤十字社の海外救援金を充てる見通し。

掲載日：2011年08月26日

証言

3.11大震災

海抜16メートル 濁流、病院襲う

宮城・女川中心部壊滅

「まさか、ここまで」避難の車、次々と流された

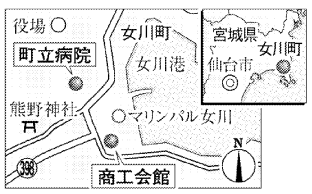
東日本大震災で港に面した中心市街地が壊滅した宮城県女川町では、津波による浸水が海抜約20㍍に達した。港周辺に立つ商業施設や公共施設はほとんど水没。津波は鉄筋の建物をなぎ倒すほどの威力で、多くの町民が逃げた高台の町立病院にも押し寄せた。町役場も最上階まで浸水し、町の防災無線は市街地が津波にのみ込まれている最中に途絶えた。（肘井大祐）

噴出

3月11日。最初の揺れが収まってから約30分後、宮城県女川町鷲神浜の女川町立病院駐車場で見た光景に、経営する港近くの中華料理店から避難してきた鈴木康仁さん（39）＝女川町女川浜＝は目を疑った。

はるか遠くの岬の先端にあった高さ6㍍の防潮堤を白波がのみ込み、大きなうねりとなって街に迫ってきた。

病院は女川港を見下ろす海抜16㍍の高台に立つ。「まさか、ここまで津波は来ないだろう」。鈴木さんは駐車場にとどまり、港の周りの様子を見ていた。



商業ビルなどが立ち並ぶ港の一帯では、至る所で噴水のように水が噴き出していた。一気に水かさが増し、何棟かのビルで、屋上に避難する人が見えた。

水没

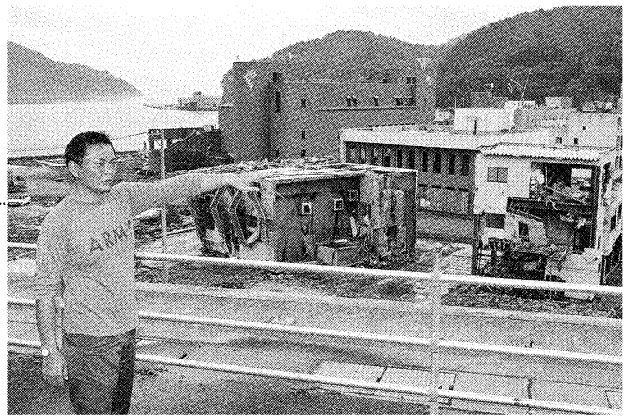
「ここではだめだ」。鈴木さんは駐車場を後に、病院西側のさらに高い場所にある熊野神社を目指し、階段を駆け上がった。パキパキパキ。階段を上る途中、不気味な音が聞こえた。津波が濁流となり、建物を壊す音だった。

踊り場で、後ろを振り返った。3、4棟を除いて、港近くにあったビルは水没していた。目をこらすと、4階建ての商工会館が見えた。屋上に人影があった。次の瞬間、会館の屋上も水中に消えたように見えた。

数分前までいた病院駐車場にも、津波が迫っていた。避難した人たちが乗ってきた車が次々と濁流に浮き、流された。

「高台に逃げろ」。女性の声で避難を呼び掛けていた防災無線が急に男性に代わり、叫び声が聞こえた。その声を最後に、無線は途絶えた。

「皆、死んだ」。鈴木さんはその場にぼうぜんと立ちつくした。町の安否が気掛かりだった。



女川町立病院の駐車場で見た震災当日の様子を振り返る鈴木康仁さん＝8月3日、宮城県女川町鷲神浜

必死

そのころ、町立病院。職員が患者や逃げてきた町民を2階より上に誘導していた。駐車場に津波が迫っていた時、1階フロアにはまだ、約20人がいた。

当時、院内で働いていた阿部ゆかりさん（39）＝同町浦宿＝もその一人。

「病院にいれば、安全だろう」。本震後約20分は、病院の内外を行ったり来たりしていた。駐車場から、車や民家などが濁流に押し流されているのが見えた。震えが止まらなくなった。

院内に戻ると、男性の声が聞こえた。「津波が来たぞ」。阿部さんは階段に向かって走った。階段の幅は約1・3㍍。上り口に人が集中し、立ち往生していた。

階段の約2㍍手前で、駐車場にあった車が濁流とともに玄関のガラスを突き破って入ってきた。数秒であごの下まで水に漬かり、体が浮いた。高さ2・5㍍の天井がすぐ真上に見えた。

なすすべなく流された。すぐそばで浮いていた自動販売機に必死にもがいて、つかまった。販売機にはほかに4人がつかまった。

やがて、ゆっくりと水が引いた。10分ほどたつと、床に足が付いた。「助かったんだ」。全身の力が抜けた。

女川町や町立病院によると、町内の津波浸水の最高位は海抜20・3㍍。町立病院1階の浸水は高さ約2㍍に達した。3月11日、町立病院は職員や入院患者、避難者ら65人を収容した。後日、敷地内で4人の遺体が見つかった。

23面に続く

掲載日：2011年08月26日

給水塔登り 九死に一生

宮城・女川中心部壊滅

商工会館 屋上も冠水

1面から続く

港近くにあった建物のほとんどが津波にのみ込まれた宮城県女川町で、4人の男性が一時は建物全体が水没した商工会館の屋上にいた。屋上の給水塔に登って助かった4人は、間近で津波の威力を目の当たりにした。

商工会館（左）周辺に迫った津波。屋上の給水タンクの下に青山さんらとみられる人影が見える＝3月11日午後3時40分ごろ、宮城県女川町鷲神浜（読者提供）

商工会館は鉄筋コンクリート4階建て。屋上には高さ約5㍍の給水塔があり、1・5㍍四方の台座に立つ4本の支柱が給水タンクを支えていた。

本震が発生した当時、会館には商工会職員の青山尊博さん(38)ら男女7人がいた。女性職員や外部の関係者を先に逃がし、青山さんら4人が屋上に登った。

青山さんらが屋上にたどり着いた時には既に、津波が4階に達していた。4人はそれぞれ支柱にしがみついた。足元で、目の前で、建物などが流される様子を見た。

青山さんと商工会職員の遠藤進さん(55)は、しがみついた柱を挟んで向かい合う形になった。

「病院もだめだ」

「皆、死んだべや」

「終わるときはこんなものか。あっけない」

あぜんとしながらも、気持ちを落ち着かせるために、努めて互いに言葉を掛け合った。

引き波で陸から流れてきた木造家屋などが、倒壊を免れた他の建物にぶつかると、ごう音とともに水しぶきが上がった。

ばらばらの木片になる建物、燃えながら流される民家。波音や建物が壊れる音とともにプロパンガスの噴出音も聞こえ、2人とも「次第に言葉が出なくなった」（遠藤さん）。

水位はじわじわと上がり、屋上も水につかった。水面は一時、4人の足元約50㌢にまで迫った。

「もう、だめだ。死ぬな」。家族に形見を残そうと、青山さんは身に着けていたネクタイを支柱に結び付けた。

屋上に達した水は15分ほどで引き、夕方にはさらに水位が下がった。4人は3階に下り、四方の壁が残っていたトイレにこもった。座ると、衣服がぬれてさらに寒くなると思い、立ったまま夜を明かした。

女川町は女川港周辺にある3、4階建ての建物のうち、商工会館と女川消防署、観光施設のマリンパル女川を津波避難ビルに指定していたが、今回の津波で屋上まで水没しなかったのはマリンパル女川だけだった。

「高台に逃げろ」叫ぶ

町役場 直前まで無線放送

宮城県女川町中心部に津波が押し寄せている最中、町役場では2人の職員が防災無線で町民に避難を呼び掛けていた。役場庁舎の最上階、3階にある無線室が浸水するまで、放送は続いた。

気象庁が大津波警報を発令した3月11日午後2時50分ごろ、女川町企画課の臨時職員（当時、4月末で退職）の八木真理さん(36)は無線室に駆け込み、防災無線の放送を始めた。

「大津波警報が発令されています。沿岸部の人はただちに高台に避難してください」。警報発令に備えて用意していた原稿を手に、備え付けのマイクに向かって、繰り返し呼び掛けた。

放送を始めて約20分後、企画課防災係長の阿部清人さん(45)は庁舎2階にいた。海側の様子を眺めていると、沖にある高さ6㍍の防潮堤よりはるかに高い波しぶきが上がるのが目に入った。

すぐに、無線室に向かった。「大きな津波が押し寄せています。至急高台に避難してください」と放送用の原稿を替え、「余計なことは言わなくていい」と八木さんに伝えた。すぐさま、1階に駆け下りた。「全員、屋上に待避」。声の限り、職員に指示を出した。

無線室は庁舎西側にある。港の反対側に位置し窓からは海側の様子が見えない。「役場周辺の状況が全く分からず、すぐそばまで津波が来ていることも知らなかった」と八木さん。淡々と放送を続けた。

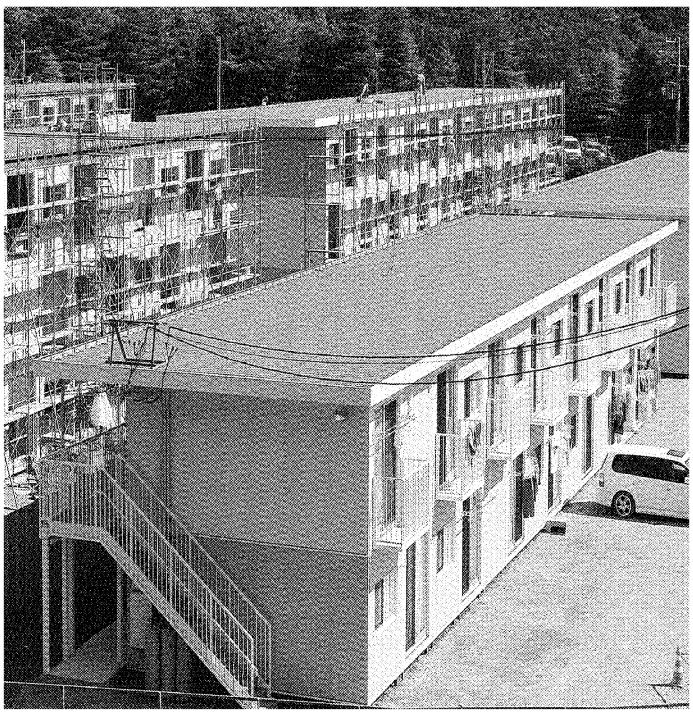
やがて役場も浸水し、2階に海水が上がってきた。阿部さんは再び、無線室に駆け込んだ。

「すごい水だ。放送を代わる」。八木さんは無線室を飛び出し、屋上に向かった。

阿部さんはマイクを握り、「高台に逃げろ」と2度、叫んだ。次の瞬間、無線室に海水が流れ込んできた。「これが最後の放送です」。阿部さんが次に言おうとした言葉を発する間もなく、放送機材と固定マイクが水没した。

阿部さんは腰まで水につかりながら無線室を出て、屋上にたどり着いた。職員ら当時庁舎内にいた約100人は屋上に逃げ、全員無事だった。屋上に登った最後の1人が阿部さんだった。

掲載日：2011年10月13日



宮城県女川町で2、3階建て仮設住宅の整備が進む総合運動公園町民野球場

2階建て仮設 待望の入居

宮城・女川 許可遅れ完成ずれ込む

3階建ては月内にも

宮城県女川町が建設を進める2、3階建て仮設住宅のうち、2階建て45戸が完成し、12日までに入居が始まった。

次男(45)と2階への入居が決まった木村トク子さん(72)は「隣部屋との間にちゃんとドアが付いていて、今まで見た仮設住宅の中では一番住みやすそう」と話し、待望の「新居」に満足そうだった。

県内で2階建て以上の仮設住宅が整備されるのは女川町だけ。平地が少なく、適地が見つからなかったため、町が総合運動公園町民野球場への整備を決めた。

2階建て、3階建てともに海外製の輸送用コンテナを複数組み合わせる工法で、間取りは1DK～3K。計12億4200万円かけ、合わせて189戸の建設を進める。10月初旬に全189戸の入居が完了する予定だったが、県の建築許可に時間がかかり、完成がずんだ。

3階建ては今月末成予定。階段の上りや階下への騒音対策め、体が不自由な人どものいる家族が優て1階に入居できる配慮するという。

掲載日：2011年09月19日

石巻

仮設団地 初の自治会

「笑顔で暮らせる場に」

仮設住宅団地内の自治形成の遅れが指摘されている石巻市で18日、市内で第1号となる自治会「仮設渡波第1団地自治会」(同市渡波、79世帯)の設立総会があった。約40人が参加し、会則や役員案などを承認した。市の担当者も同席し、今後のコミュニティーづくりに期待を寄せた。

市内では、131ある仮設団地のうち数カ所で自治組織設立に向けた準備会が発足した。だが、広い市域から移り住んだ住民同士で意見調整が難航するなどし、正式に自治会が発足した団地はなかった。

渡波第1団地では、市の要請に基づき7月、準備会を発足させた。全世帯を対象に8月7日に開いた住民集会では、市へ在り方をめぐって議論が盛り上がり、全出席者から自治会の早期設立を求める声が上がった。

設立総会では、自治会内に防災や福祉、環境など6部会を発足させることを確認した。準備会の段階から世話人を務めてきた自治会長辺見俊一さん(76)は「みんなが笑顔で暮らせる団地を目指したい」と話した。

女川町や南三陸町では、仮設団地の約半数で自治組織が発足している。石巻市の仮設団地では今月、死後1週間以上経過した男性の遺体が発見されており、住民間の見守りや団地内の交流促進を求める声が上がっていた。

市の担当者は「渡波第1団地を好例としながら、今後は別の団地でも組織づくりを本格化させたい」と語った。

掲載日：2011年10月21日

強い愛着 不便なんの

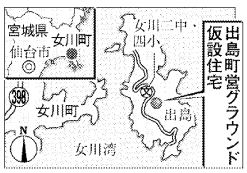
第3部 仮設暮らし⑥

「定住」「通勤」思い同じ

離島

これから ―大震災を生きる 22

地盤沈下で満潮時に冠水する出島港。インフラ復旧が遅れ、島の仮設住宅には空き部屋が目立つ＝15日、宮城県女川町の出島



宮城県女川町の離島出島（いずしま）。石巻市の避難所などに身を寄せていた阿部作雄さん（73）、嘉代子さん（66）夫婦は9月末、島に戻り、仮設住宅で暮らし始めた。

寺間地区にあった自宅は全壊した。所有する2隻の漁船は沖に出していて被災を免れたが、ホヤとホタテの養殖いかだはすべて流された。

復旧に多額の費用がかかる養殖業は諦めた。3人の子どもは仙台市や石巻市に住む。それでもあえて戻ったのは、生まれ育った島への愛着だ。

作雄さんは「一人でも多く残ることが、島の将来のためになる。人が住んでこそ、支援の輪も広がると思った」と、帰島を決めた理由を語る。

大半 高齢者

震災前、毎日6、7便あった島と女川港を結ぶ巡航船は週3回1日2便に減った。診療所は閉鎖。郵便局や県漁協出張所の再開見通しも立たってはいない。

「不便な島に戻ることはない」。子どもたちは猛反発した。嘉代子さんも迷った。「島にいれば何かしら生きがいは見つけられる。お父さんが元気でいてもらえるなら…」。最終的に島暮らしを了解した。

仮設住宅は島中央部の高台の出島町営グラウンドにある。42棟が建てられたが、入居しているのは30棟に満たない。

完成が9月中旬と遅かったこともあり、申込者の多くが島外の仮設住宅や民間住宅に入居した。津波被害を免れた家に戻った人を含め、約500人いた島民は100人以下に減った。

帰島した住民は60代以上が大半を占める。作雄さんは「若い人に戻ってきてほしかったが、いるのは私たち年寄りばかりだ」と苦笑する。

早起き必要

ギンザケ養殖を営む阿部孝博さん（32）は当面の間、島に戻らないことを決めた一人だ。

父喜太郎さん（84）、母正子さん（81）、妻由美子さん（32）、長男博希君（6）、次男孝信君（14）の6人暮らし。

女川町内に中古住宅を買い求め、ばらばらに避難していた家族がそろって住めるようになったのは、8月上旬のことだ。

孝信君が通う出島の女川二中は、町内の女川一中に間借りして授業を行う。震災前と同じ13人が通うが、島での授業再開のめどは立っていない。

高校生の博希君が住む予定だった石巻市渡波の下宿も流された。正子さんは仙台市内に通院が必要だ。孝博さんは「島に戻ることも考えたが結局、選択肢は限られていた」と振り返る。

養殖業の復活を目指す孝博さんはほぼ毎日、女川港に係留する自分の船などで出島に「通勤」する。震災前と比べ1時間は早起きしなければならない。海がしけれは、島から帰れなくなる不安も残る。

孝博さんは「漁師は自分の海の近くに住むのが本当は一番いいんだが、やる気さえあれば何とでもなる。島に通うのが不便だ何だとは言っていられない」と話している。

掲載日：2011年11月02日

女川町 心の悩み相談センター開設

被災住民の身近な存在に

震災で精神的な痛手を負った住民らの引きこもりや自殺を防ごうと、女川町は1日、「町こころとからだとくらしの相談センター」を開設した。

委嘱状を受け取る専門員

仮設住宅の集会所など7カ所にサブセンターを設置。保健師などの資格を持つ「ここから専門員」が常駐し、住民の交流を促すサロン活動の企画や悩み相談の窓口となる。

町地域医療センターなどと連携して年2回、全戸訪問を実施、住民の生活状況や健康状態を把握し、病気予防などに役立てる。

「仮設集会所に専門員が常駐」

町保健センターで開所式が行われ、専門員10人に委任状を交付。安住宣孝町長は「家族や財産を失った思いを推し量るのは大変だが、住民の身近な存在になってほしい」と呼び掛けた。

掲載日：2011年11月07日

3階建て仮設 入居開始 宮城・女川

144戸、全国で初

宮城県女川町で全国初の3階建て仮設住宅6棟計144戸が出来上がり、6日に入居が始まった。これで宮城県の仮設住宅は全てが完成。東日本大震災の被災地では、福島県を除き仮設住宅整備が完了したことになる。

2、3階建てともに貨物用コンテナを組み込んだ構造。

この日、町内の体育館から3階の部屋に家族5人で入居した会社員の勝又正樹さん(45)は、荷物を運び入れながら「待ちに待った入居。3歳の孫もいて避難所は手狭だった。ようやく家族で落ち着いた生活ができる」と笑顔で話した。

仮設住宅の3階の部屋に荷物を運び入れる女性。3階建ての仮設住宅は全国初＝6日午前、宮城県女川町

掲載日：2011年12月15日

再生の針路

点検・復興計画

5 女川町

用地確保 情報共有遅れ

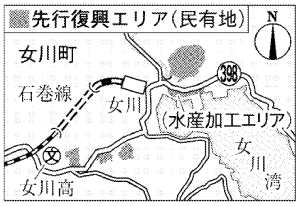
県内の自治体としては9月にいち早く復興基本計画を策定したものの、その後、町長選と町議選が行われた影響もあり、具体化が遅れていた。町は8日、高台移転用地など土地利用計画の原案を町議会に示した。

11月に就任した須田善明町長(39)は、住宅再建で必要な住宅用地は54㌶。浸水しなかった平たん地がほとんどないため、鷲神浜などの高台4カ所を「先行復興エリア」に設定。用地確保を急ぎ、造成に着手する。

4カ所の高台はいずれも民有地。数十人に上る地権者の同意をいかに円滑に得るかが事業推進の第一関門になるだろう。

浸水地域に関しては、5㍍以下のかさ上げで、想定される津波の高さを超えない場所に限って、住宅再建を認める方針だ。

高台移転とかさ上げには、防災集団移転促進事業や区画整理など制度が異なる複数の事業を導入する予定。須田町長は「手法の違いで住民負担が違ってくるのは避けたい」と話し、規制緩和など支援制度の見直しを国に求めたい考えだ。

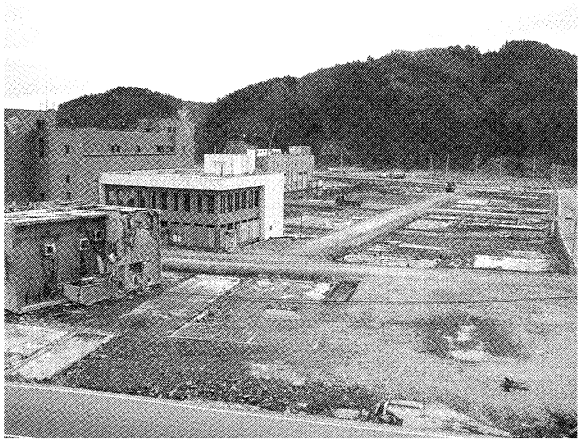


産業再生の拠点として、壊滅した水産加工場用地を女川漁港背後地に造成する。女川湾沿いの国道398号は海抜5・4㍍まで盛り土して防潮機能を持たせ、内側に商店街を復活させる。

町は近く住民説明会を開催する。会社社長の鈴木敬幸さん(60)は「被災住民は自分の土地がいくらで買ってもらえるのか不安がっている。肝心の情報が出てこないのが歯がゆい」と指摘する。

須田町長は住民との情報共有も公約の一つに挙げた。土地の買い上げに関する方針を国が明確にしない中、住民と意識を共有し復興を加速できるかどうかは不透明だ。

（石巻総局・大友庸一）



がれき撤去や被災した建物の解体が進む女川町中心部。倒壊したままのビルは災害遺構として保存を検討する＝女川町鷲神浜

復興計画の要旨

復興の目標期間は2018年度までの8年間。「安心・安全な港町づくり（防災）」「港町産業の再生と発展（産業）」など、五つの復興方針を掲げた。

町役場や消防署など主要な防災拠点が流失、機能を失った反省から、行政機能を高台に集約。町中心部の住宅地も高台に移し、再建する。

漁村集落は当初、6カ所に集約する考えだったが、住民の意向を受け、集落ごとに高台に移転する方針に転換。町営漁港12カ所のうち7カ所を拠点港に選んだ。

住民のひと言 集落ごとの移転 評価

離半島部の漁村集落を集約化せず、浜ごとに高台移転を進める方針に改めたことは評価したい。住民の中には、地元に残るかどうか迷っている人も多い。具体的な土地利用計画とスケジュールを早く示してほしい。

ホヤ養殖の再開準備と並行し、浜のがれき撤去の仕事で生活費を得ているが、収穫までには3、4年はかかる。それまで、どうやって生計を立てていくかが悩み。行政も知恵を貸してほしい。

（女川町竹浦・阿部次夫さん・60歳・漁業）

掲載日：2011年11月25日

在宅被災者の生活把握

石巻・女川 支援団体、聞き取り

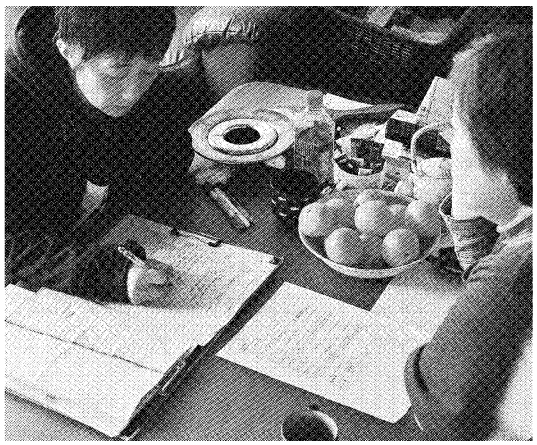
震災で甚大な被害を受けた石巻市周辺で、民間支援団体などが自宅で暮らす被災者を対象に、生活実態の聞き取り調査を行っている。在宅被災者の暮らしぶりは把握しにくく支援が手薄になりがちだとして、調査結果をデータベース化し、きめ細かいサポートに役立てるという。

調査しているのは、ボランティアグループ「チーム王冠」（石巻市）、在宅医療専門の診療所「祐ホームクリニック石巻」（同）を中心とする県内外の支援団体や医療機関。

石巻市と女川町の沿岸部を中心に11月初旬に始めた。看護師や介護福祉士らを含むスタッフが、調査票を手に被災者が住む家を一軒一軒訪問している。

家族構成、仕事、経済状況、移動手段、地域コミュニティーの現状などを質問。不安や悩み、健康状態の把握にも努めている。聞き取り結果に応じて医療、福祉、法律分野などの各種支援にもつなげる。調査内容は行政に問題提起するデータとしても活用する。

調査対象エリアの在宅被災者は3000～4000戸に上るという。全戸で年内に1次調査を終え、年明け以降は追跡調査を行う。対象エリアの拡大も視野に入れ、詳細な調査と分析を進めていくという。



在宅被災者（右）を訪ね、聞き取り調査を行うスタッフ＝石巻市渡波

掲載日：2011年12月29日

県12月推計

女川町 人口1699人減

基本台帳ネット復旧 震災後初の数値更新

県は28日、県推計人口（12月1日現在）を発表した。総人口は2万6698人（男1万3344人、女1万3354人）で前月比544人増となり、2カ月連続で増加した。

総人口232万6698人 前月比544人増

女川町の住民基本台帳ネットワークが復旧し、震災後初めて数値を更新。推計人口は8233人で、3月1日現在と比べ1699人減少したことが分かった。南三陸町は依然として復旧していない。

市町村別の増減をみると、減少したのは石巻市（1888人）、気仙沼市（76人）、塩釜市（75人）など27市町村。増加したのは仙台市（1117人）、大和町（100人）、富谷町（65人）など7市町だった。

県全体の自然動態は出生1518人、死亡1828人で前月比310人減。社会動態は転入7725人、転出6871人で854人増えた。

震災前の3月1日との比較では、総人口は2万1555人減。石巻市は1万90人、気仙沼市も4190人減少している。

南三陸町の被災状況と高齢者福祉

東日本大震災は、南三陸町に壊滅的な被害をもたらした。過去の被災教訓から津波に対する防災意識の高かった町だが、大津波は容赦なく押し寄せた（25ページ参照）。

町のまとめでは死者444人、行方不明者349人（うち死亡届提出251人）に上った（町震災復興計画を策定した昨年８月末現在）。建物被害は全壊が3166棟、大規模半壊が91棟、半壊が54棟。被災率は実に61・1％にも上る。生活インフラの被害も甚大で、上水道や電気の復旧に長期間を要し、町民の生活再建のおもしになった。

佐藤仁町長も被災して九死に一生を得た。町防災庁舎や町役場をはじめ行政機能はほぼ壊滅。基幹産業の水産業関連施設、観光施設も失い、町はゼロから出直す覚悟での復旧・復興を目指さざるを得ない。集団避難先は町内６カ所、町外50カ所に及び、最大で町民の７割を超す１万2427人が避難生活を送った。

生活、産業の基盤を失った南三陸町から人口の流出が止まらない。同町の住民基本台帳ネットワークが復旧した結果を受けてまとまった県の推計人口（今年１月１日現在）では、南三陸町は１万5141人と、震災前と比べて2237人も減少した（39ページ参照）。

町が被災住民を対象に住宅の移転や再建について調査した中間集計では、町外移転を希望するとした回答が583世帯（回答世帯の17・7％）に上った（39ページ参照）。復興が遅れると、人口流出はさらに深刻化する可能性もある。町外移住が17％強になったことに対し、佐藤町長は「厳しい数字だ」と重く受け止めている。

南三陸町を襲った津波は、高齢者や生活弱者の命を守るはずの病院や福祉施設にも甚大な被害を与えた。公立志津川病院（東棟４階、西棟５階）では津波が４階まで達した。入院患者107人のうち72人が死亡・行方不明となり、看護師と看護助手３人も犠牲になった（29、30ページ参照）。

入院患者の多くは自力歩行が困難な65歳以上の高齢者だった。病院スタッフは懸命に避難誘導や救出に努めたが、限界があった。何度も押し寄せる波と強烈な引き波が犠牲を大きくした。「目の前に患者がいるのに何もできない」。医師らは無力感と絶望感を感じながらも、助かった患者を他の病院に全員搬送するまで見守り続けた。

南三陸町志津川の高台にあった特別養護老人ホーム「慈恵園」は、さらに高台へ入所者を避難させようとしているさなか、津波に襲われた（28ページ参照）。入所者とショートステイ利用者の計67人のうち46人が死亡、２人が行方不明となり、職員も１人が亡くなった。要介護度が高い人たちを車に乗せて移送するのに手間取り、全員を救出できなかった。

ほぼ全壊した公立志津川病院は昨年４月18日、町総合体育館敷地内の仮診療所で外来診療を再開した（27ページ参照）。さらに６月、「新病院建設まで病床を確保したい」という町の意向を受けて登米市よねやま診療所の病床を借り、38床の「間借り病院」を構えた。

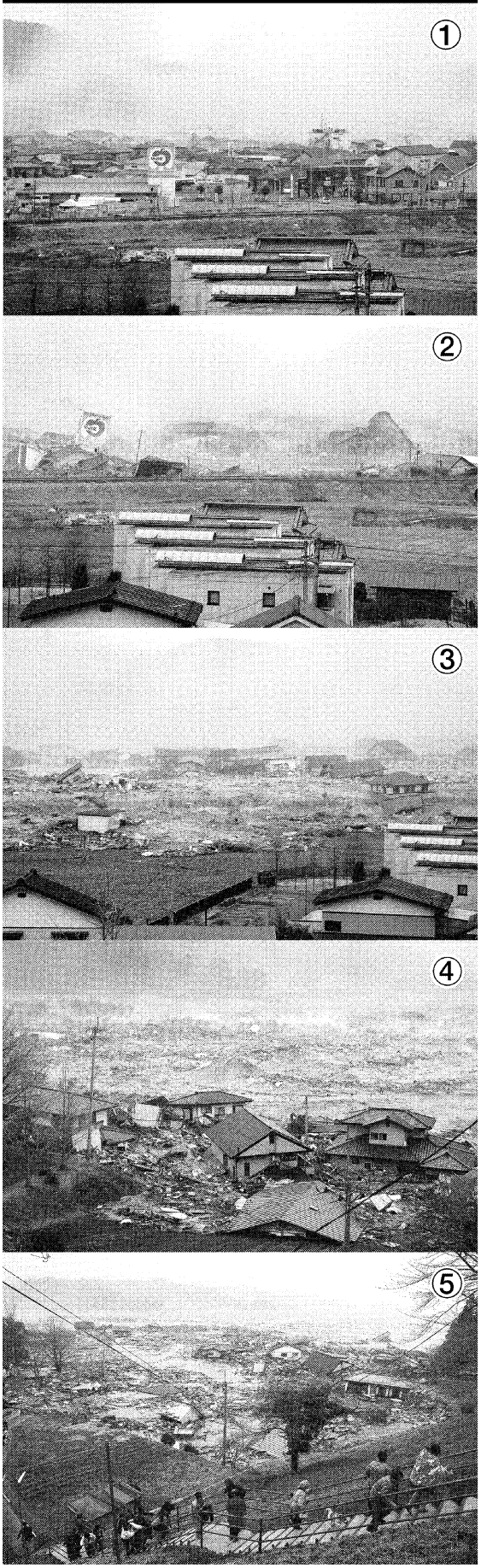
町は復興計画の中で、地域医療の核である志津川病院を、復興後の環境に合わせた適正規模や機能の在り方を踏まえて早期再建する方針を打ち出している。しかし、医師と看護職員の離散が加速するという厳しい現実も被災地にはある。医師は複数施設の勤務を掛け持ちするなど激務を続けており、南三陸町は仮診療所と間借り病院を運営するだけで綱渡りの状態だ。

町と国立長寿医療研究センターが昨年10～11月、全町民を対象に健康状況調査を実施したところ、65歳以上の高齢者で「生活不活発病」の疑いが2割を超えることが分かった（38ページ参照）。長時間体を動かさないことで日常動作が困難になる症状であり、災害時の高齢者に起こりやすいとされる。症状を悪化させないようなサポートが急務となっている。

町は高齢者福祉について、自立生活を支援する体制を早期に構築、心理面での変化に気を配り、メンタル支援に取り組みながら、孤立を防ぐ支援にも努めるとしている。マンパワーが不足する現状に配慮し、住民同士で助け合い、支え合う地域づくりも求められている。

掲載日：2011年03月13日

南三陸町に押し寄せる津波



①宮城県南三陸町志津川の中心部に後方から津波が迫る②津波の直撃を受けて家やスーパーの看板が傾く③建物が海原を漂うように手前に押し流される④高台のふもとまで押し寄せた⑤一瞬にして変わり果てた町の姿を高台に避難した町民がぼうぜんと眺める＝11日午後3時35～37分

掲載日：2011年03月26日

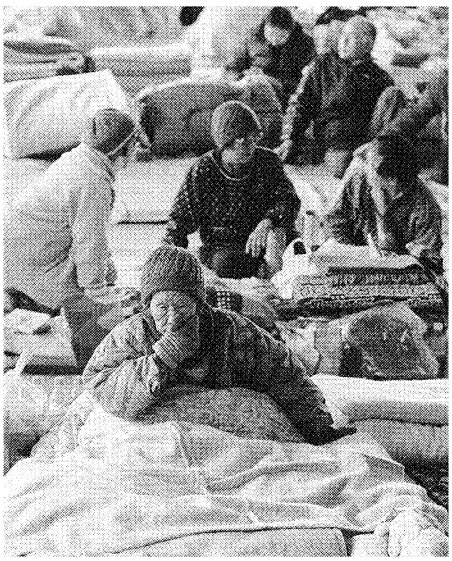
移住で生活立て直し／古里なお離れがたく

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた宮城県南三陸町に、県内外の自治体から被災者受け入れの申し出が相次いでいる。町は仮設住宅が完成するまで町外移住を勧める方針で、26日に説明会を開く。現実味を帯びてきた一時疎開。町民の間には、生活再建への歓迎と、古里を離れることへの悲哀が交錯する。

揺れる町民

宮城・南三陸

7市町に疎開検討 きょう説明会



一時疎開か、古里にとどまるか。町民の思いは揺れる＝25日午後0時30分ごろ、南三陸町の歌津中

町によると、疎開先の候補となっている自治体は25日現在、栗原市や山形県庄内町など7市町。受け入れ数は計3400人に達する。生活拠点となるのは民間の温泉宿など。入居期間はおおむね4月から半年間。

避難生活を送る町民は9400人。説明会は町総合体育館など8会場で開き、町は家族のプライバシーが保てるなど、移住のメリットを示す。

移転を望むかどうかのアンケートも実施。集落単位の移住を優先し、移転先の選定に入る。

同町は津波で住宅の7割が流失。佐藤仁町長は「仮設住宅が完成したら迎えに行く。それまでの間、より良い環境で生活してほしい」と話す。

一家5人で避難生活をする金野舞さん(27)は「小さい子どもがいて、集団生活は気を使う。家族水入らずの時を過ごしたい」と歓迎する。

一戸惑いの声もある。佐藤けいさん(88)は「知らない土地で暮らすのは寂しい。粗末な家や食べ物でいいから、住み慣れた町に残りたい」とためらう。

被災地の復興に詳しい高崎経済大の桜井常矢准教授（地域づくり教育）は「コミュニティーを分散させないため、集落や町内会単位の移転が望ましい。移転した町民が復興に携われるよう、地元情報を常に提供することも必要だ」と指摘する。

（水野良将）

掲載日：2011年04月02日

郷土再興 2

津波被災 首長に聞く

水産業の復活に全力

南三陸町

佐藤　仁町長（59）

死者357人
不明900人

主な被害状況（3月31日現在）　死者357人、届け出があった行方不明者約900人。被災戸数は3877戸で被災率は69・6％。避難者は45カ所に9500人。ライフラインは、戸倉荒町の一部で電気が復旧しただけ。上水道は全域で復旧してない。

ゼロから見直し

―町長自身、町総合防災庁舎で津波被害に遭い、骨組みだけになった建物で一夜を明かした。

「目の前に津波が押し寄せた時は、言葉を失った。多くの町職員が行方不明になった。残った職員に『町の復興は俺たちに託されたんだ。頑張れ』と励ました。夜が明けて安心した半面、壊滅した町を見るのが怖かった」

―町は宮城県沖地震を想定して防災対策を立てていた。今後の備えはどうするのか。

「ゼロからの見直しだ。防潮堤を基本とした町づくりは不可能と痛感した。専門家もこれほどの被害に無力感を感じている。市街地をどこに置くかを含め、抜本的に見直さなければならない」

「町に残るべきかどうか、悩んでいる町民もいる。復興の道筋となるグランドデザインを考える。国の概算要求に間に合うよう、基本的な計画は8月をめどに立てなければならない。町民に安心してもらうためにも、なるべく早く示したい」

―水産加工や観光産業の復活のためにも、基幹産業である水産業の復活は欠かせない。

「海の恐ろしさが津波被害をもたらした。それでも恵みの海は残っている。町は沿岸と養殖漁業がメーンだ。9月に秋サケ漁が始まる。サケが帰れば、加工業が始まり復興の基盤になる。船が残った人は、ウニやアワビ漁もできる。ワカメが始まれば来年初めには現金収入になる。再起へ立ち上がった漁業者もいる。地域再生の鍵は一括して買い上げ、漁業者に貸し出すなどすれば高い補助を受けることができる。いずれも国の支援が不可欠だ」

―公立志津川病院の再建は。

「建物や機器が損壊し、再建しなければならない。全国から医療団が来ているが、早い段階で機能回復を目指したい。地域の医療拠点は守る」

力蓄えてほしい

―全国から支援が寄せられている。

「心配して訪ねてくれる人が大勢いる。大事にしたい。これまでに培ってきたネットワークが生きた。一緒に励ましのメッセージも寄せられ感謝している」

―約1100人の町民が3日、県内4市町に集団避難する。

「町を離れるつらさは分かるが、電気や水道が復旧しない状況でいいのかという思いがある。環境の整った場所で立ち直る力を蓄えてほしい。今後も説明は続けたい」

―町民へ伝えたいことは。

「町を挙げて復興に向けて頑張る。いまは『忍』の一字だ。集団避難で町を離れる人、町外の親戚宅に身を寄せる人、町内に残る人、皆が南三陸町民だ」

（聞き手は渡辺龍）

掲載日：2011年04月19日

宮城・南三陸病院
志津川病院

外来診療が本格再開

点在施設に渡り廊下新設

東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町の公立志津川病院が18日、町総合体育館敷地内の仮診療所で外来診療を本格的に再開した。地域医療の拠点の復活に住民は安堵（あんど）している。

診療に先立つ開院式で、佐藤仁町長は「復興の一歩を踏み出すこと ができた。住民の健康管理の要として、心新たに頑張ってほしい」と医師や看護師を激励した。

仮診療所は、現地で10日まで活動していたイスラエルの医療チームが設置したプレハブ施設と機器を活用する。町は点在するプレハブを結ぶ渡り廊下を新設した。

15日に眼科、耳鼻科、皮膚科の診療を始め、18日は内科、外科、小児科、歯科が再開した。内科を受診した同町志津川の石田てるさん（76）は「長年お世話になった病院なので再開はうれしい。病院が身近にあるのは安心」と話した。

志津川病院は津波で鉄筋コンクリート4階と5階の2棟がほぼ全壊し、町は各避難所と仮診療所を結ぶバスの運行や、歌津地区に分院機能の施設を置くことを検討している。

本格的な診療再開初日から多くの患者が訪れた公立志津川病院の仮診療所＝18日午前9時ごろ、宮城県南三陸町

掲載日：2011年06月06日

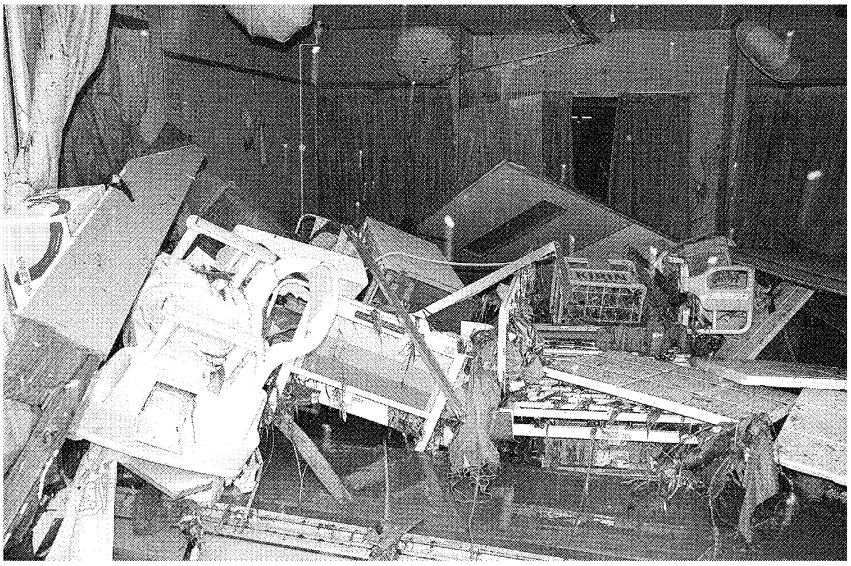
車いすに波 容赦なく

高齢者46人が犠牲

（宮城・南三陸）

宮城県南三陸町志津川の特別養護老人ホーム「慈恵園」は、志津川の中心部を一望できる高台にある。棟続きの町社会福祉協議会の施設は、津波など災害時の指定避難場所でもあった。南隣のさらに高い場所にある志津川高に高齢者を避難させようとしているさなか、大津波は車いすを押す職員と、まだ入所者らが残っていたホームに襲い掛かった。入所者とショートステイ利用者計67人のうち46人が死亡、2人が行方不明になり、職員も1人が亡くなった。

高台の施設「まさか」



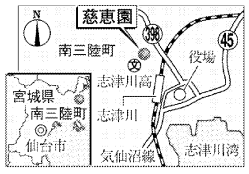
津波被災直後の特別養護老人ホーム「慈恵園」。ベッドや棚などが散乱し、電灯から海水がしたたっていた＝3月11日午後4時20分ごろ、宮城県南三陸町志津川

ドキュメント大震災 その時 何が 20

3月11日午後3時半、特養ホーム「慈恵園」の駐車場。津波がJR志津川駅そばのスーパーの大看板をゆっくりとなぎ倒すのが見えた。ホームまでの距離は約500㍍。

「（志津川）高校に行って」「早く逃げて」

職員たちは押せるだけの車いすを押して走りだした。ホームは標高約15㍍の高台にあり、南隣の志津川高はさらに20㍍以上高い場所にある。



施設長佐藤喜久子さん（65）も車いすを押して志津川高に急いだが、高台に続く階段手前の坂道で車輪が止まった。押しても押しても進まない。

家が流されるのが見えた瞬間、車いすとともに津波にのみ込まれた。ホームの裏山の方に押し流された後、渦を巻いた波で施設内に引き戻された。佐藤さんは必死に木材にしがみついた。「もう駄目かもしれない」。そう思った瞬間、すっと水が引き、床に足が着いた。

津波はホームの天井の下30㌢まで達した。気力を振り絞り、施設内で入所者を捜し、数人をベッドに戻した。「すぐ助けに来ますから」。声を掛け、さらに生存者の姿を捜した。

佐藤さんがひざの出血に気付いたのは、その日の夜遅くだった。

◇ ◆ ◇

「誰かいますかー」

志津川高に利用者1人を避難させた介護士星雅也さん（38）は、第1波が引くと同時にホームに駆け戻った。救出には志津川高の生徒たちも加わった。

星さんは、ホームの周囲に積み上がった高さ1㍍以上のがれきを乗り越え、2人を運び出した。3人目を捜していた時、悲鳴に似た叫び声が聞こえた。「また（津波が）来たぞー」「早く戻れー」。高校に駆け戻らざるを得なかった。

志津川高まで連れ出せた高齢者は28人。外は雪。その夜のうちに、寒さなどで8人が息を引き取り、搬送先の病院でも1人が亡くなった。

◇ ◆ ◇

高台にあるホームと棟続きの町社協の施設は津波災害の際、避難者の受け入れを担う。敷地内には地震発生直後から、近隣の住民が続々と避難。ホームのスタッフも慌ただしく利用者をホールに集め、毛布や保存食、飲料水の準備を始めていた。

相談員佐々木博美さん（50）は「一番心配したのは、余震で建物が崩れることだった。まさか、ここまで津波に襲われるとは」と振り返る。

施設長の佐藤さんは自問する。「津波が来ることが分かっていたとしても、全ての高齢者を避難させられただろうか」

移送手段は車しかない。スタッフは29人。当時ホームにいた高齢者67人の多くは要介護度4以上で寝たきりか、車いすが必要な人たちだ。車に乗せるのは2、3人がかりの作業になる。

町社協デイサービスセンターでも、津波で利用者9人が死亡、1人が行方不明になった。高齢者21人に対し、避難誘導に当たったスタッフは半数に満たない10人だった。

（門田一徳、渡辺龍）

掲載日：2011年06月07日

多数の入院患者と看護師が津波にのみ込まれた公立志津川病院。4階まで波が押し寄せた＝5月19日

75人死亡・不明 公立志津川病院

動けぬ患者 迫り来る水

「上がれ 上がれ」。シーツに包み、階段駆け上がる

海からの距離わずか400㍍の平地に立つ宮城県南三陸町の公立志津川病院。東日本大震災で入院患者107人のうち72人が死亡・行方不明となり、院内では看護師と看護助手計3人も波にのまれた。病院は東棟（4階）と西棟（5階）の2棟。津波は4階まで達した。入院患者の多くが自力歩行困難な65歳以上の高齢者だった。（吉田尚史）

誘導

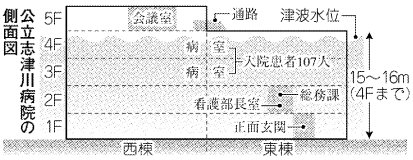
午後2時46分。強烈な横揺れに体を支えきれず、廊下の手すりをつかんだ。

東棟4階の看護師千葉志帆さん(34)は揺れを感じ、入院患者の安否確認に向かうため、ナースステーションを出たところだった。

「患者の上に物が落ちてこないよう中央にベッドを集めて。大部屋には1人ずついるように」。上司の指示で、看護師が手分けして病室を回る。

「ベッドを動かします ね。大丈夫ですよ」。千葉さんは402号室の患者に声を掛けた。

同じ東棟の2階では、看護部長星愛子さん(55)が看護部長室向かいの総務課に駆け込んだ。「対策本部は5階でいいんですね」。入院患者一覧と看護師のデータが入ったパソコンをバッグに詰め、最上階の西棟5階の会議室へ。黒板に患者の安否情報を書き込む準備を始めた。



「高さ6メートル」という大津波警報にさわついフロア。近隣住民が次々に建物に駆け込んでくる。「すみません、患者さんを先に上げます」。男性スタッフは叫び、入院患者を上階へと誘導した。

混雑

入院患者がいるのは東西両病棟の3、4階で、両棟は5階を除く各階が渡り廊下で結ばれていた。「津波想定時には3階以上に避難」という院内ルールだったが、医療スタッフそれぞれの判断で上階への搬送を開始した。

入院患者のほとんどが65歳以上の高齢者で、寝たきり状態。数人で患者をシーツに載せたり、車いすに乗せたり。患者を運び上げるのには労力と時間を要した。

「周りにいる患者さんをそれぞれが運んだ。いつ津波が来るのか分からない。優先順位を考える余裕はなかった」。内科医菅野武さん(31)が振り返る。

防潮堤を超えた波が迫ったのは午後3時半ごろ。1、2階の避難完了を確認した総務課長最知明広さん(51)は、窓の外に土煙を見て駆け上がった。ごった返す西棟3階戸際に立っていた。せり上がる波は、屋上へと向かう東棟4階の階段までに達した。逃げても逃げても、水が追ってくる。

屋上に出ると、4階から駆け上がってきた看護師の足元がぬれていた。

病院スタッフの懸命の避難誘導にもかかわらず、病室には多くの患者が残されていた。

東棟4階で女性の叫び声が響いた。「家が流されてる、もう駄目」。その絶叫を聞いたのは、4階で病室を回っていた看護師千葉さんだ。千葉さんが外を見ると、濁流は目の前のショッピングセンター手前まで来ていた。

千葉さんは叫び声がした405号室に飛び込み、とっさにそばにあった車いすに患者を乗せ、無我夢中で5階へ急いだ。「早く逃げなきゃ」

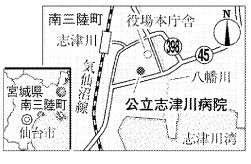
避難者をせき立て続けた後藤さんも、生死の瀬戸際に立っていた。せり上がる濁流は、屋上へと向かう東棟4階の階段までに達した。逃げても逃げても、水が追ってくる。

屋上に出ると、4階から駆け上がってきた看護師の足元がぬれていた。

病院スタッフの懸命の避難誘導にもかかわらず、病室には多くの患者が残されていた。

25面に関連記事

証言 3.11大震災



事務職員後藤正博さん(48)が脳裏に焼き付く記憶をたどる。「高齢者は階段を上がるにも足がついていかない。懸命に尻を押し、引きずり上げた」。逃げ込んだ住民ら約120人の誘導と入院患者の搬送が重なり、階段は混雑を極めた。

濁流

掲載日：2011年06月07日

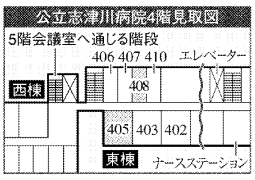
スタッフ死も覚悟

公立志津川病院

身元用 腕に自分の名

証言 3・11大震災

1面に関連記事



宮城県南三陸町の公立志津川病院は、津波に襲われながら、入院患者42人を避難させる。死も覚悟したスタッフたちは、第1波が引いた後にも壮絶な救出劇を繰り広げていた。

◇

東棟4階408号室。病室の扉が開くと、廊下から水がザーッと流れ込んできた。自力歩行も困難な入院患者西城俊彦さん(69)が必死で扉に手を掛けていた。

「まずい、これでは看護師さんは来られない」。西城さんはとっさに扉を閉めた。看護師が「今、車いすを持ってきますからね」と言い残して出ていってから、しばらく時間がたっていた。

徐々に病室の水かさが増す。浮き上がる体、近づく天井。カーテンレールにしがみついた。

津波は、対策本部を置いた西棟最上階の5階会議室の一歩手前まで迫った。死を覚悟した看護師は自分の身元が分かるよう腕にペンで名前を書いた。医師の一人は、普段は治療の支障になると言って外していた結婚指輪を財布から取り出し、自分の指にはめた。

第1波が引いたのは、波が押し寄せてから約30分後の午後4時ごろ。強烈な引き波が、さらに悲劇を招いた。

運びきれなかった患者が電動ベッドごと海に向かって流される。「見るなーっ」。誰かが叫ぶ。

「目の前に患者がいるのに何もできない」。内科医菅野武さん(31)は無力感と絶望感を感じていた。

対策本部で事務職員後藤正博さん(48)は、妻の看護師弘美さん(40)がいないことに気付き青ざめる。「うそだべ」

水位は4階で膝ぐらいまでに下がっていた。「ひろみーっ、ひろみ！」。東棟屋上から4階に下り、妻の姿を必死に探した。妻は見つからない。

病室で生きている患者を発見し、「誰か下りてきてくれ」と声を張り上げた。

内科医の菅野さんも周囲の看護師らに呼び掛けた。「今だったら行ける。患者を見殺しにしたくない」。泥水に漬かりながら、生存者を捜しに4階へ下りた。

「先生、ここにいます！」。看護師が声を上げる。逆さまになったベッド。引きちぎられた医療器具。病室の惨状は津波の猛威を物語っていたが、それでも天井までは達していなかった。うめき声が響く中、患者10人ほどを救い出した。

「おーい、ここにいるぞ、歩けないんだ」。408号室で助けを求めた西城さんも救出された。

後藤さんの妻弘美さんは今も行方不明。ほかに看護師1人、看護助手1人が犠牲になった。

救った命、失った命…

「すべて受け止めきれぬ」

避難者と患者、医療スタッフであふれる西棟5階会議室の対策本部。42人の入院患者は段ボールの上に寝かせた。スタッフはぬれた衣服を脱がせ、カーテンや新聞紙でとにかく暖めるが、患者の震えは止まらない。

「苦しい、寒い。どうにかして」「酸素、酸素…」。外は雪が降る寒さ。患者7人が次々と息を引き取った。医療機器はない。波をかぶった患者は低体温や窒息による低酸素で亡くなったとみられる。菅野さんは「酸素、点滴、電気があれば…」と唇をかむ。

看護師たちは「頑張りましょうね」と声を掛け、患者のそばに寄り添って暖め続けながら夜明けを待つしかなかった。

診療エックス線技師らと患者の救助に当たった院長職務代理桜田正寿さん(54)は、津波が引いた後の胸中をこう振り返る。「救った患者がいても、失った患者が数多くいるという現実。安堵(あんど)感なんて、ちっともなかった」

自衛隊の救助ヘリが屋上に到着したのは翌12日の昼すぎ。患者を石巻赤十字病院に繰り返し搬送したが、すべての患者を運びきれず、残った患者と医療スタッフはさらに一晩を会議室で過ごした。

最後の患者数人を搬送し終えたのは、3月13日の午前中。患者とともにヘリに乗り込んだ菅野さんは病院を眼下に見た時、こみ上げる感情とともに涙が流れた。

「患者を運び終えたということ、そして自分が生きていること、今まであった街が打ち砕かれてなくなっていること。すべてが入り交じり、すべてを受け止めきれない奇妙な感情だった」

叫び声を聞いて看護師千葉志帆さんがとっさに飛び込み、患者を運んだ東棟4階の405号室。波は目前まで迫っていた

掲載日：2011年06月09日

氷点下の寒さ追い打ち

非情の雪、無情の星空

（宮城・南三陸町）

3月11日夕、東北の震災被災地では広い範囲で雪が降った。津波でずぶぬれになった人、建物の屋上で救助を待つ人…。暖が取れない状況の下で、冷たい雪は多くの人の目に「非情の雪」と映った。天候は夜には回復し、満天の星空が広がったが、それもまた「無情の星空」。放射冷却で翌朝にかけて厳しく冷え込み、多くの命を苦境へと追い込んだ。

津波の後、雪が降り積もった被災地。寒さに奪われた命も少なくない＝3月11日午後4時ごろ、宮城県南三陸町

低体温症 命奪う

ドキュメント大震災 その時 何が 22完

皆、寒さでガタガタと震えていた。唇は紫色で顔面は蒼白（そうはく）。外は雪。低体温症の症状だった。

「震えがひどく、自分で思うように動けない人もいた。3人がかりで着替えさせた」

宮城県南三陸町の公立志津川病院の看護師佐藤のり子さん（52）は、目の当たりにした低体温症の怖さを思い起こす。

海岸から距離約400㍍に位置する同病院は津波に襲われ、水は4階まで達した。全身ずぶぬれになったり、横たわったまま水に漬かって半身が泥まみれになったりした患者も多かった。

浸水を免れた西棟5階会議室には、入院患者42人と病院スタッフ約80人、駆け込んだ近隣住民約120人の計約240人がいた。

看護師らは5階の限られた物資で、患者の体温を保つ工夫を重ねた。ぬれた衣服を脱がせてタオルで包み、新聞紙を体に巻いた。ゴム手袋もはめさせた。床には段ボールを敷き、体を寄せ合うように寝かせた。毛布代わりに介護用おむつと、外したカーテンを掛けた。

「体を温めてあげたくても電気も火もない。あったけの物で、できる限りのことはしたんです が…」と佐藤さん。

必死の措置もむなしく、12日午後に救出ヘリが来るまでに、患者7人が低体温症などで息を引き取った。

◇◆◇

石巻市大街道小でも、女性1人が低体温症とみられる症状で亡くなった。東松島市野蒜小でも多くの人がぬれた服のまま避難。割れた窓から吹き込む冷気が体温を奪い、お年寄りらが次々と低体温症で死亡した。

宮城県警が震災から1カ月後にまとめた県内犠牲者8015人の死因によると、低体温症を含む「その他」が58人いた。

あの日の冷え込み、その後の停電や燃料難による暖房の欠如…。過酷な寒さが地震や津波から取り留めた命を死のふちに追いやったのも、この震災の特徴だ。

◇◆◇

仙台管区気象台によると、東北太平洋側各地の気象データは震災後、津波被害や停電の影響で入手できなくなった。宮城県内で唯一切れ目なくデータが残る仙台は11日午後、断続的に雪を観測。第1波襲来後の午後4時半前後は見通しが利かないほどの強さになった。

多くの証言によると、宮城県沿岸の各地は同日夕、雪に見舞われた。夜は西から高気圧が張り出し、東北は広い範囲で晴れた。

気象台は当時の天気図から「12日朝は放射冷却で津波被災地は軒並み氷点下2～3度。被災者には厳しい気象条件だった」と推測する。

志津川病院の看護師畠山啓子さん（53）には二つの「もし」が交錯する。

「もし、もう少し暖かかったら助かった人もいたかもしれない。でも、もし阪神大震災のような真冬だったら、もっと大変なことになっていた」（大泉大介）

◇

「その時 何が」は今回で終了します。ドキュメント大震災は、テーマを変えて今後も継続します。

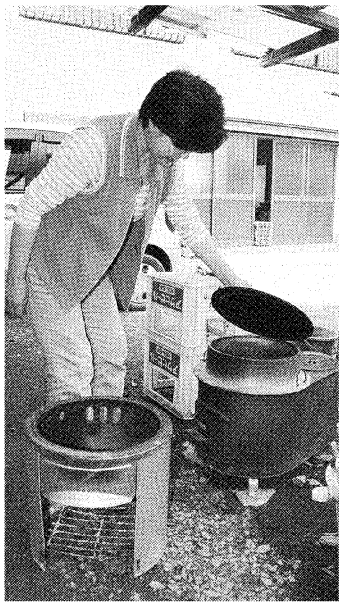
掲載日：2011年06月10日

自宅で苦闘

宮城・南三陸
寝たきり 連れてゆけぬ
食料届かず焦る日々

東日本大震災の発生から11日で3カ月。地震や津波の被害を受けながらも、自宅を離れられなかった「在宅被災者」に、公的な支援は少なかった。被災者たちは、食料や水の調達など多くの苦難を乗り越えてきた。

1面に関連記事



米粒は白く光り、抜群のおいしさだった。

「涙が出そうだったよ」。宮城県南三陸町戸倉の後藤さえ子さん(59)は、訪ねてきた秋田県のボランティアからもらった、おにぎりの味が忘れられない。

海まで約200㍍の高台にあった自宅は玄関先まで津波が押し寄せたが、奇跡的に難を逃れた。地区のほかの家は大半が壊滅。住民らが避難所に身を寄せる中、後藤さんは夫(63)とともに自宅にとどまった。

「96歳の寝たきりの義母を、避難所には連れて行けなかった」

近くの川に水をくみに行き、まきをくべて釜で米を炊いた。慣れない作業で、べちゃべちゃしたご飯にしかならなかった。冷蔵庫にあった魚や肉も1週間ほどで尽きた。

同じころ、避難所に物資が届き始めたが、量は少なく、住民らは互いに持ち寄った米や漬物でしのいだ。秋田のボランティアが訪ねてきたのは、このころだ。「当時は生きた心地がしなかった」と振り返る。

2週目に入ると物資の量が増えてきた。町の指定避難所に届いた物資は地区の自主避難所にも分配され、後藤さんも受け取ることができた。

電気は震災から2カ月近くたった5月上旬、簡易水道も6月に入ってやっと復旧。ようやく生活が落ち着いてきた。

避難所で物資が余り気味だという話を最近、よく聞く。「本当に欲しい時には、なかったけれどね」。後藤さんはつぶやいた。

石巻
母は通院 店は再開未定
水上生活 情報過疎に

石巻市水明南1丁目の鮮魚店経営菊地秋男さん(60)は妻みはるさん(58)と相談し、自宅にとどまることを決断した。人工透析を受ける母親(90)が、避難所の暮らしに耐えられるかどうか不安だった。

地区一帯は、旧北上川をさかのぼった津波が堤防などから漏れ出して浸水。菊地さんの店は保冷庫や商品棚などが流されたが、店と棟続きの自宅は床下浸水にとどまった。水が引くまで4日間、「水上生活」を送った。

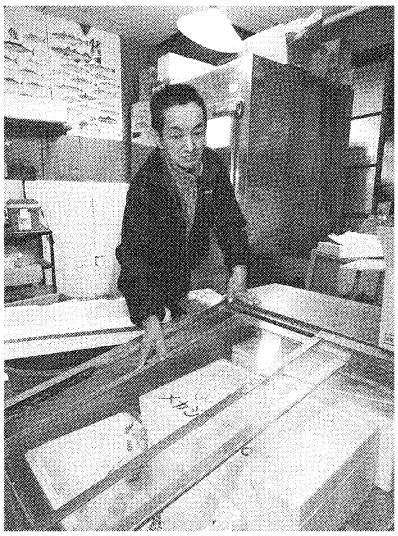
避難所には行かなかったので、避難所でどんな支援が得られたのかは、想像もできない。

母親の通院や食料、水の調達には幸い、浸水を免れた車を使うことができた。煮炊きにはストーブを使ったが、ガソリンや灯油が入手しにくい状態が続き、「毎日、ハラハラし通しだった」という。

電気が約1カ月間も途絶える中で、困ったのは情報の入手。ラジオが頼りで、身近な施設の復旧見通しなどの確かな情報がなく、不安と心細さがこたえた。

店のシャッターはこの3カ月、一度も開けていない。生活再建には、やはり本業の再開が不可欠だ。店舗の改装が済めば、店頭販売も始められるが、業者は復旧工事の依頼が殺到し、いつ改装できるのか、まだ見通しが立たない。

「年内に営業再開できれば…。石巻は水産の街、魚の街だから、頑張らないと」と菊地さん。まだ浸水の跡が残る店舗で片付けに追われている。



被災後、支援が届かない自宅で過ごしてきた菊地さん
＝石巻市水明南１丁目

在宅被災者置き去り

焦点

3・11大震災

掲載日：2011年06月24日

再生の針路

被災市町3ヵ月

10 南三陸町

秋ザケ漁前に仮設市場

佐藤仁町長

わが町は漁業が基幹産業だ。海が悲しい爪痕を残したが、豊かな恵みの海は目の前に残る。

県内一の水揚げ量を誇る秋ザケ漁が始まる9月ごろまでに、仮設市場の建設を完了させる。養殖漁場も適正化を図り商品価値を高めたい。水揚げが戻れば、水産加工業も再開し雇用が生まれる。

市街地は壊滅し、地盤沈下も著しい。津波浸水域に住むのは難しい。復興基本方針案は「職住分離」が柱だ。高台に住宅や新たな市街地を築き、津波被害を受けた平地は水産加工場などの産業施設や観光施設を置く。

いずれも巨額の費用が必要となる。津波浸水地域の国有化や高台造成の国直轄事業化など国の支援が不可欠だが、国会ではようやく復興基本法が成立したばかり。国の動きは遅すぎる。

復興計画では「復旧、復興、発展」の時期を重ねスピードを重視した。復興の光が早く見えれば町民に希望が生まれる。

町民会議や地域懇談会で意見を積極的に集め、文化や風土、コミュニティーを生かした町づくりを協働で行っていく。

防災計画は一から見直し、どんな災害でも命を守る複合的な計画を目指す。16㍍の津波が来たから17㍍の防潮堤を造ると津波の恐ろしさを後世に伝える責務もある。被災施設の保存も含め議論し津波に遭わない三陸道の早期整備も推進する。

（聞き手は渡辺龍）

復興スケジュール

5月初旬に復興対策本部を設置した。役場内に震災復興推進課を新設し、県などの応援を含む職員7人を配置した。

復興計画は「復旧期」（11～13年度）、「復興期」（12～17年度）、「発展期」（14～20年度）と期間を重ね、10年間での早期復興を目指す。

10日に町震災復興計画策定会議を開催し、復興基本方針を示した。町民会議や地域懇談会で町民の意見を集め、9月には基本計画をまとめる。

町の慰霊祭は、震災から半年後の9月にも開く予定。

被害まとめ

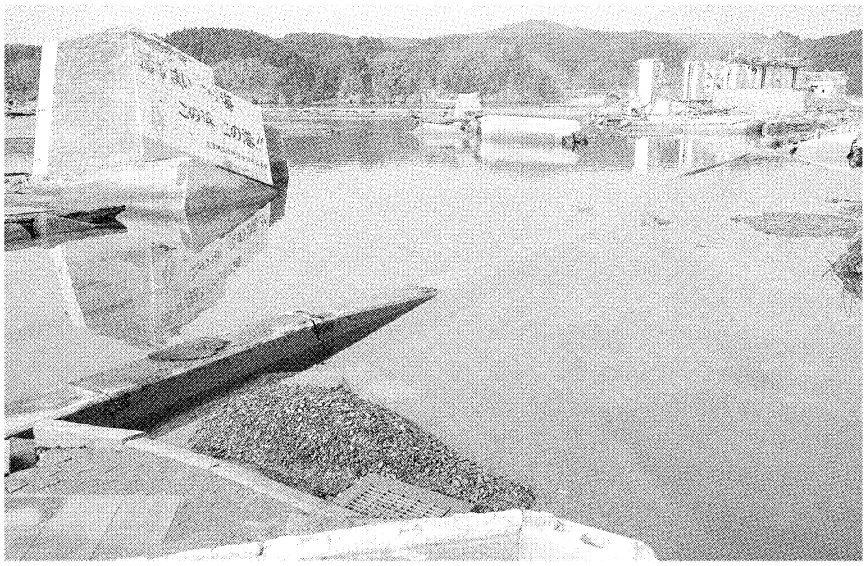
南三陸町が22日までにまとめた被害状況によると、死者は542人、行方不明者は664人に上る。建物被害は全壊が3166棟、大規模半壊が54棟。被災率は61・1％。

町内の避難所や集団2次避難先は25カ所で、2697人が身を寄せる。町外は県外を含む55カ所で、1832人が避難生活を送る。

電気は町内全域で復旧。上水道は被害を受けた水源の塩分濃度が高く、別の水源を確保して飲料以外で使用する仮通水が町内85％の地域で完了。遅れていた志津川地区の水尻川南側の仮通水も今週中に始まる。

名足小は伊里前小に、戸倉小、戸倉中は登米市の旧善王寺小に、志津川高は登米市の上沼高と登米高に一時移転した。町立2保育所は志津川保育所で合同保育を行っている。

仮設住宅は、申し込み数2045戸に対し1638戸の建設が決まり、既に1233戸が完成した。民有地35カ所も活用した。町独自でも50戸を建設する。民間賃貸住宅の仮設扱い分は登米市を中心に312戸。



防潮堤が破壊され地盤沈下した町中心部。高台移転を柱とした大規模な復興策が求められる＝4月8日、南三陸町志津川本浜町

掲載日：2011年07月31日

再生の針路

熱論・復興計画

3 南三陸町

「職住分離」柱に据える

「自然・ひと・なりわいが紡ぐ安らぎと賑（にぎ）わいのあるまち」が基本理念。理念実現のため三つの基本方針を定めた。町と地域が力を合わせ協働で取り組んで町づくりを進めている。

有識者で構成する「震災復興計画策定会議」や公募で選ばれた町民や産業団体代表からなる「震災復興町民会議」がこれまでにそれぞれ2回の会合を開き、復興計画策定に向け議論を重ねる。

土地利用などについて意見を聞く地域懇談会は7月下旬に町内外23カ所で開催した。佐藤仁町長は「町民が抱く町づくりの夢は復興施設を置く「職住分離」が復興計画の柱となる。集落を個別に高台移転する案と、集約して移転する案、2案の折衷案の3案が示されている。地域懇談会には基本計画をまとめる。

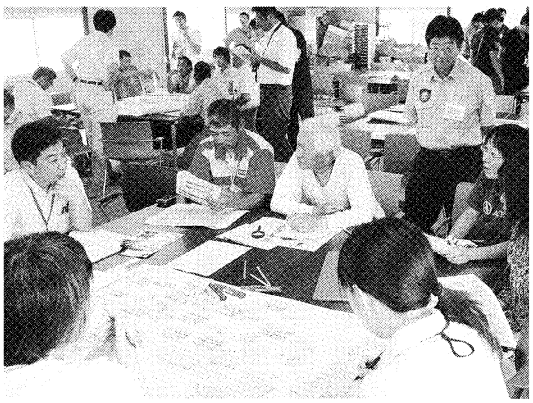
南三陸町は約7割の建物が被害を受けた。高台に住宅を設け平地に産業、観光に参加した町民からは費用面を懸念する意見や漁業者が海から離れた場所に住む不安などが出された。

復興計画の期間は20年度までの10年間だが用地確保や防災機能の復旧の「復旧期」（11～13年度）、産業基盤を整備する「復興期」（12～17年度）、観光展開などの「発展期」（14～20年度）と期間を重ねスピードを重視した復興を目指す。

策定会議の答申や町民会議の提言書を受けて9月

復興計画の骨子案

①職住分離などの命を守る土地利用や交通、医療の整備を掲げた「安心して暮らし続けられるまちづくり」
②自然エネルギーを活用したエコタウン構想や大震災の教訓を後世に伝え防災に取り組む「自然と共生するまちづくり」
③水産業の早期再開や農地再生など雇用の創出と観光業の復活による交流人口拡大を目指す「なりわいと賑わいのまちづくり」



土地利用や産業復興について町民の意見を聞いた地域懇談会＝25日、南三陸町役場

検討委員から一言

造成 自然への配慮必要

大泉　一貫 宮城大事業構想学部長

「命を守る」をテーマに取り組んでいる。基幹の水産業を浜に置き、住居は高台に構える職住分離が基本だ。住民の多くが津波の恐ろしさを体験しており、同意は得られると思う。戸数の多い志津川地区中心部の移転が課題だろう。将来の人口を見据えた議論も欠かせない。農林漁業と観光業をミックスした産業で復興を期す。高台造成も自然・環境に配慮した手法が求められる。（南三陸町震災復興計画策定会議委員長）

掲載日：2011年08月14日

孤立防止に半鐘活躍 南三陸の仮設

南三陸町戸倉水戸辺の仮設住宅で、大破した消防ポンプ車の半鐘が「集合」の合図として活躍している。

「カーン、カーン」。入居する17世帯のまとめ役、漁業松岡孝一さん(55)が鐘を鳴らすと、あちこちの玄関の扉が開き、人が集まりだす。

「ボランティアから物資が届くたび、鳴らしている。ちょっとしたアイデアだべ」と、松岡さんは朗らかに笑った。

津波にのまれ、壊れたまま放置されていたポンプ車を見つけ、「鐘を盗まれては大変」と外して持ってきたという。

鐘を据え付けたのは、「憩いの場」と呼ぶ小屋。仮設住宅に入居する大工が作った。90歳を超えるお年寄りらが朝、昼、夕と集まり、茶飲み話に花を咲かせている。

仮設住宅は民有地に建設され、入居者も地元の人たちがほとんど。高齢者も多く、鐘を鳴らして姿が見えなければ、誰かが様子を見に行く。

「ここでは『孤立』という言葉は無縁です」と松岡さん。半分さびた鐘は再び消防で活用される日まで、仮設住宅の住民の生活を支える。

鐘を鳴らすと、住民が続々と集まる。鐘は新たな活躍の場を得た

掲載日：2011年08月26日

気仙沼・南三陸の在宅医療考える

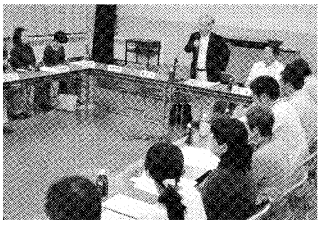
福祉関係者ら会合

気仙沼市と南三陸町の福祉関係者らが在宅医療や介護の在り方を考える「気仙沼・南三陸地域在宅医療福祉推進委員会」の第1回会合が24日、気仙沼市の医師会館で開かれた。

医師や保健師、薬剤師ら約30人が参加。震災後の在宅医療の課題などについて話し合い、「震災による失業者の増大で、介護サービスを減らす動きがある」「仮設住宅で暮らす高齢者のサポートが必要だ」といった意見が出た。

在宅高齢患者らを全国の医療・福祉関係者が訪問診療した「気仙沼巡回療養支援隊（ＪＲＳ）」の活動も紹介された。

委員長で市医師会の森田潔理事は「医療過疎の地域では医師と関係機関との連携が不可欠だ。コメディカル（医師以外の医療従事者）を巻き込んだ支援態勢を整えたい」と語った。



震災後の在宅医療について話し合った推進委員会の初会合

掲載日：2011年10月18日

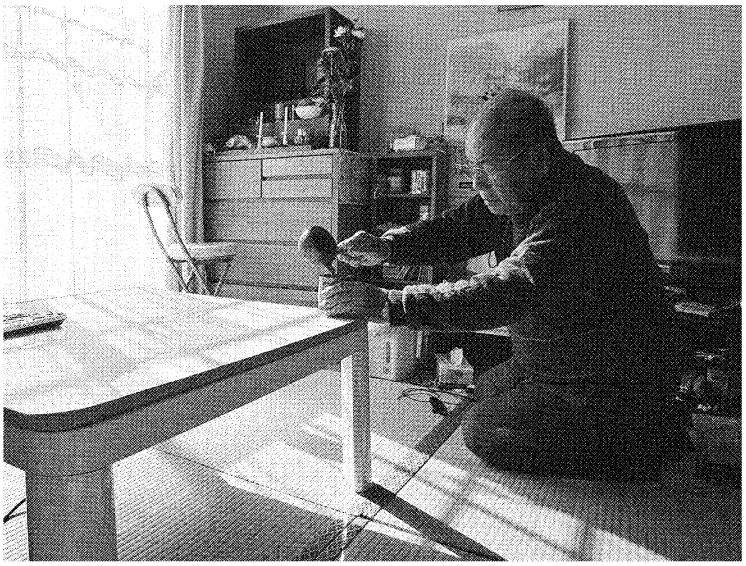
なじみの顔 散り散り

第3部 仮設暮らし③

越境

「よそ者意識」離れず

これから ――大震災を生きる 19



仏前に供えるお茶を入れる星さん。近所の人と茶飲み話をすることはなくなった＝登米市のイオン南方店跡地仮設住宅

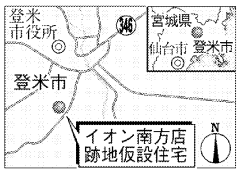
心臓病を抱える宮城県南三陸町戸倉の星亀治郎さん(84)は7年前に妻を亡くしてから1人暮らし。東日本大震災の大津波で家を流され、登米市のイオン南方店跡地仮設住宅で生活する。

「このまま誰にも気付かれずに、死んでしまうんじゃないか」。夜、ベッドの上で胸の辺りが苦しくなるたび、そんな思いに襲われる。

約350戸の仮設住宅団地に、頼れる顔見知りはいない。子ども3人は仙台市や白石市に住んでいる。週2回仮設住宅を訪れる介護ヘルパーは、所定の時間以外に呼び出しにくい。

震災前は、近所の家を毎日のようにはしごし、茶飲み話に花を咲かせた。近所の人たちは、星さんの病気のことも知っていた。「独り」と思ったことはなかった。

特に世話になったのは向かいの一家。風邪をひいた時には、車で病院に連れて行ってもらった。震災の地震直後にも「津波が来るかもしれない」と、自宅に避難を呼び掛けに来てくれた。



遠出難しく

心やすい近所の住民たちは今、散り散りだ。訪ねて行くにも、遠出は難しく、テレビの前で過ごす時間が長くなった。

「1人暮らしは、慣れもあるからそれほどつらくはない。ただ、知らない人ばかりというのが…」。星さんは寂しそうに打ち明けた。

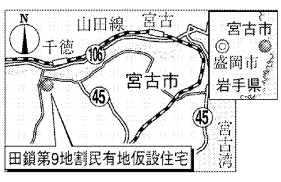
◇

「隣人にあいさつしても返事がない。何となく避けられているような気がする。被害妄想かもしれないけれど」

閉伊川に近い宮古市の田鎖第9地割民有地仮設住宅。薄暗い居間で佐々木文子さん(39)はつぶやいた。岩手県山田町の自宅を失い、2カ月前に仮設住宅に移った。

「自分は隣町から来た」という感覚が頭から離れない。入居者の交流の場であるはずの談話室に人は集まらず、市内で買い物をしても、誰かに見られているような気がしてしまう。

山田町にいたときはなかった「よそ者意識」が入居者との距離を日増しに広げていると感じる。



先日、古里の岩手県大槌町の仮設住宅にいる妹夫婦を訪ねた。

増す悲しみ

敷地内で、見知らぬ人から「おはよう」と声を掛けられた。「何げないひと言だったけど、うれしかった」。みんなで困難を乗り越えようという雰囲気を感じた。古里だからかもしれないが、うらやましく、自分の境遇に悲しさが増した。

震災では自宅のほか、大槌町の実家も津波で流された。母＝当時(69)＝は遺体で見つかり、4歳下の弟は行方不明のまま。「生き地獄と感じることもある」。

3年前に離婚し、長女(18)と2人暮らし。年頃の長女とは、姉妹のようにけんかをすることもある。でも、かわいくて仕方ない。

宮古市の仮設住宅を選んだのも、市内の高校に通う長女の通学が少しでも楽になるように、という理由からだった。

長女は来春、就職のため関東へ旅立つ。「立派な女性になってほしい」と文子さん。娘のためにも、必死で光を見いだそうとしている。

「もう昔には戻れない。新しい暮らしを見つけないと。つらいことは自分で克服しなくちゃね」

掲載日：2011年12月17日

再生の針路

点検・復興計画

7 南三陸町

集団移住 早く具体像を

南三陸町が7月に行った調査では、被災世帯の74・7％が「住まいの高台移住」を望んだ。生命を守るための高台移転は町の復興計画の根幹。高台への住宅移転を柱とする「職住分離」や公共施設の高台への設置が盛り込まれた。

計画の素案は9月に策定されたが、財源の裏付けとなる国の第3次補正予算がようやく成立、12月に入ってから各行政区で高台への住宅移転に関する説明会が開かれている。早ければ年明けに策定される見込みだ。

説明会では、「移転先のライフラインの整備はどうなるのか」「高台移転を希望するが、海が見える場所に住みたい」といった質問、要望が出され、全ての住民の希望通りになるとは限らない。新しい生活に向け、住民たちの期待と不安をひしひしと感じた。

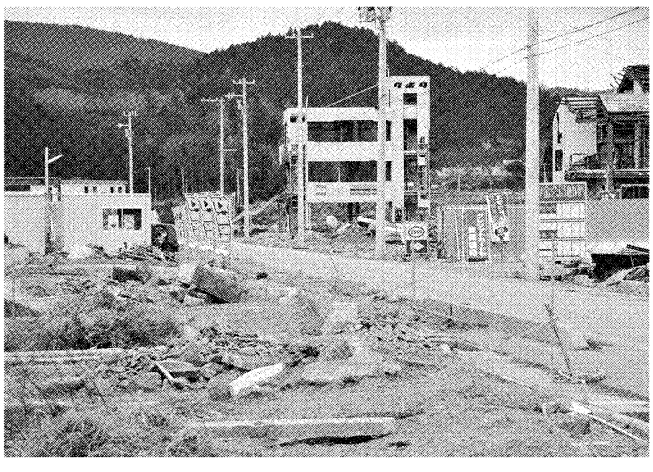
高台移転は、町が整備する団地へ集団移住する「防災集団移転促進事業」ろう。佐藤仁町長は「高台移転にようやく道筋が見えてきた。地域の意向を聞き計画を進めたい」と意欲を見せる。

説明会と並行して、町は集団移転規模や災害公営住宅の戸数の基礎資料となる調査票を住民に配布した。高台移転は地域で合意のあった場所から順次事業化されるが、入居が始まるのは早くても2014年度になるという。

住民からは「早く住む場所や働ける場所が決まらなければ、人がどんどん町を離れていく」と焦りの声を聞く。11月末現在、町の人口は震災前に比べ約2000人減少した。移転時期が遅くなれば、さらに町を離れる住民が増え、復興そのものに支障を来しかねない。

津波に脅かされない場所で安心して暮らしたいという願いに応えるべく、移転計画の具体像を町民に早く示すことが行政に求められる。

（志津川支局・渡辺龍）



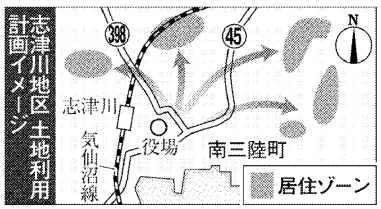
がれきの撤去が進みプレハブの店舗が建つ南三陸町志津川地区

復興計画の要旨

計画期間は2020年度までの10年。高台移転用地の確保や防災機能復旧の「復旧期」、産業基盤整備や住まいの再建の「復興期」、観光展開などの「発展期」の3期からなる。

これまでの防潮堤による津波防御から全面転換し、住まいや公共施設は高台に移転、津波の浸水域には商業、観光施設や緑地などを整備する。

商業、観光ゾーンには津波避難ビルを整備する。高台移転による職住分離や国道のかさ上げによる多重防御で人的被害を最小限に抑える。



住民のひと言

土地利用制度緩和を

私が住んでいた地区でも高台移転の話し合いが進められている。現行の制度は被災した土地の買い上げには対象地域全部の同意が必要。移転先の敷地は330平方㍍と決まっており、作業場などに元の土地を使いたい人もいる。何とか制度が緩和されないだろうか。

地元の戸倉小、戸倉中ともに被災した。しばらくは移転先での授業が続くが地域に学校は必要だ。子どもたちが安心して学べる場所に学校を整備してほしい。

（南三陸町戸倉津の宮・佐々木正樹さん・50歳・養殖業）

掲載日：2012年01月04日

宮城・南三陸の高齢者

2割 生活不活発病か

震災後に歩行困難

町など調査

元気だった人にも頻発

東日本大震災で被災した宮城県南三陸町で、長時間体を動かさないことで日常動作が困難になる「生活不活発病」＝?＝の疑いのある高齢者（65歳以上）が調査対象の2割を超えることが、町と国立長寿医療研究センター（愛知県）の共同調査で分かった。

調査の中間集計で判明

仮設住宅入居者は震災後、871人中339人に歩行困難の症状が現れた。介護を受けていない高齢者2702人の健康状況を分析した結果、「震災後、歩くのが難しくなり、今も回復していない」と答えた人は572人で、全体の21・2％に達した。

在宅の高齢者も183人

1人のうち311人（17・0％）に、同病の疑いがあることが判明。被災した沿岸部が164人を占めたが、直接被災していない内陸部でも107人いた。みなし仮設などの町外住宅は40人だった。

生活の不活発化の理由としては「することがない」「外出が少なくなった」「疲れやすくなった」との回答が多い。被災していない地域では、スポーツや趣味を遠慮する傾向も目立つという。

調査した同センター生活機能賦活研究部長の大川弥生医師は「元気だった人にも頻発しており、深刻な事態だ。いったん歩きにくくなるとさらに動かなくなり、症状が悪化する悪循環に陥る」と指摘。予防や症状改善に向けた早期対策を訴える。

対策のポイントとして、地域や家庭で高齢者の参加機会を増やすことを挙げ「日常生活の中で自然に頭と体を使うのが基本。高齢者が知恵と能力を発揮し、充実した生活を送れるよう周囲の工夫が重要だ」と語る。

調査は10～11月、同町の全町民約1万3000人を対象にした健康状況調査の一環として実施。訪問や郵送で回収した。

?生活不活発病　廃用症候群とも呼ばれる。全身の心身機能が低下し、筋力が弱くなったり疲れやすくなったりする。頭の働きが鈍くなり、認知症のように見えることもある。災害時、高齢者に起こりやすいとされる。

掲載日：2012年02月01日

推計人口

南三陸町は2237人減

震災後初、全市町村そろう

県は31日、県推計人口（1月1日現在）を発表した。総人口は23万2111人（男11万2992人、女11万9119人）で前月に比べ281人減り、昨年10月以来の減少となった。南三陸町の住民基本台帳ネットワークが復旧し、東日本大震災後初めて全35市町村の数値がそろった。市町村別の増減をみると、前月から減少したのは石巻市（127人）、栗原市（98人）、気仙沼市（89人）など26市町。増加したのは仙台市（437人）、大和町（80人）、富谷町（69人）など9市町村だった。

県全体の自然動態は出生1147人、死亡1813人、転入6913人、転出6447人で1333人減った。

震災前の昨年3月1日との比較では、総人口は2万2642人減。仙台市は5739人増加し、石巻市は1万217人、気仙沼市は4279人減少している。

掲載日：2012年01月17日

南三陸町

町外移転17％希望

意向調査中間集計「高台へ移転」22％

南三陸町は16日、東日本大震災で被災した地区の住民を対象にした、住宅の移転や再建についての意向調査の中間集計を公表した。

集計（重複回答含む）によると、高台への集団移転を希望したのは750世帯（22・7％）。災害公営住宅への入居希望は633世帯（19・2％）。一方で、町外への移住と回答したのも583世帯（17・7％）あった。個別移転や被災地域での再建、まだ決めていないと答えたのは計837世帯（25・4％）だった。

同日の定例会見で佐藤仁町長は「町外移住が17％に上ったのは厳しい数字だ。高台移転に年数を要することや平穏な生活を早く取り戻したいとの気持ちではないか」と話し、早期復興が必要との認識を示した。

対象の4315世帯のうち、2873世帯から回答があり回収率は66・6％。うち津波で半壊以上の被害を受けた3096世帯に限ると2258世帯が回答し、回収率は72・9％だった。

町では未提出の世帯に20日までの回答を郵送や電話で促しており、今後最終結果をまとめる。

社説に見る被災地の高齢者福祉と医療

河北新報は東日本大震災以降、震災に関わる諸問題を検証し、解決の道を探る社説を連日掲載している。特に被災地における高齢者の福祉、医療の再生は喫緊の課題が多く、テーマとして取り上げる回数が多い。震災後１年間の社説の中から、福祉・医療にスポットを当てた記事の一部を紹介する。

掲載日：2011年03月22日

社説

東日本大震災

避難所の高齢者

体調管理に手を差し伸べて

能登半島地震を覚えておでだろうか。2007年3月、石川県の輪島市などで震度6強を観測した。集落の家屋が倒壊して高齢者をはじめ、多くの住民が避難所生活を余儀なくされた。

お年寄りたちは我慢強く、なかなか弱音を口にしなかったそうだ。そこで行政が大掛かりな聞き取り調査を行ったところ、「高血圧でつらい」「なかなか寝付けない」などと初めて悩みを打ち明けたという。

東日本大震災で被災した人の避難所暮らしが長引きつつある。寒さもあって亡くなる事例も出始めた。

常備薬が切れたが、かかりつけの病院が開いていない、外のトイレに行きたくないから水分を取らない、同じ場所に座って一日中動かない。厳しい環境で高まるストレス。「なんでこんな目に…」と思いたくなるだろう。

避難所を見回してみたい。全国から保健師さんが応援にやって来て随時、健康相談を行っている。

診察を再開した病院も増えてきた。避難所によっては医師が巡回している。我慢せず、「苦しい」と訴えよう。体に良いアドバイスをくれるはずだ。

阪神大震災では、避難所の高齢者に対する自治体などのケアが後手に回り、900人以上が慢性疾患の悪化、肺炎、ストレスによる胃潰瘍などで死亡した。

同じ轍を踏んではならない。行政や医師会などの医療団体は、細かい目配りができる持続可能な態勢をいち早くつくり、健康、体調維持のための手だてを講じてもらいたい。

仙台市健康福祉局によると、高齢者で心配されるのは高血圧や心臓疾患などの症状という。

かかりつけ医の診察、薬の処方を受けられないと悪化する恐れがある。ただ、国の震災特例として、薬の使用歴が書かれた「お薬手帳」を薬局で示すと、医師の処方箋がなくても調剤してくれることになった。

今後、各地から医薬品が届いて薬局が営業を再開すれば、近くで手に入れることができる。

仮設トイレは衛生状態が悪く、最小限にしたい気持ちになるが、「水分を控えすぎると血管の中に血栓ができて、脳卒中や心筋梗塞を引き起こす」（同市健康福祉局）という。摂取不足に気をつける必要がある。

過去の地震では、風邪やインフルエンザ、ノロウイルスなどがまん延したことがあった。狭い場所での共同生活で感染が広がると、取り返しのつかないことになりかねず、注意が必要だ。少しでも疑いの事例があったら消毒、清掃などを徹底し、素早く対処してほしい。

これからは、駆け付けたボランティアの活用が有効と思われる。屋内外に積み重なったごみの分別と収集などに協力してもらい、清潔できれいな環境整備に一役買ってもらおう。

震災に遭いながらも、なんとか助かった命。再建を果たして、自宅に戻る前に失われるような悲劇は目にしたくない。

掲載日：2011年06月02日

社説

東日本大震災

高齢者施設

救済と支援は総合力で

被災した高齢者施設に入所していたお年寄りを取り巻く状況が悪化している。高台にある特別養護老人ホーム（特養）など他の介護施設に移っているが、受け入れ先の中には定員を4割以上超え、部屋からベッドがあふれ出ている所もある。

生活環境が変わって症状が重くなる人が急増している。施設の建て直しや代替施設の確保による継続的なケアが急務だ。

ただ、施設を運営する社会福祉法人などは経済的損失を受けており、再建は容易ではない。認知症高齢者向けの仮設住宅建設、旅館の借り上げなど、行政はあらゆる方策を講じ、少しずつでも状況改善に努めてもらいたい。

宮城県では38施設が全壊、水没するなど死者・行方不明者300人を含め、入所者約1200人が被災した。

約900人は他の施設に緊急避難、このうち150人は山形県内の施設が受け入れた。

震災から2カ月半がたち、慣れない環境で体調を崩すなどして、要介護度が4から5に悪化したり、寝たきりになるなどのお年寄りが増えているという。痛ましいことだ。

体育館などで避難所生活を余儀なくされている高齢者が、運動不足などによって要介護者に認定されるケースも見られる。

施設が定員超過の状態では受け皿になれず、宮城県保健福祉部は在宅ケアであるヘルパーによる訪問介護、デイサービス、ショートステイの利用を呼び掛ける。

沿岸部では、介護サービス事業所も水浸しになる被害を受けた。在宅サービス再開を後押しする財政的な支援も、併せて進めたい。

市町村の福祉担当職員が被災地の復旧に追われ、人員不足から要介護認定の申請事務が滞るという事態まで起きている。災害は生活弱者を狙い撃ちするといわれる。介護サービス利用のスムーズな流れを早く取り戻すことが、救いの手となろう。

それには、何よりも失われた施設の再建である。特養などは市街地から離れた海沿いの平地に多く建てられ、新たな移転先探しが壁となっている。

被災した事業者に任せきりにするのは酷だ。好適地をあっせんするなど市町村は側面支援してほしい。

岩手、宮城両県は近く、仮設のグループホーム数棟の建設に着手する。1棟の定員が9人と小規模ではあるが、できるところから増やしていくべきだ。

特養など大型施設の入所再開には数年かかるとみられる。企業が所有する保養所や研修施設を一時的に提供してもらえれば、つなぎの代替施設になり得る。ここは民間からの協力、支援を期待したい。

明るい材料は、全国から介護ボランティアの応援が続いていることだ。宮城県には520人が入り、今も新たな申し出が後を絶たないという。

激務で疲労の色濃い施設職員は、どれだけ勇気づけられていることだろう。自治体、ボランティア、企業などの力を結集し、危機を乗り越えたい。

掲載日：2011年07月07日

社説

東日本大震災 仮設住宅の高齢者

支援を実効性あるものに

避難所から仮設住宅に移った途端に、被災者同士の付き合いが疎遠になる。その結果、孤立や閉じこもりの生活に陥りやすくなる。

お年寄りが環境の変化についていけず、運動不足もあって、認知症や要介護度が悪化するという以前から指摘されていた事態が現実になり始めている。

厚生労働省は、仮設住宅ごとに高齢者を支援する拠点施設を整備する方針を決め、自治体に通知した。日常生活の相談を受けるスタッフを常駐させるとともに、だんらんの時間を過ごす集会所のような機能を持たせるという。

岩手、宮城、福島3県などで計100カ所を整備し、人件費、設備費は国が全額負担する支援措置を用意した。ところが、4月中旬の方針決定から3カ月近くたっても、整備は一向に進んでいない。

約40カ所を設ける予定の宮城県内でも、岩沼市が今月1日、総合福祉施設内に併設した1カ所にとどまる。受け皿づくりが進まない背景には、運営を市町村に任せ切りにしたこと、役割があいまいなため、どういう職種の人を置くかなど現場が判断に迷う点が挙げられる。

各自治体は模様眺めで、仮設での孤独死が相次いだ阪神大震災を教訓にした構想も、絵に描いた餅になりかねない。

考え方自体は悪くない。被災地のコミュニティーを維持し、デイサービスなど介護施設をつないで高齢者を救う有効な手だてに成り得る。市町村の手が回らないのであれば、国や県が中身の肉付けを急ぎ、機能を十分に発揮できるよう方向性を明確にしてほしい。

構想では生活援助、介護の相談を行う「ライフサポートアドバイザー」と称する支援員を数人配置。浴室、台所のほか交流スペースを設けて引きこもりを防止するという。

介護保険制度で地域の高齢者支援は、中学校区ごとにある「地域包括支援センター」が担っている。社会福祉法人の介護支援専門員らが、老化予防のプログラムを組み、集会所での趣味のサロンなどを企画している。

支援員はセンターと役割分担、または協力し合うなどして、その地域に合った活動を展開するのが望ましいと思われる。

仮設暮らしは2年程度に及ぶとみられ、悩み事の中身も変わってくると専門家は指摘する。最初は不慣れな生活、その後、生活保護など経済的な問題、そして仮設から引き払う時期と公営住宅への転居など、時々にアドバイスを求められる支援員には専門性が必要とされる。

仙台市地域包括支援センター連絡協議会の折腹実己子会長は「一度や二度、戸別訪問したぐらいで信頼関係は築けない。長く続けられる経験豊富な人材が求められる」と強調。スタッフの足りない部分を後方から支える応援態勢も重要と力説する。

仮設への入居は、生活の再建に向けたステップだ。支え合い、つながりのある安心できる住居にするには、最初の段階から福祉の視点を入れておくかどうかで大きく左右される。

掲載日：2011年09月06日

社説

東日本大震災 孤独死防ごう

避難所から仮設住宅への入居が進み、普段の生活に近づくのと背中合わせで、独り暮らしの人が周囲から孤立し、引きこもる負の側面がクローズアップされるようになった。

1995年の阪神大震災では、仮設暮らしの高齢者が誰にもみとられずに病死する「孤独死」や、先行きを悲観して自殺するケースが相次いだ。その数は4年間で233人に上り、大きな社会問題となった。

孤独死を出すまいと東日本大震災の仮設住宅では、入居者一体となった自治会づくり、お茶飲み会、保健師と看護師らによる声掛け、戸別訪問など、それぞれ地域の特性を生かした取り組みが始まっている。

家を失うつらい経験を持ちながら、仮設暮らしの仲間を思いやる行動は尊い。息長く続けてもらい、阪神の時のような悲劇が繰り返されないことを願う。

気仙沼市では被災者自身が仮設住宅を回って、高齢者をお茶会に誘い出し、悩み事の話し相手をする事業が始まった。相馬市では、市が予算を出して週末に集会所で「夕食会」を開催、明るい声が絶えないという。

名取市の仮設住宅では、自治会が誕生し、棟ごとに班長を決めて1戸ずつ訪ね歩いている。

仮設より民間の借り上げ住宅を選ぶ市民が多い仙台市。18000世帯を対象に市職員が居住地を訪問、外からは見えにくい生活実態の把握に努めている。

知恵を絞った支援が孤立を防いでいると言えるが、6月に宮城県の仮設住宅2カ所でお年寄りが孤独死しているのが見つかった。

気になるデータもある。震災との関連が明らかな自殺者が、6月の1カ月間に全国で16人だったと内閣府が発表した。宮城県8人、岩手県3人、福島県2人で男性が多く、年齢別では50代と60代で11人を占めた。仮設入居者の自殺も1件あった。

壮年の男性が多いのは、阪神大震災の例と酷似している。自殺率が高まる危険性は忍び寄っている。

岩手県は6月、庁内に「自殺総合対策本部」を設置した。部局の垣根を越えて行動計画を進めており、迅速な対応と評価できよう。

自殺や孤独死に至るまでには共通の前兆が見られるという。勤め先を解雇され、自暴自棄になってアルコール依存症になる、再建に疲れ果てて燃え尽きる、低所得で将来を悲観するなど、生活の行き詰まりが引き金になっている。

阪神大震災後、仮設住宅に診療所を開き、孤独死を目の当たりにしてきた「みどり病院」（神戸市）の額田勲理事長は「持病を抱えているのに経済的な事情で通院せず、悪化していった。孤立対策に王道はなく、相手の目の高さに立ってこまめに足を運ぶこと」と助言する。

16年前と比べて、高齢化が急テンポで進み、個人のプライバシーを守る意識も強い。コミュニティー形成には難しい時代だが、一人一人と絆をしっかり結び、助け合いの心で対処し、リスクを減らしたい。

阪神の悲劇繰り返さないで

掲載日：2011年11月04日

社説

東日本大震災 公立病院再建

限られた医療資源有効に

岩手、宮城県沿岸部にある公立病院は多くが津波で壊滅し、医師やスタッフの命が失われた。建物は無残なままだが、復興に向けた動きが出始めている。

宮城県は先月下旬、有識者でつくる地域医療推進委員会に「新たな地域医療再生計画案」を提示した。

国の第3次補正予算の成立を念頭に、各地域医療圏の再生を5年程度かけて進める。沿岸部は震災前から医師、看護師らの人的資源が絶対的に不足し、医業収入減などによる経営難は自治体財政を圧迫していた。

有識者会議は当初、病院乱立による共倒れを避ける狙いから大胆な統合再編を図り、中核的な医療拠点に診療科を集約化する方向だった。

ところが、焦点だった石巻圏の再構築では漠然とした内容となった。石巻市立病院は移転して再建を目指すとし、規模などは「まちづくりのビジョンとの整合性を踏まえて検討する」と市の出方を待つ姿勢を示した。

その上で、拠点である石巻赤十字病院との連携強化を打ち出し、機能分担を図るとしている。石巻市立の存続に危機感を抱いた地元が必要性を強く訴え、流れを押し戻したとされる。

一般的な再編は一つの中核病院を拠点に、ほかはサテライト（衛星）としての役割を担う形を取る。

高齢者の通いの問題もあり、この方式が万能でないことは確かだ。ただ、石巻市立がそれなりの規模で再建されるとなれば、一つの医療圏に二眼レフ体制が築かれる。職員再雇用などの必要性があるとしても、非現実的な状況が生じる。

そもそも大学医学部が医師の供給源となっていた派遣システムは、とうの昔に崩壊し、自治体の自助努力が医師確保の成否を左右する時代である。震災の後遺症を抱えつつ、そこまで手が回るのだろうか。

再生計画は消化不良の感がある。いま一度、宮城県が調整能力を発揮して、限られた人的資源を有効活用する計画に仕上げてもらいたい。

医療復興では第3次補正予算のほか、国の「地域医療再生臨時特例交付金」を充てる事業もある。

ここでは震災で獅子奮迅の活躍を見せた石巻赤十字に対し、救命救急センターの拡充、新病棟建設、ヘリポート整備などに総額100億円が投入される。

拡充案は震災前に練られていたが、災害時の受け入れ機能を重視して事業費で2倍の規模とした。そうであれば救命救急と重症患者の入院、高度の治療は石巻赤十字に、退院後のリハビリ、回復期治療などは石巻市立に割り振るなど一層明確に分担させるのが理にかなう。

沿岸部では公立志津川病院も被災した。建て直しが急がれるが、現状は住民の住まい確保とまちづくりが優先。気仙沼市を含めた圏域再生に向けた具体的な計画づくりはこれからだ。

震災は、医療崩壊が起きていた東北に追い打ちをかけたともいえるが、新しい形を探る機会でもある。後顧の憂いを残さない議論を望みたい。

大震災に関する東北福祉大学の関連記事

東北福祉大学は、被災16市町村で約3000人の学生、教職員がボラティア活動に励み、高齢者らの心のケアなどにも当たっている。また、仙台厚生病院とともに設置を目指す医学部構想は地域医療再生に寄与するとして、期待が集まっている。河北新報が取り上げた大学関連の記事の一端を掲載する。

掲載日：2011年08月23日

南三陸でボランティア

東北福祉大生 復興の力に

東北福祉大の学生が東日本大 れ、ボランティア活動に取り組 有志延べ約100人を交代で同震災で被災した南三陸町を訪 んでいる。同大は8月いっぱい、 町に派遣し、9月以降も継続す

ボランティア活動で文鎮製作を手伝う東北福祉大生＝南三陸町入谷

文鎮の製作を手伝う

る方針。

12日は学生5人が参加。南三陸町入谷の工房で、同町名産のタコをキャラクターにした文鎮「オクトパス君」の製作を手伝った。文鎮は収益が町への義援金となり、震災で失業した30人の雇用対策にもなっている。

同町歌津の仮設住宅そばに設けられた無料カフェ「あづまーれ」で避難者の話し相手になったり、避難所となっている南三陸ホテル観洋で、朝夕の食事の配膳を手伝ったりもした。

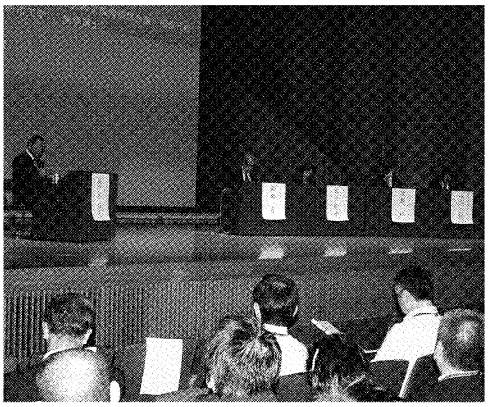
子ども科学部1年の遠藤美紗さん(19)は「がれきが残る風景を見て、復興はまだ遠いと感じた。自分にできることを精いっぱい手伝いたい」と話した。

避難者の話し相手に

掲載日：2011年10月27日

自治体連携の意義強調

仙台で学会大会 南三陸町長ら震災報告



震災後の自治体再生などを話し合った日本自治創造学会仙台大会

地方議員や首長らでつくる日本自治創造学会の仙台大会が26日、仙台市青葉区の東北福祉大であり、東日本大震災からの復旧・復興と地方自治のあり方を考えた。

全国から約600人が参加。パネル討論では、宮城県南三陸町の佐藤仁町長と宮古市の山本正徳市長が、津波被害の実態や復興計画策定の状況などを報告した。

自治体間の連携をめぐっては、佐藤町長が「保健師不足を知った兵庫県知事から直接電話があり、すぐに保健師が派遣された」と関西広域連合による支援活動を紹介。自治体同士が直接結び付く意義を強調した。

討論では、岩沼市出身で同市震災復興会議議長などを務める石川幹子東大教授（都市工学）が、被災地以外の市町村などが被災自治体を長期に支援する「ペアリング支援」の必要性を指摘。「復興では小さい町や村を見捨てないシステムが必要。社会がどう支えるかを考えるべきだ」と述べた。

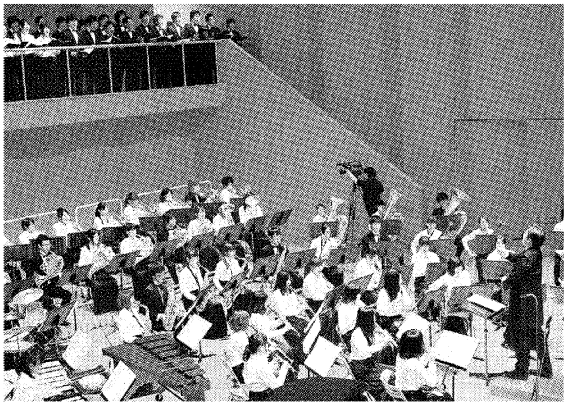
政府の復興構想会議で議長代理を務めた御厨貴東大教授（政治学）は、国の豊富な復興施策を被災自治体が活用する上での課題を指摘。「使い勝手の良いお金がついても、どう使うかの橋渡しの部分がない。つなぎが重要だ」と話した。

同学会は昨年4月発足。復興支援の一環で初の地方大会を仙台で開いた。

掲載日：2011年08月01日

被災地への祈り 胸に

仙台で「心の復興コンサート」



東北福祉大の吹奏楽部、混声合唱団と共演した奥村さん（右）

仙台市青葉区の東北福祉大けやきホールで31日、「心の復興コンサート」（東北福祉大、河北新報社主催）が開かれた。

仙台市出身の指揮者奥村伸樹さんをはじめ、フルートの南部やすかさん、ソプラノの森麻季さん、ピアノの田中聡美さんと石田薫さんが出演。約500人が、復興の祈りが込められた演奏に聴き入った。

モーツァルトのレクイエムなどを歌った森さんは「被災地を訪れ直接音楽を届けられ、うれしい。少しの時間でもほっとしてもらえたら」と話した。

奥村さんは東北福祉大吹奏楽部と混声合唱団と共演し「明日という日が」などを披露した。

東北福祉大教授らによる「心の復興とは」と題したパネル討論もあった。

掲載日：2011年06月14日

医学部新設

構想検討委を設置

仙台厚生病院 東北福祉大 14年4月開設視野

仙台市内に医学部新設を目指す財団法人厚生会仙台厚生病院（仙台市青葉区）と東北福祉大（同区）は13日、医学部の基本構想について助言する検討委員会を共同で設置することを決めた。国が新設を認めた場合、2014年4月の開設を視野に入れて準備を進める。

名称は「宮城に新設を目指す医学部の基本構想検討委員会」。メンバー15人のうち外部委員は11人で、高橋宏明東北経済連合会長、久道茂・元東北大医学部長、伊東潤造宮城県医師会長らで構成する。

初会合は今月27日。月1回のペースで会合を開き、仙台厚生病院と東北福祉大に設けられた設立準備室が作成した医学部の基本構想について、提言と助言を行う。秋には意見をとりまとめる。

医学部新設について議論をしている国は、秋に中間答申、年度末に最終答申をまとめる見通し。国が新設を認めた場合の開設目標時期について、目黒泰一郎仙台厚生病院理事長は「14年4月が可能なところと考える」と話した。

東日本大震災では沿岸部を中心に医療機関が大きな被害を受けた。目黒理事長は「震災により医師の供給がさらに大変になる。医師不足の解消と地域医療に貢献しながら、東北の復興と再生を実現するのが新しい医学部の使命だ」と強調した。

仙台厚生病院はこの日、震災に伴うがれきや大気汚染による健康被害を調査する研究機関に対し、合計5000万円を助成する方針も決めた。全国から公募し、採用された研究機関にはデータの提供を求める。

掲載日：2011年09月28日

「良医」育成を前面に

東北福祉大と仙台厚生病院 新医学部基本構想

仙台市内で医学部の新設を目指す財団法人厚生会仙台厚生病院（仙台市青葉区）と東北福祉大（同）が合同で設置した基本構想検討委員会は27日、臨床重視と地域医療貢献を新医学部の基本方針とする最終報告をまとめた。

報告は地域に根付き、弱者を助ける強い意志や社会常識、心優しさを兼ね備える「良医」の育成を前面に打ち出した。診断学と治療学の研究に重点を置き、東日本大震災によって発生が予想される各種疾患についての長期的調査、治療の研究を推進する。

他大学との連携による教員や人材の確保、新設も含めた施設整備に関する方針も盛り込んだ。

東北の高校生を対象とした入試の地域枠や奨学金制度を設け、卒業生が一定期間、地域医療を義務的に担うようなシステム構築も掲げた。医師国家試験の合格率は全国平均の90％以上を目指す。

臨床実習を行う付属病院の病床数は800～1000超の確保を目指す。国が学部新設を認めた場合、2014年4月の開設を視野に入れて準備を進める。厚生会の目黒泰一郎理事長は「被災地にとって医学部新設は、将来の地域医療再生という希望になるはずだ。実現に向けた準備作業を進めたい」と話した。

おわりに

東日本大震災からの本格的な復興と東北の新たな発展を目指して、河北新報社は自ら設置した東北再生委員会（委員長・一力雅彦社長）の議論を基に３分野11項目からなる提言をまとめ、今年の元日の朝刊で発表した。

６県による自立的な復興をリードする広域行政組織「東北再生共同体」の創設を呼び掛けているほか、被災地での独自のまちづくりや創造的な産業興しなどの分野で、具体的プロジェクトを掲げた。東北一体の再生という視点を重視し、被災地の報道機関として自治体などの復興計画をより推進させるため、大胆な発想で「戦後」に替わる「災後」の東北像を示している。

提言は全体の考え方や基本理念をまとめた序文と「安全安心のまちづくり」「新しい産業システムの創生」「東北の連帯」の各分野に集約される11項目で構成される。序文では「おこす」「むすぶ」「ひらく」の三つの基本理念を提示。各提言を貫く考え方として、創造的な発想、人や地域の絆、グローバルな視野の大切さを強調した。「復興と創造の道しるべ」として「東北の、東北による、世界のための復興」を宣言。「何十年かかろうと、私たちは必ずやり遂げなければならない」との決意で締めくくっている。

本報告書と密接に関わる「安全安心のまちづくり」では、特別法や復興特区などによって被災土地に法定の定期賃借権を設定し、低地から高台への移住を促進・定着させるアイデアを示した。医師不足が深刻な地域の医療を担う人材育成を図るため、仙台に二つ目の大学医学部を設置するよう提案。持続可能な復興支援の仕組みをつくる取り組みとして、自治体相互支援（ペアリング）の制度化も盛り込んだ。

女川、南三陸両町のように少子高齢化が進行する被災地域の復興に当たっては、保健医療、介護福祉や各種生活支援サービスを一体的に提供する地域包括ケアを中心とした体制整備の必要性を指摘。地域医療・福祉のニーズに沿った地域包括ケア体制の確立は、少子高齢化へと進む全国、世界に開かれた地域医療モデルとなり、医療・福祉ビジネスの展開が期待できる、と訴えている。

また、女川、南三陸両町は震災前、観光振興によるまちづくりに力点を置いていた。観光活性化と交流人口拡大は、今後の地域社会の再生に欠かせない。具体的な取り組みとして、河北新報社の提言は被災地への地域再生ビジターズ産業の創出を掲げている。それを支える「東北の連帯」には、東北再生共同体のほか、東北共同復興債発行や東北再生機構設立による資金調達を提案。東北全体の交通・物流ネットワーク強化にも触れ、太平洋側と日本海側が一体となったインフラ構築の必要性を訴えた。

復興への道のりは長期にわたり、幾多の困難が予想されるが、復興を支えるのは「地域の力」にほかならない。女川、南三陸両町の高齢者福祉・医療の再生、安全安心で住みよいまちづくりもまた、単なる震災前への復旧ではなく、新しい地域の創造につながり、全国にモデルを示せるよう願いながら、地元報道機関として検証報道を続けていきたい。

謹んで東日本大震災の被災者の皆様へ
お見舞いを申し上げますとともに,
亡くなられた方々の
ご冥福をお祈り申し上げます。

平成23年度 老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業

「複合大規模災害地域の高齢者福祉に関する総合的調査研究事業」

発　行:　　平成 24 (2012) 年 3 月
発行者:　　学校法人栴檀学園 東北福祉大学
　　981-8522 仙台市青葉区国見 1 丁目８－１

研究代表者:　渡邉 誠